

第2期長崎市地域まちづくり計画策定に係る
アンケート調査
報告書

長崎市

令和7年2月

目 次

I 調査概要

(1) 調査目的	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査期間	1
(5) 調査主体	1
(6) 回収状況	1
(7) 報告書の見方	1
(8) アンケート回収数の信頼性について〈参考〉	1

II 調査結果

1. 回答者の属性	3
(1) 問1 年齢	3
(2) 問2 職業	3
(3) 問3 居住区域	4
(4) 問4 同居者〈世帯構成〉	4
2. 日常生活について	5
(1) 問5 あなたは現在、日々の生活の中で何か悩みや不安に感じることはありますか	5
(2) 問6 あなたは、生活上の悩みや不安を主に誰(どこ)に相談していますか	11
(3) 問7 あなたは、日々の生活に必要な情報を誰(どこ)から入手していますか	19
3. 地域での生活について	27
(1) 問8 「地域での支え合い」の「地域」とは、あなたにとって概ねどの程度の範囲ですか	27
(2) 問9 あなたは、現在、どの程度「ご近所づきあい」をしていますか	30
(3) 問10 あなたは、どの程度の「ご近所づきあい」を理想としますか	33
【近所づきあいの現状と理想】	36
(4) 問11 あなたは、となり近所の人に手助けや協力をしてほしいと思うことはありますか	37
(5) 問12 あなたは、となり近所の人に対して手助けしたり、協力できることはありますか	43
【手助け・協力してもらいたいこと・できること】	49
4. 地域活動について	53
(1) 問13(1) 長崎市で現在各地域で活動している団体の活動に参加していますか	53
(2) 問13(2) [活動に参加していると答えた方にお聞きします] その理由は何ですか	59
(3) 問13(3) [活動に参加していないと答えた方にお聞きします] その理由は何ですか	65
(4) 問14 あなたは今後、どのような地域での活動に参加したいと思いますか	71
【現在参加している地域活動と今後参加したい地域活動】	77
(5) 問15 どのような環境や条件があれば、地域の活動に参加しやすいと思いますか	81

5. お住いの地域について	89
(1) 問16(1) あなたは、お住いの地域に愛着がありますか	89
(2) 問16(2) [愛着がある、どちらかという愛着がある] その理由は何ですか	92
(3) 問17 あなたが住んでいる地域には、どのような問題や課題がありますか	98
(4) 問18(1) 地域として優先して解決すべき問題や課題はどれだと思いますか	104
(5) 問18(2) 行政として優先して解決すべき問題や課題はどれだと思いますか	110
【地域として優先すべきこと・行政として優先すべきこと】	116
(6) 問19 長崎市が提案している「地域コミュニティ連絡協議会」について知っていますか	120
6. まちづくりついで意見〈自由記述〉	123
(1) 問20 住民主体の地域におけるまちづくりに関する意見・要望	123

I 調査概要

(1) 調査目的

第2期みんなで、す〜で！ながさき虹色プロジェクト【長崎市地域まちづくり計画】の策定にあたり、複雑化している地域課題や地域コミュニティに対する市民の考え方を把握・分析し、その結果を計画に反映させるための基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査対象

18歳以上の長崎市民2,000人（無作為抽出）

(3) 調査方法

郵送及び電子申請方式

※調査票は紙媒体で郵送し、回答は紙媒体又は電子申請を選択する

(4) 調査期間

令和6年12月1日から令和7年1月6日（37日間）

(5) 調査主体

長崎市 市民生活部 地域コミュニティ推進室

(6) 回収状況

紙媒体回収：736人、電子申請：228人、合計：964人（回収率：48.2%）

(7) 報告書の見方

ア.調査結果は、回答件数の合計に対する百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出したため、百分率の計が100%にならない場合がある。

イ.基数となる実数はnとして掲載し、その比率は件数を100%として算出した。

ウ.1人の回答者が複数回答を行う設問では、基数となる実数nは回答者数を上回ることがある。

エ.図表の各項目は表示の関係上省略して表示する場合がある。

(8) アンケート回収数の信頼性について〈参考〉

アンケート調査の信頼性を確保するには、対象となる母集団（本調査の場合長崎市の18歳以上の人口）の中から、どの程度の数を調査するかが重要であり、統計学的に必要なサンプルサイズは下記の計算式で算出することができる。

$$n = \frac{\frac{z^2 \times p(1-p)}{e^2}}{1 + \left(\frac{z^2 \times p(1-p)}{e^2 N}\right)}$$

ここで n：必要なサンプル数（人）

N：母集団の規模（人）→対象地域の18歳以上の人口

z：信頼レベル〈Zスコア〉

p：アンケート回収率（%；小数点表記）

e：許容誤差（%；小数点表記）

zは信頼性レベルで、母集団から異なる方法で複数のサンプルを抽出した場合、アンケートの結果がどの程度の確率で一致するかを表すもので、計算式中では「Zスコア」という数値を用いる。

Zスコアは平均値から標準偏差いくつぶん乖離しているか、を表したもので、信頼レベルがそれぞれ
90%→1.65、95%→1.96、99%→2.58

を用いる。(正規分布を仮定)

また、p はアンケート回収率で通常50%程度である。(本調査の実績は48.2%)

e は信頼性レベルの許容誤差であり、当然ながら z が100%に近く e が0%に近いことがアンケート回答の信頼性を高めることになるが、サンプル数も膨大になる。

実用的には、信頼レベル95%程度、許容誤差3%程度で十分と考えられており、この条件で本調査に必要と思われるサンプル数を試算し、下記の表にまとめた。

表 アンケート調査サンプル数の計算結果

地域区分	※ 18歳以上 人口	アンケートの実績			必要なサンプル数									
		配布数	回収数	回収率	信頼レベル90%			信頼レベル95%			信頼レベル99%			
					誤差7%	誤差5%	誤差3%	誤差7%	誤差5%	誤差3%	誤差7%	誤差5%	誤差3%	
長崎市	335,608	2,000	964	48.2%	139	272	754	196	383	1,062	339	663	1,836	
総合 事務所	中央	239,502	1,268	583	46.0%	138	270	749	195	381	1,056	337	660	1,823
	東	36,138	208	100	48.1%	138	269	740	195	380	1,035	336	652	1,757
	南	31,413	321	148	46.1%	137	268	734	193	377	1,026	334	648	1,736
	北	28,555	203	96	47.3%	137	268	734	194	378	1,026	335	649	1,732

○計算条件は下記の通り

- ・母集団の数：長崎市オープンデータカタログサイト 2024.10.31時点地域・年齢別人口
20歳以上+15～19歳人口×0.2 として計算
※18歳以上の年齢区分データが心材しなかったため、15～19歳の人口のうち、18歳以上は20%程度と仮定した。
- ・アンケート回収率：回収率実績を使用

長崎市全体ではアンケート対象人数は2,000人なので、表の計算結果より、本アンケート調査の信頼レベルは99%程度で、誤差は3%未満と評価することができる。

地域(総合事務所)別にみると、中央総合事務所の所管区域は母集団が大きいので、信頼レベル95%程度で誤差は3%未満と評価できるが、東・南・北総合事務所の所管区域では母集団が小さいために信頼レベルは90～95%、誤差は5%程度となり、地域別の分析を実施する際には、全体に比べ信頼レベルが低いことを考慮に入れておく必要がある。

II 調査結果

1. 回答者の属性

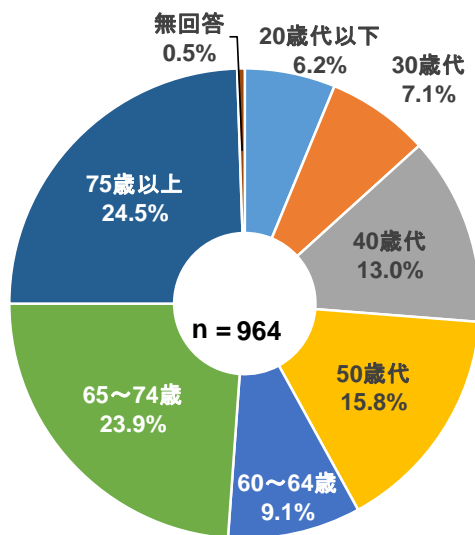
回答者の属性のうち年齢は「75歳以上」が24.5%で最も多く、次いで「65～74歳」が23.9%、「50歳代」が15.8%と続き、50歳以上が約73%を占めており、またWeb回答率(電子申請)は50歳代以下で約50%、20歳代以下では60%以上で、ネット世代の拡大が伺われる。

職業は「無職」が28.9%で最も多く、「会社員」が23.3%、「パート・アルバイト」が14.4%と続いており、Web回答率は、会社員及び公務員が約50%で他の職業に比べ高い傾向にある。

居住区域は「中央東部地区」が13.4%で最も多く、次いで「中央北部地区」が11.9%、「東長崎地区」が8.1%と続き、区域の回答割合と区域の18歳以上の人口比率はほぼ同様の傾向にある。

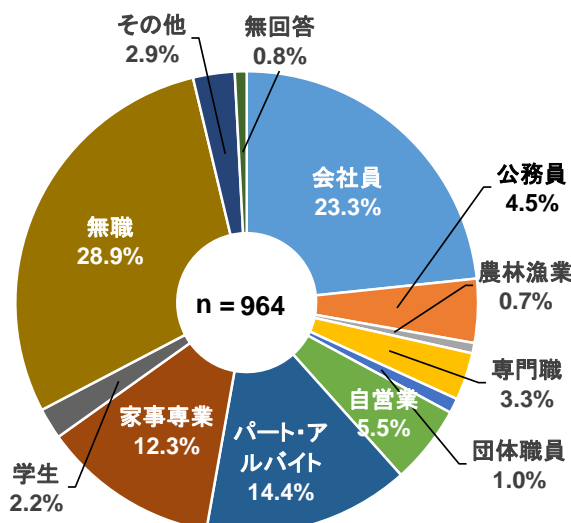
同居者は「配偶者」が43.6%で最も多く、次いで「子ども」が24.7%、「いない」が11.7%と続き、これを世帯構成で区分すると「二世帯世帯」が40.0%で最も多く、次いで「夫婦のみ」が32.9%、「一人暮らし」が16.3%、「三世帯世帯」が5.6%、「その他」が4.5%となっている。

(1) 問1 年齢



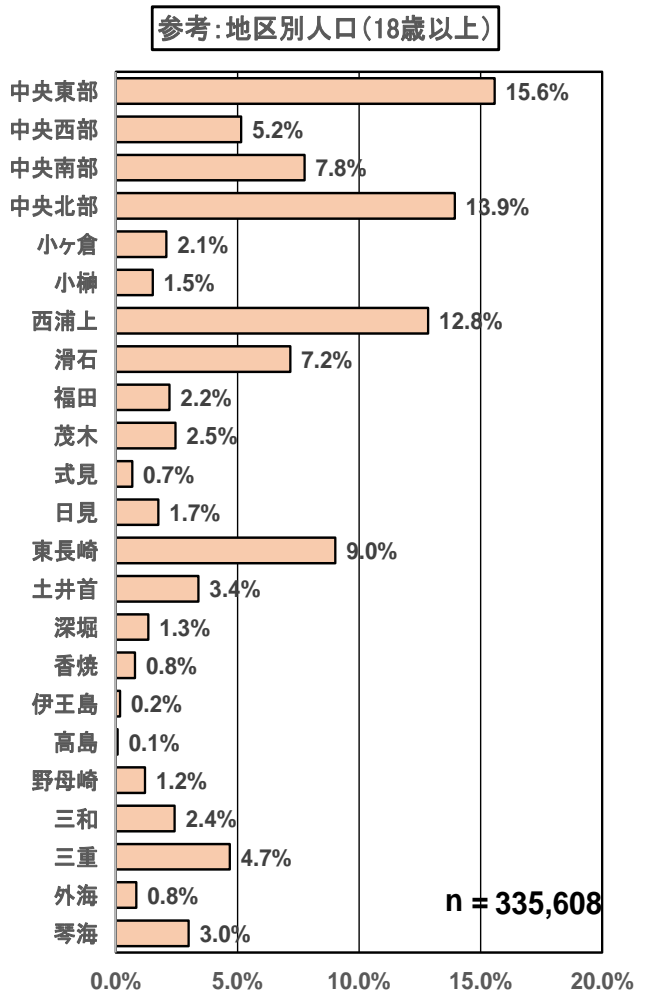
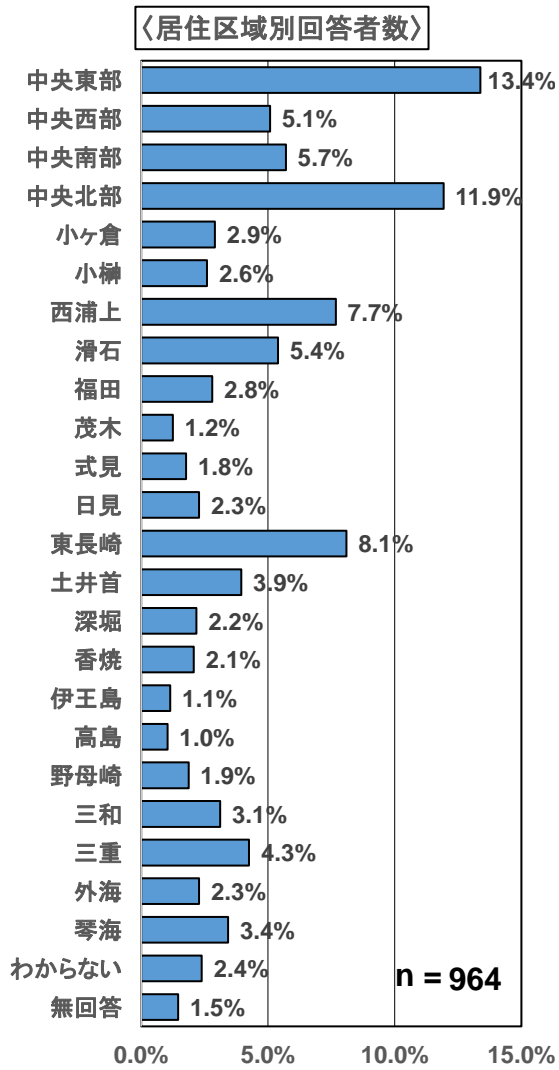
年齢	回答内訳		回答件数
	調査表	Web	
20歳代以下	36.7%	63.3%	60
30歳代	54.4%	45.6%	68
40歳代	48.0%	52.0%	125
50歳代	65.8%	34.2%	152
60～64歳	76.1%	23.9%	88
65～74歳	93.0%	7.0%	230
75歳以上	97.9%	2.1%	236
無回答	100.0%	0.0%	5
合計	76.3%	23.7%	964

(2) 問2 職業



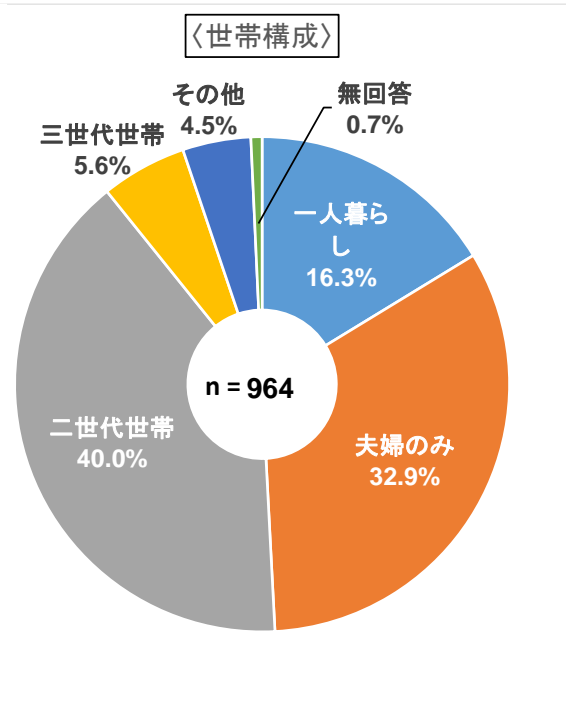
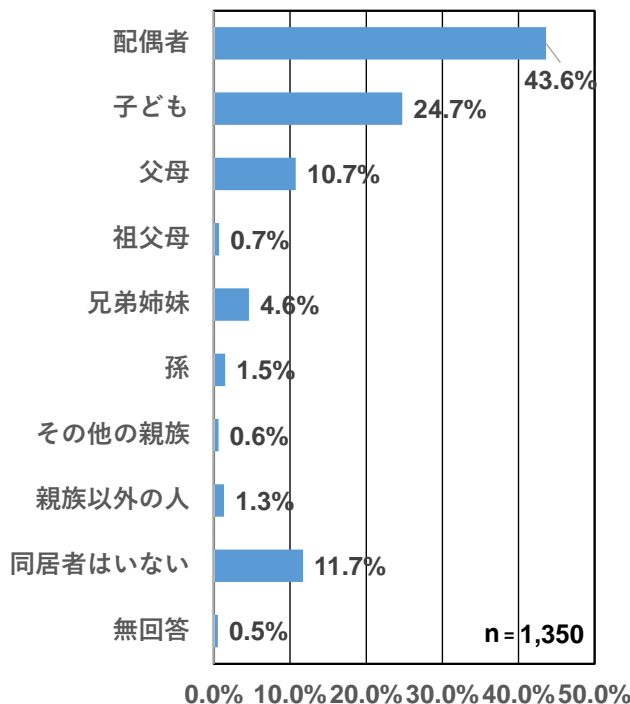
職業	回答内訳		回答件数
	調査表	Web	
会社員	55.6%	44.4%	225
公務員	48.8%	51.2%	43
農林漁業	85.7%	14.3%	7
専門職	56.3%	43.8%	32
団体職員	60.0%	40.0%	10
自営業	81.1%	18.9%	53
パート・アルバイト	79.9%	20.1%	139
家事専業	88.2%	11.8%	119
学生	28.6%	71.4%	21
無職	95.0%	5.0%	279
その他	78.6%	21.4%	28
無回答	100.0%	0.0%	8
合計	76.3%	23.7%	964

(3) 問3 居住区域



※長崎市オープンデータカタログサイト
2024.10.31時点地域・年齢別人口 より

(4) 問4 同居者(世帯構成)



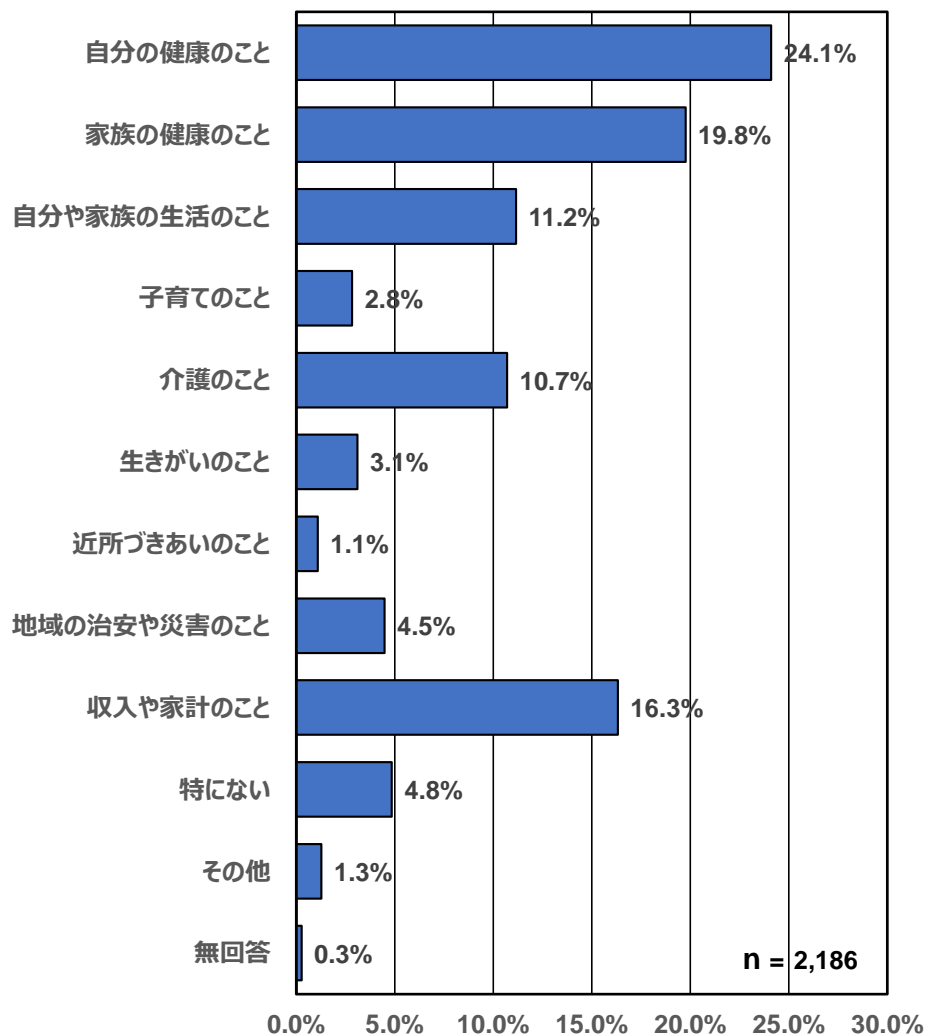
2. 日常生活について

(1) 問5 あなたは現在、日々の生活の中で、何か悩みや不安に感じることはありますか 【あてはまるもの3つまで】

日々の生活の中の悩みや不安は「自分の健康のこと」が24.1%で最も多く、次いで「家族の健康のこと」が19.8%、「収入や家計のこと」が16.3%と続いている。

また、「自分や家族の生活のこと」、「介護のこと」がいずれも10%を上回っており、高齢化の進展に伴い、不安や悩みも多様化している傾向にある。

ア. 全体

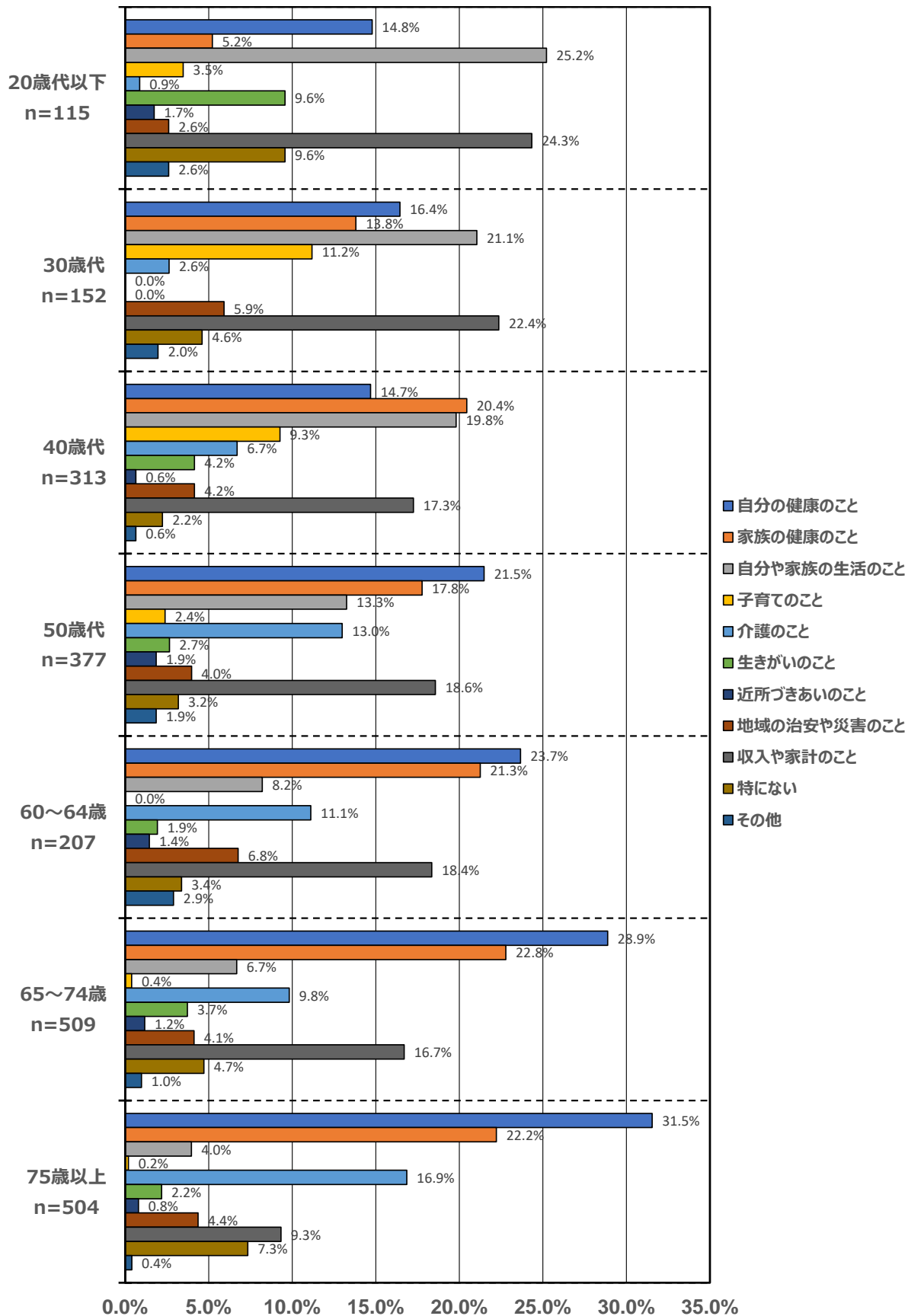


年齢別で見ると「自分の健康のこと」は年齢の上昇とともに増加傾向が見られ、「家族の健康のこと」は、40歳代を超えるとおおむね20%以上となり、「収入や家計のこと」は年齢が低いほど高い割合となっており、現状生活(将来も含め)における不安要素であるものと思われる。

また、40歳代以下では「自分や家族の生活のこと」が上位となっている。

【無回答を除く】

イ. 年齢

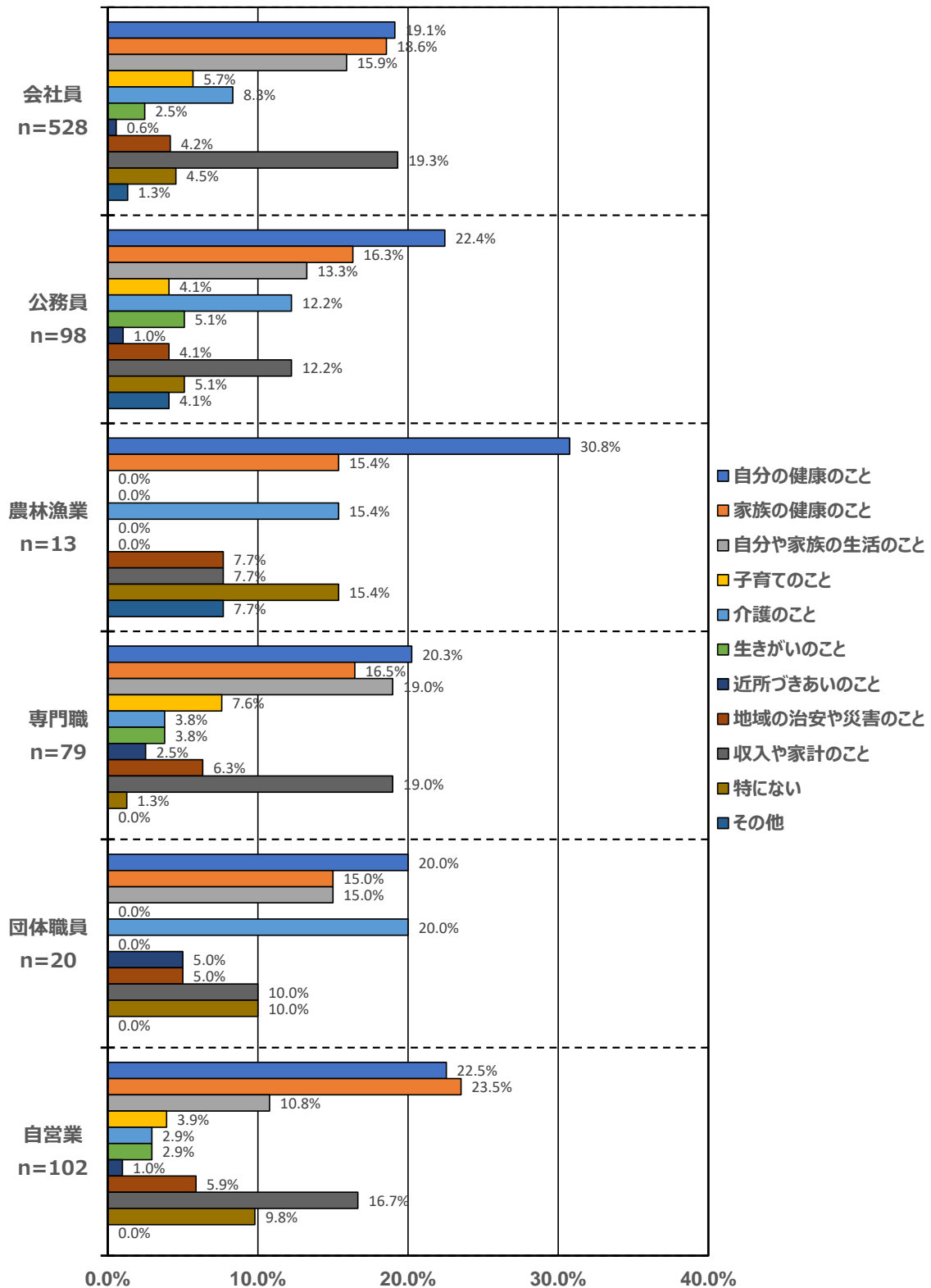


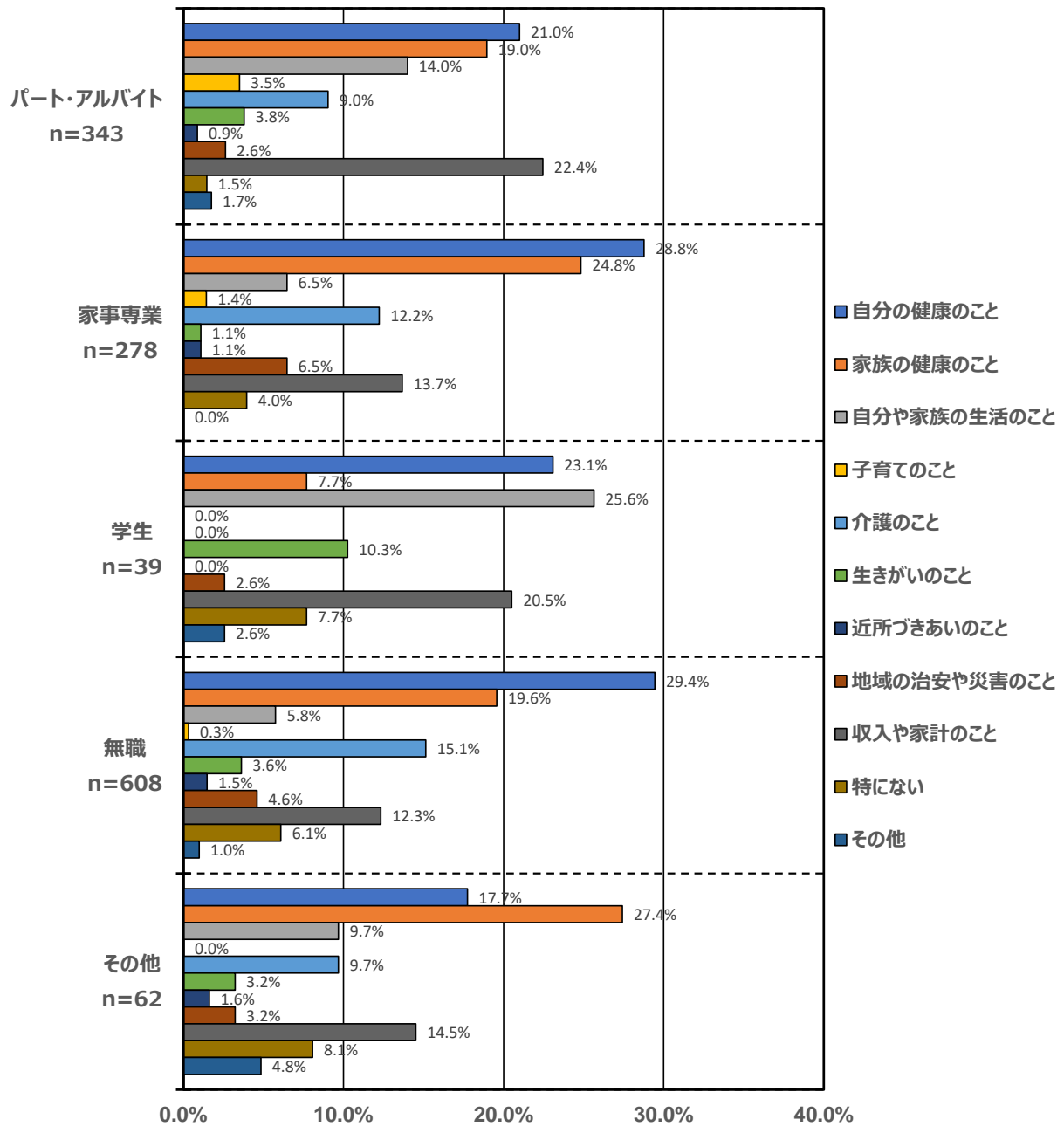
職業別で見ると各職業別の母数が少ないものもあるため、振れ幅が大きくなっているが、全体的な傾向としては、「自分の健康のこと」、「家族の健康のこと」がほとんどの職業で、1位～2位のとなっている。

また、「会社員」、「専門職」、「自営業」、「パート・アルバイト」、「学生」において、「収入や家計のこと」が15%を超えている。

【無回答を除く】

ウ. 職業





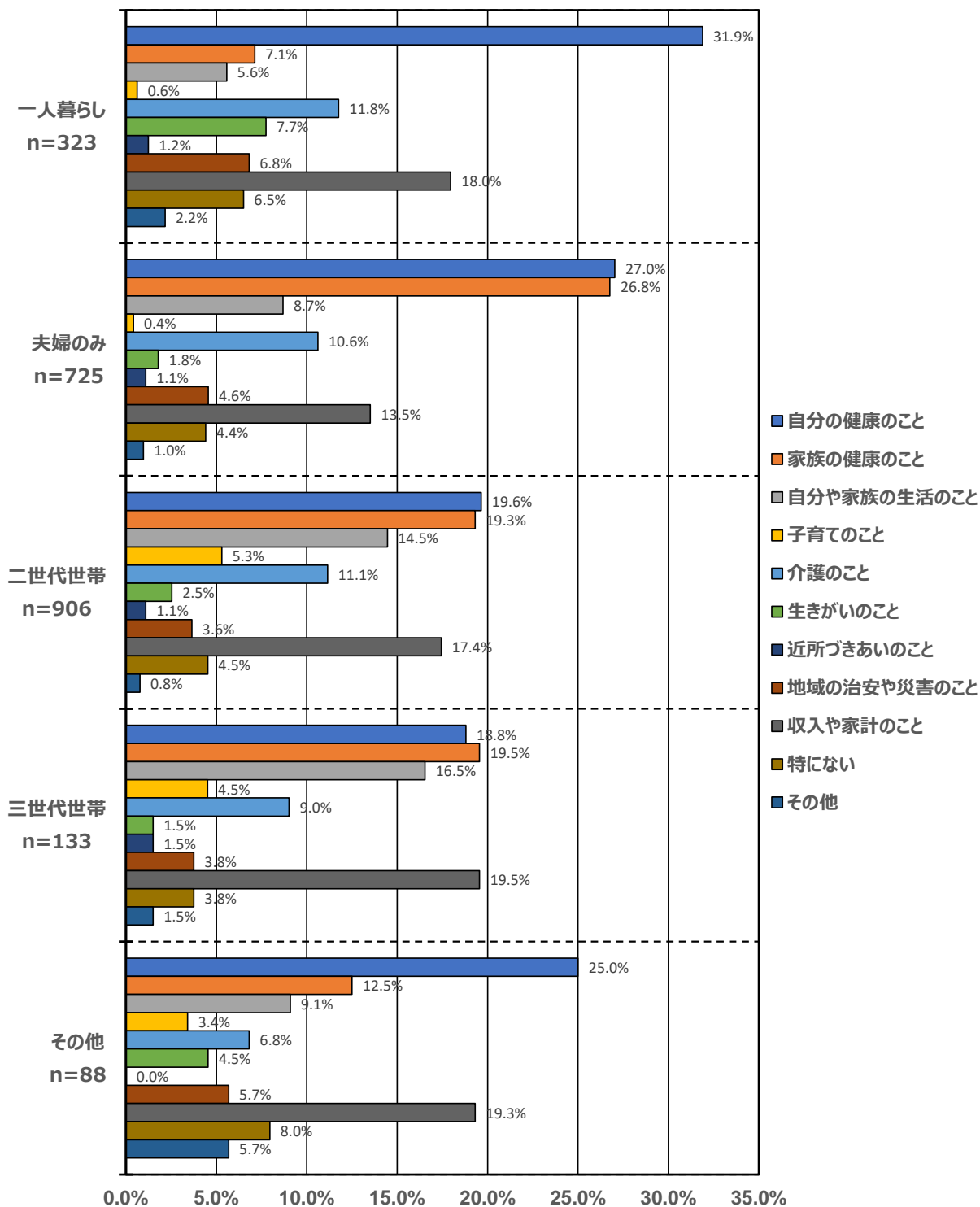
世帯構成別でも母数が少ないものもあるため、全体の傾向と相違があるものも存在する。

「一人暮らし」では「自分の健康のこと」が31.9%で第1位であり、「夫婦のみ」や「二世帯・三世帯世帯」では、これに「家族の健康のこと」が加わる。

「収入や家計のこと」は全ての世帯構成で高い不安要素となっている。

【無回答を除く】

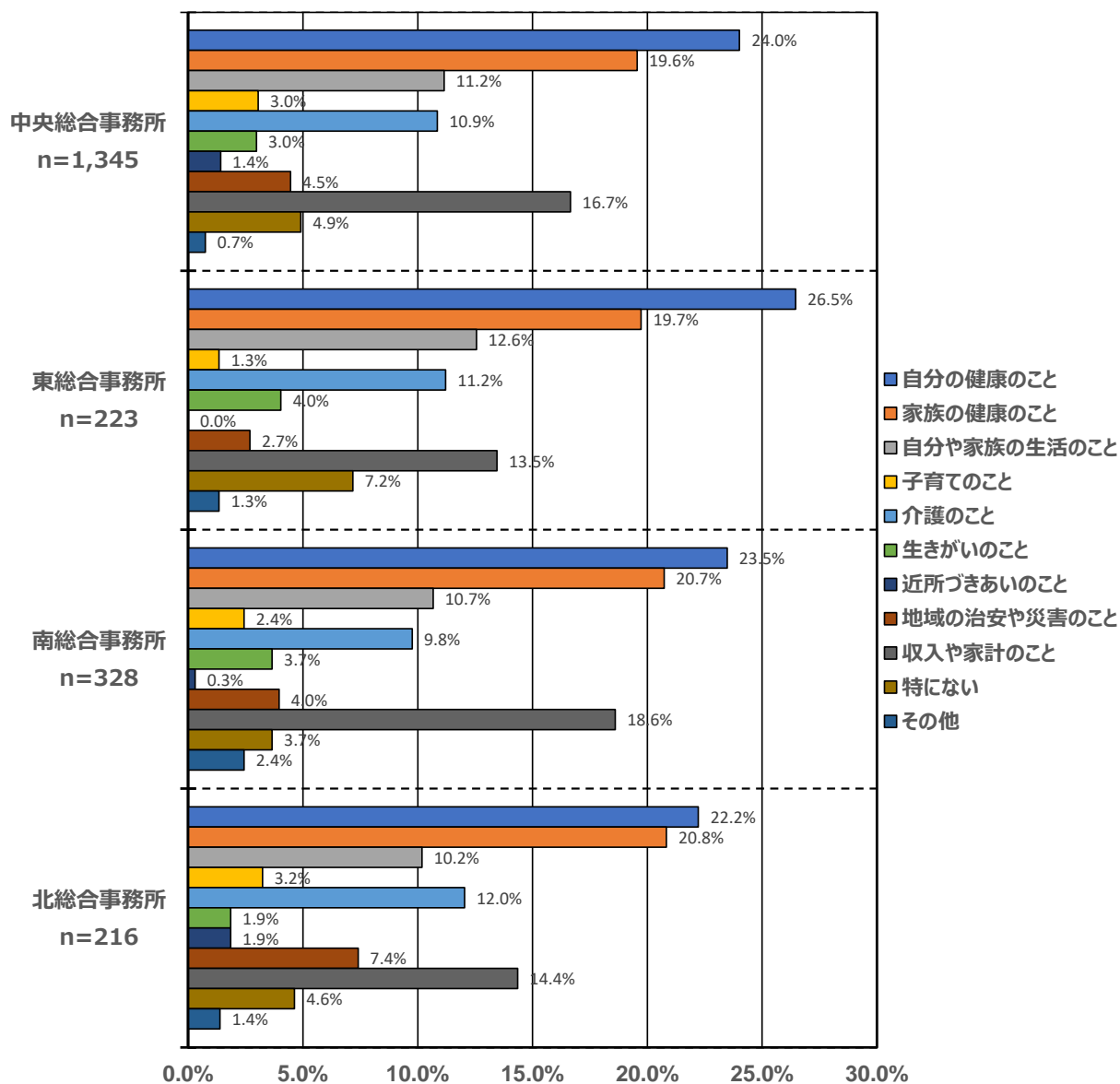
Ⅰ. 世帯構成



居住区域別で見ると、全体の傾向はほぼ同様の結果であり、「自分の健康のこと」、「家族の健康のこと」に続き、「収入や家計のこと」が不安要素として高いものとなっている。

【わからない・無回答を除く】

オ. 居住区域



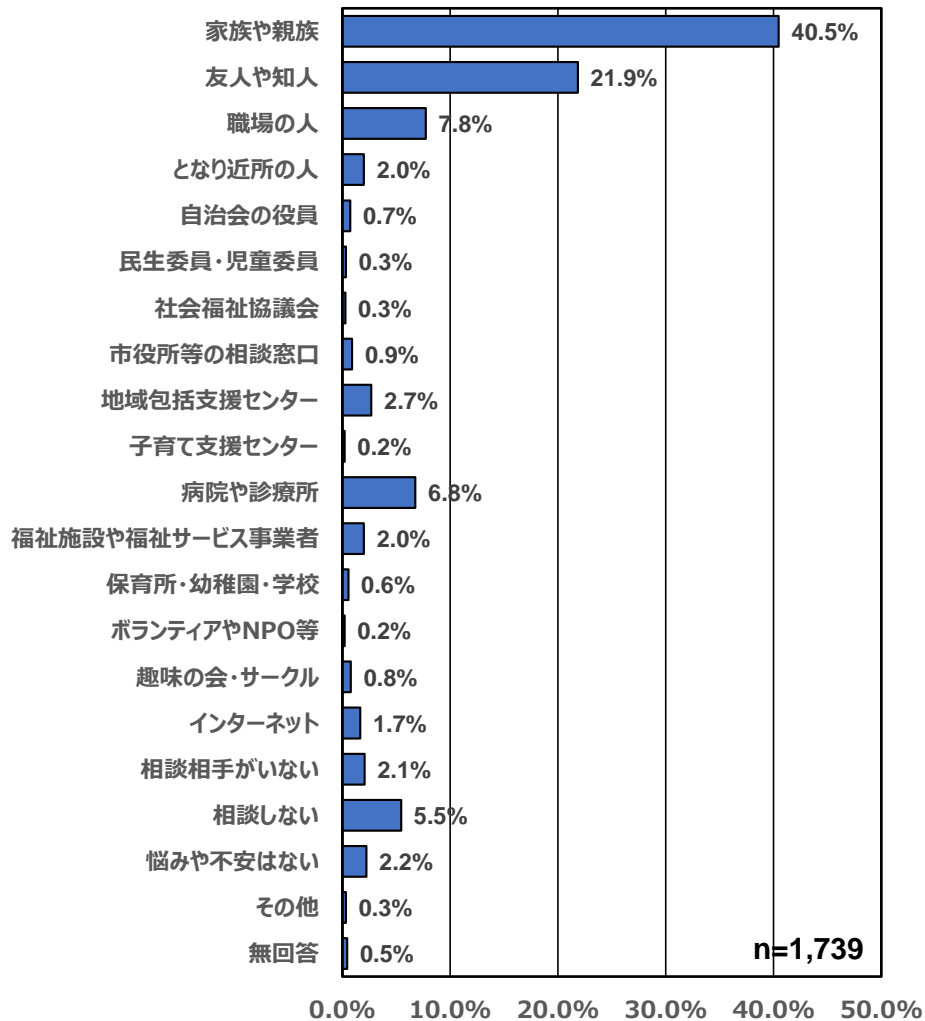
(2) 問6 あなたは、生活上の悩みや不安を主に誰(どこ)に相談していますか

【あてはまるもの全て】

日々の生活の中の悩みや不安の相談相手は「家族や親族」が40.5%で最も多く、次いで「友人や知人」が21.9%、「職場の人」が7.8%と続いている。

一方、「相談相手がない」が2.1%、「相談しない」が5.5%となっている。

ア. 全体



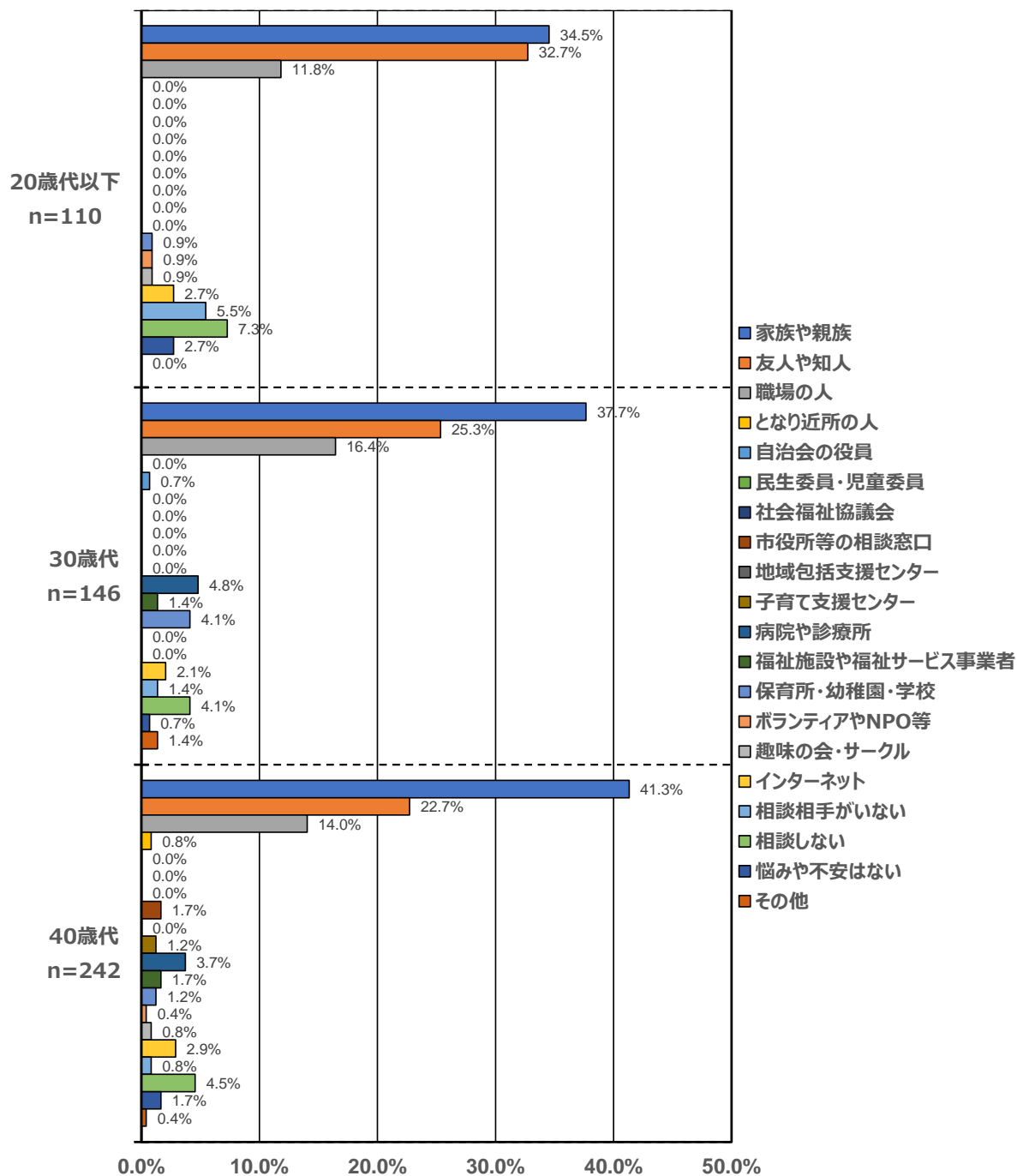
年齢別で見ると「家族や親族」は全年代を通して40%程度で第1位であり、「友人や知人」は年齢の上昇とともにおおむね減少傾向が見られ、「職場の人」は30歳代がピークである。

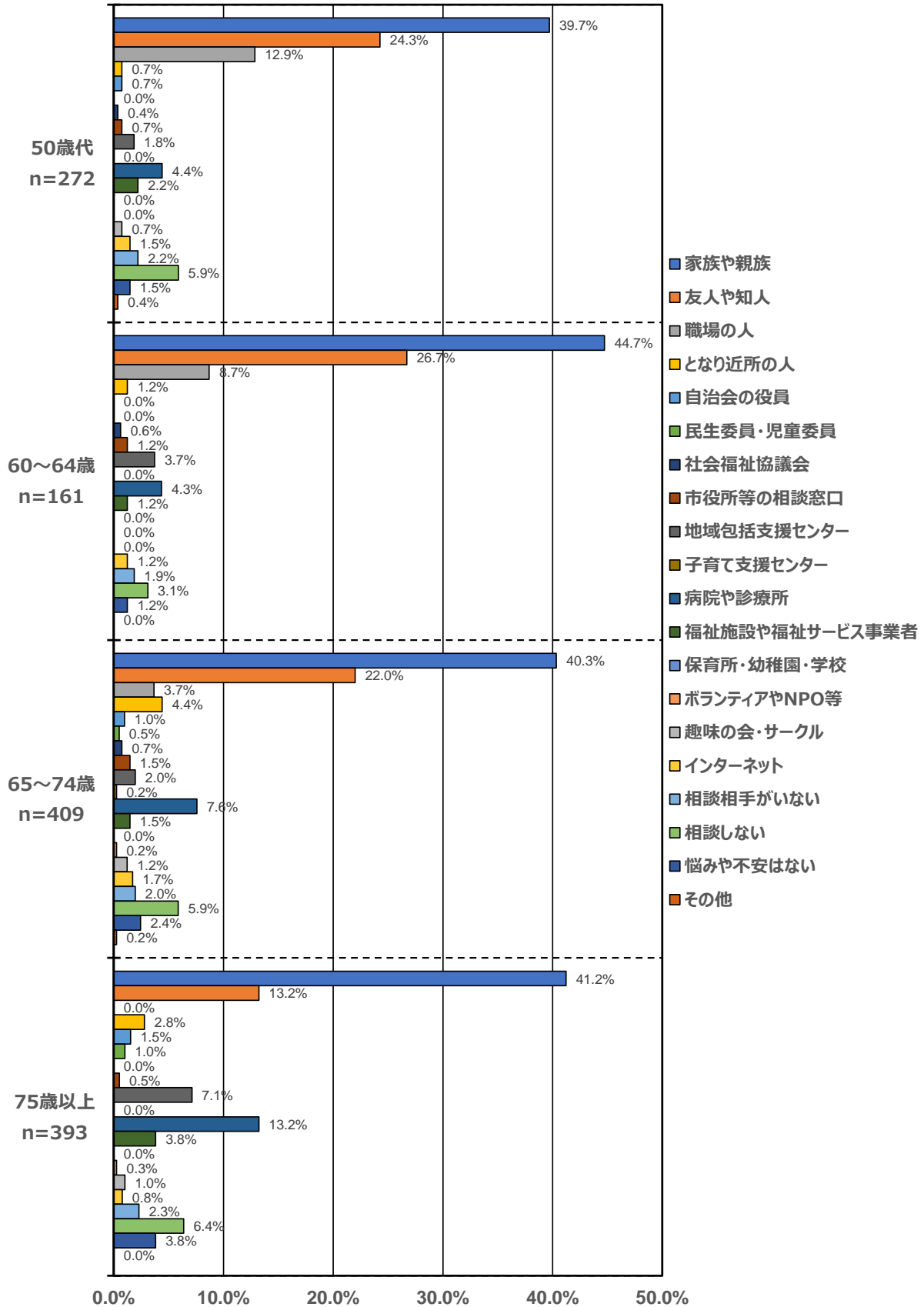
一方、「相談相手がない」は20歳代以下、「相談しない」は20歳代以下と75歳以上に多くなっている。

さらに、「となり近所の人」、「自治会の役員」、「民生委員・児童委員」など、いわゆる地域の人々への相談は、40歳代以下、50歳代以降では数%の割合で見られる。

【無回答を除く】

イ. 年齢





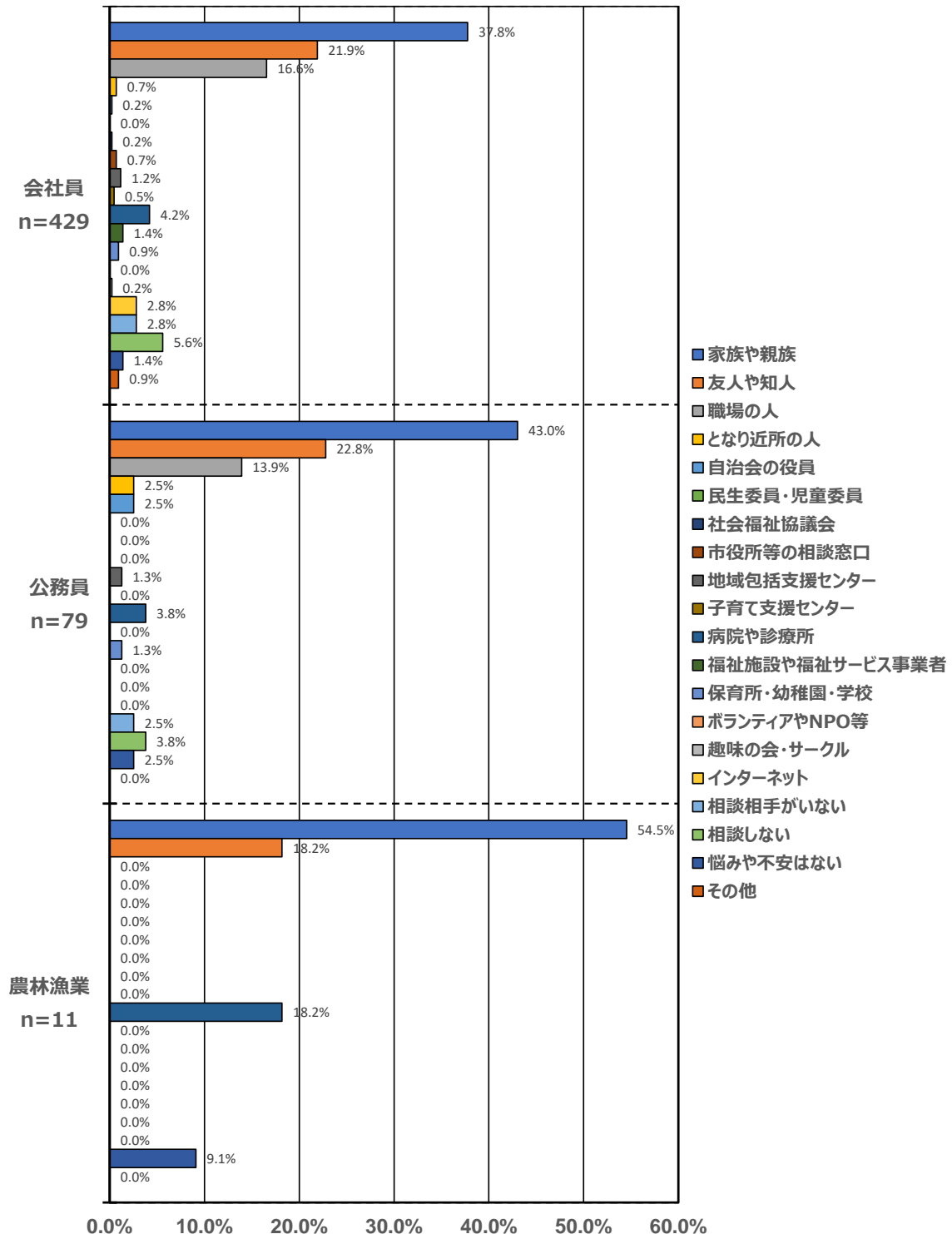
職業別で見ると各区分の母数が少ないものもあるため振れ幅が大きくなっているが、全体的には「家族や親族」、「友人や知人」が多い傾向にある。

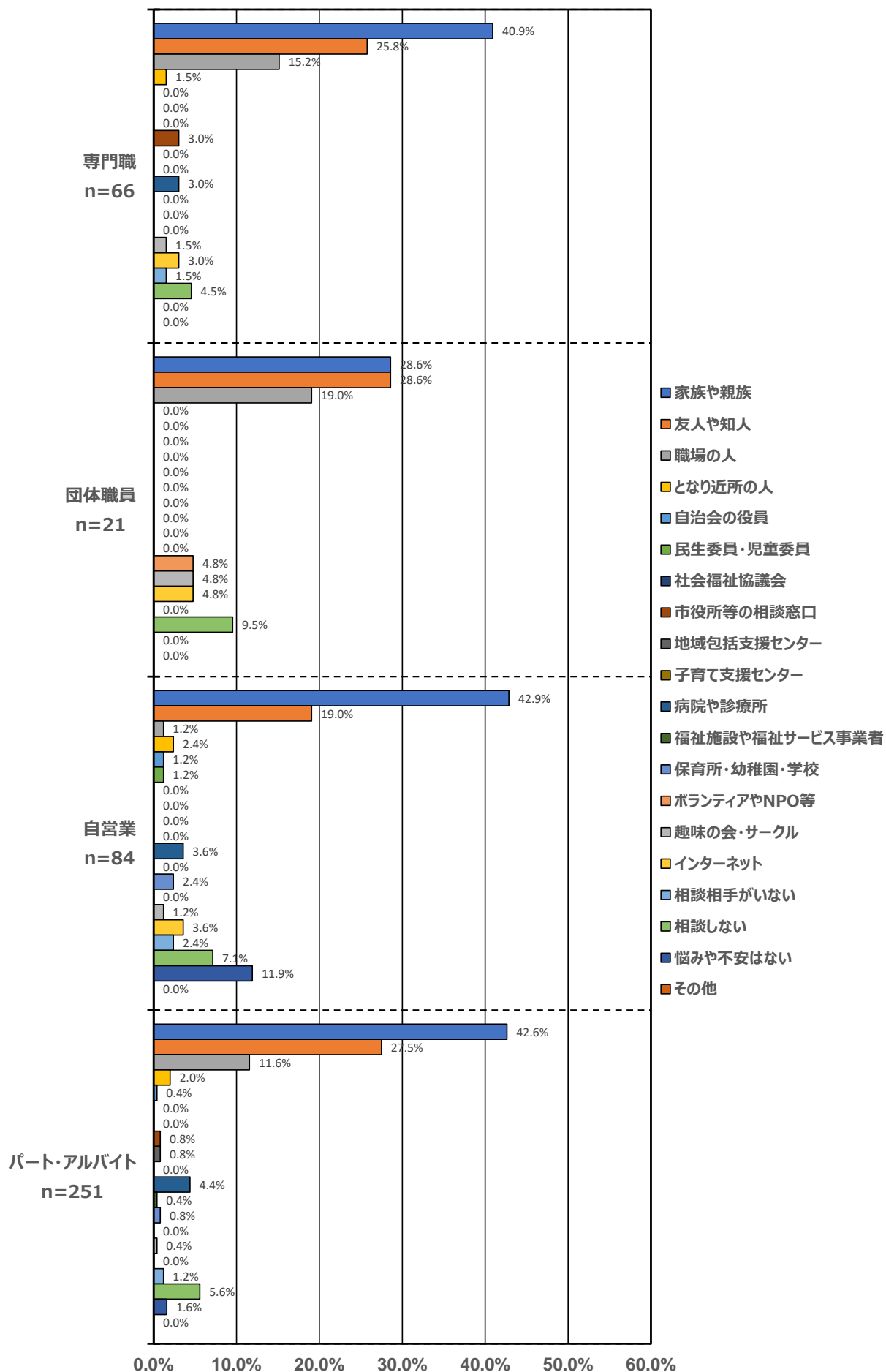
「会社員」、「パート・アルバイト」を除くと、母集団が小さいために傾向がつかみにくいが、相談相手は「家族や親族」、「友人や知人」にほぼ限られている。

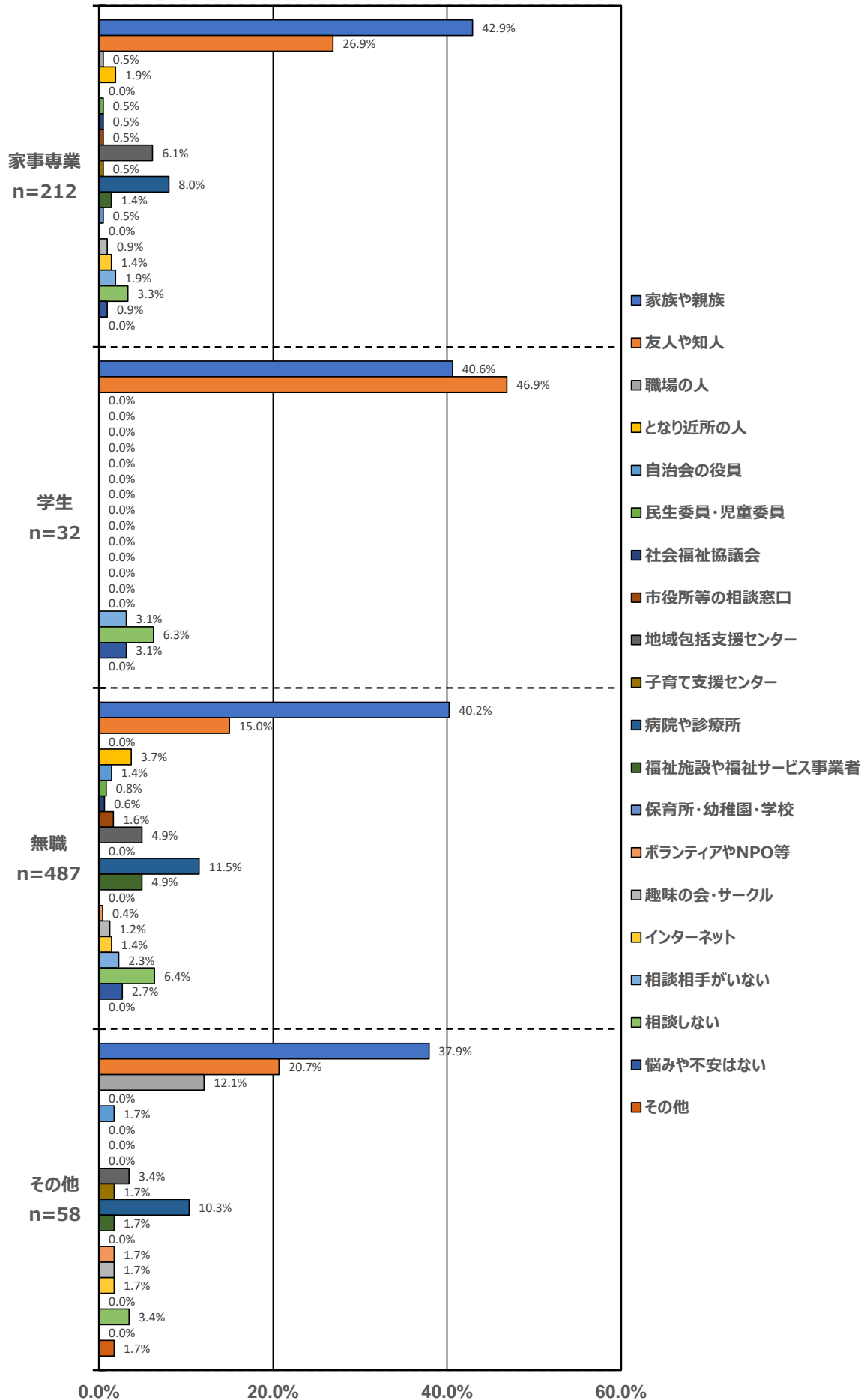
「学生」の場合、母数は少ないものの「友人や知人」が46.9%で、次が「家族や親族」であり、それ以外外の相談相手はおらず、「相談しない」が6.3%となっている。

【無回答を除く】

ウ. 職業



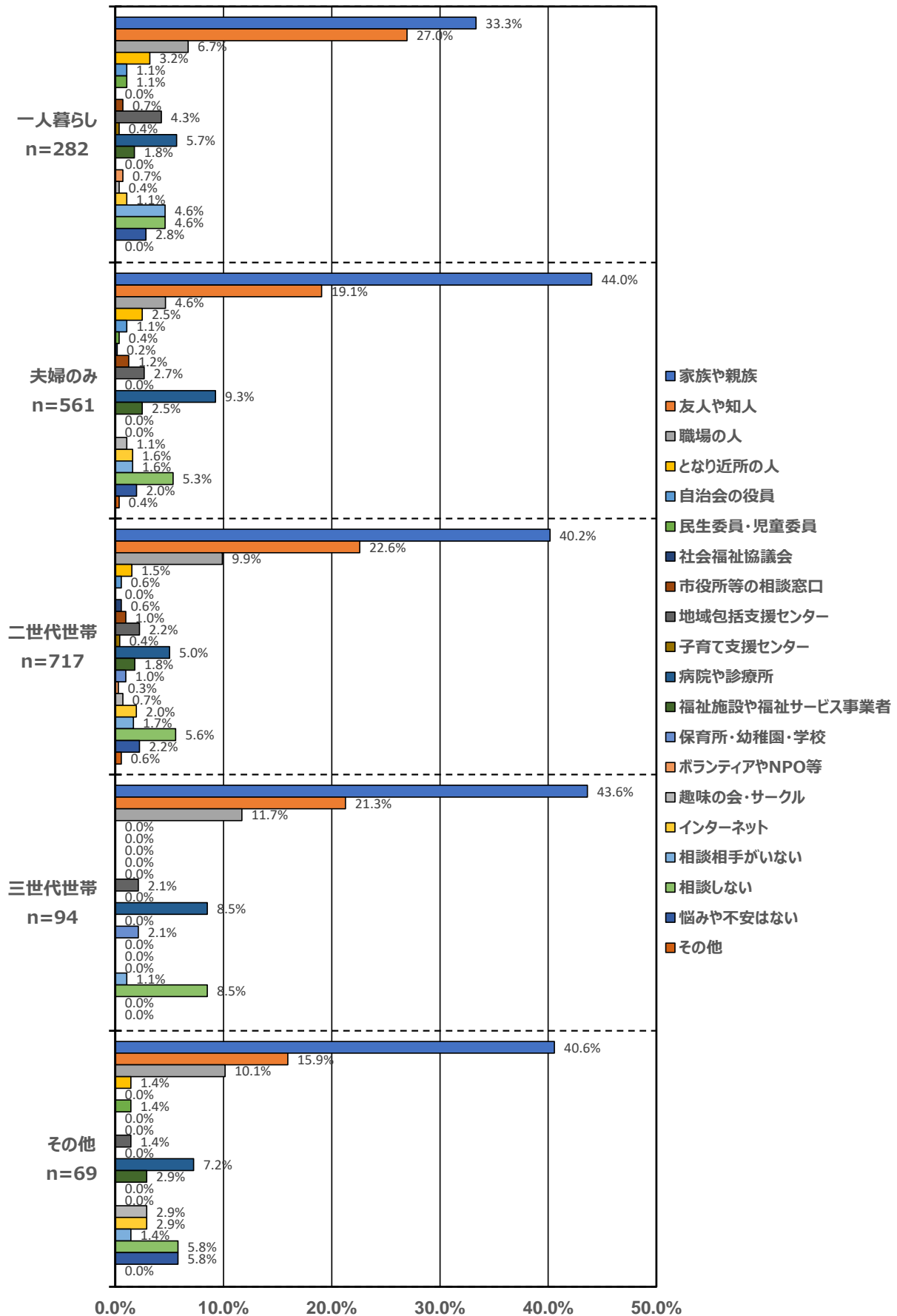




世帯構成別でも母数が少ないものもあるが、世帯構成の別なく、相談相手の1位は「家族や親族」であり、同居家族がある世帯では特に多い。

【無回答を除く】

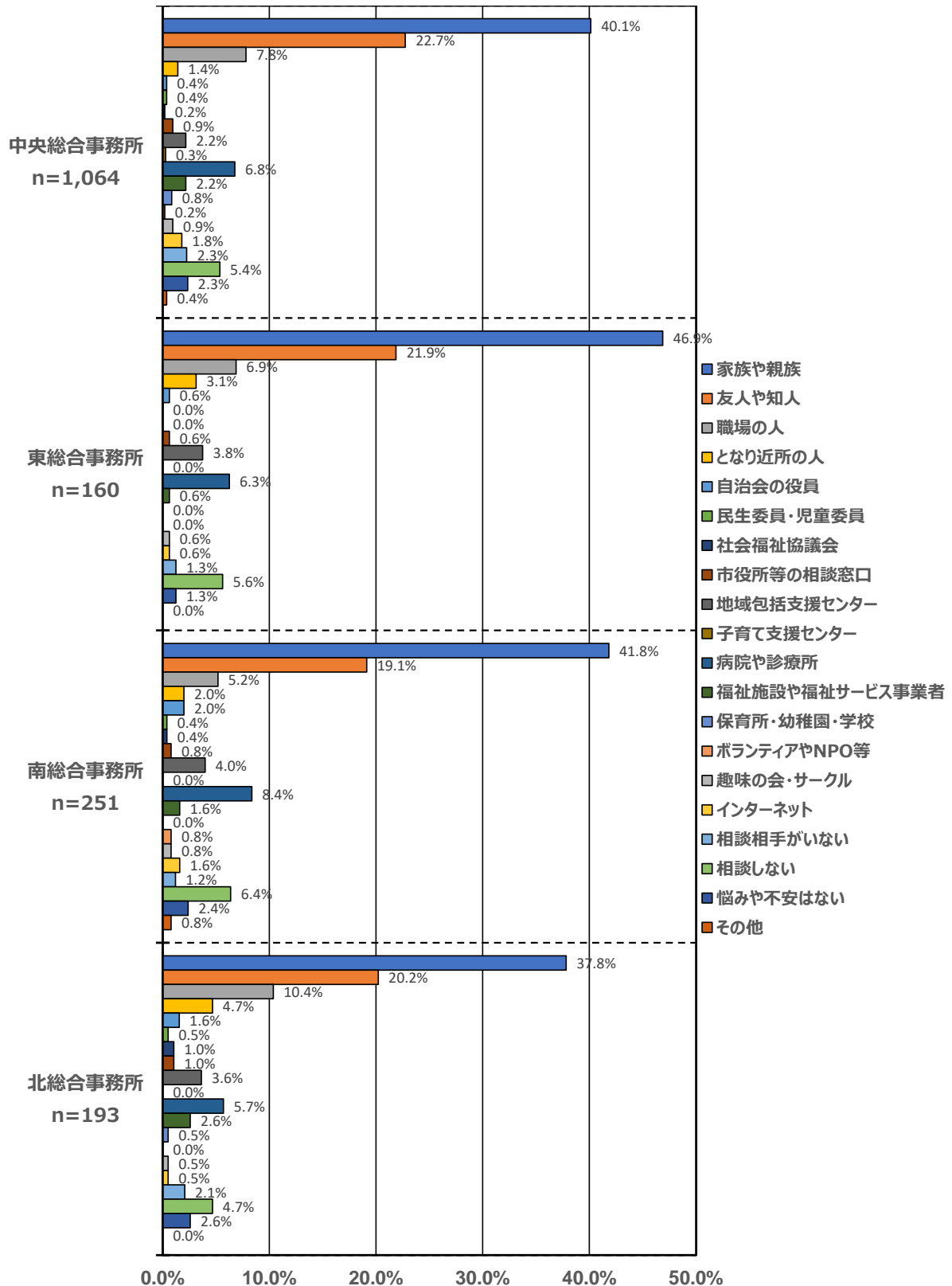
Ⅰ. 世帯構成



居住区域別に見ても、全体的な傾向には地域による相違は大きくなく、ほぼ同様の結果を示しており、相談相手としては「家族や親族」が第1位、次いで「友人や知人」、「職場の人」の順が続いているが、「病院や診療所」が各地区とも第4位、約6%の結果であった。

【わからない・無回答を除く】

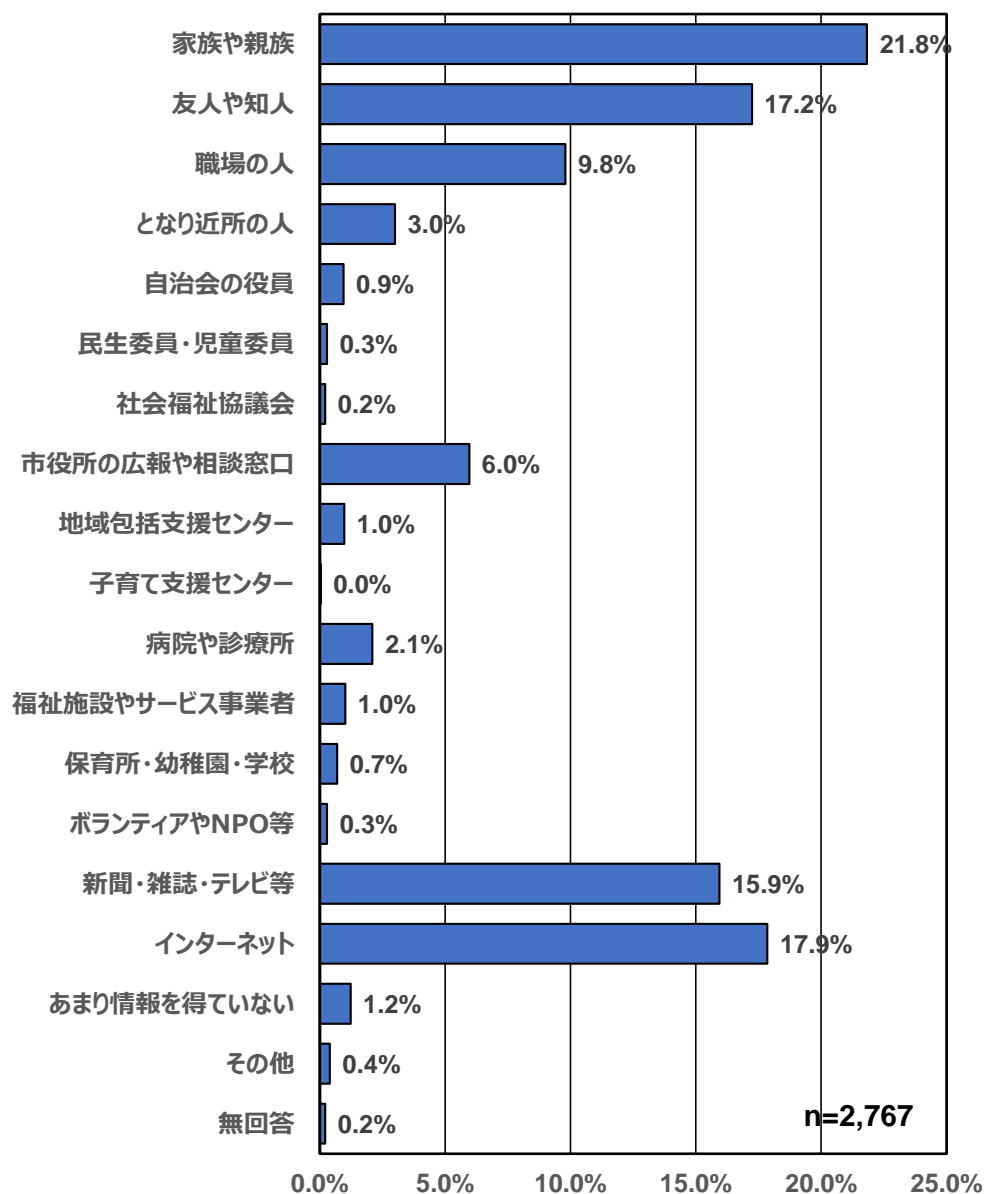
オ. 居住区域



(3) 問7 あなたは、日々の生活に必要な情報を誰(どこ)から入手していますか
【あてはまるものすべて】

日々の生活に必要な情報の入手方法は「家族や親族」が21.8%で最も多く、次いで「インターネット」が17.9%、「友人や知人」が17.2%と、「新聞・雑誌・テレビ等」が15.9%と続いている。
一方、「あまり情報を得ていない」が1.2%とであった。

ア. 全体

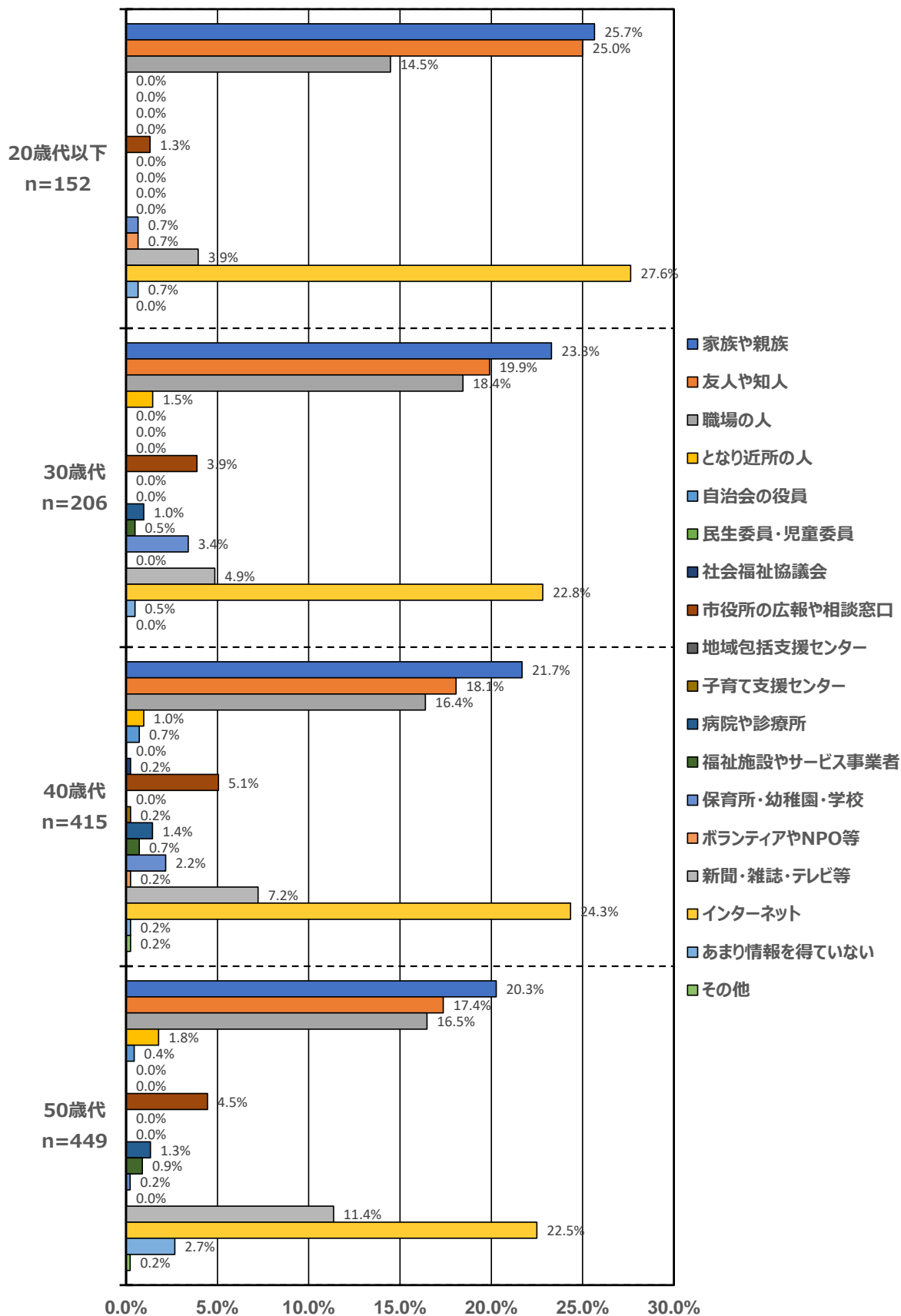


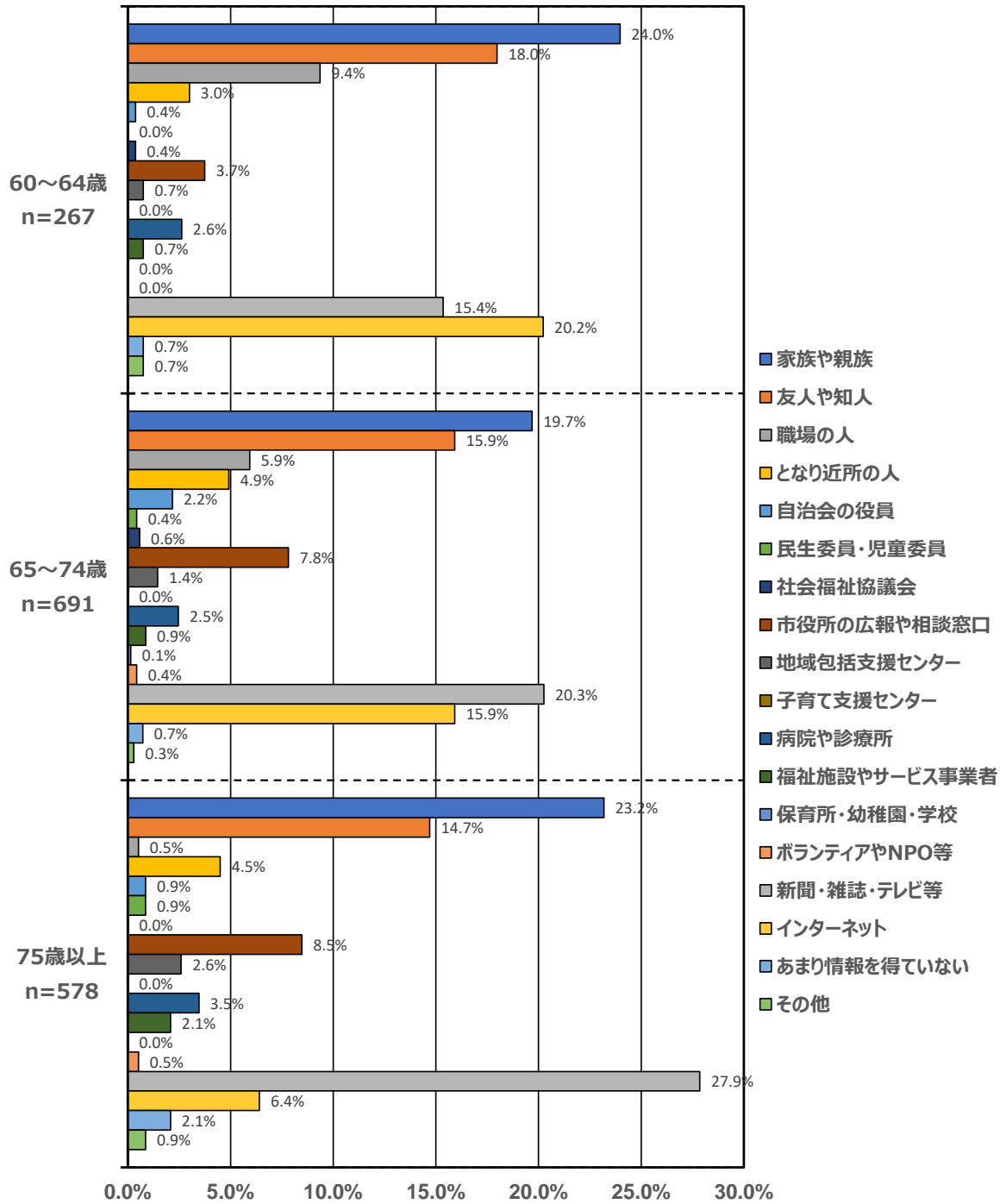
年齢別で見ると「新聞・雑誌・テレビ等」は年齢の上昇とともにおおむね増加傾向が見られ、「家族や親族」「友人や知人」は逆に減少傾向が見られる。

また、若年層から65～74歳程度までは「インターネット」が15%～20%の割合で情報収集手段として利用されている。

【無回答を除く】

イ. 年齢





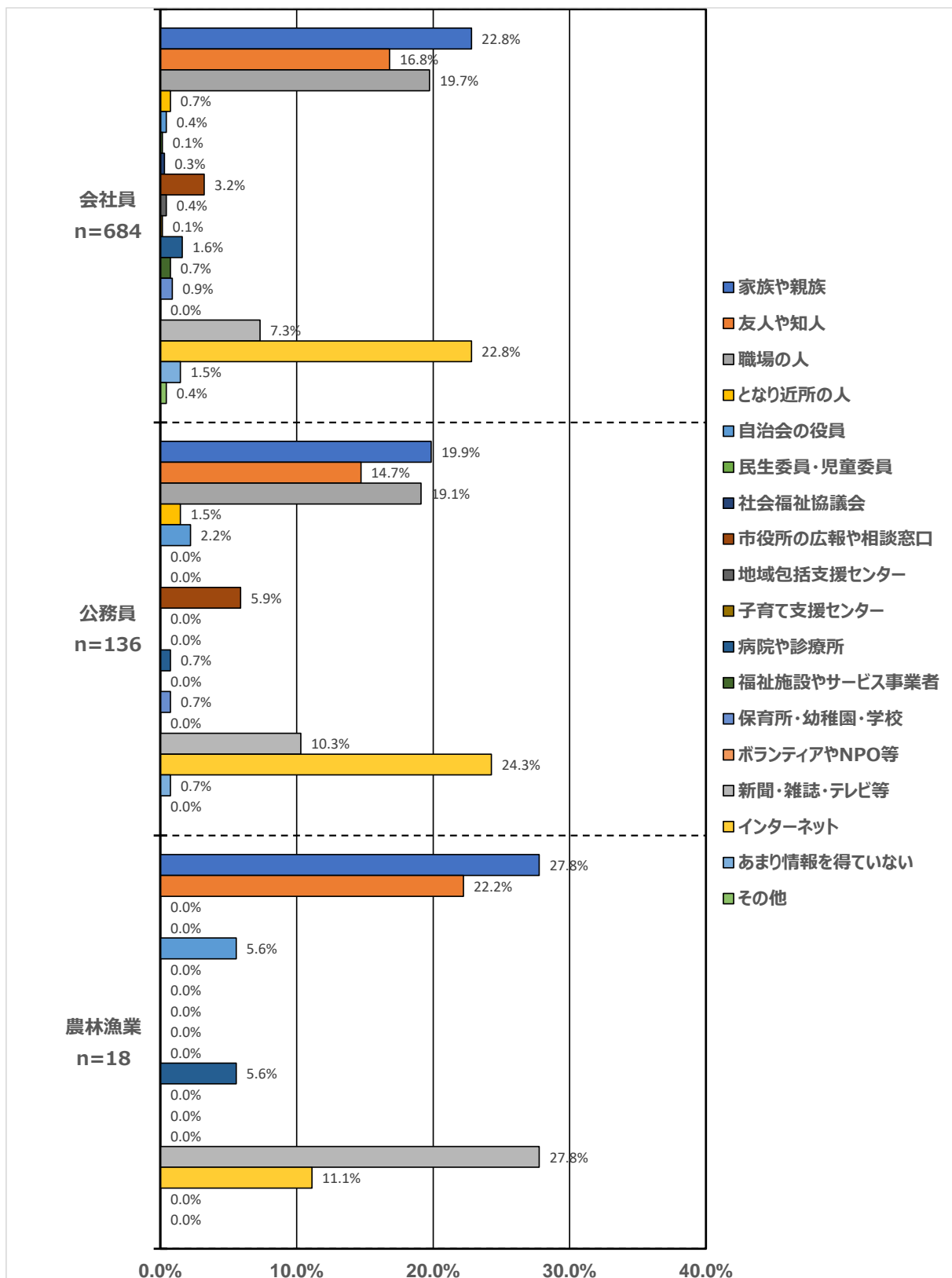
職業別で見ると各区分の母数が少ないものもあるため、ばらつきはあるものの、ほとんどの職業において、「家族や親族」、「友人や知人」と「インターネット」は上位の項目となっている。

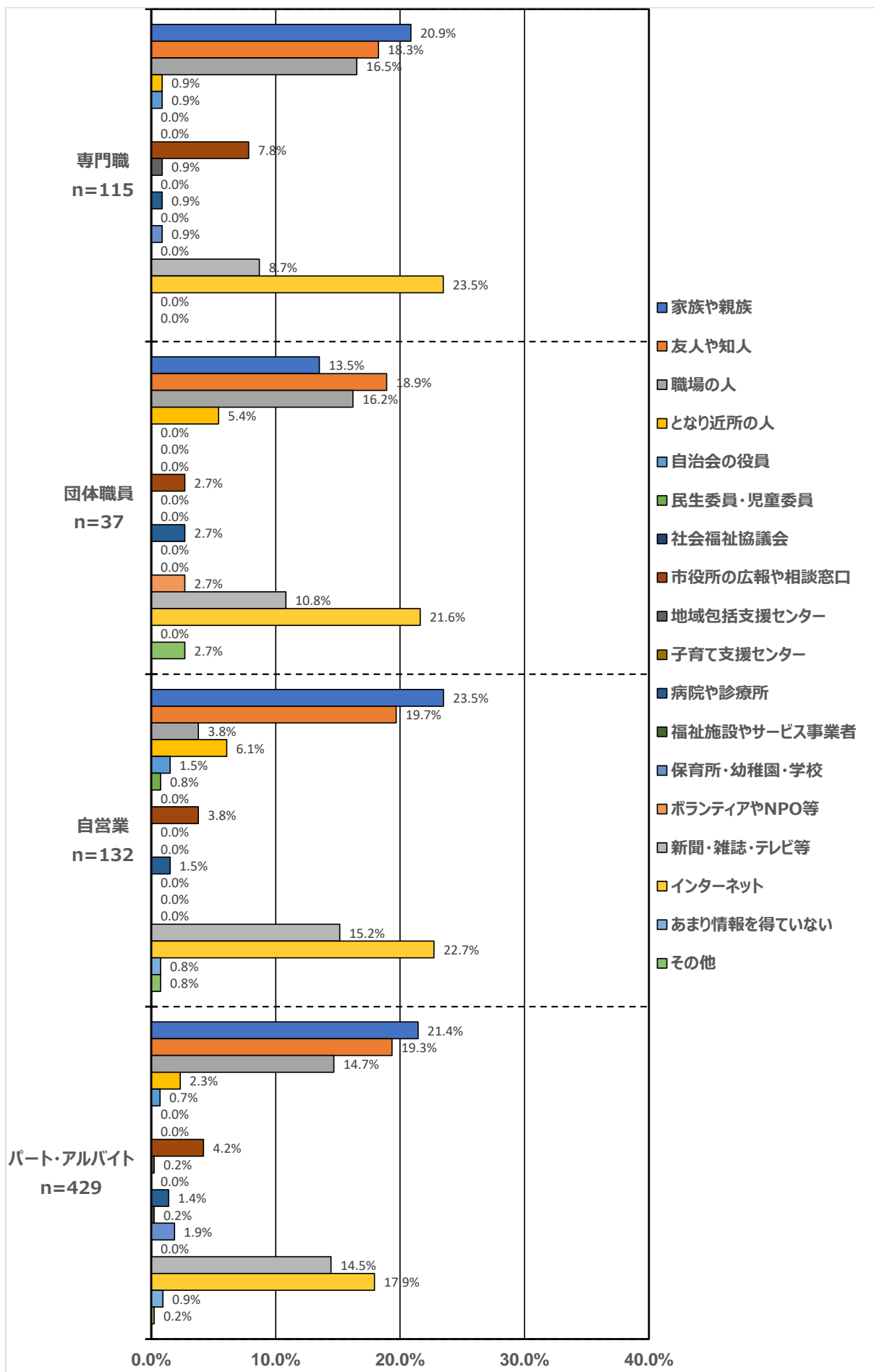
「会社員」、「公務員」、「専門職」等では「職場の人」も上位にある

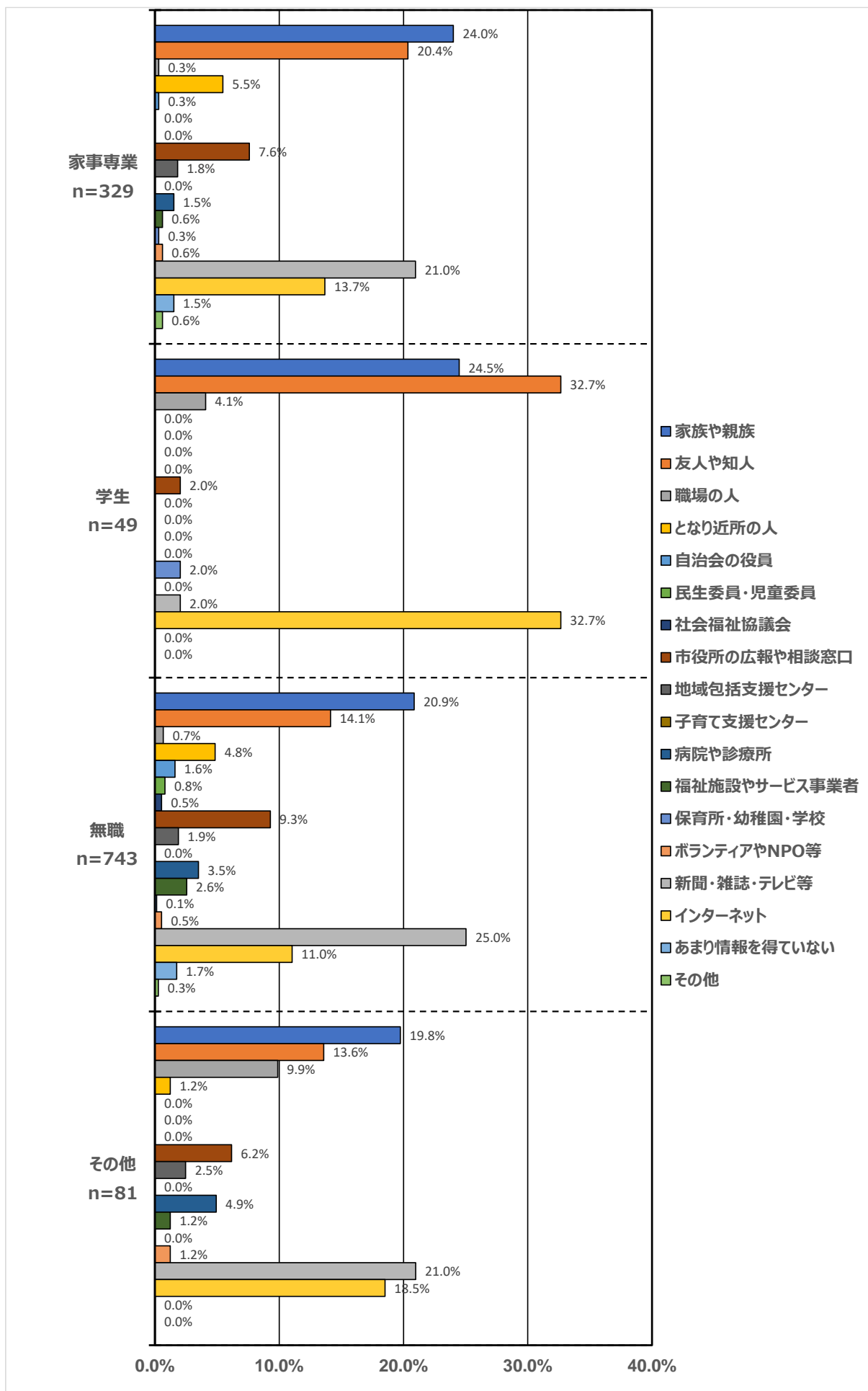
学生は、身内や交友関係を除けば、「インターネット」からの情報入手がほとんどで、新聞・テレビなどのマスメディア離れが顕著である。

【無回答を除く】

ウ. 職業



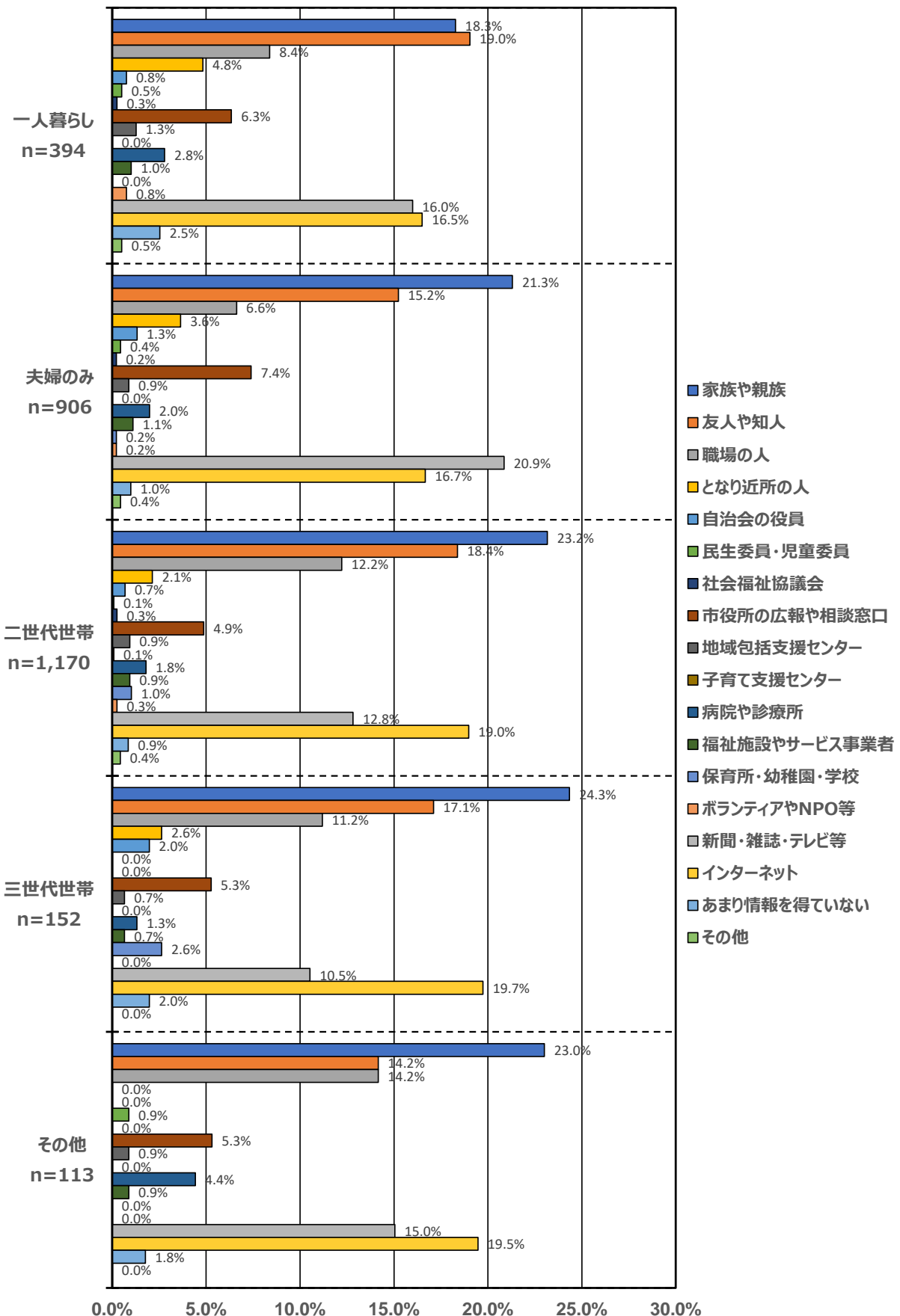




世帯構成別では母数の大きい「夫婦のみ」、「二世世代世帯」をみると「家族や親族」、「友人や知人」のいわゆる口コミ情報と、「新聞・雑誌・テレビ」、「インターネット」のメディア情報がほぼ同率で高く、これは他の世帯も同様の傾向である。

【無回答を除く】

Ⅰ. 世帯構成

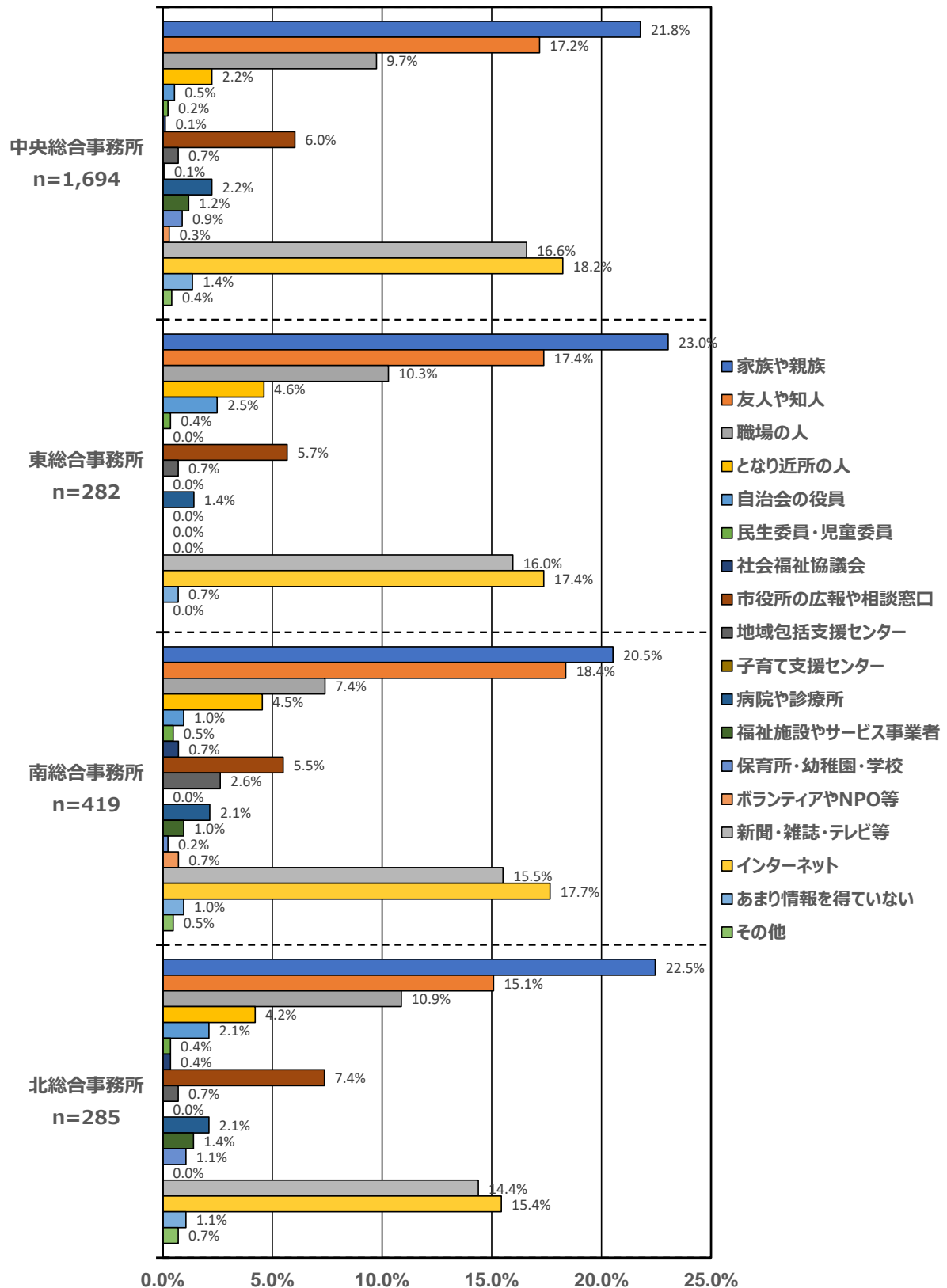


居住区域別で見ると、「中央総合事務所」が最も母数が大きく、「家族や親族」が21.8%で第1位で「インターネット」、「友人や知人」が2、3位に続いている。

他の地域も母数が少ないためか、ばらつきはあるものの、ほぼ同様の傾向である。

【わからない・無回答を除く】

オ. 居住区域



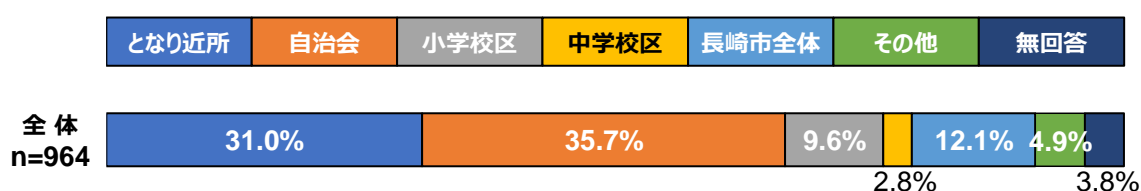
3. 地域での生活について

(1) 問8 「地域での支え合い」の「地域」とは、あなたにとって概ねどの程度の範囲ですか
【答えは1つだけ】

全体では「自治会」が35.7%で最も多く、次いで「となり近所(10世帯程度の身近な集まり)」が31.0%、「長崎市全体」が12.1%が続いている。

支え合える地域として、市民全体の約2/3が、「となり近所」、「自治会」を範囲としてとらえていることがわかる。

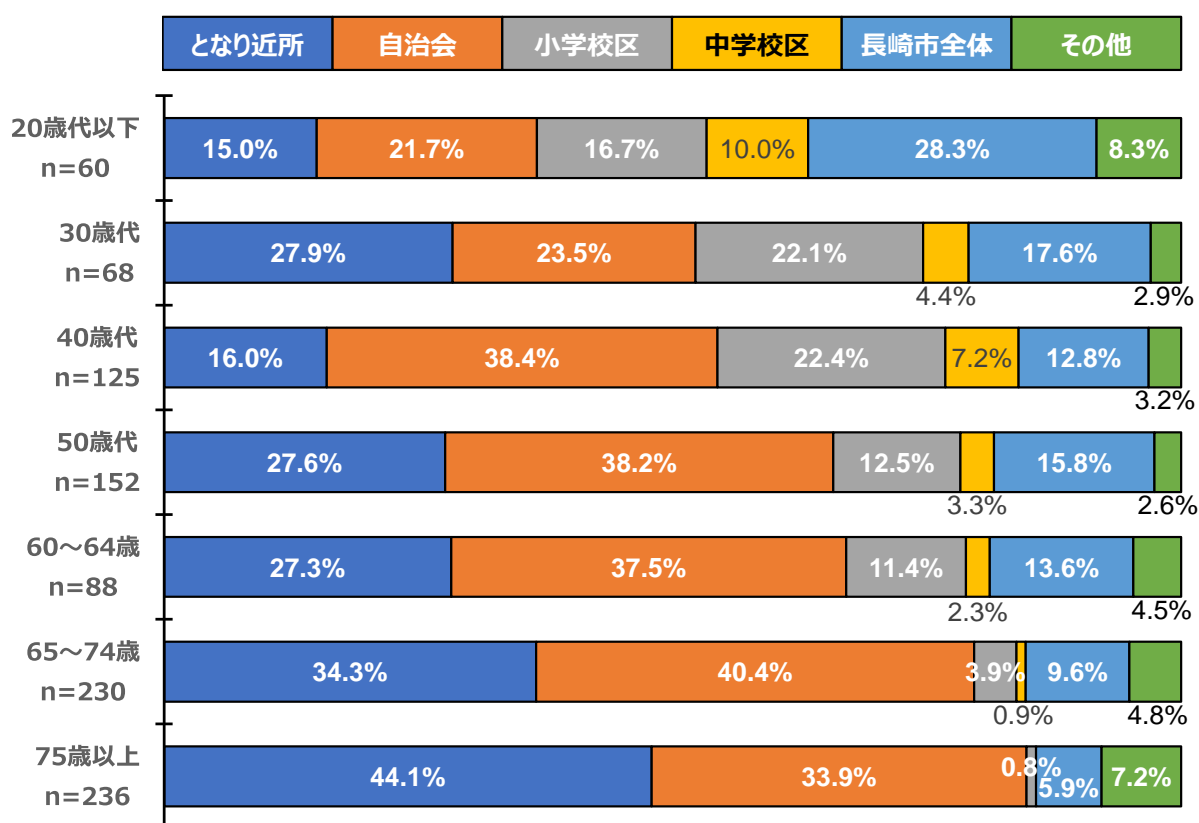
ア. 全体



年齢別で見ると、支え合う地域としては町内レベル(「となり近所」+「自治会」との回答が、20歳代以下では36.7%(約1/3)であったものが、年齢層の上昇とともに割合が大きくなり、75歳以上では78%(約4/5)となっている。

30歳代、40歳代の子育て世代は、「小学校区」が20%を超え、3位項目となっている。
【無回答を除く】

イ. 年齢



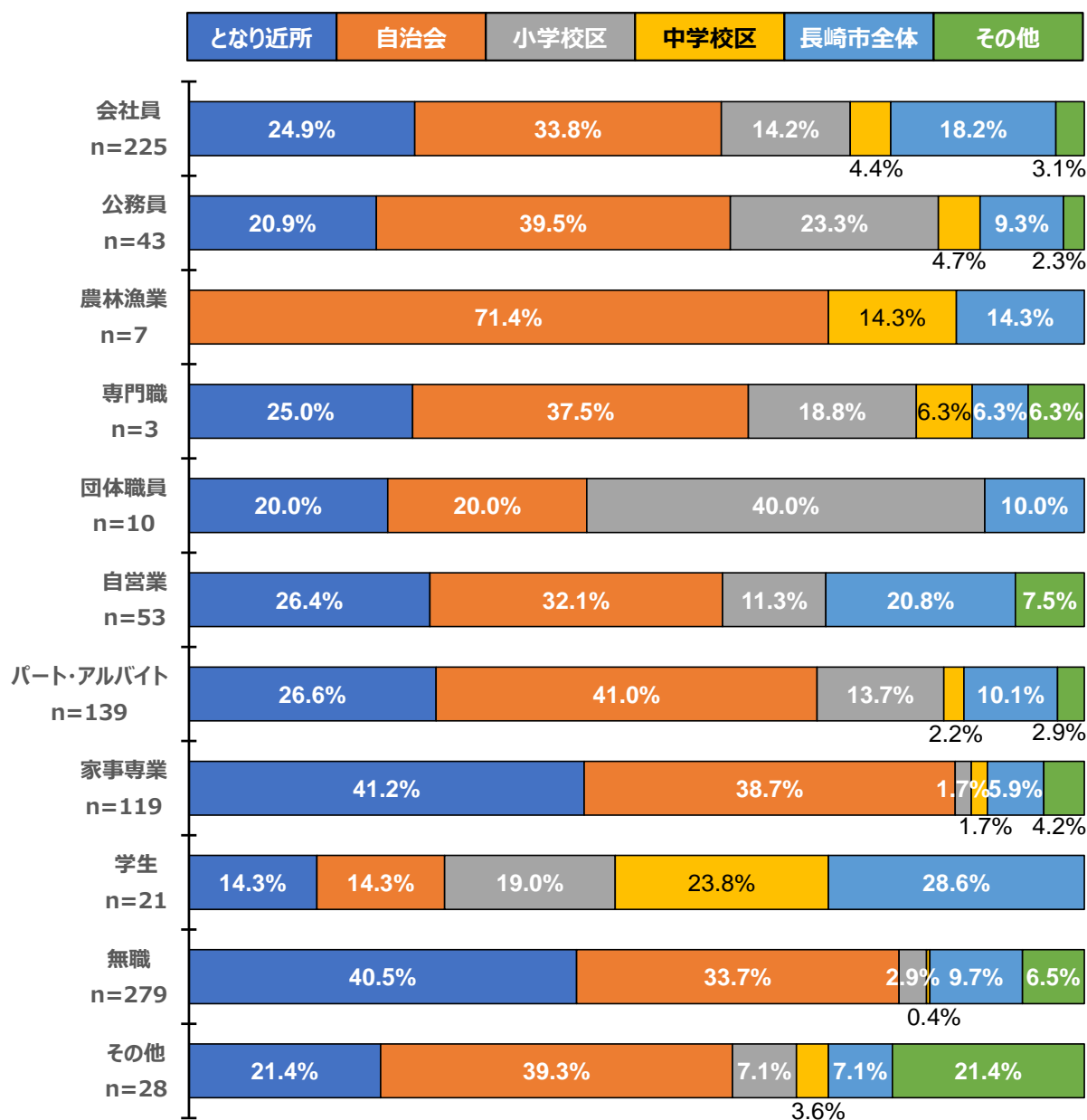
職業別でみると、「会社員」、「公務員」、「専門職」など、いわゆる職業人は傾向が似通っており、「となり近所」、「自治会」の合計で、ほぼ半数以上を占めている。

母数が少ないものの特異な傾向にあるのは「農林漁業」で、「自治会」が71.4%であり、対照的に「学生」の場合、「となり近所」、「自治会」の合計が28.6%と少なかった。

また「家事専業」は、「となり近所」、「自治会」の合計が79.9%と、身近な存在であることがわかった。

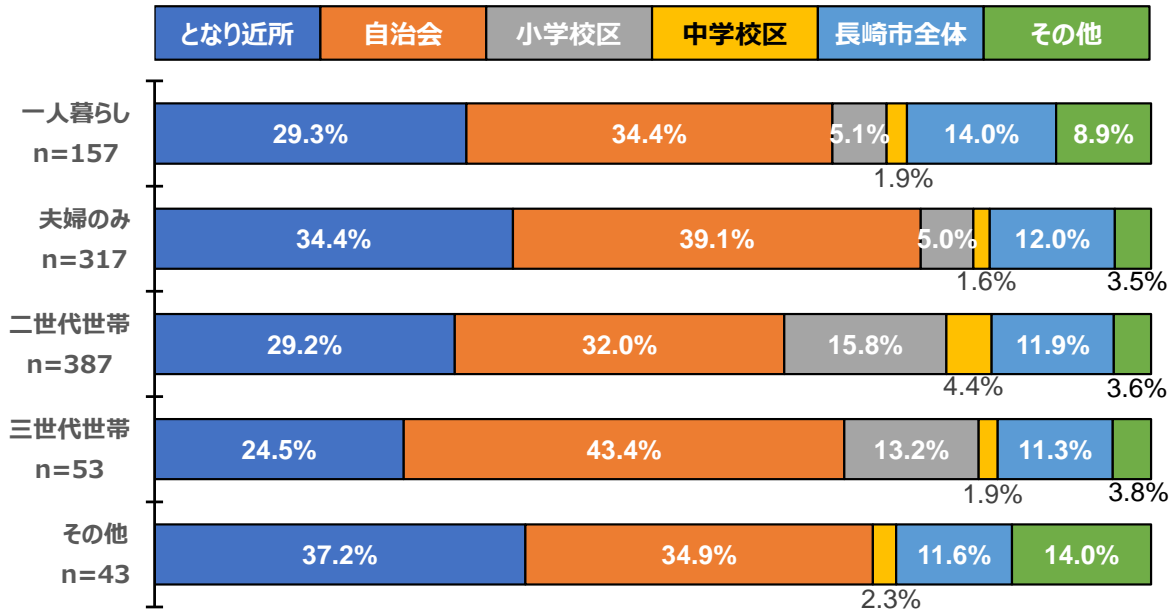
【無回答を除く】

ウ. 職業



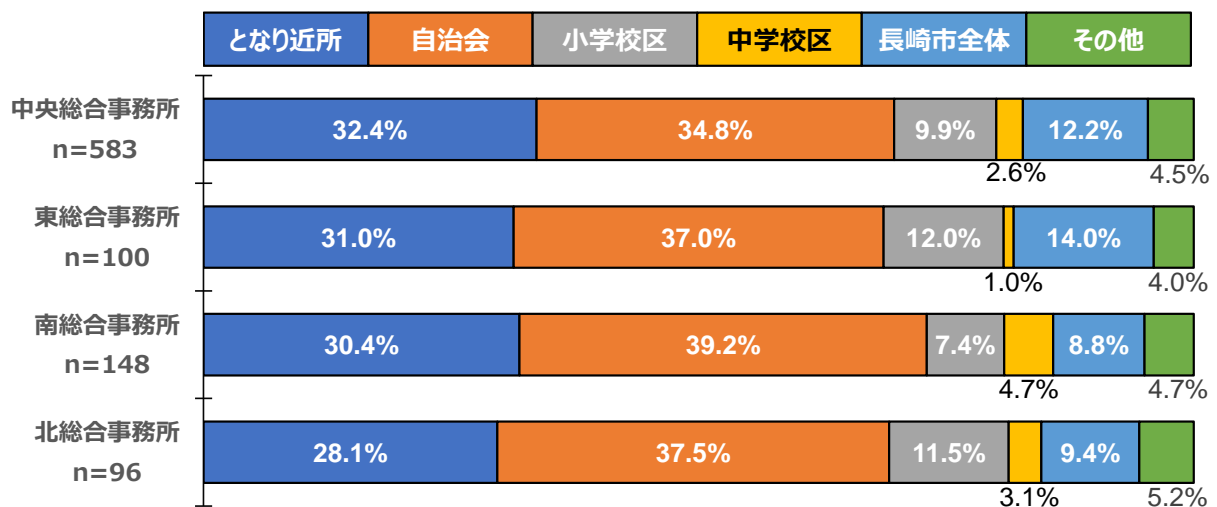
世帯構成別では、全ての世帯で「自治会」が1位項目となっている。
 また、世帯別の傾向が表れているのは「小学校区」で「二世帯世帯」・「三世帯世帯」と「一人暮らし」・「夫婦のみ」の乖離が大きくなっている。
 「二世帯世帯」では「小学校区」が15.8%と、3位項目となっている。
 【無回答を除く】

工. 世帯構成



居住区域別での相違は「南総合事務所」所管区域で「自治会」が39.2%で1位項目となっており、「小学校区」が「東総合事務所」所管区域で12.0%、「北総合事務所」所管区域で11.5%と3位項目となっている。
 【わからない・無回答を除く】

オ. 居住区域



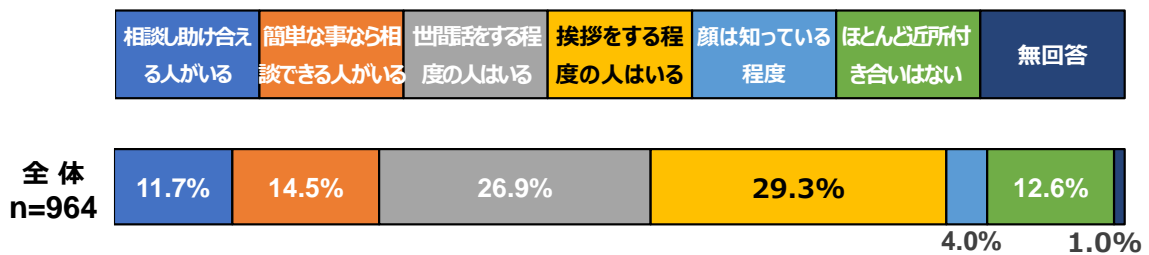
(2) 問9 あなたは、現在、どの程度「ご近所づきあい」をしていますか

【答えは1つだけ】

現状としては、全体で「世間話などはしないがあいさつをする程度の人はいる」が29.3%で最も多く、次いで「助け合いや相談ごとなどはしないが世間話をする程度の人はいる」が26.9%、「簡単なことであれば、困ったときに相談し助け合える人がある」が14.5%で続いており、一方「ほとんど近所づきあいはない」も12.6%であった。

「近所づきあいがある（「何かで困ったときには相談し助け合える人がある」+「簡単なことであれば、困ったときに相談し、助け合える人がある」）」は26.2%であった。

ア. 全体

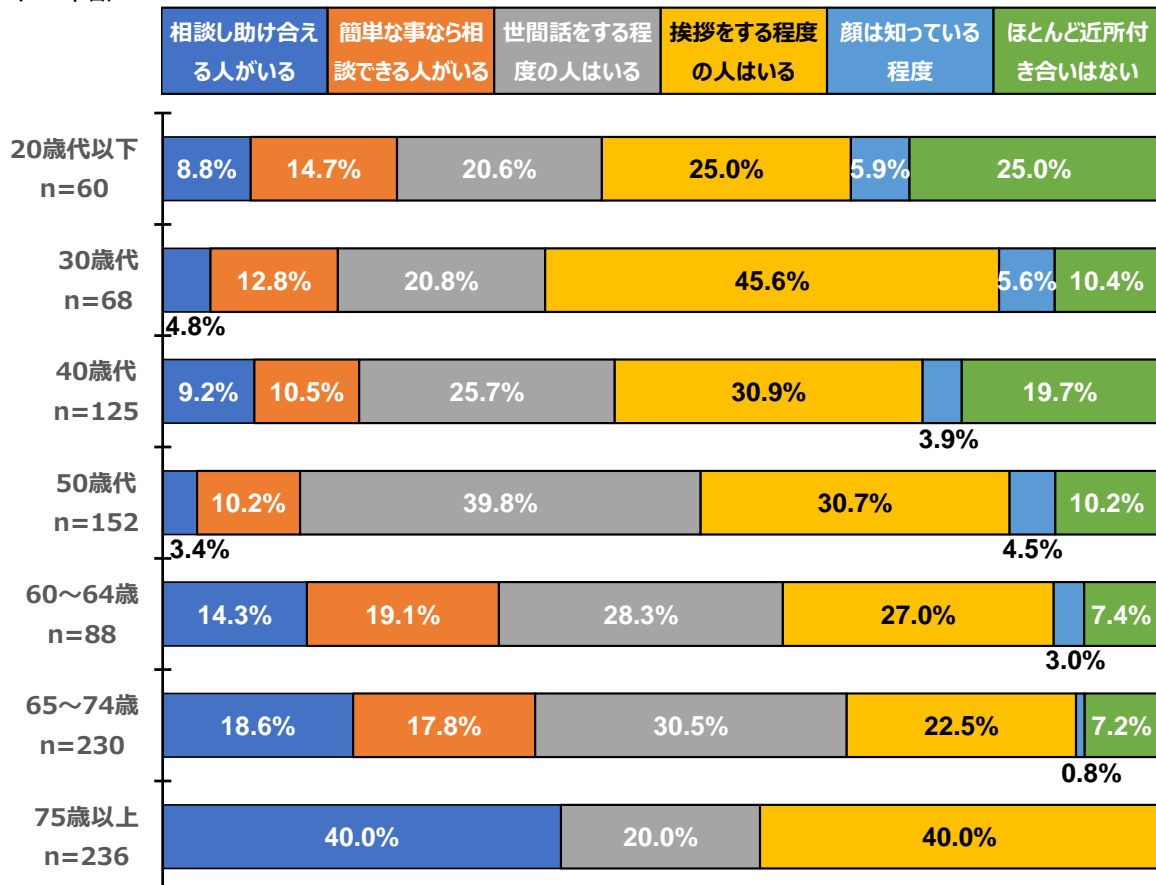


年齢別でみると、「何かで困ったときには相談し助け合える人がある」が最も多いのは「75歳以上」で40%であり、最少は50歳代の3.4%であった。

一方、20歳代以下では、「ほとんど近所づきあいはない」と「あいさつ程度の人はいる」が1位項目で、25.0%であった。

【無回答を除く】

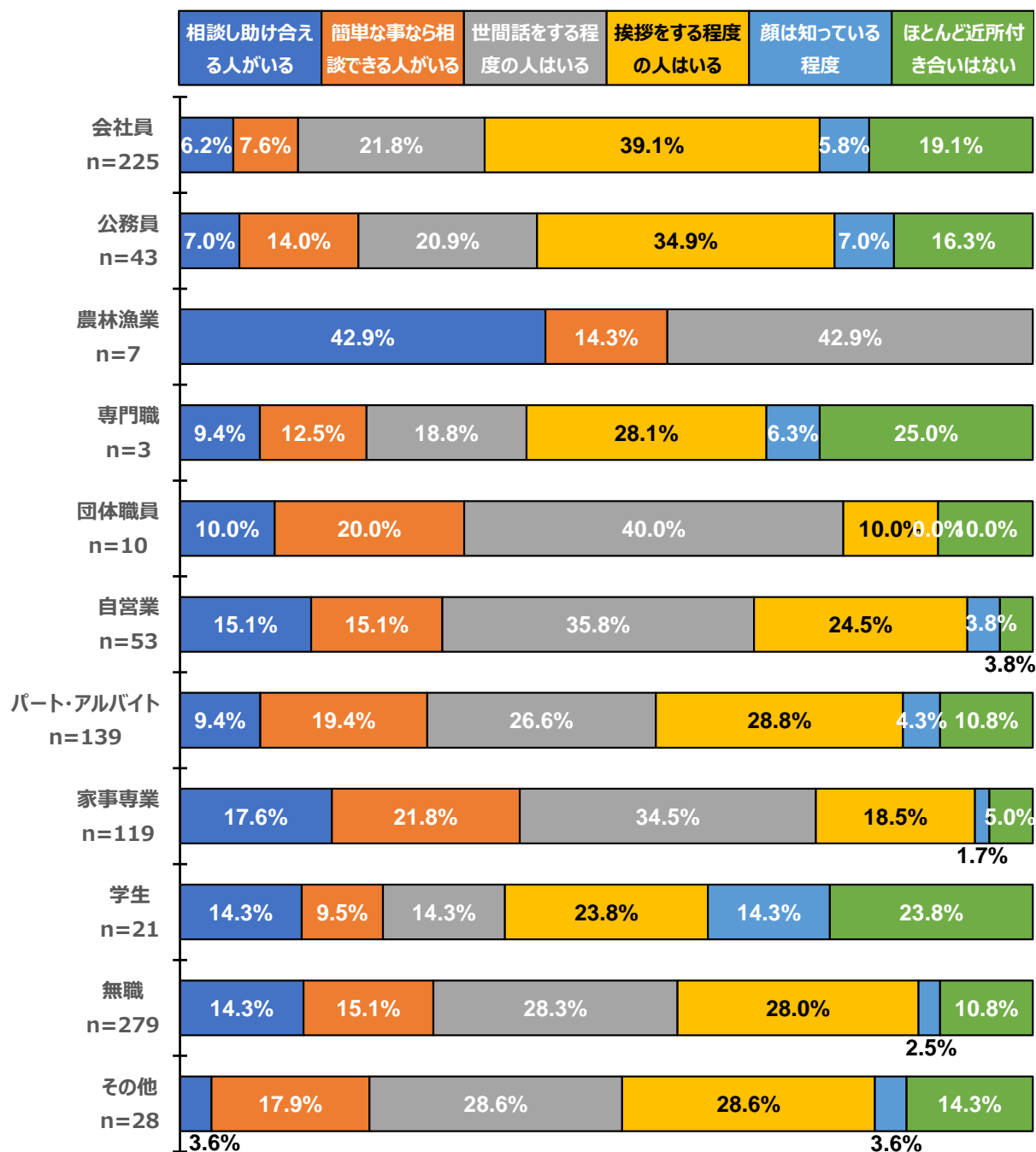
イ. 年齢



職業別である程度母数が多数のものの中で見ると「近所つき合いがある」が最も多いのは「家事専業」の39.4%であり、最も少ないのは「会社員」の13.8%であった。

【無回答を除く】

ウ. 職業

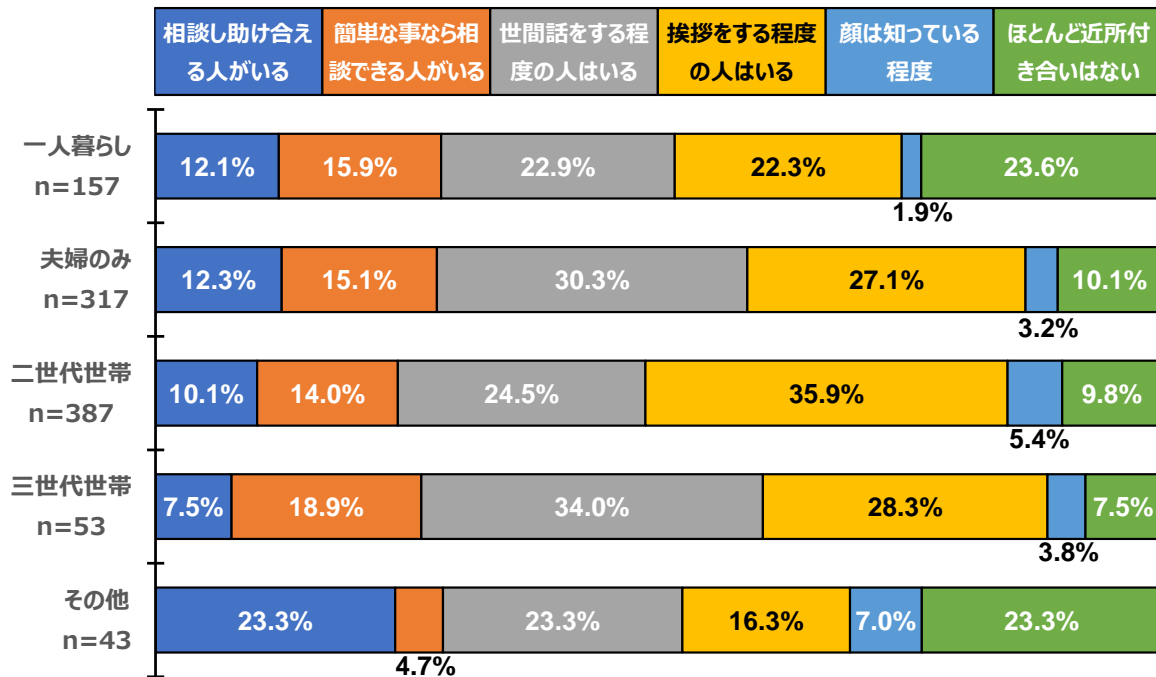


世帯構成別で見ると「近所づきあいがある」は、「一人暮らし」が最も多く28.0%であり「夫婦のみ」が27.4%と若干多いようであるが、有意な差とは言い難い。

一方、「ほとんど近所づきあいはない」が「一人暮らし」で1位、23.6%を占めている。

【無回答を除く】

エ. 世帯構成



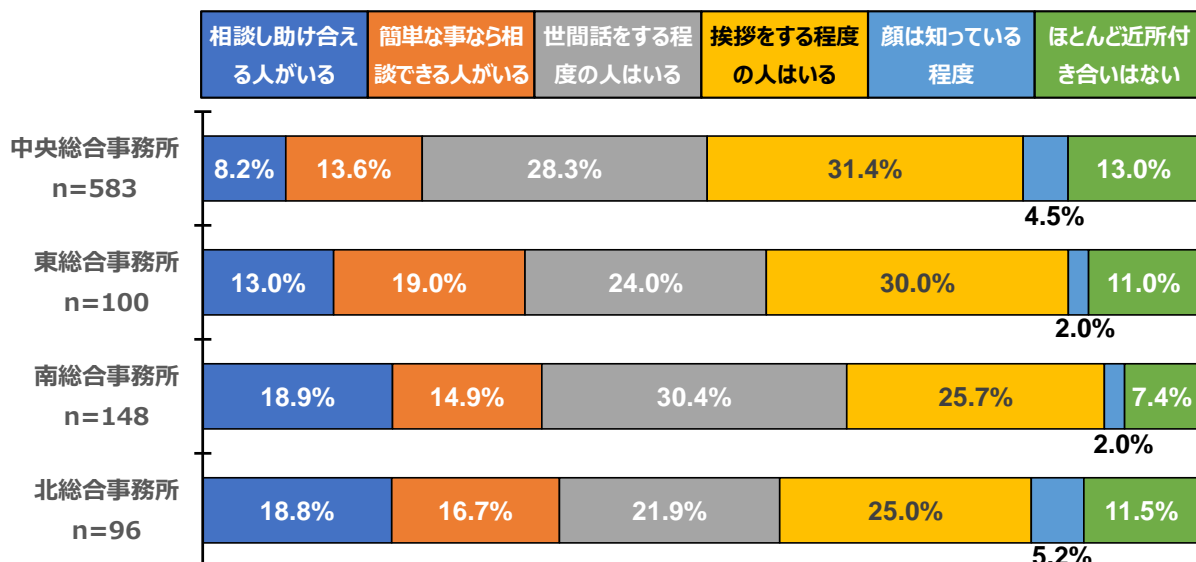
居住区域別で見ると、「近所づきあいがある」に関しては、「北総合事務所」所管区域が35.5%となっている。

「南総合事務所」所管区域で「助け合いや相談ごとはないが、世間話をする程度の人はいる」が1位項目となっている。

また、「ほとんど近所づきあいはない」は「中央総合事務所」所管区域が13.0%で最も多い。

【わからない・無回答を除く】

オ. 居住区域

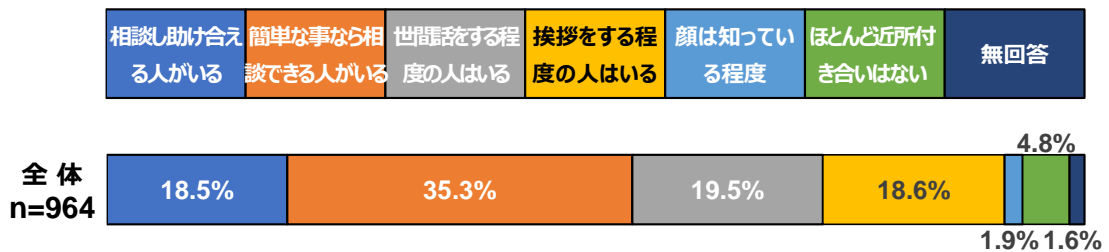


(3) 問10 あなたは、どの程度の「ご近所づきあい」を理想としますか

【答えは1つだけ】

理想としては、全体で「簡単なことであれば困ったときに相談し助け合える人がいる」が35.3%で第1位、次いで「助け合いや相談ごとはしないが世間話をする程度の人はいらる」が19.5%、「世間話などはしないが、あいさつをする程度の人はいらる」が18.6%で続いており、「近所づきあいがある（「何かで困ったときには、相談し、助け合える人がいる」+「簡単なことであれば、困ったときに相談し、助け合える人がいる」）」は53.8%であった。

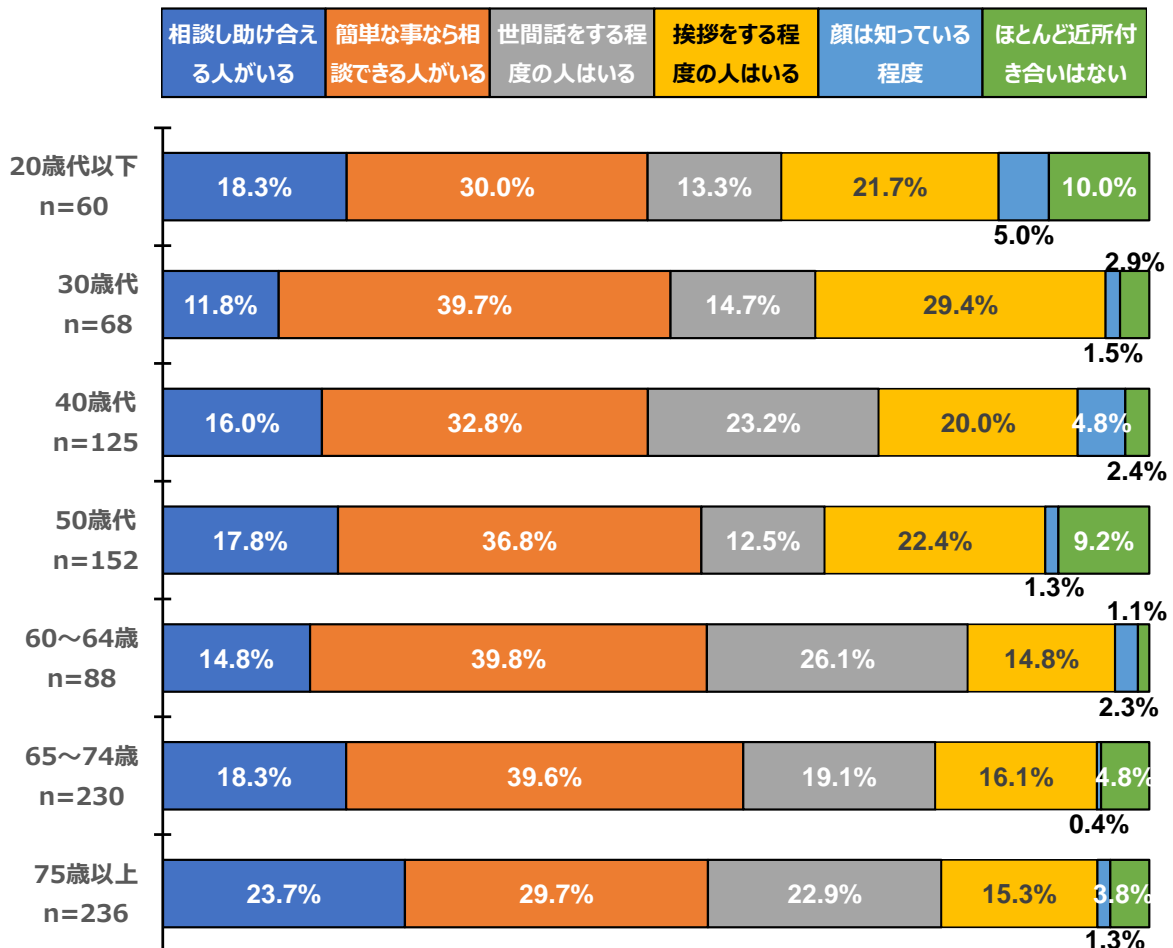
ア. 全体



年齢別で「近所づきあいがある」が最も多いのは「65～74歳」の57.9%で、最も少ないのは「20歳代以下」の48.3%であるが、年齢において、さほど大きな差異はない。

【無回答を除く】

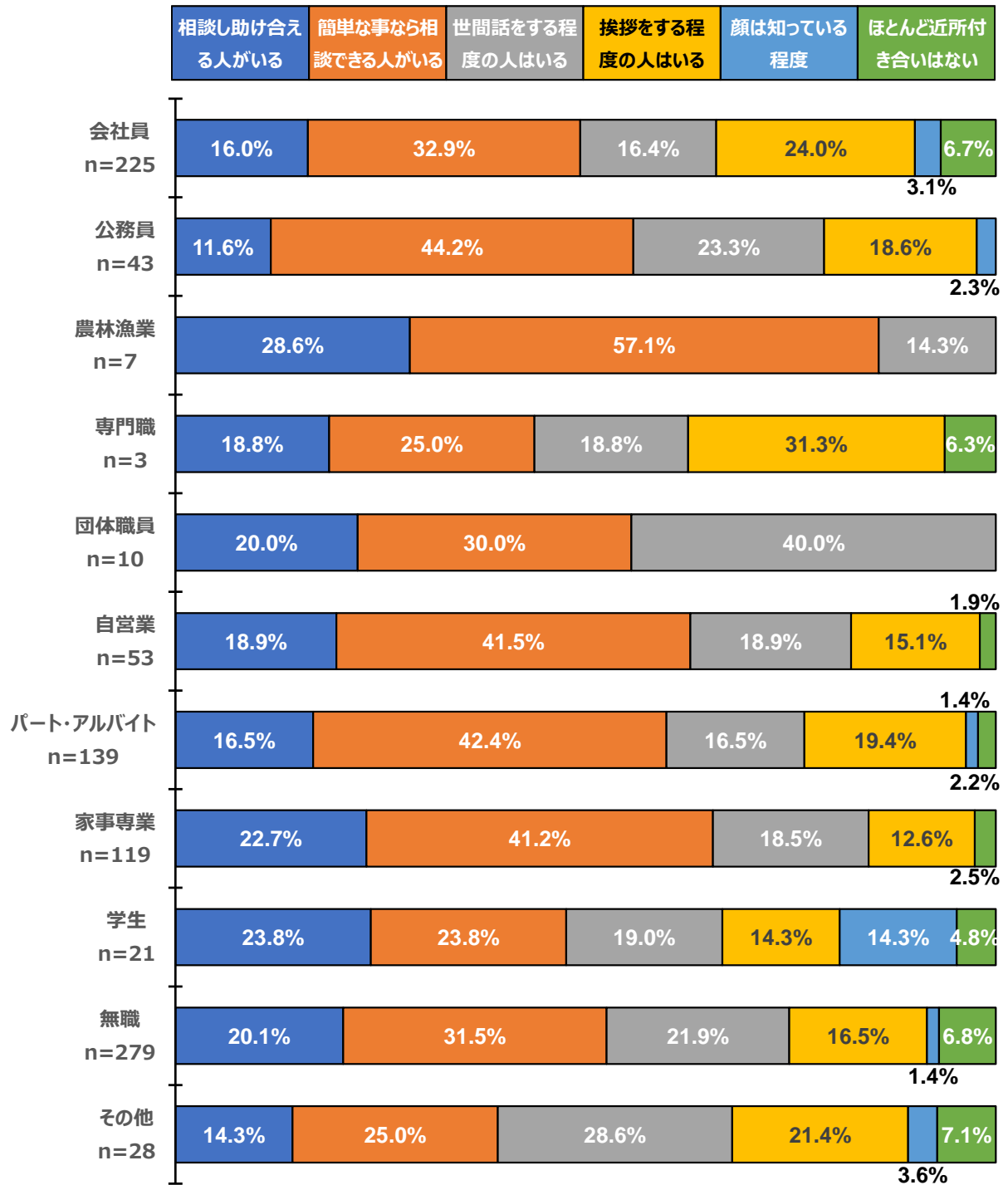
イ. 年齢



職業別で、一定の母数を持つものの中で見ると「近所づき合いがある」が最も多いのは「家事専業」の63.9%、最も少ないのは「会社員」の48.9%となっている。

【無回答を除く】

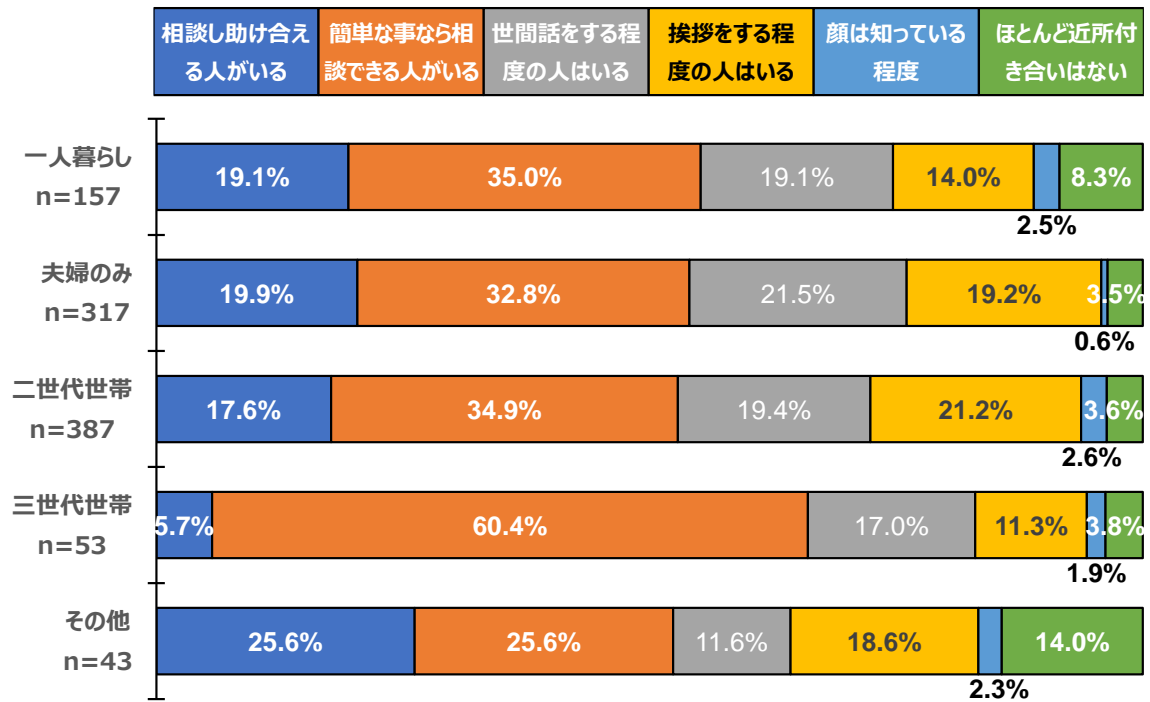
ウ. 職業



世帯構成別で見ると「近所づき合いがある」のを理想としているのは、「三世帯世帯」が最も多く66.1%であった。

【無回答を除く】

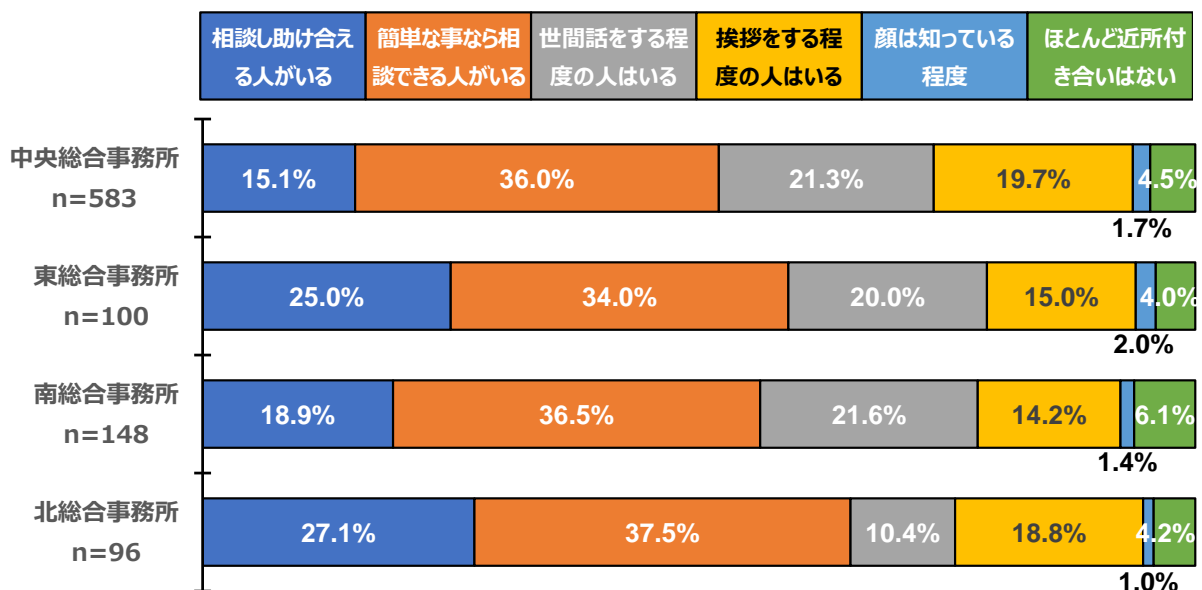
工. 世帯構成



居住区域別で見ると、「近所づき合いがある」のを理想としているのは、「北総合事務所」所管区域が最も多く、64.6%であった。

【わからない・無回答を除く】

オ. 居住区域



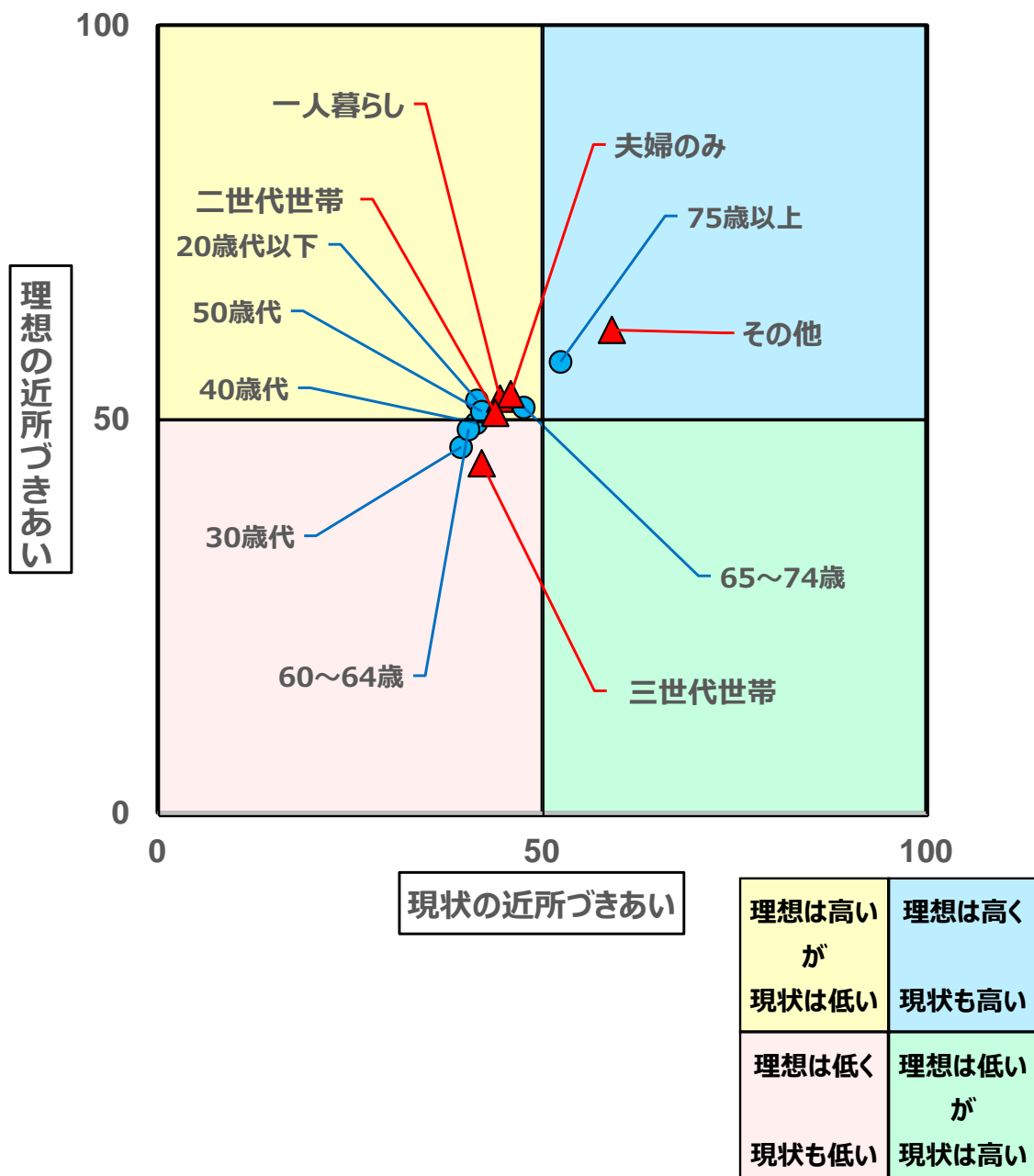
【近所づきあいの現状と理想】

〔年代別・世帯構成別〕

「近所づきあいがある」の現状と理想の関係を偏差値にて図に表すと下記のとおりとなった。
 年齢別にみると「近所づきあいの現状も理想も低い」分野に「30歳代」、「40歳代」、「60～64歳」が入り、「75歳以上」は現状も理想も高い分野である。
 「20歳代以下」と「50歳代」、「65～74歳」は、現状は低いが、理想は少し高くなっている。
 「一人暮らし」、「二世帯世帯」も、現状は低いが、理想は少し高くなっている。
 世帯構成では「三世帯世帯」が理想も現実も低い分野であった。

※近所づきあいがある＝「何かで困ったときには、相談し、助け合える人がいる」
 ＋「簡単なことであれば、困ったときに相談し、助け合える人がいる」
 で算出している。

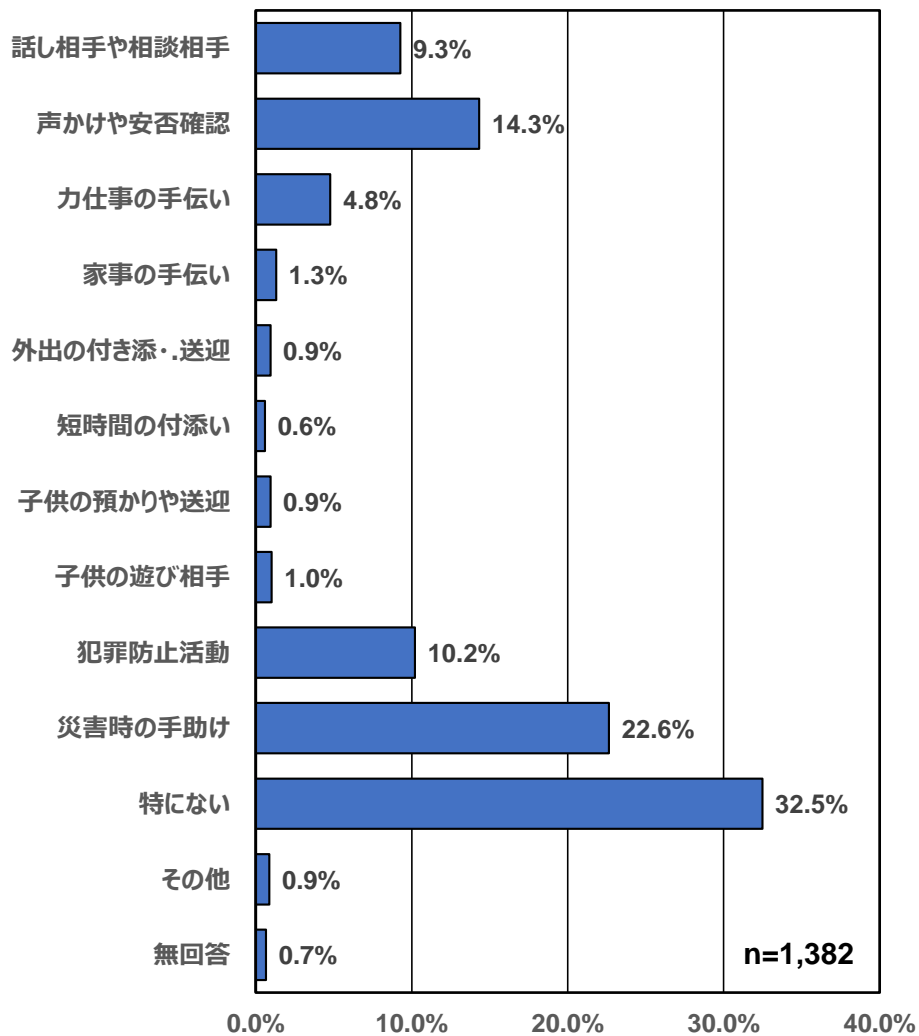
近所づきあいの現状と理想



(4) 問11 あなたは生活の中で、となり近所の人に手助けや協力をしてほしいと思うことはありますか
【あてはまるものすべて】

生活の中で、となり近所の人に手助けや協力をしてほしいと思うことは「災害時の手助け」が22.6%で最も多く、次いで「声かけや安否確認」が14.3%、「犯罪防止活動（地域の見回り 等）」が10.2%と続いている一方、「特にない」が32.5%と最も多くなっている。

ア. 全体

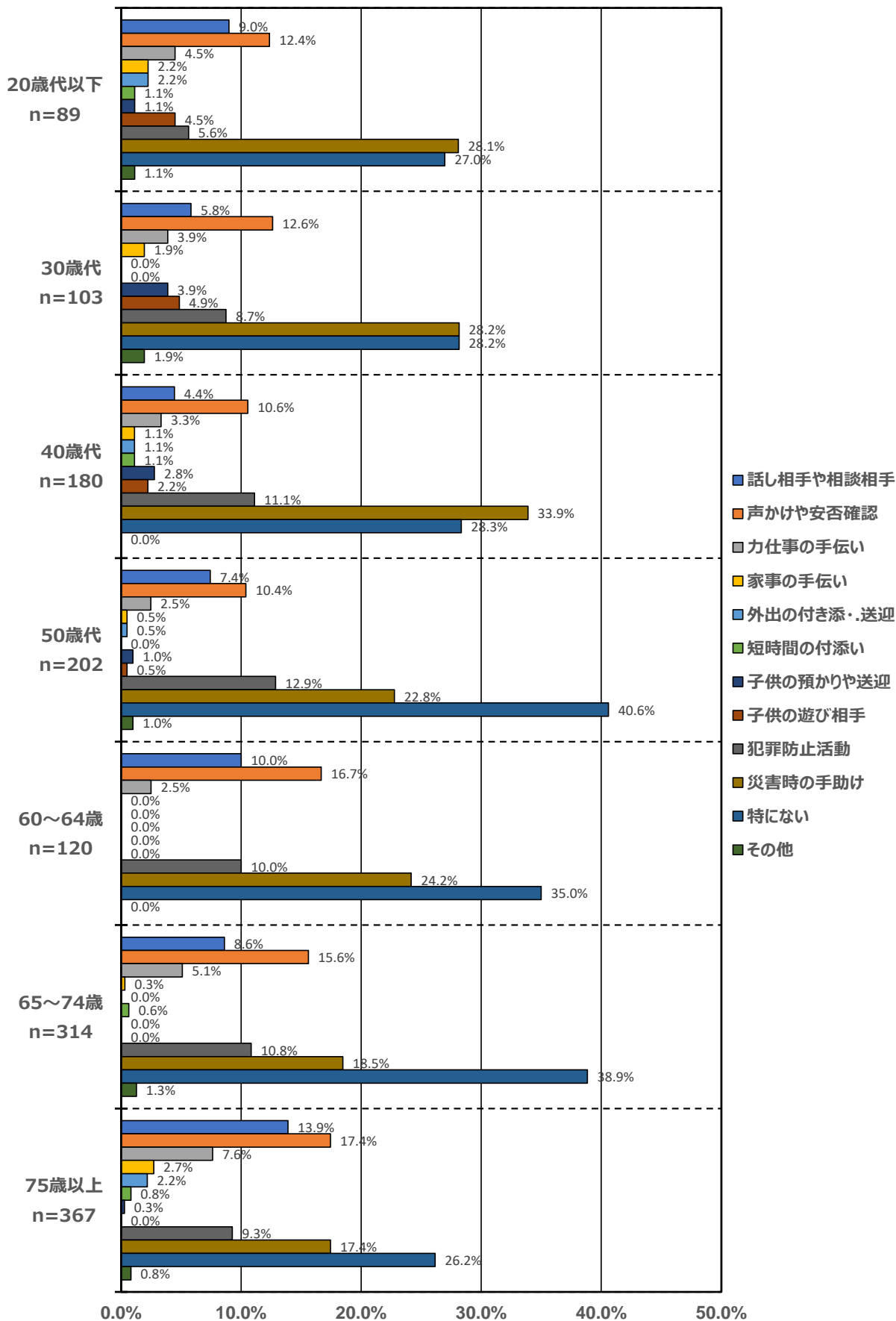


年齢別で見ると「災害時の手助け」は「40歳代」が最大で33.9%、「声かけや安否確認」は75歳以上が最大で、17.4%である。

「犯罪防止活動」は「50歳代」をピークに、年齢の上昇に伴い減少傾向がみられる。

【無回答を除く】

イ. 年齢

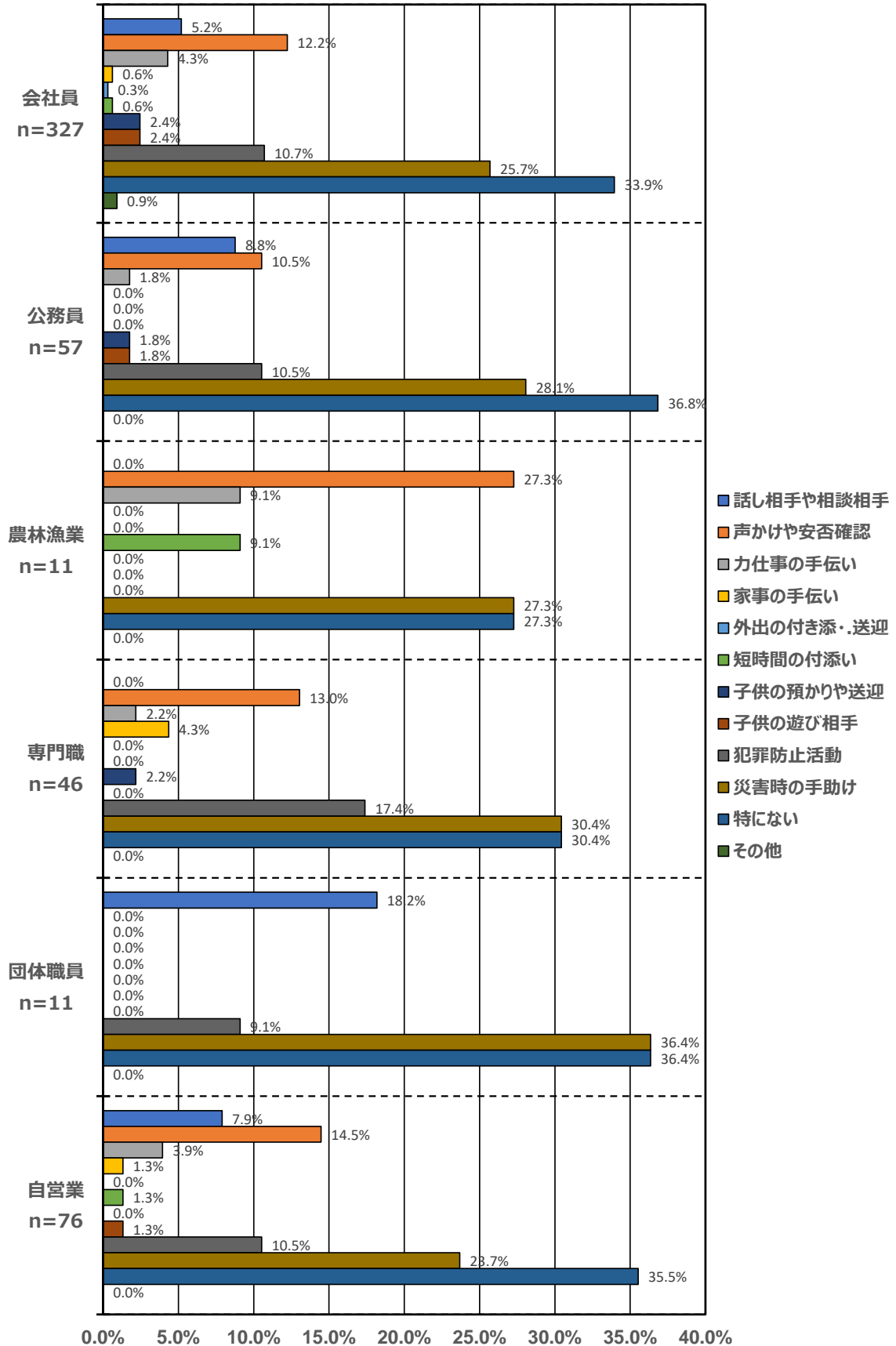


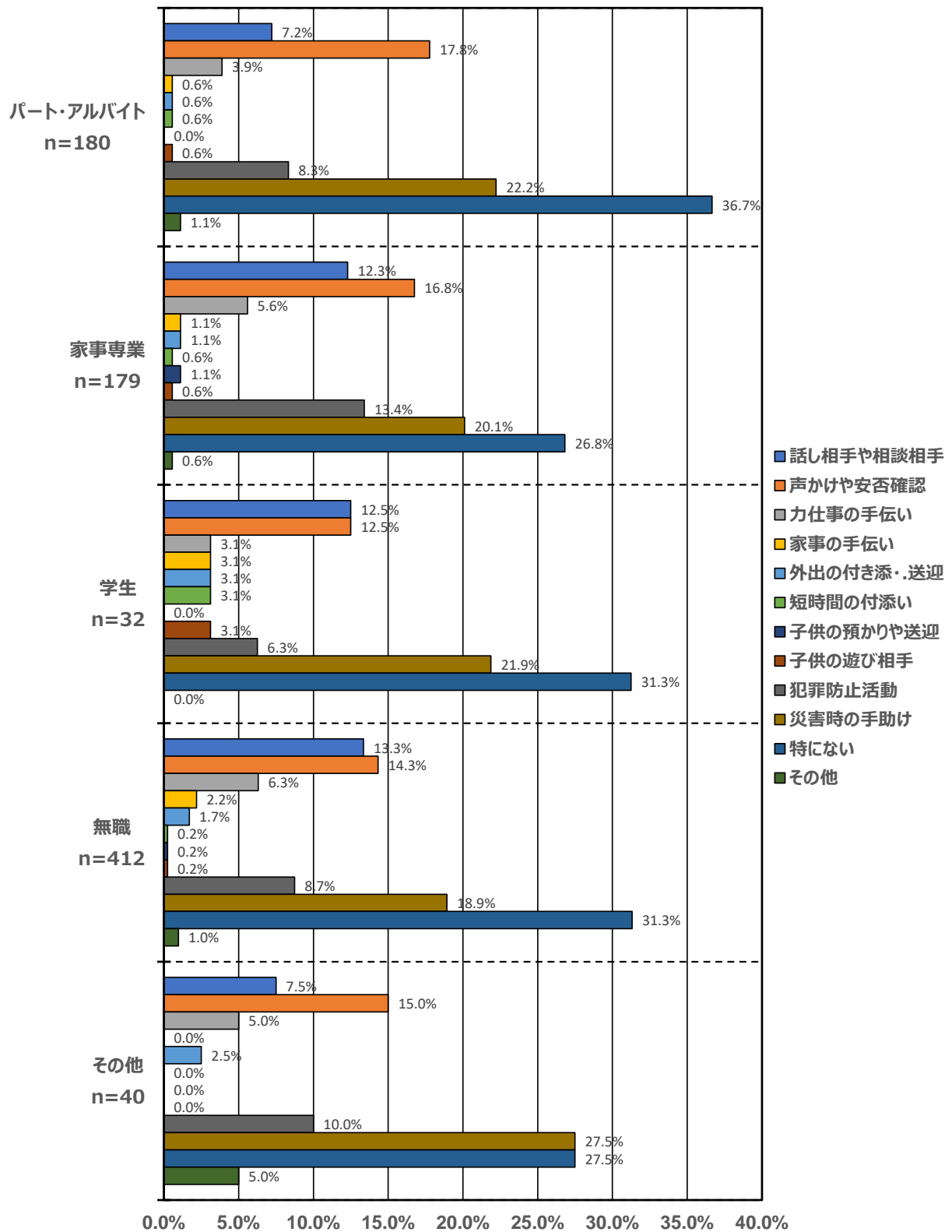
職業別にみると、母数が小さい職業もあるため、結果にばらつきはみられるものの、全体との傾向に大きな相違はみられない。

「災害時の手助け」は全ての職業で上位にある。

【無回答を除く】

ウ. 職業

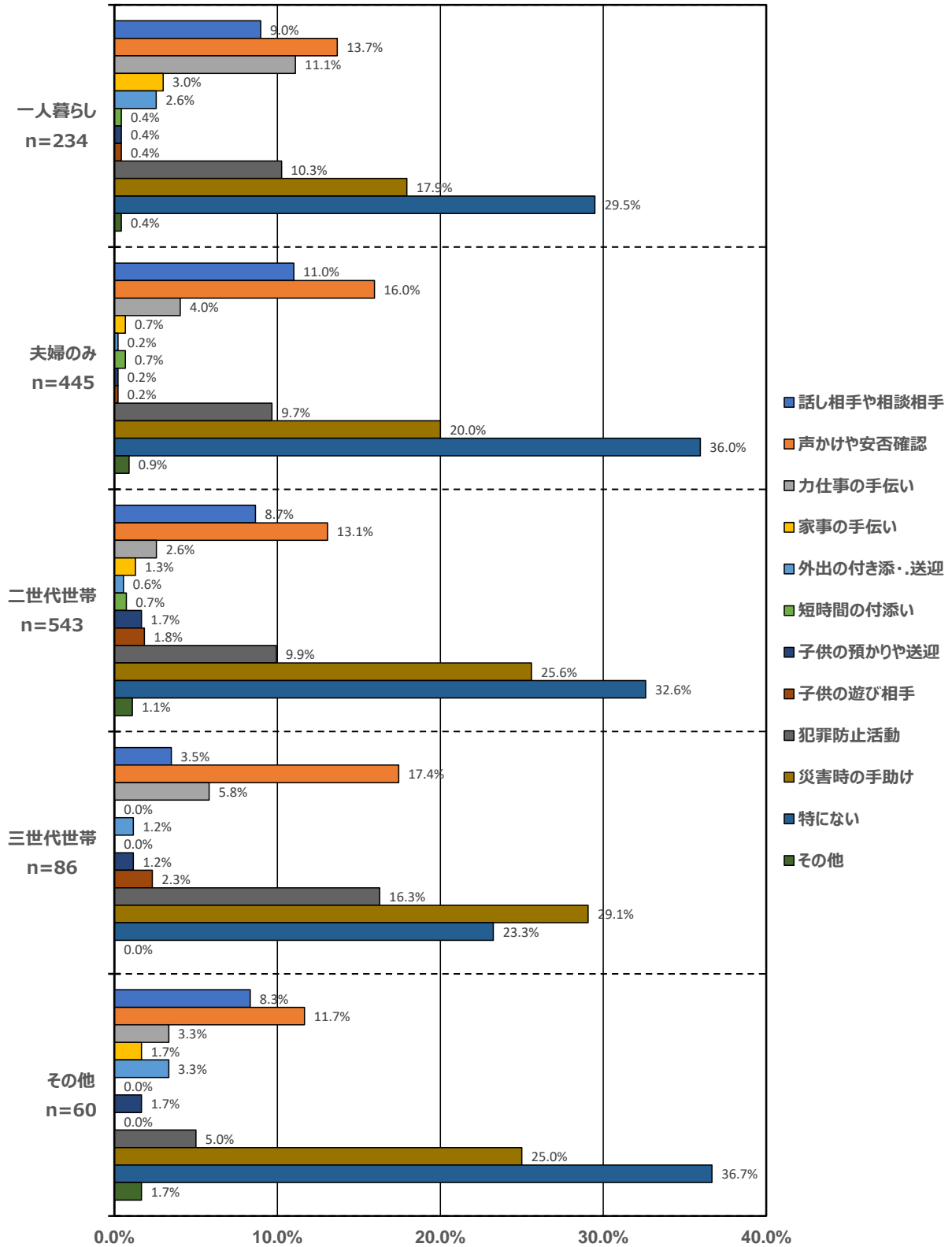




全ての世帯構成で、「災害時の手助け」は1位項目であり、「声かけや安否確認」は2位項目で、全体の傾向と同様である。

【無回答を除く】

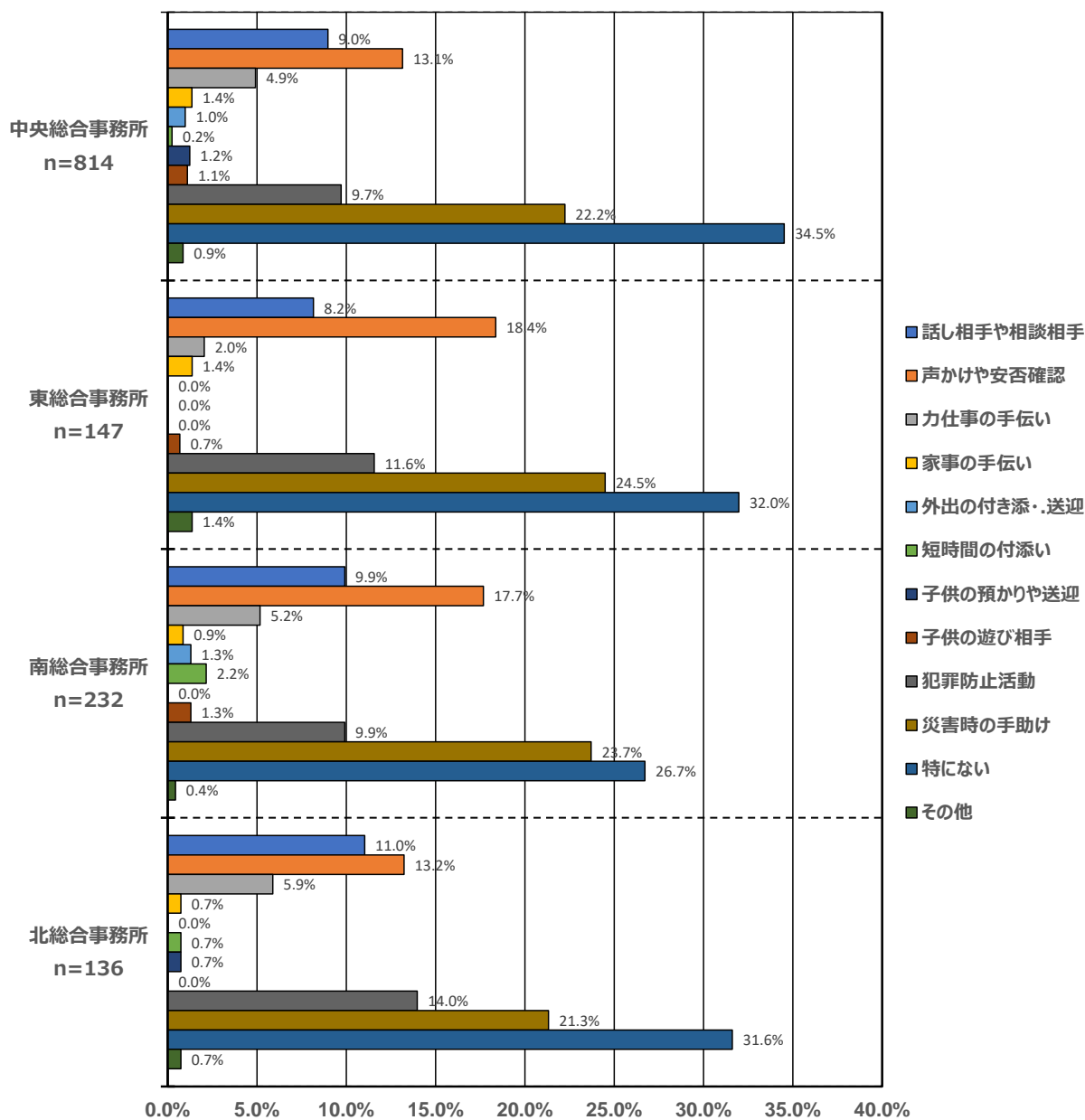
Ⅰ. 世帯構成



居住区域別で見た場合においても、全ての居住区域で、「災害時の手助け」は1位項目であり、「声かけや安否確認」は2位項目となっている。

【わからない・無回答を除く】

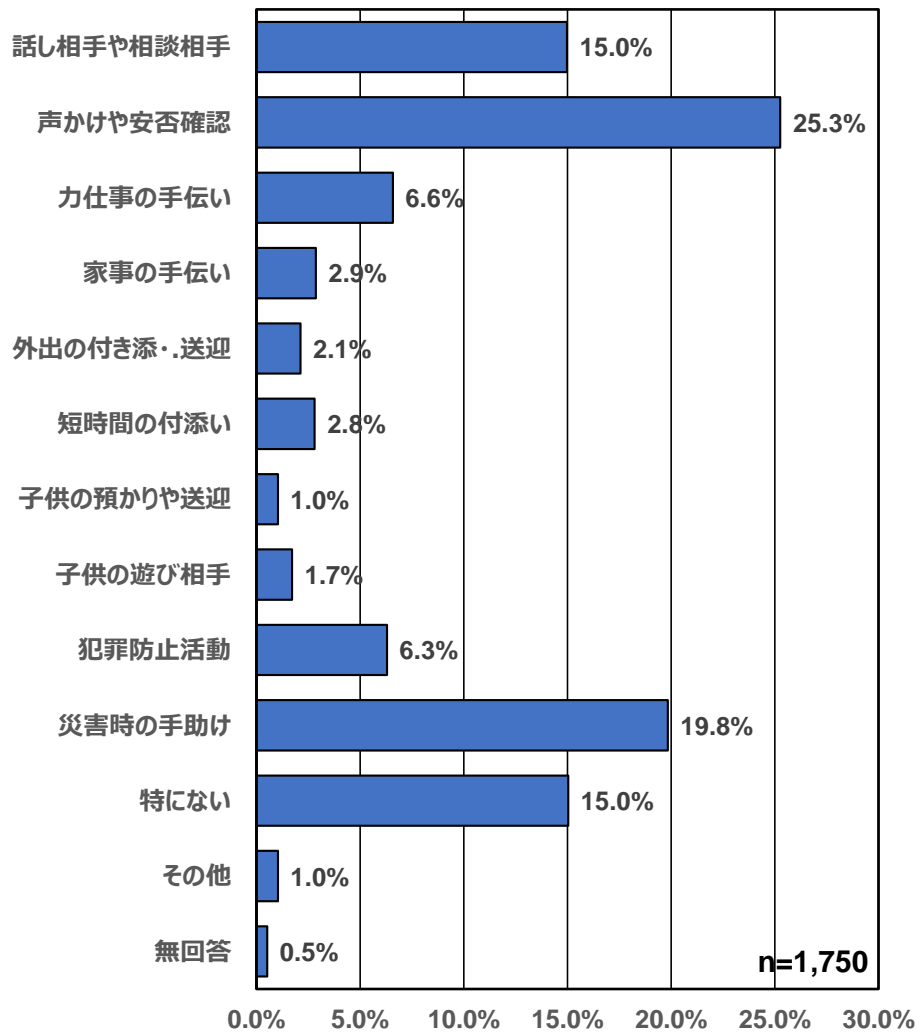
オ. 居住区域



(5) 問12 あなたは、となり近所の人に対して手助けしたり、協力できることはありますか
【あてはまるものすべて】

となり近所の人に対して手助けしたり、協力できることは、「声かけや安否確認」が 25.3%で最も多く、次いで「災害時の手助け」が 19.8%、「話し相手や相談相手」が 15.0%と続いている。
一方、「特にない」は 15.0%となっている。

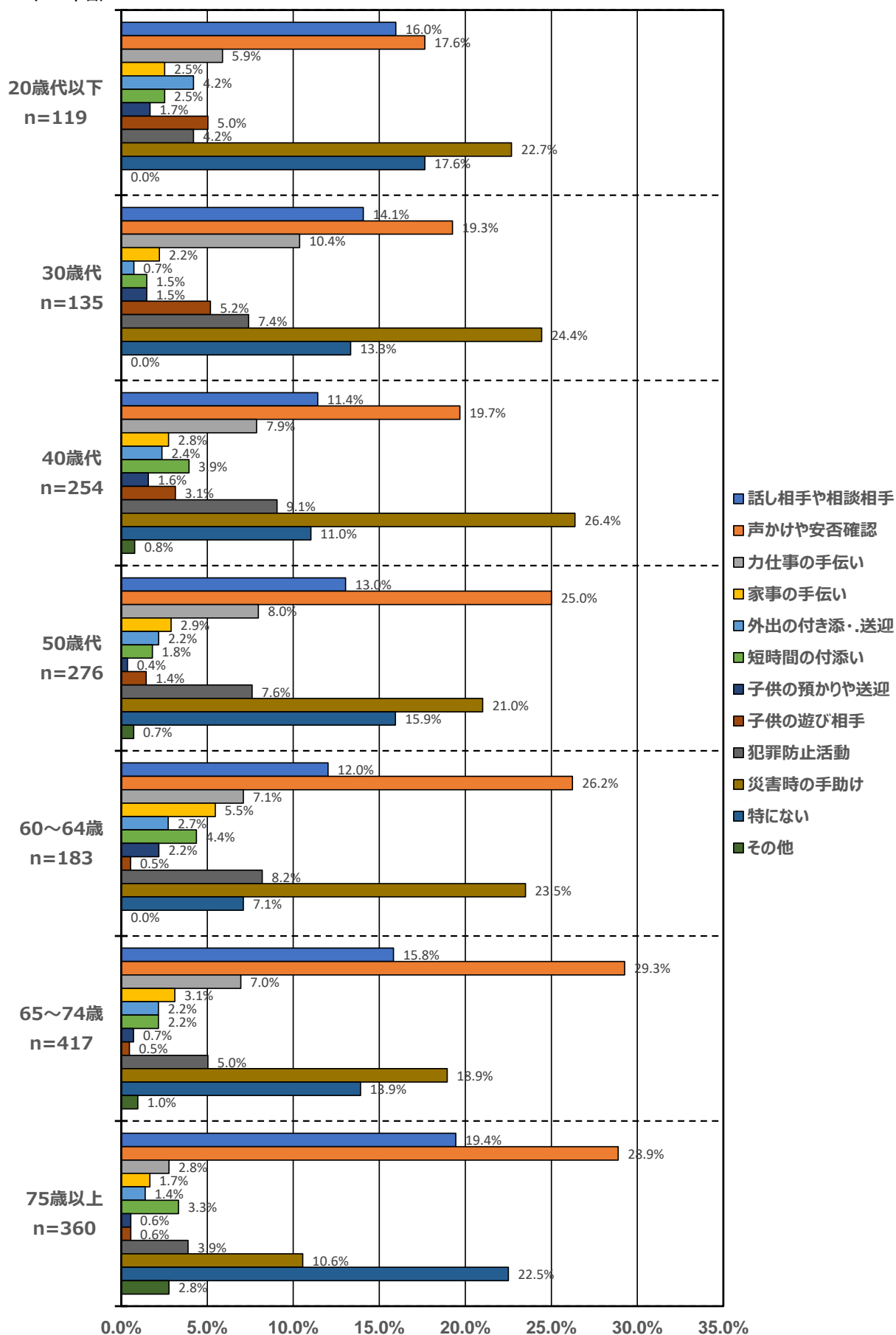
ア. 全体



年齢別で見ると、協力できることは「災害時の手助け」が、20歳代以下～40歳代で第1位であるが、50歳代以降は、「声かけや安否確認」が第1位となっている。

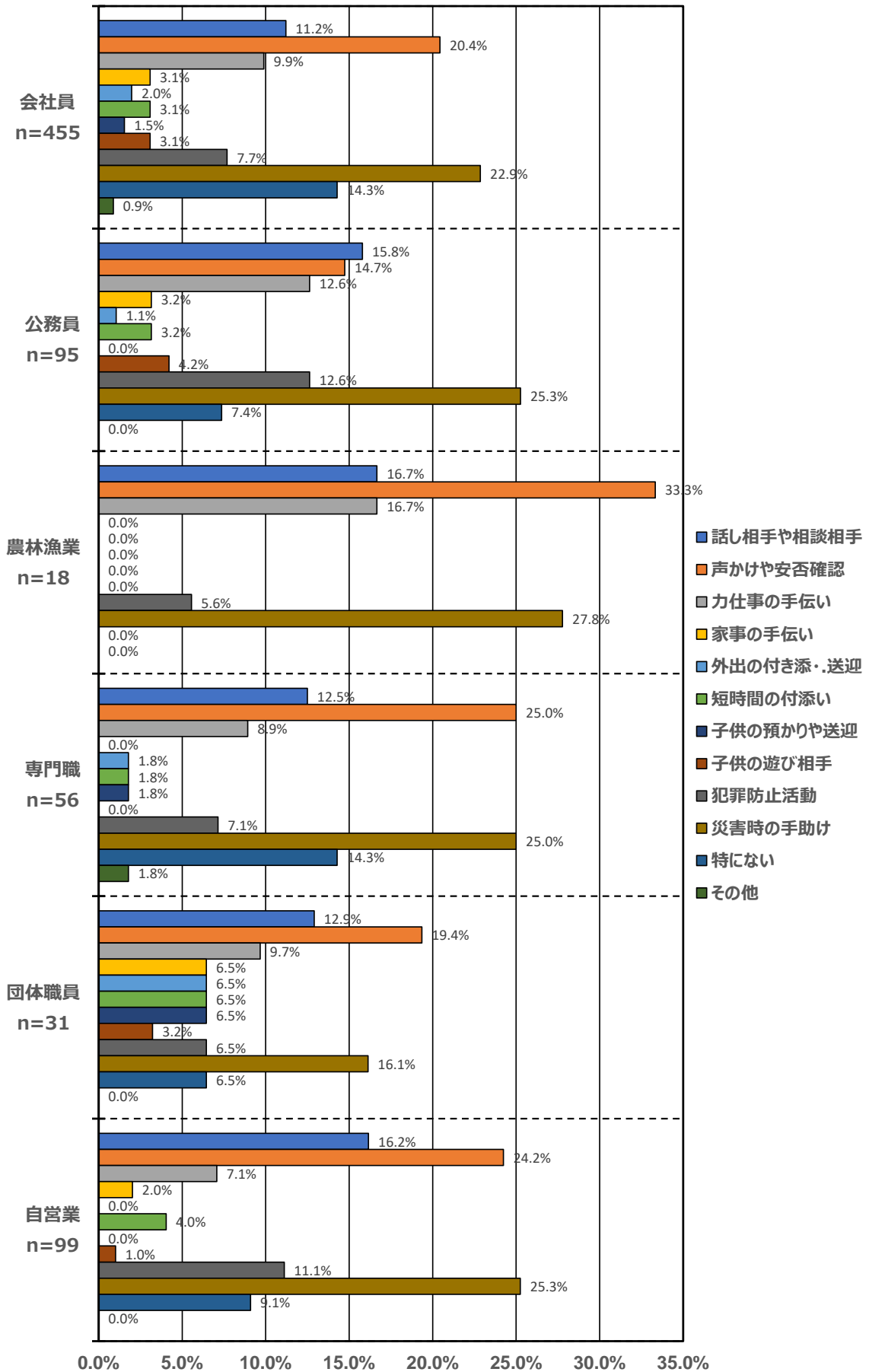
【無回答を4除く】

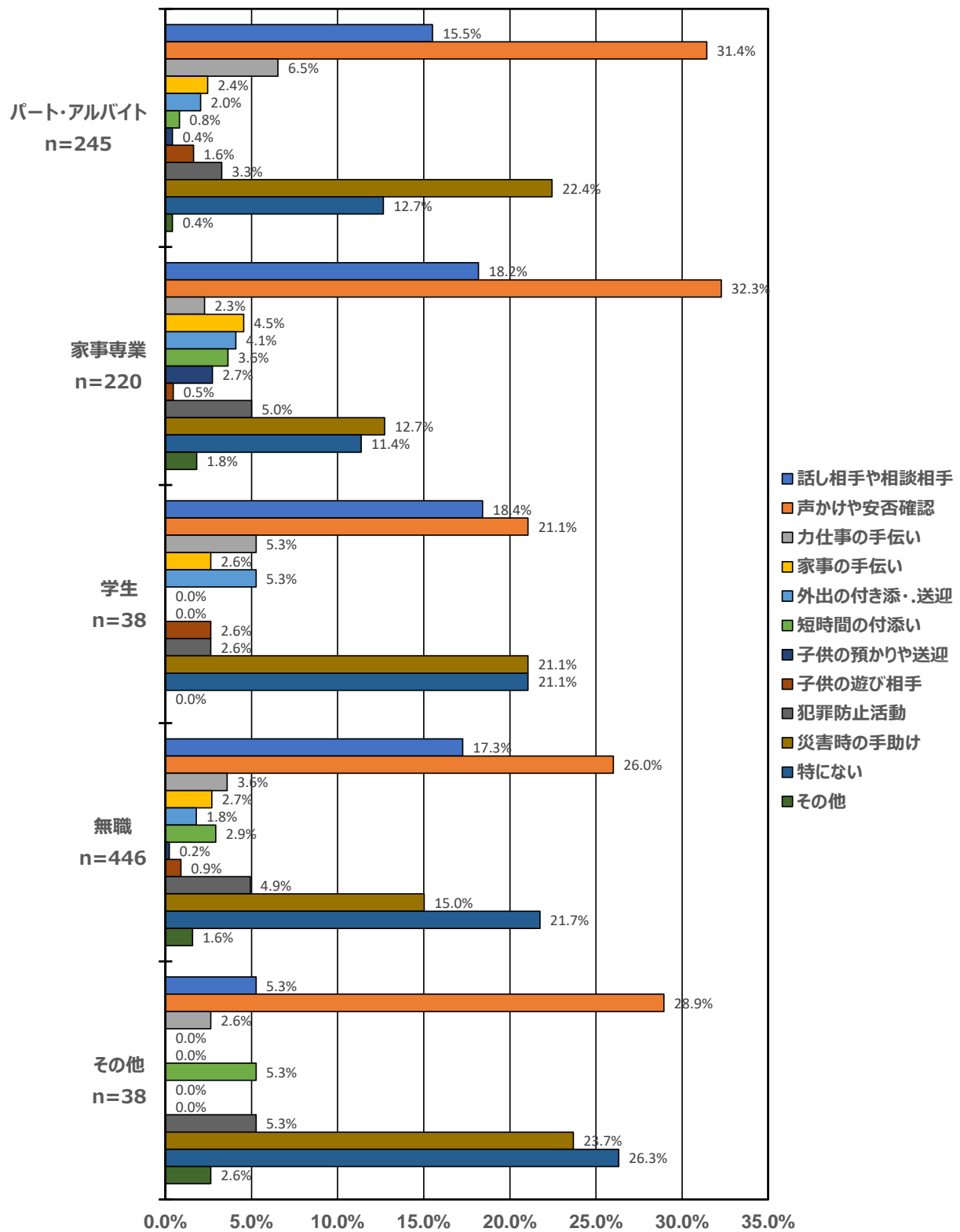
イ. 年齢



職業別でみると、協力できることは「声かけや安否確認」、「災害時の手助け」が上位にである。
【無回答を除く】

ウ. 職業

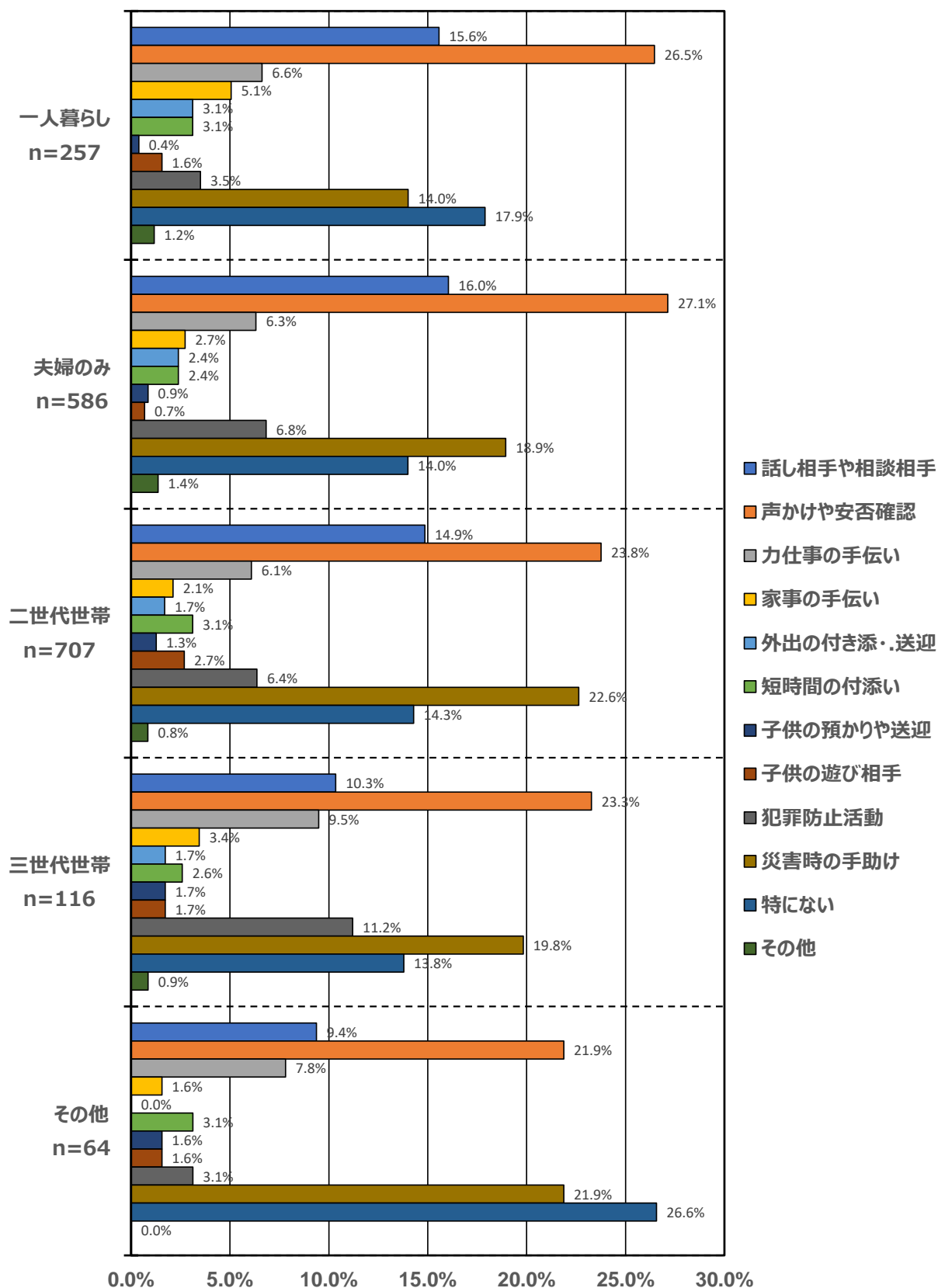




世帯構成別でみると、「声かけや安否確認」はややばらつきが見られるもののおおむね25%程度となっており、「災害時の手助け」は世帯人数の上昇とともにおおむね増加している。

【無回答を除く】

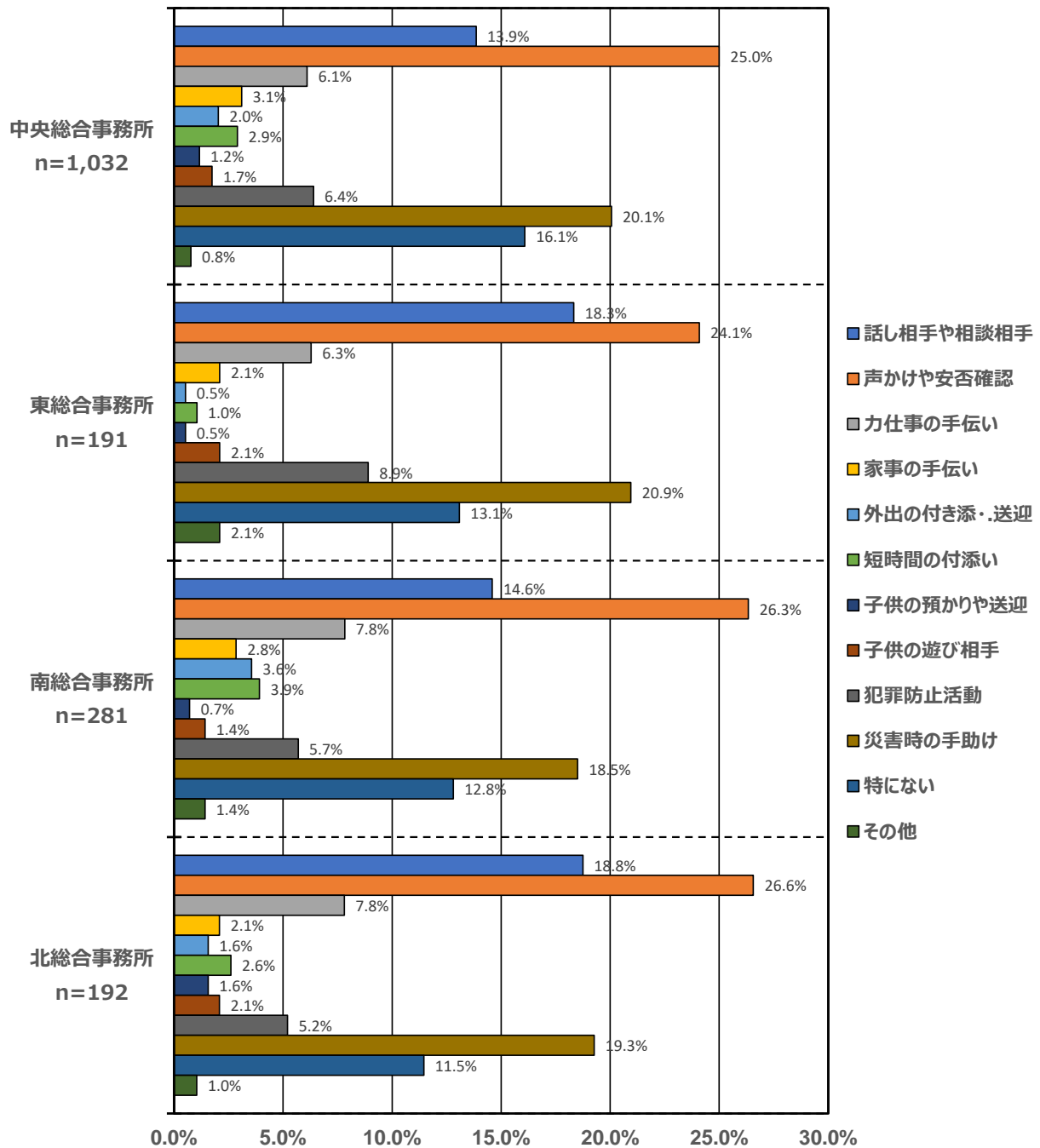
Ⅰ. 世帯構成



居住区域別にみると、母数の違いによるばらつきはみられるものの、傾向的には全体の状況と大差なく、協力できる項目の第1位は「声かけや安否確認」である。

【わからない・無回答を除く】

オ. 居住区域



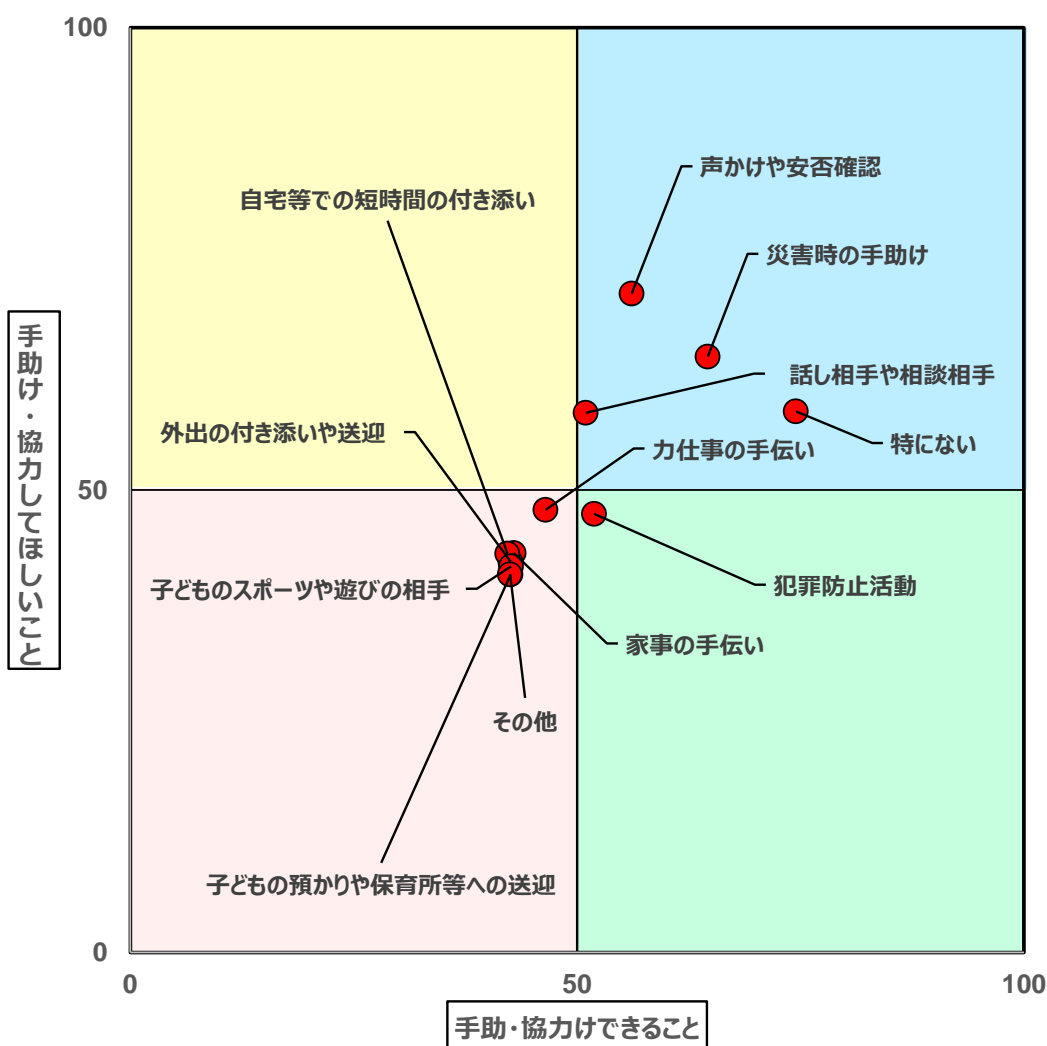
【手助け・協力してもらいたいこと・できること】

手助けしてもらいたいこと・できることを偏差値にて図に表すと下図のとおりとなった。

「手助けをできるし手助けを望むこと」分野に「話し相手や相談相手」、「声かけや安否確認」、「災害時の手助け」が入り、「手助けが難しく手助けも望まないこと」では「力仕事の手伝い」、「家事の手伝い」、「外出の付き添いや送迎」、「自宅等での短時間の付き添い」、「子どもの預かりや保育所等への送迎」、「子どものスポーツや遊びの相手」が入っている。

(1) 全体

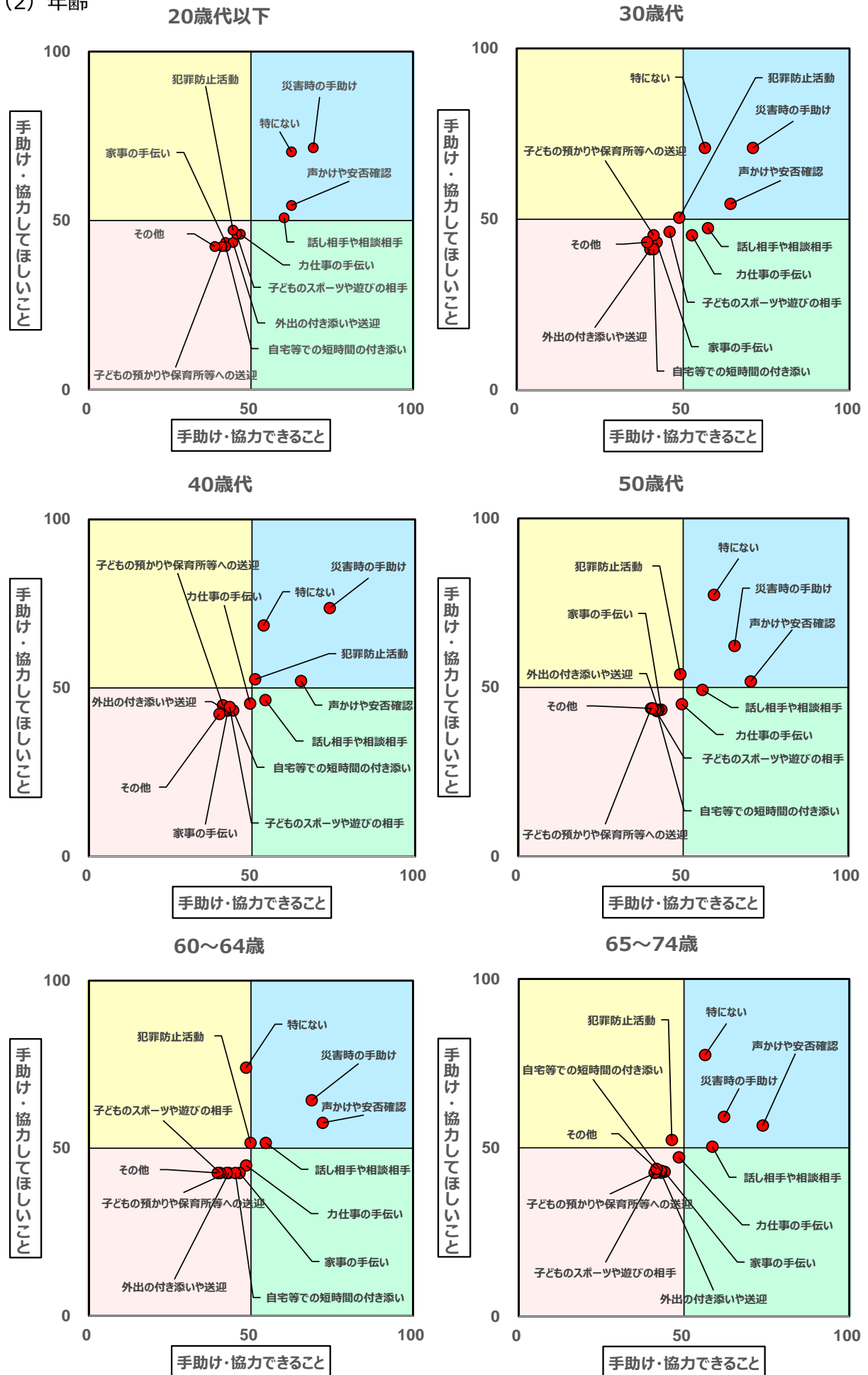
手助け・協力してほしいことーできること



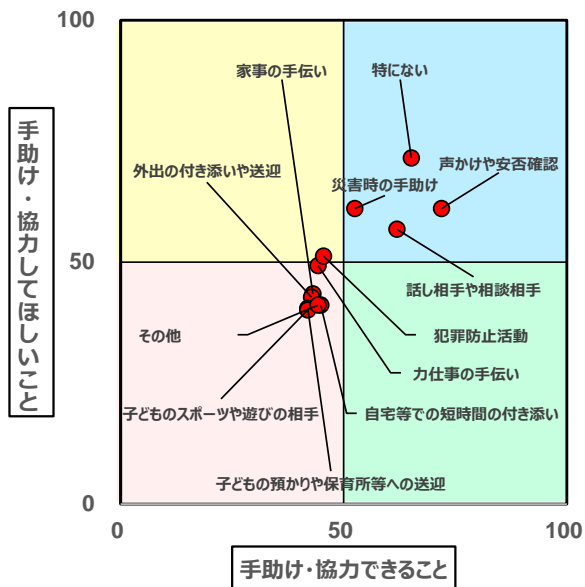
手助けを望む が 手助けできない	手助けを望み 手助けもできる
手助けは望まず 出助けできない	手助け望まない が 手助けはできる

手助けしてもらいたいこと・できることを偏差値にて年齢・世帯構成別及び居住区域別に表すと以下の図のとおりとなった。

(2) 年齢

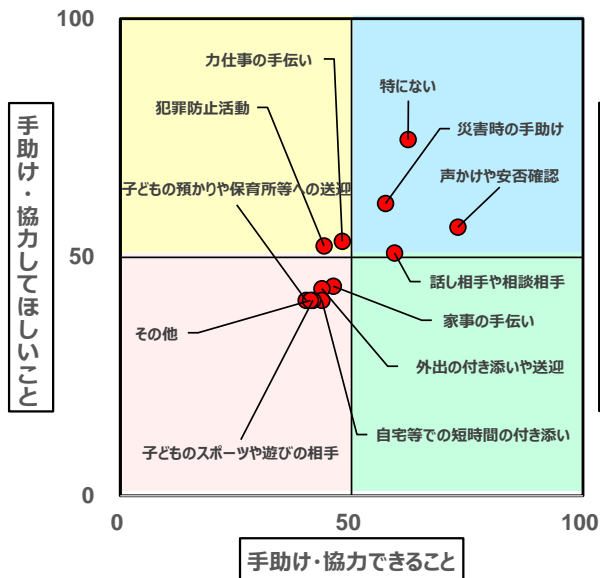


75歳以上

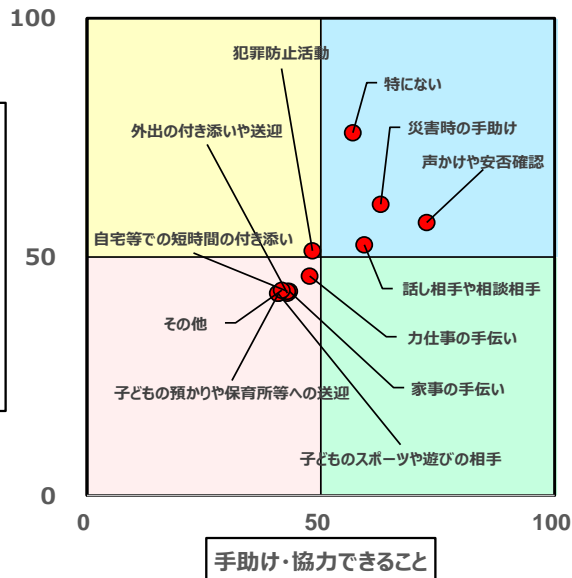


(3) 世帯構成

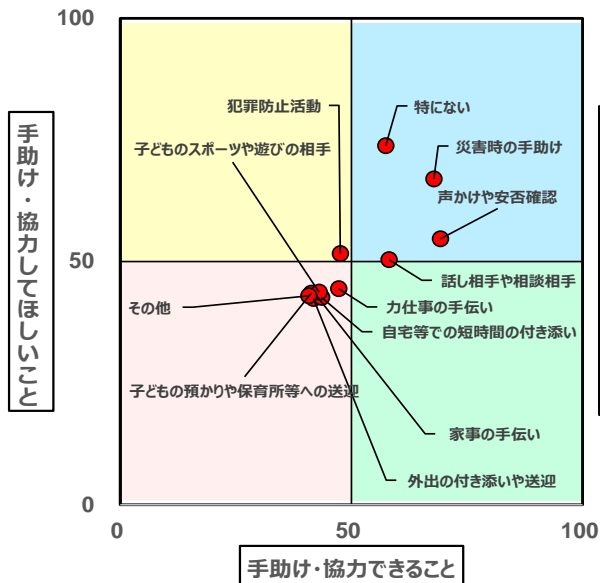
一人暮らし



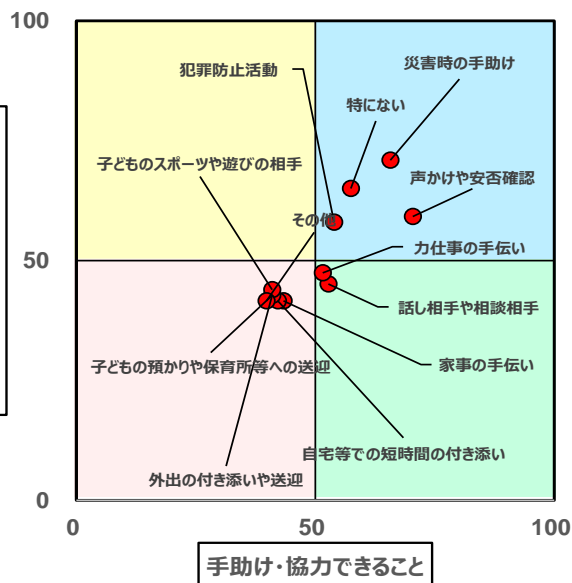
夫婦のみ

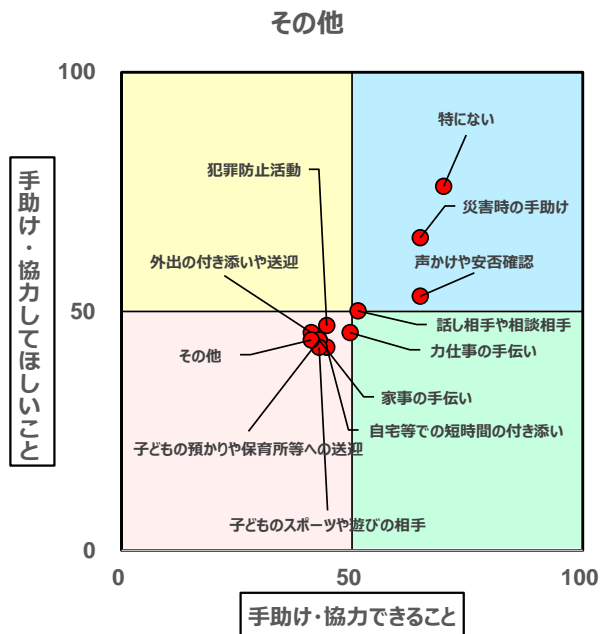


二世帯世帯

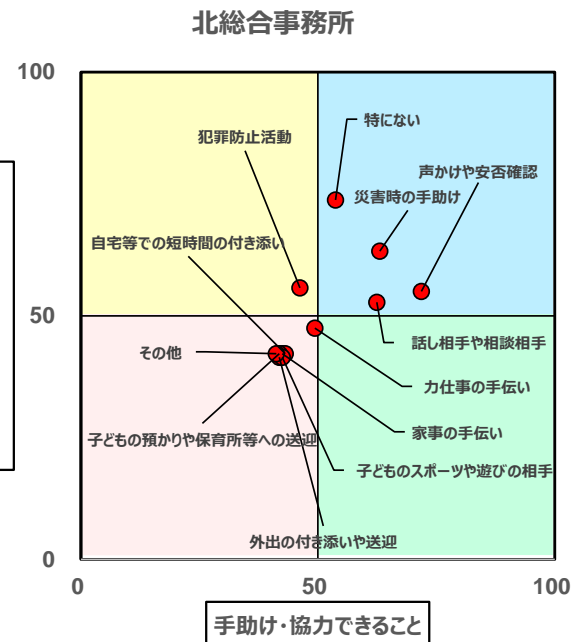
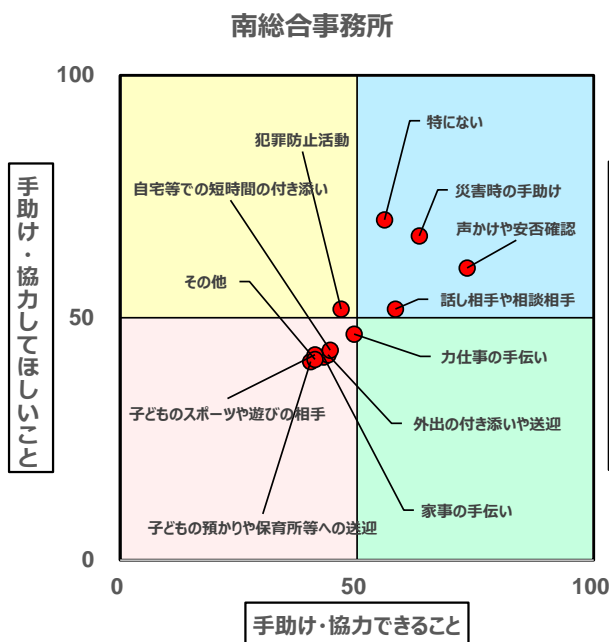
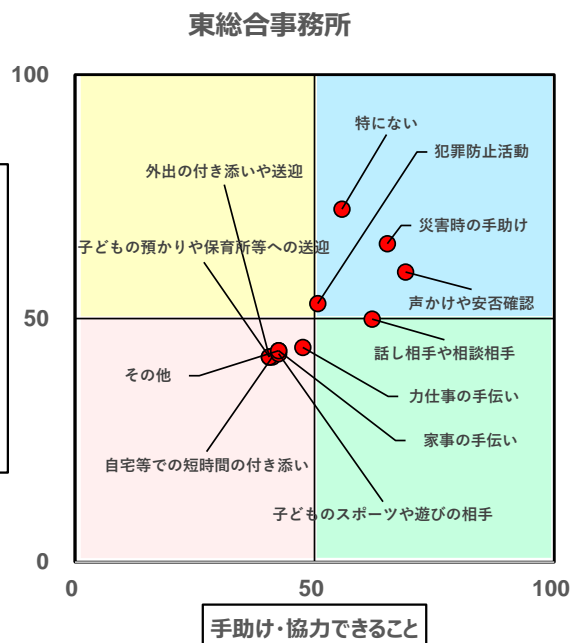
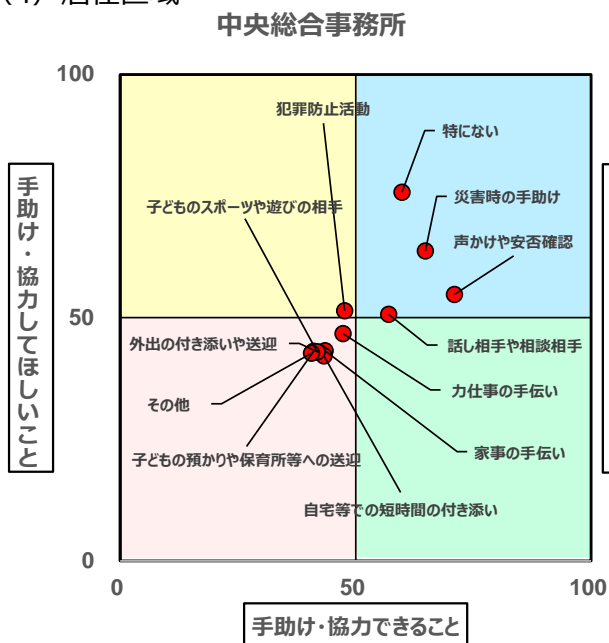


三世帯世帯





(4) 居住区域



4. 地域活動について

(1) 問13(1) 長崎市では、現在、次のような団体が各地域で活動しています。

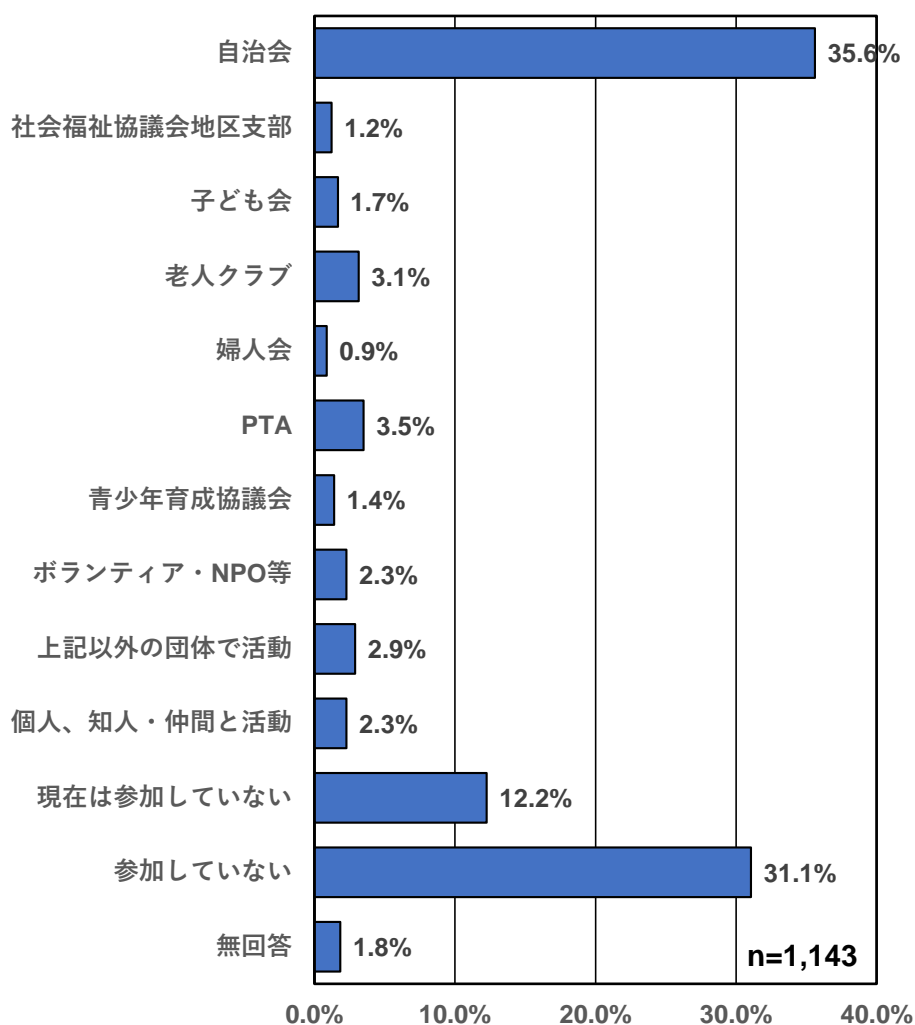
あなたは、これらの活動に参加していますか。

【あてはまるものすべて】

参加している活動は「自治会」が35.6%で最も多く、次いで「PTA」が3.5%、「老人クラブ」が3.1%と続いている。

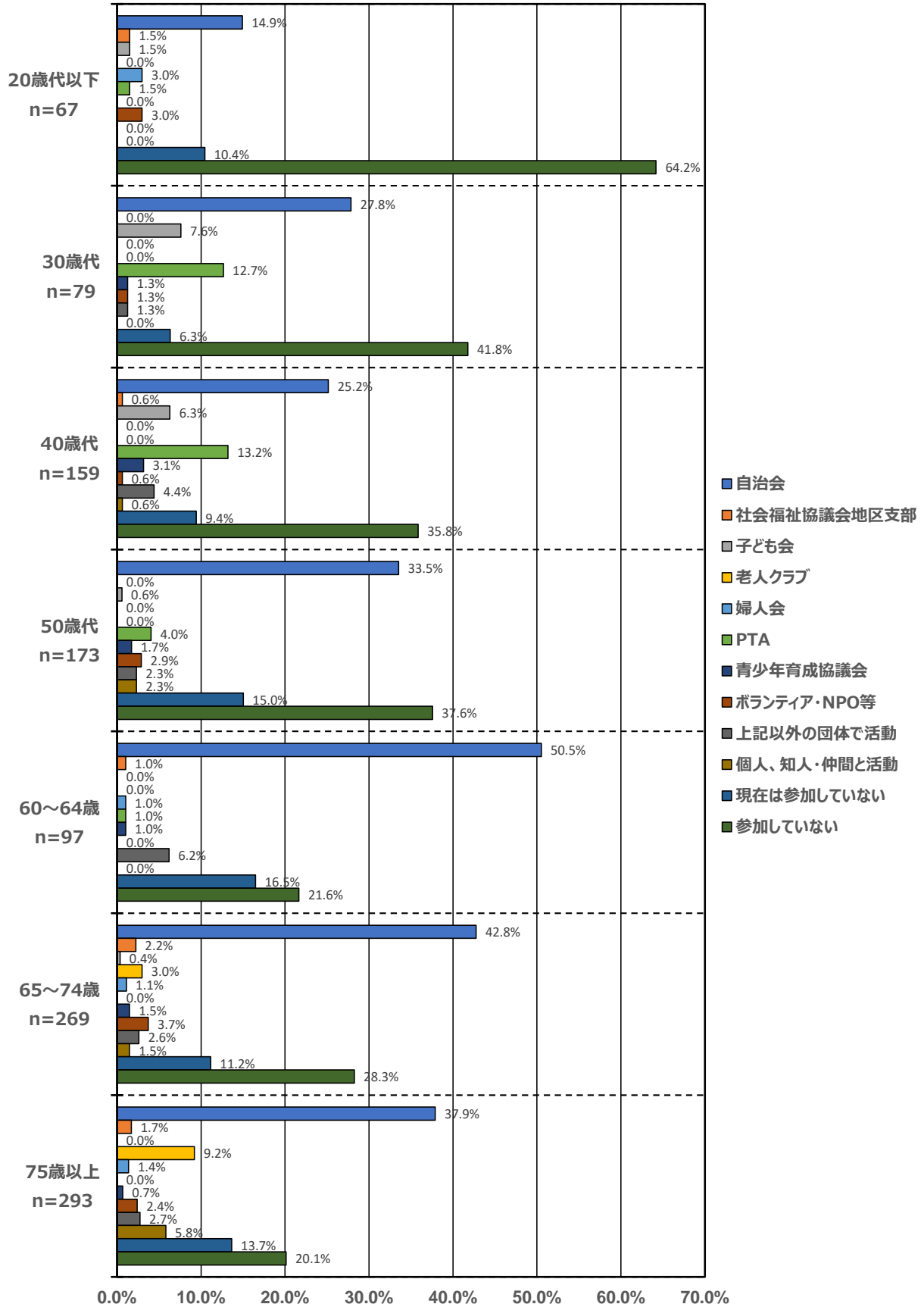
「参加していない」の31.1%と「以前参加していたが、現在は参加していない」の12.2%と無回答の1.8%をあわせた45.1%が現在活動に参加していないということになり、これを差し引くと、何らかの活動に参加している人は54.9%となる。

ア. 全体



年齢別で見ると「自治会」参加は60～64歳をピークに増加し、以降減少している。
 また、「PTA」参加も40歳代をピークに増加し、以降減少となっている。
 一方、20歳代以下は60%以上が「参加していない」と回答している。
 【無回答を除く】

イ. 年齢

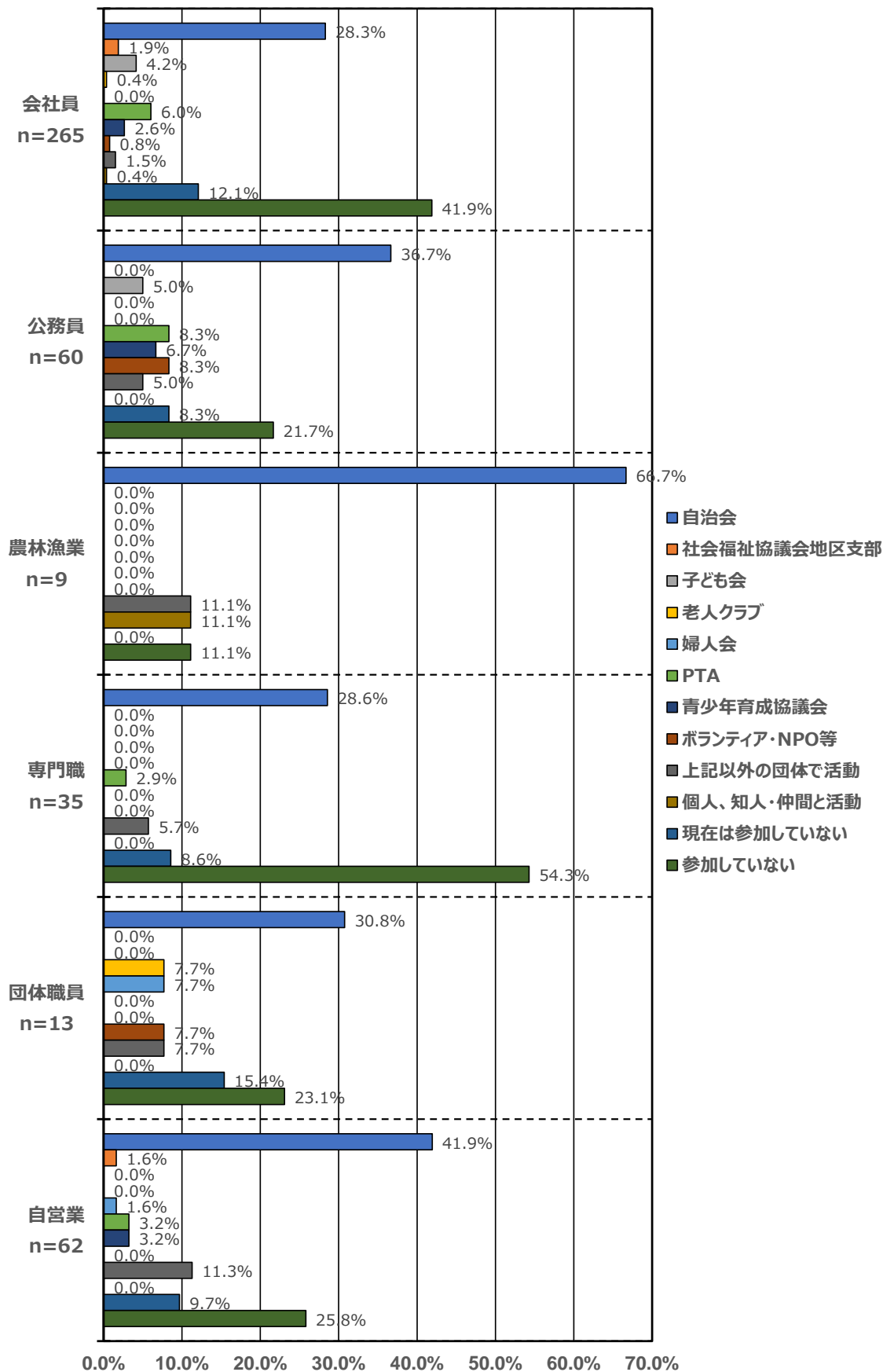


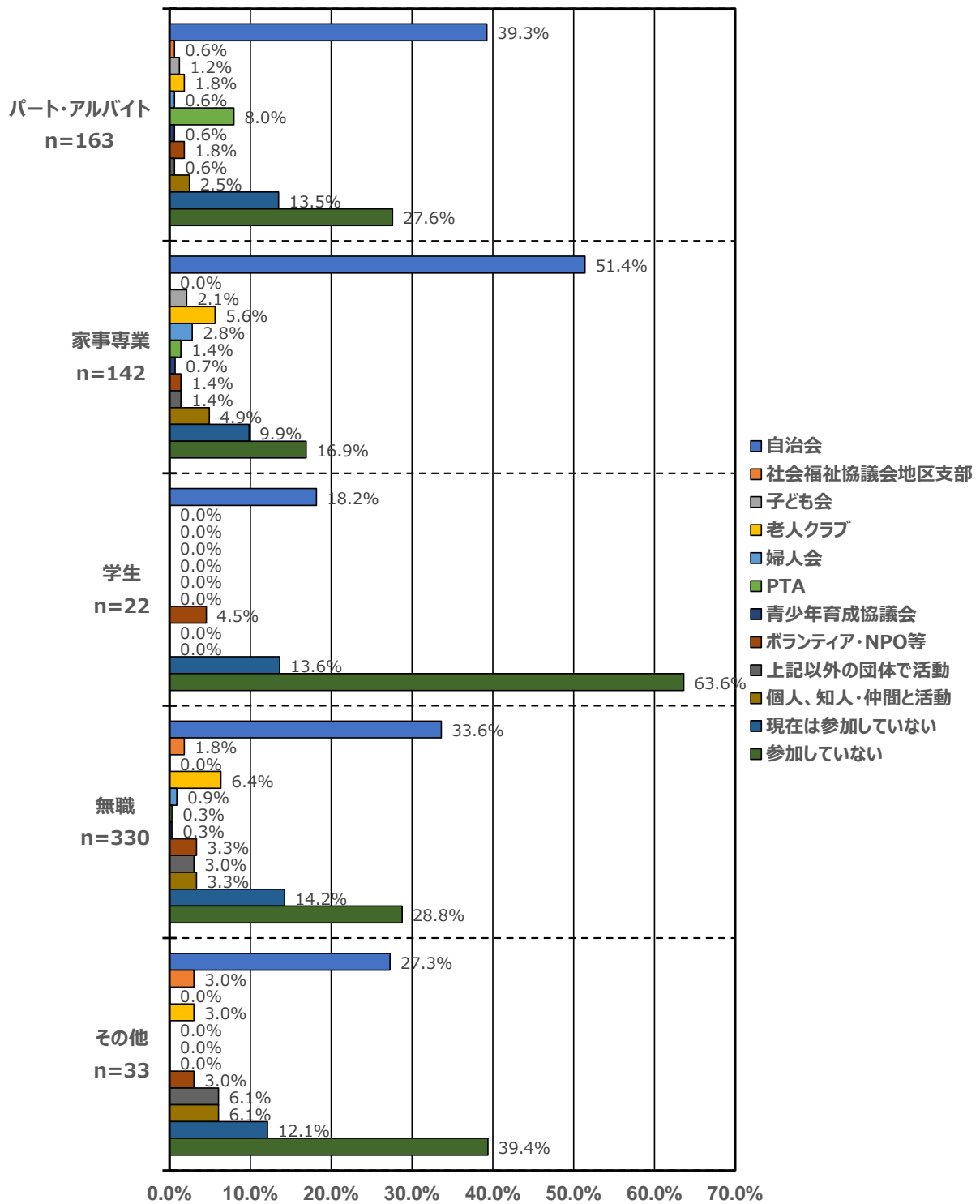
職業別で見ると各区分の母数が少ないものもあるため、ばらつきが多いものもあり、全体との差異がわかりづらい。

「農林漁業」や「団体職員」、「学生」などは特に母数が小さいため、全体との振れ幅が大きい。

【無回答を除く】

ウ. 職業

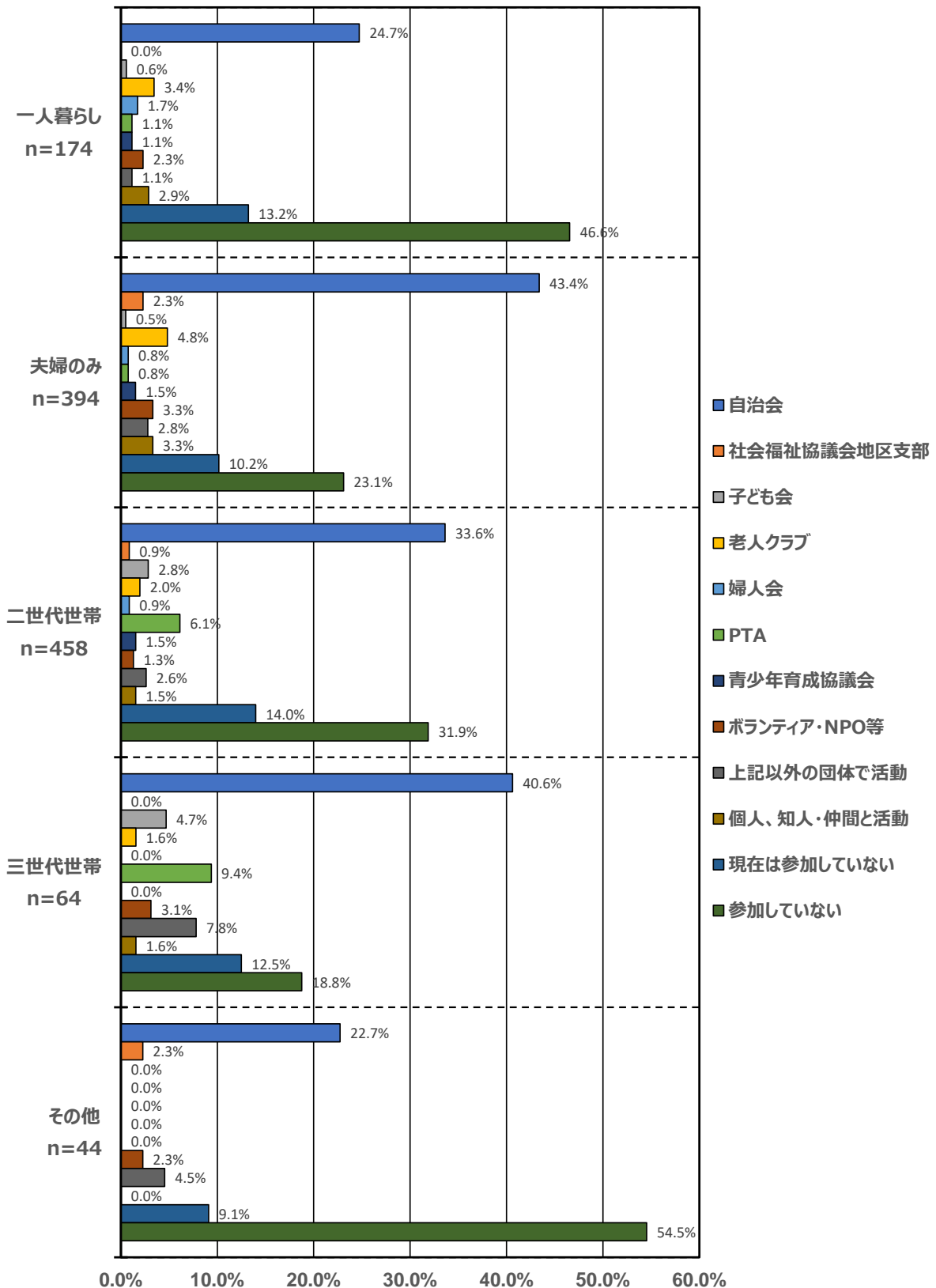




世帯構成別でみると、全体との傾向に相違が見られるのは「一人暮らし」が「参加していない」が第1位項目、参加している団体をみると「夫婦のみ」で「老人クラブ」が第2位項目、二世帯・三世帯世帯で「PTA」が第2位項目となっている。

【無回答を除く】

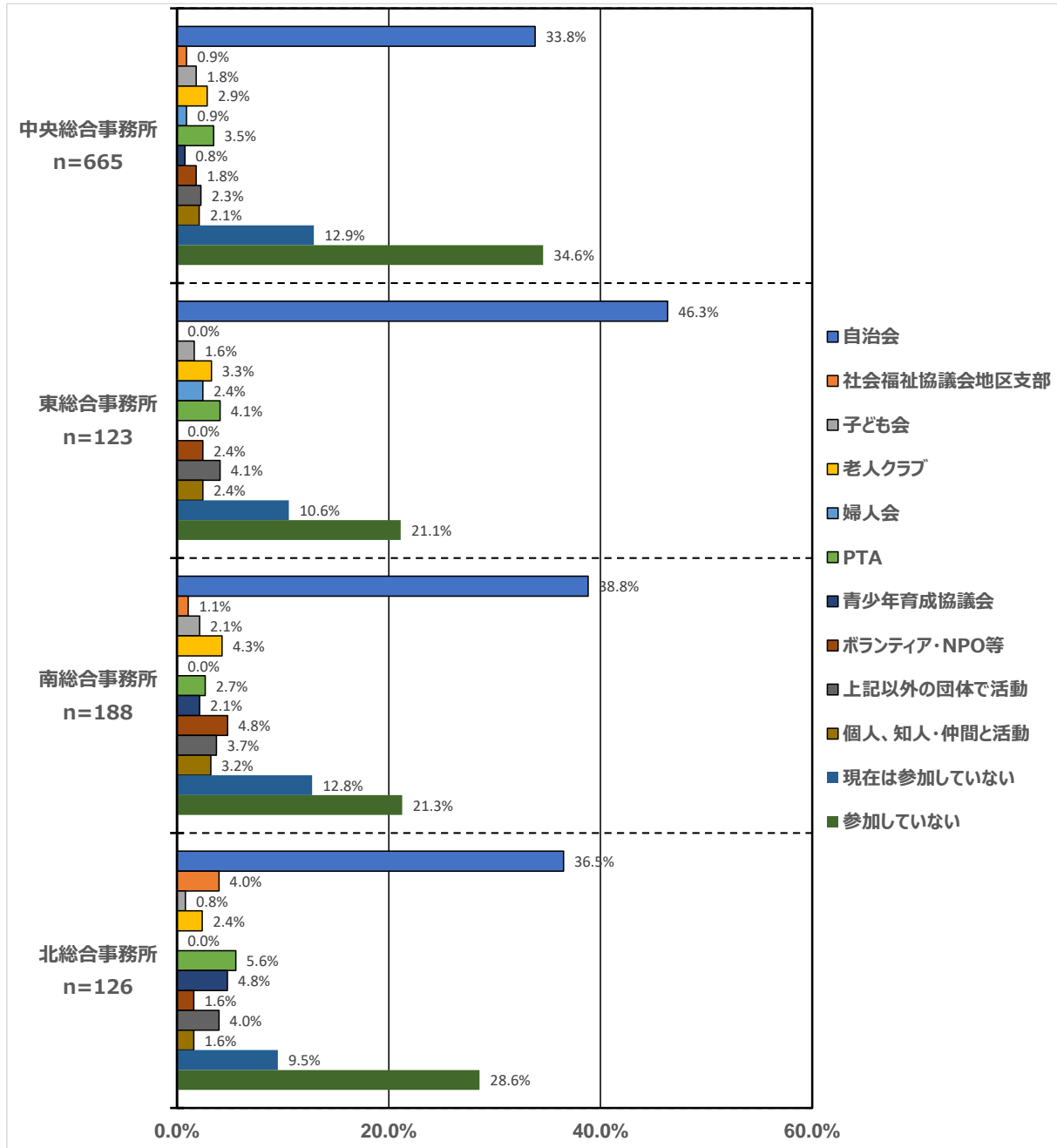
Ⅰ. 世帯構成



居住区域別にみると、「東総合事務所」所管区域で「自治会」参加率が最も高く、一方「中央総合事務所」所管区域で「参加していない」率が最も高い。

【わからない・無回答を除く】

オ. 居住区域

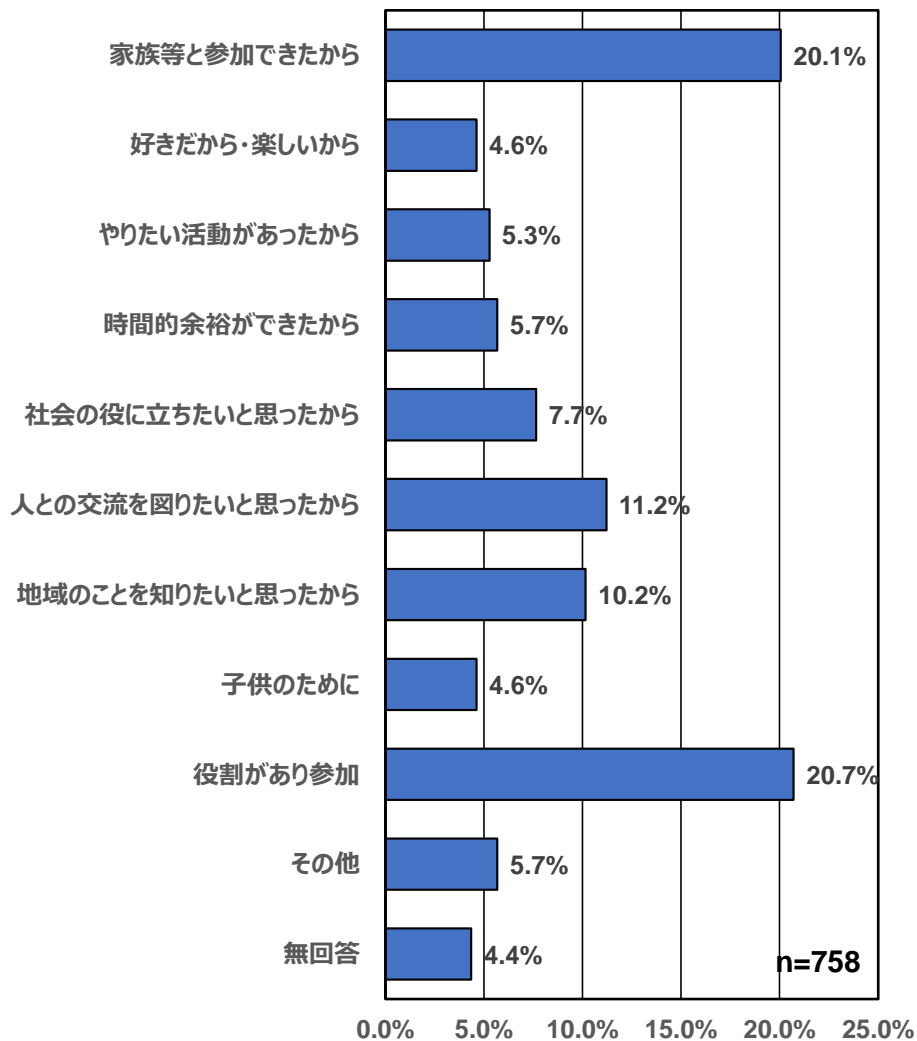


(2) 問13(2) [活動に参加していると答えた方にお聞きます] その理由は何ですか
【あてはまるものすべて】

地域活動に参加している理由は、「役割があり参加している」が第1位、「家族等と参加できたから」が第2位であった。

一方、積極的な参加理由としては、「人との交流を図りたいから」、「地域のことを知りたいと思ったから」がそれぞれ10%以上の結果となっている。

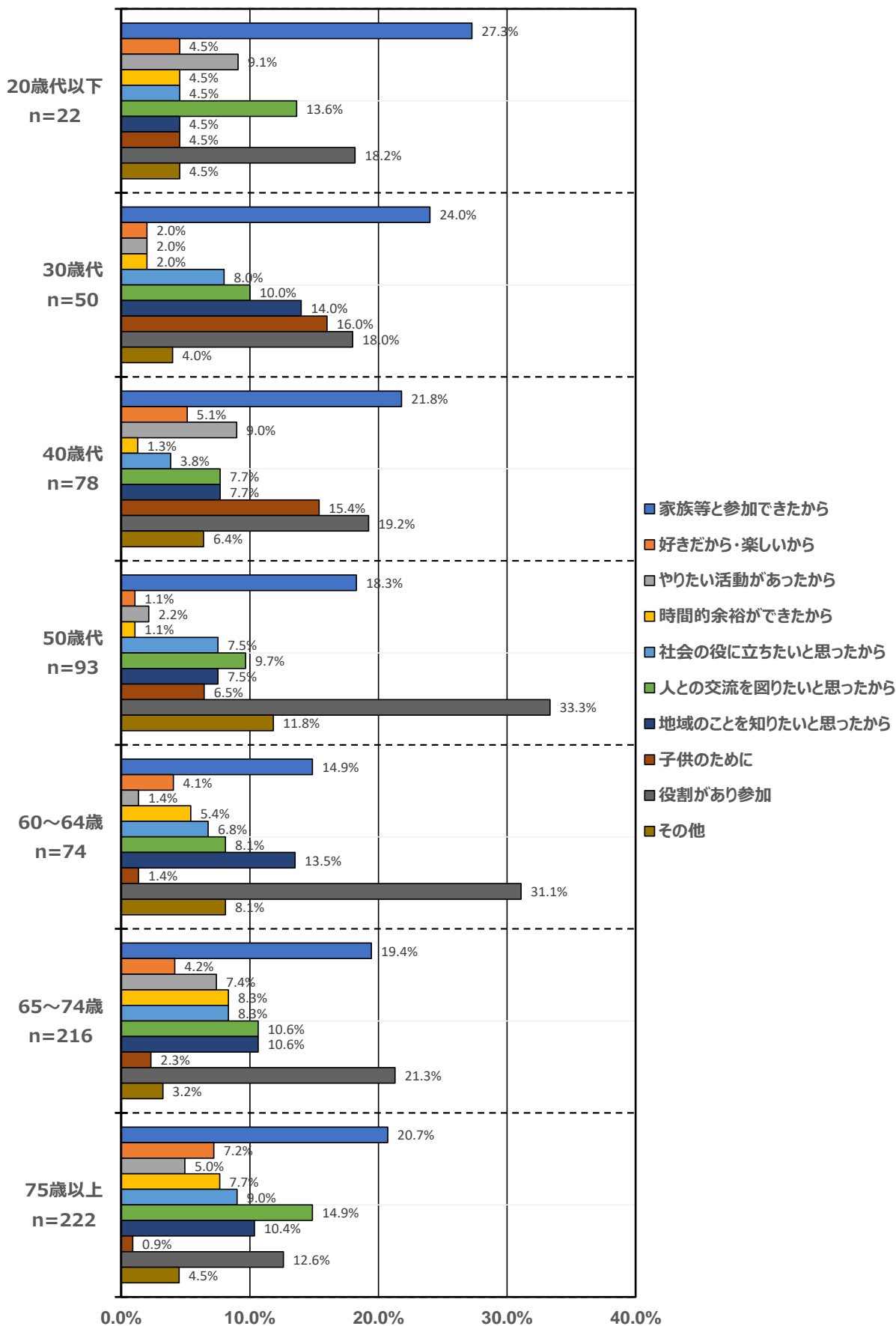
ア. 全体



年齢別でみた参加理由で、「家族等と一緒に参加できたから」は20歳代以下がピークで、年齢とともに減少し、「役割があり参加した」は年齢とともに上昇し、50歳代がピークである。

【無回答を除く】

イ. 年齢

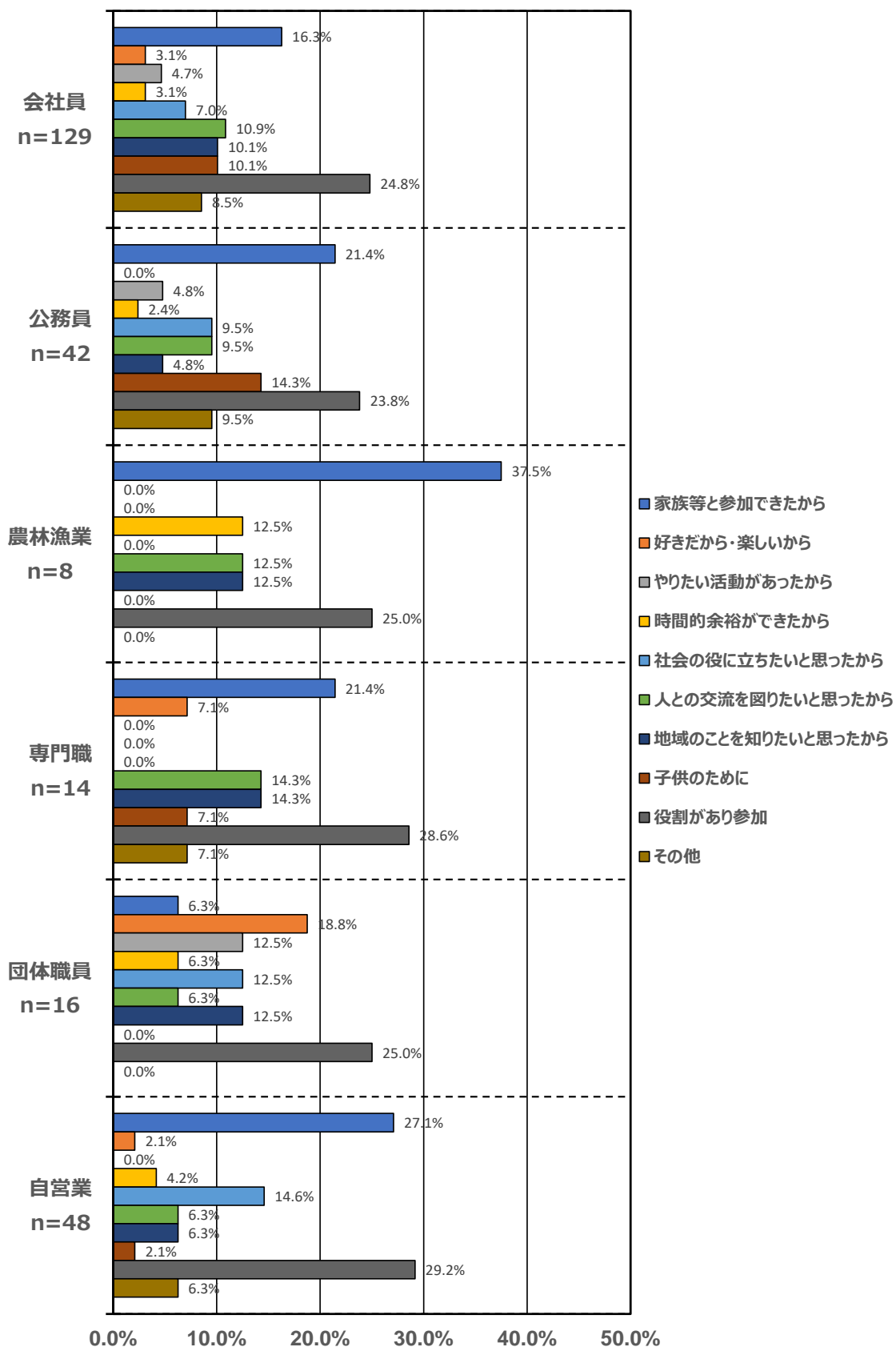


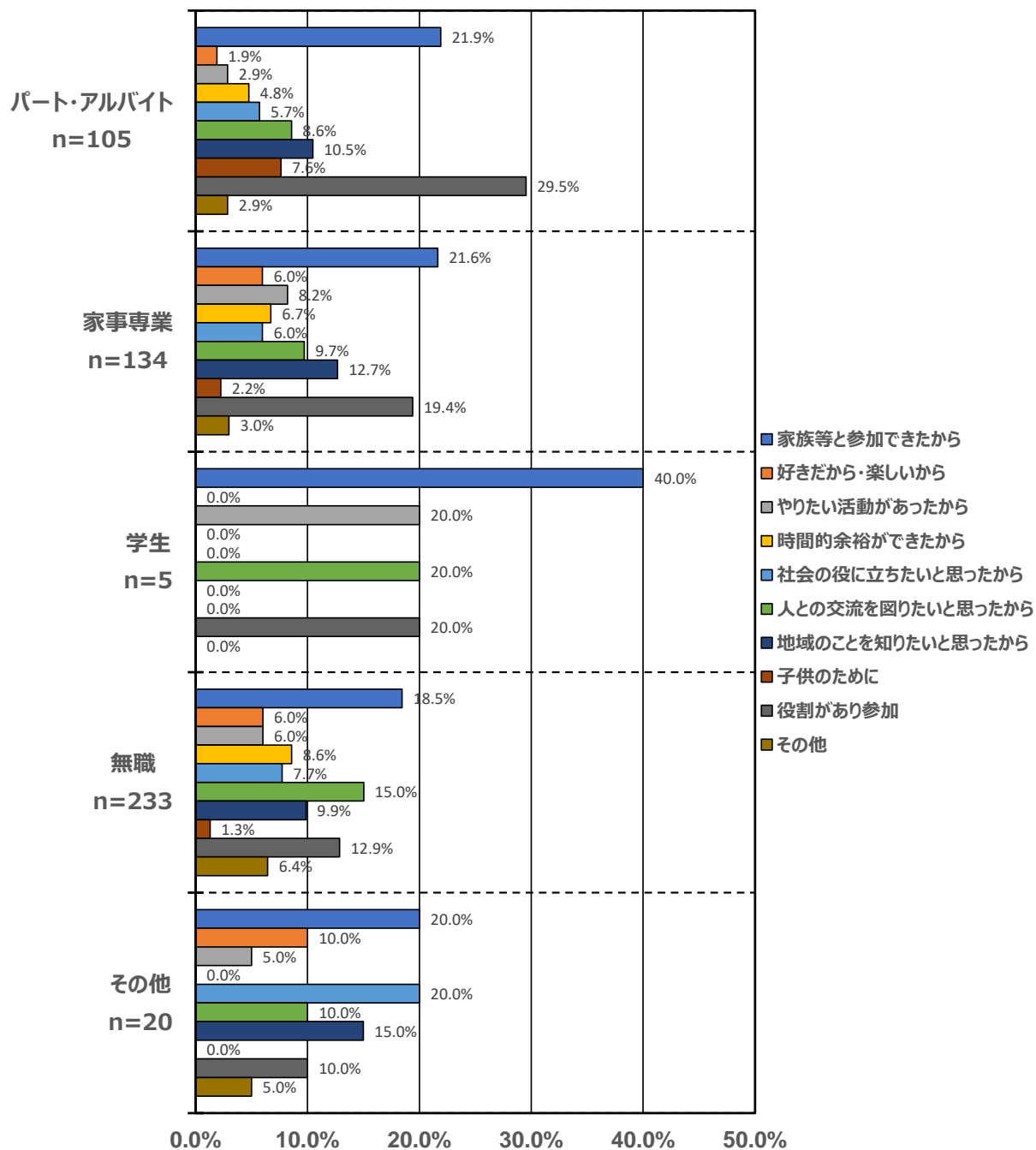
職業別に、地域活動に参加した理由をみると、「役割があり参加している」が、ほぼ上位に位置しており、「家族等と一緒に参加できたから」も、これに近い。

「家事専業」の場合は、「家族等と一緒に参加できたから」が1位、「役割があり参加している」が2位である。

【無回答を除く】

ウ. 職業

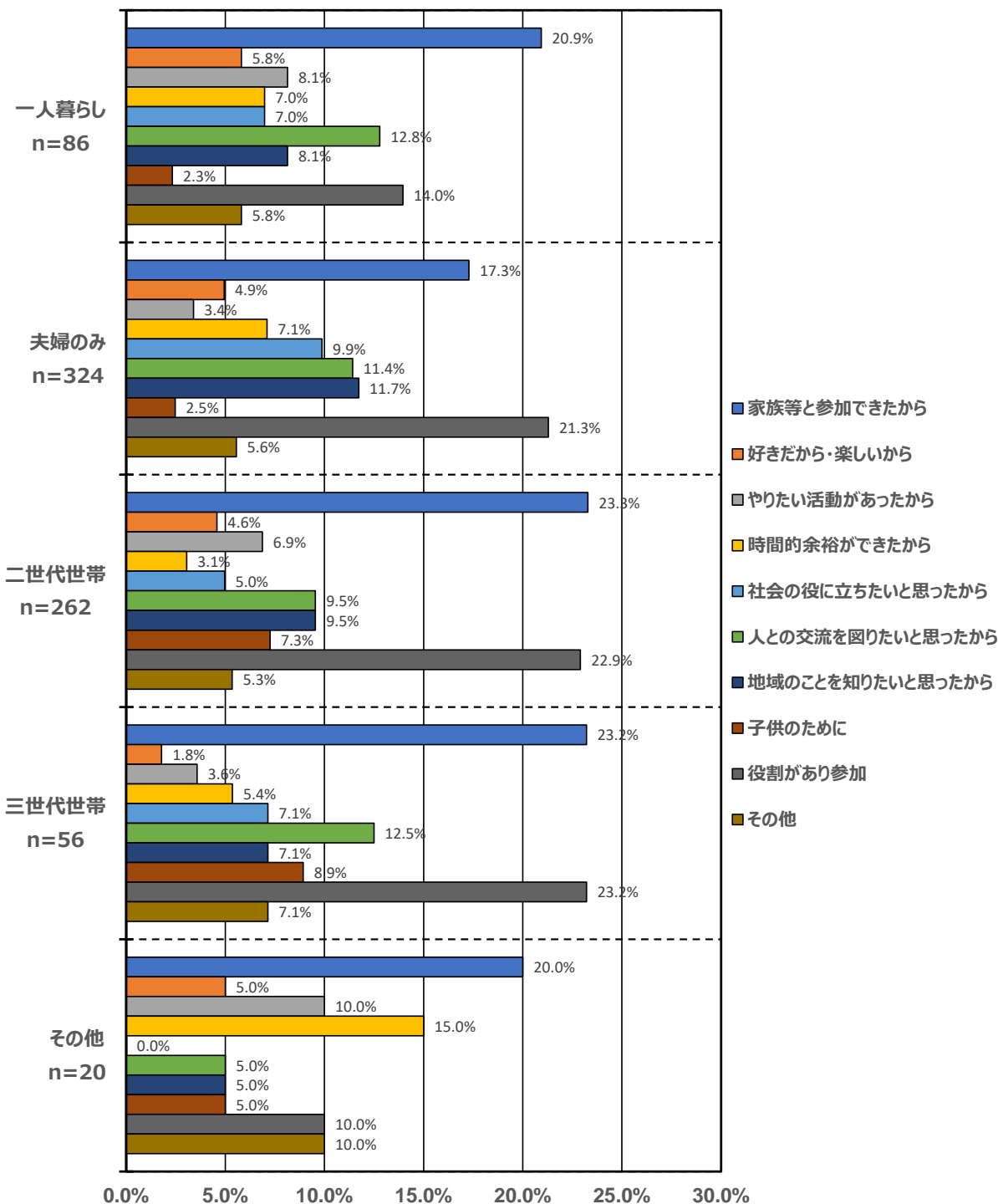




世帯別にみると、全ての世帯において、参加理由は「家族等と一緒に参加できたから」、「役割があり参加している」が上位であるが、能動的な参加理由として、「人との交流を図りたいと思ったから」が比較的が多い。

【無回答を除く】

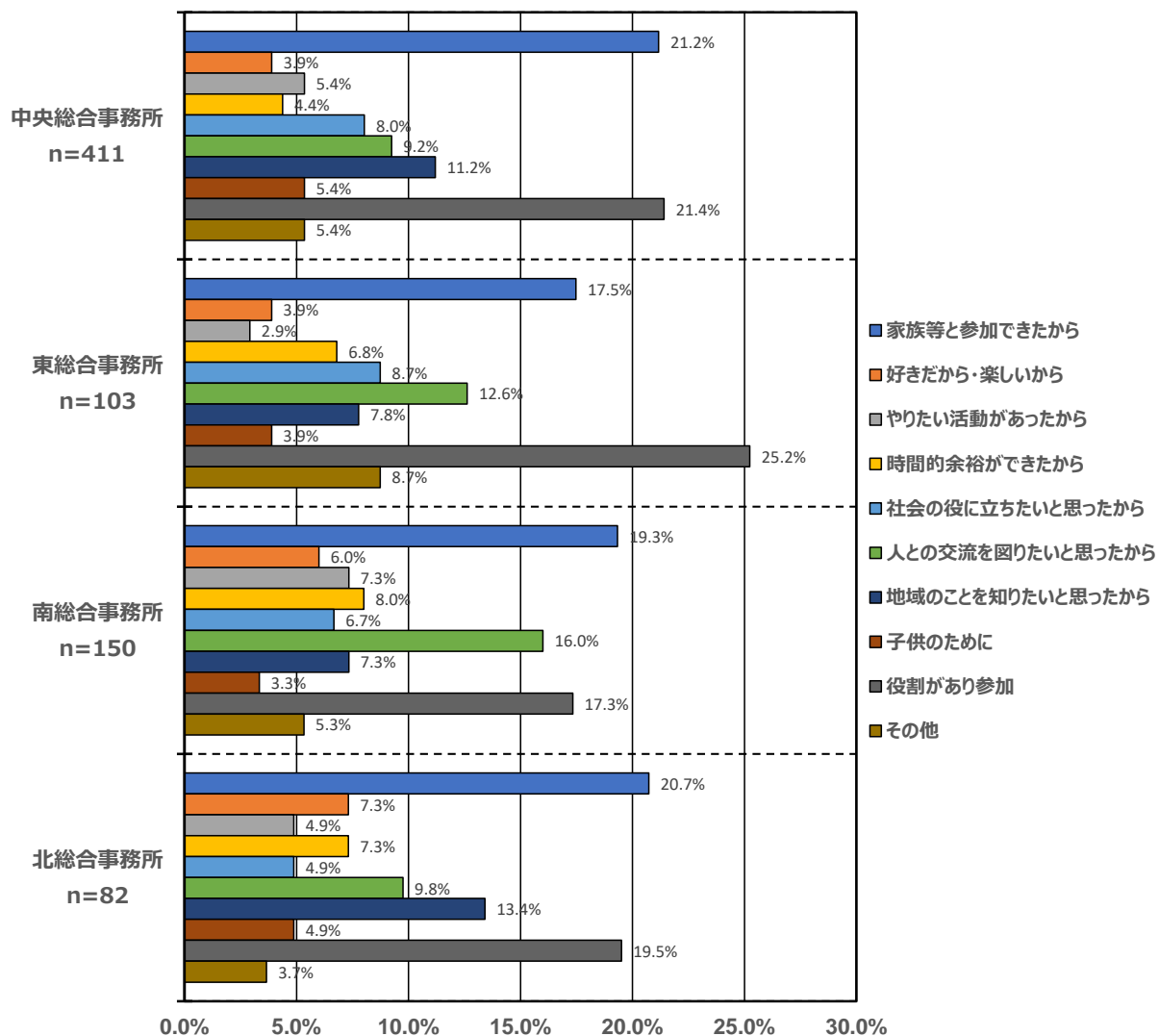
Ⅰ. 世帯構成



居住区域別にみても、参加理由は全体の傾向と似通っている。

【わからない・無回答を除く】

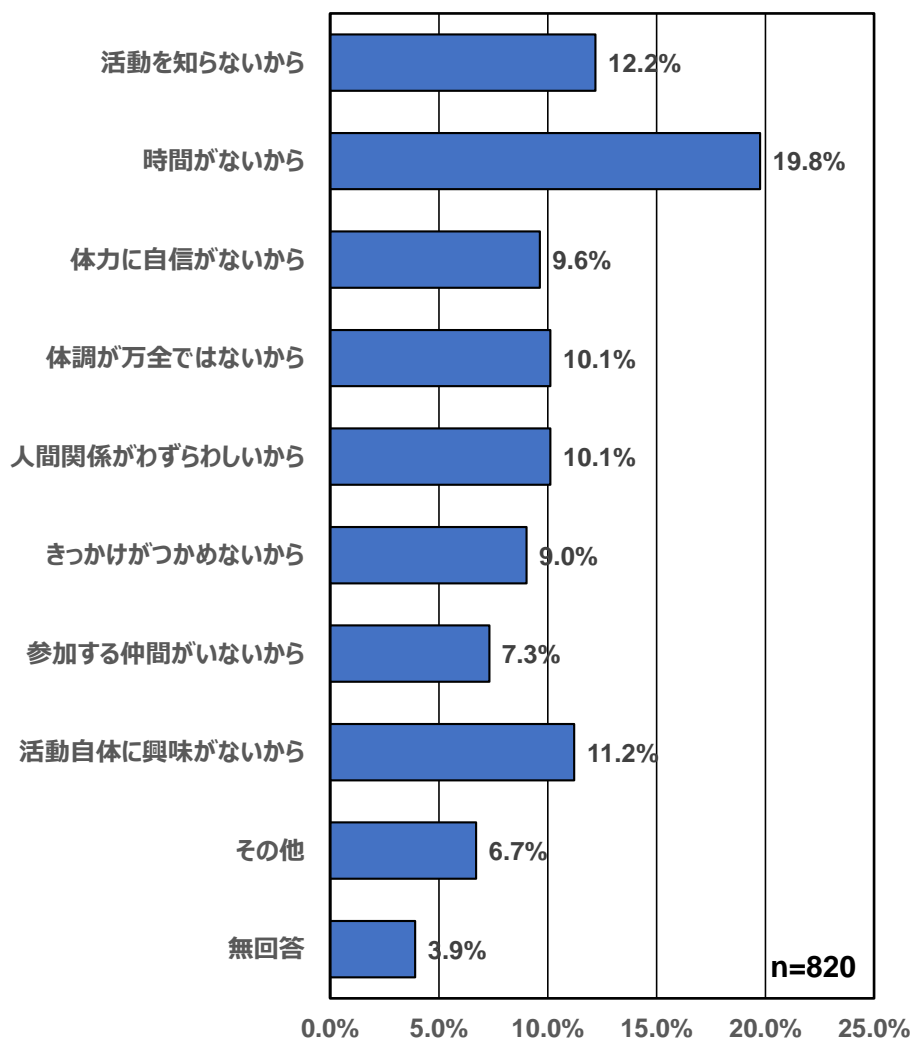
オ. 居住区域



(3) 問13(3) [活動に参加していないと答えた方にお聞きます] その理由は何ですか
【あてはまるものすべて】

活動に参加していない理由は「時間がないから」が19.8%で最も多く、次いで「活動を知らないから」が12.2%、「活動自体に興味がないから」が11.2%と続いている。

ア. 全体

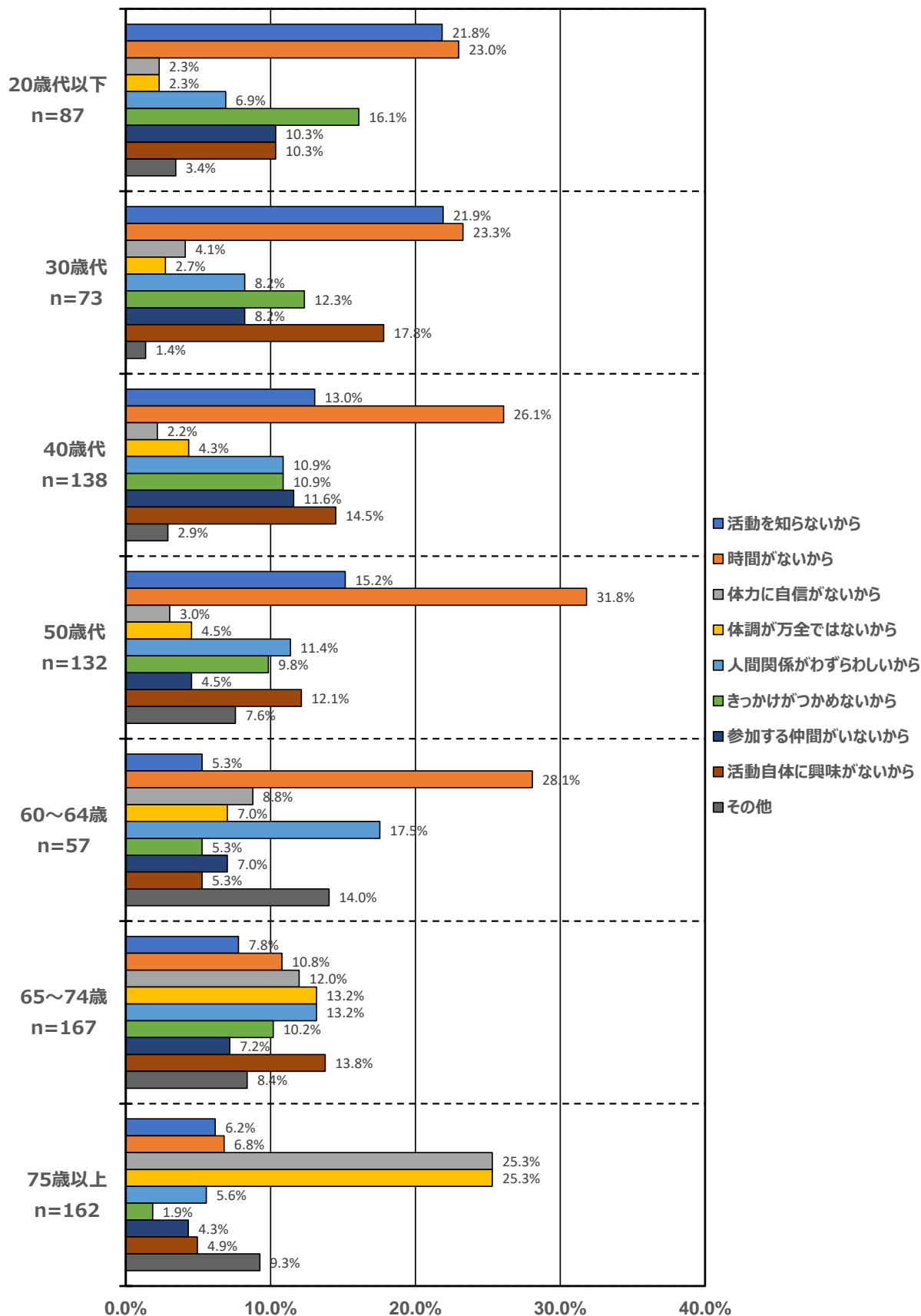


年齢別で見ると「時間がないから」は50歳代がピークであり、以降は年齢の上昇とともに減少傾向にあり、逆に「体力に自信がないから」は60～64歳以降、年齢の上昇とともに増加傾向にある。

一方、「これらの活動を知らないから」は20歳代以下～30歳代に多い。

【無回答を除く】

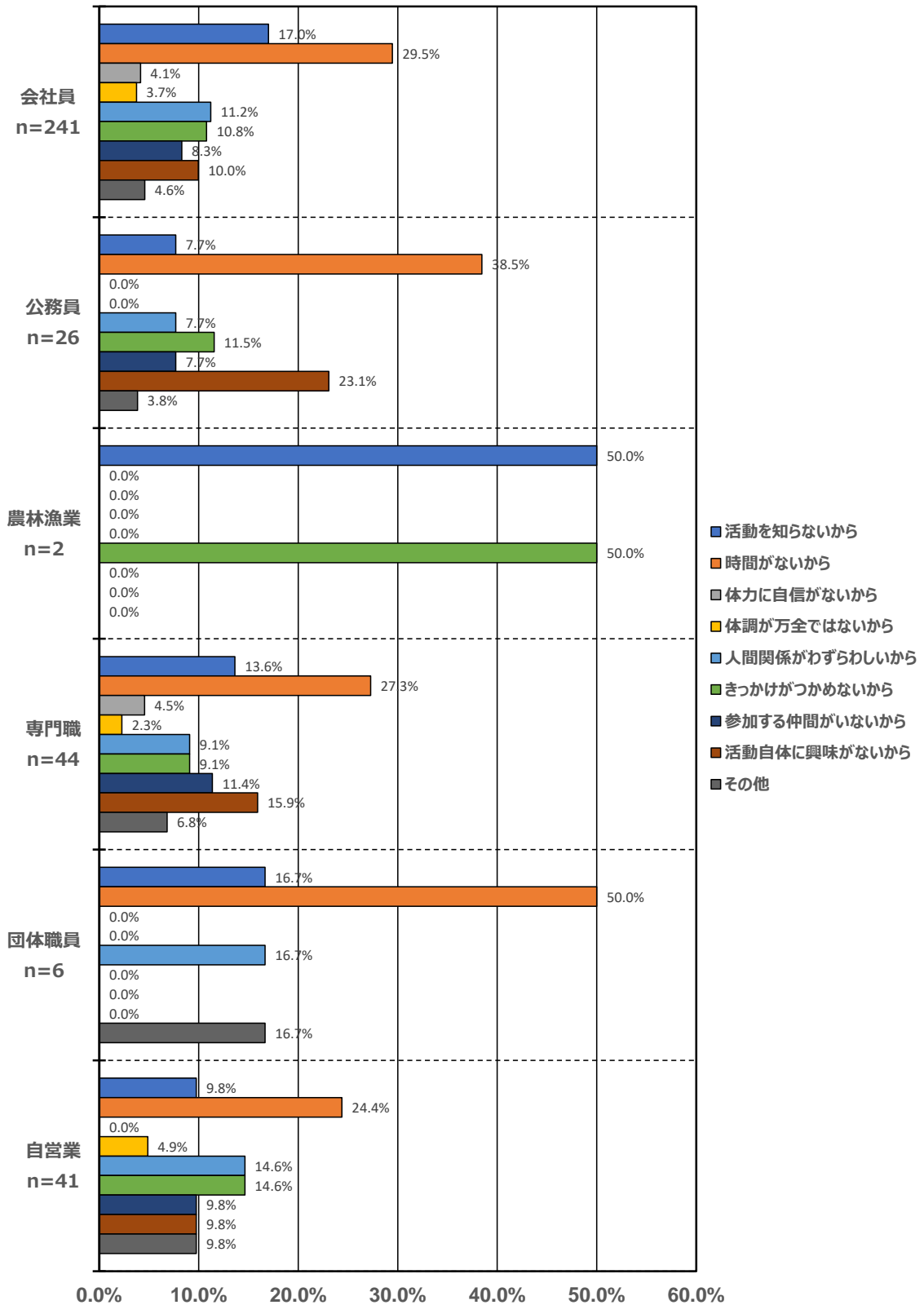
イ. 年齢

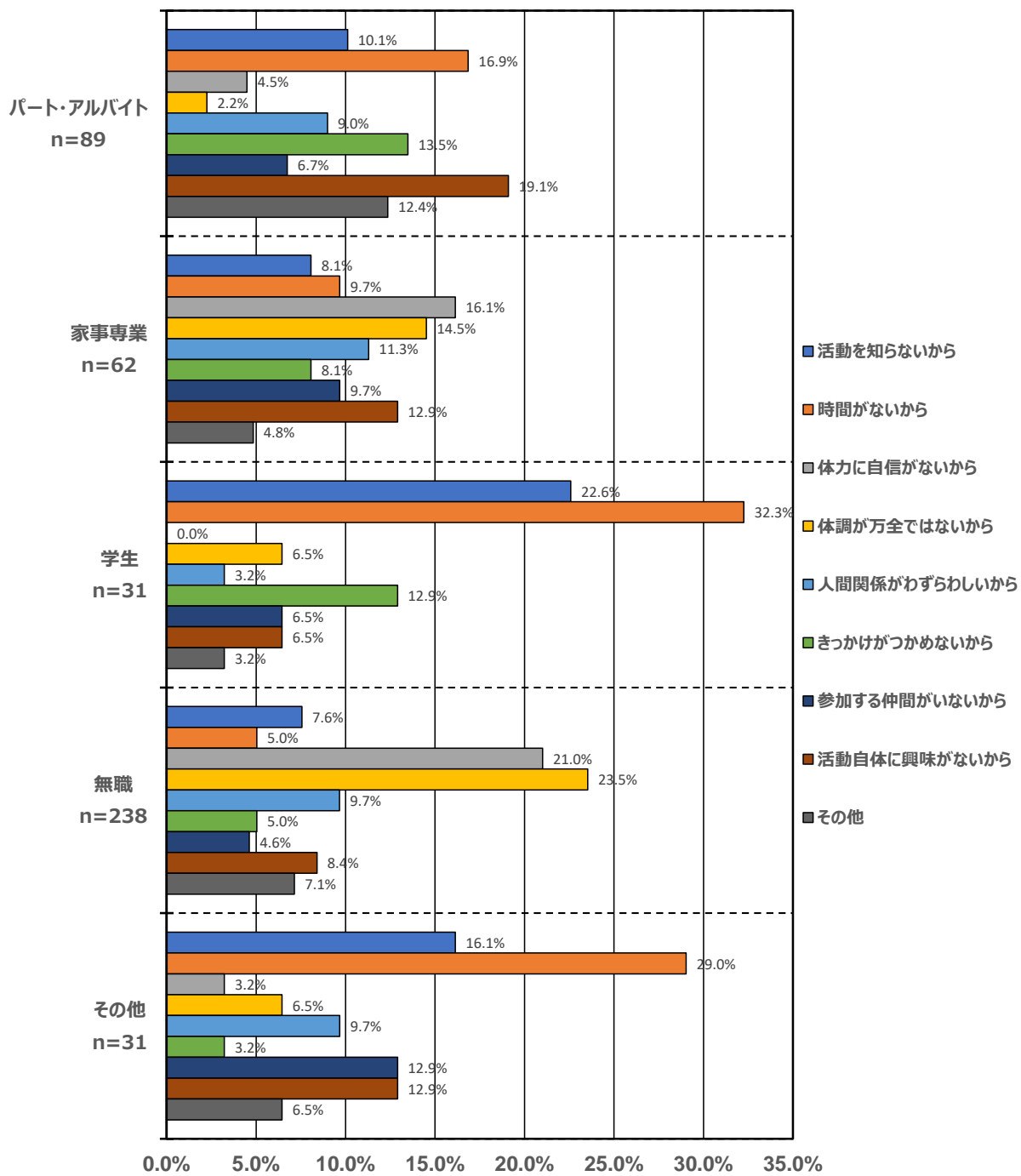


職業別で見ると各区分の母数が少ないものもあるため、ばらつきが大きくなっているが、ある程度の母数のある区分でみると「パート・アルバイト」で「活動自体に興味が無いから」が第1位、「家事専業」・「無職」で「体力に自信がないから」、「体調が万全でないから」が1、2位の項目となっている。

【無回答を除く】

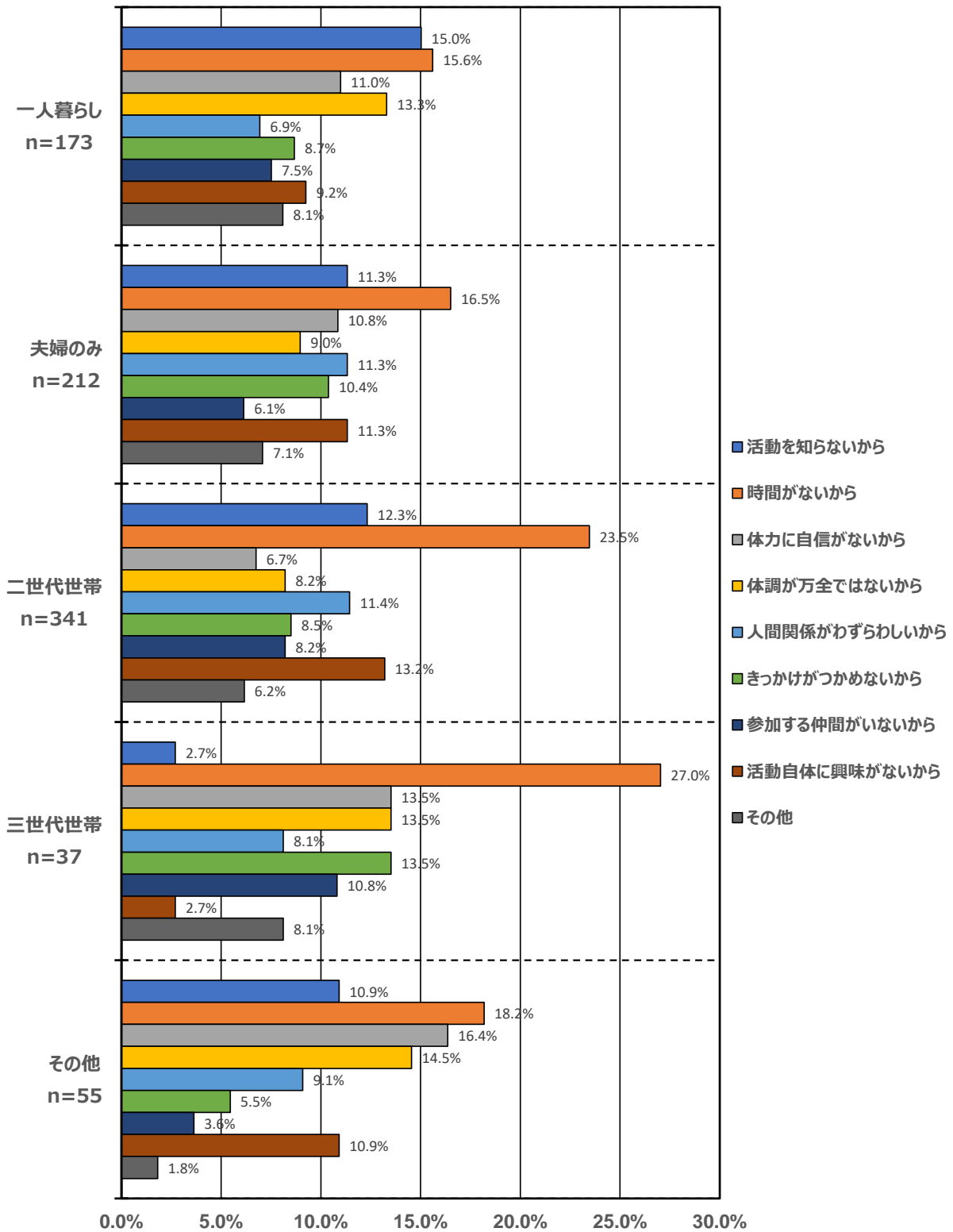
ウ. 職業





世帯構成別でみると、二世帯・三世帯世帯が、「時間がないから」が多い。
【無回答を除く】

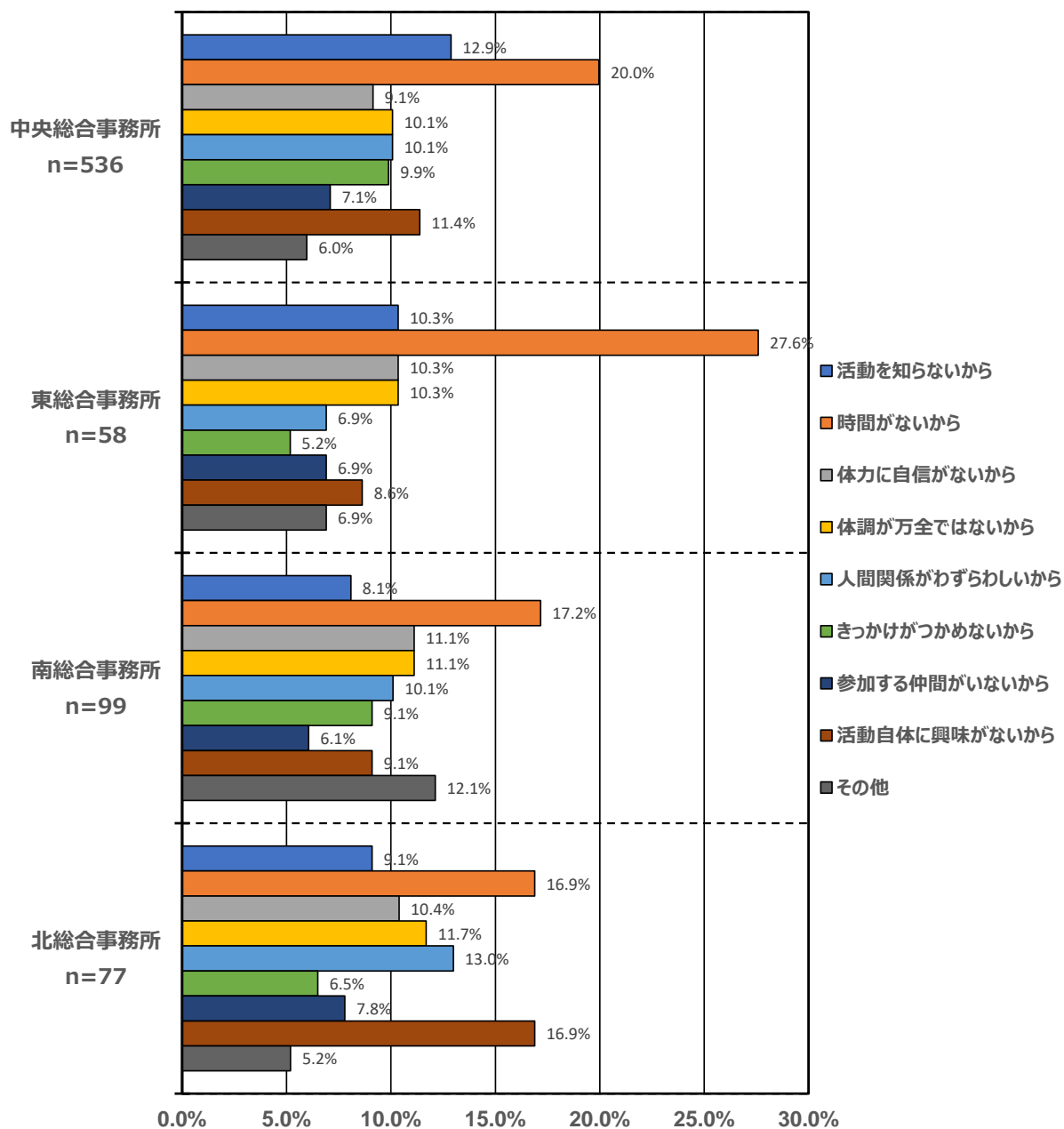
Ⅰ. 世帯構成



居住区域で見ると、「東事務所」所管区域で「時間がないから」が27.6%で他の理由を大きく上回る第1位となっており、「北総合事務所」所管区域では、「活動自体に興味がない」との回答が他地域に比べて多い。

【わからない・無回答を除く】

オ. 居住区域



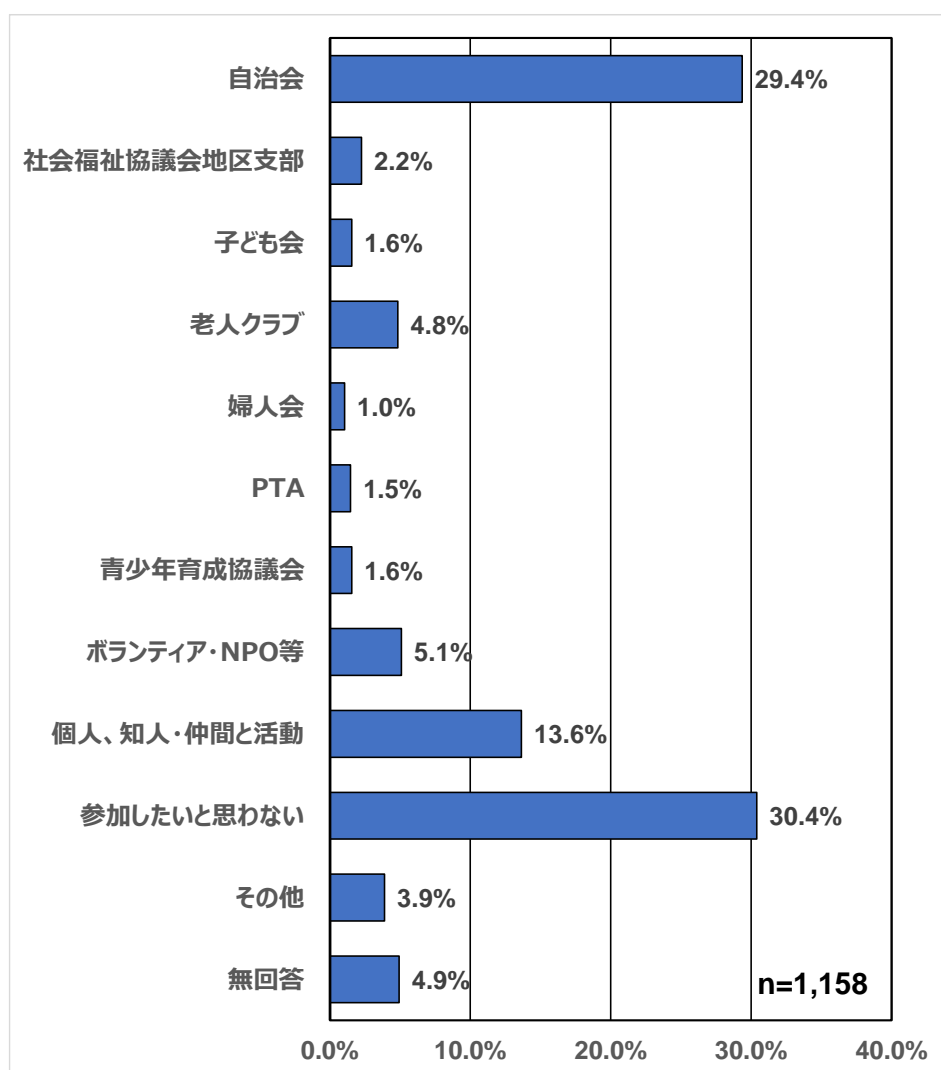
(4) 問14 あなたは、今後、どのような地域での活動に参加したいと思いますか

【あてはまるものすべて】

今後参加したい活動は「自治会」が29.4%で最も多く、次いで「個人、知人・仲間と活動したい」が13.6%、「ボランティア・NPO等」が5.1%と続いている。

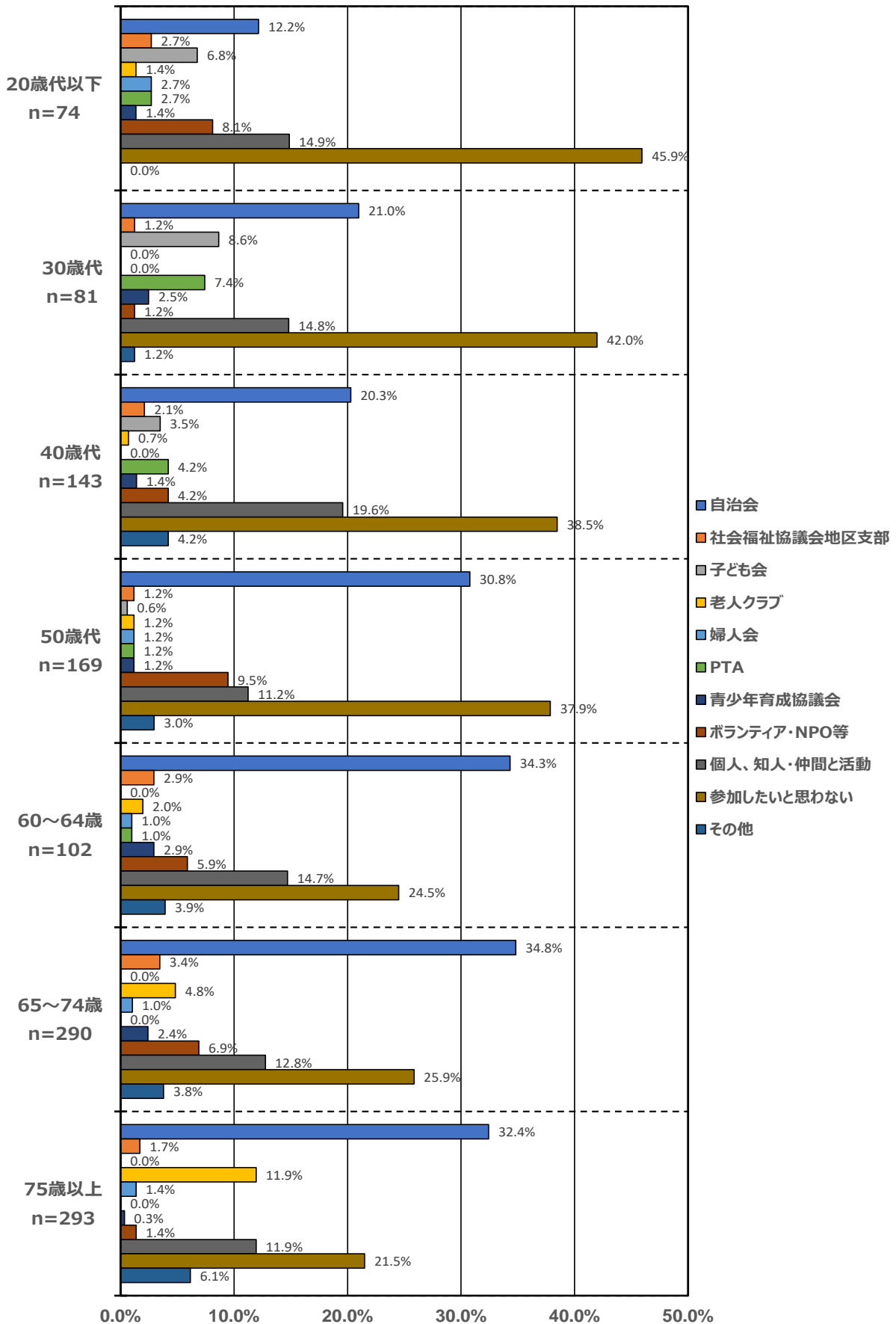
一方、「参加したいとは思わない」は30.4%となっており、無回答の4.9%をあわせた35.3%を差し引くと、今後何らかの活動に参加したい（続けていきたい）人は64.7%となる。

ア. 全体



年齢別で見ると「自治会」は65～74歳まで年齢の上昇とともに増加し、以降減少しており、また、「参加したいとは思わない」は、逆に年齢の上昇とともに減少している。
【無回答を除く】

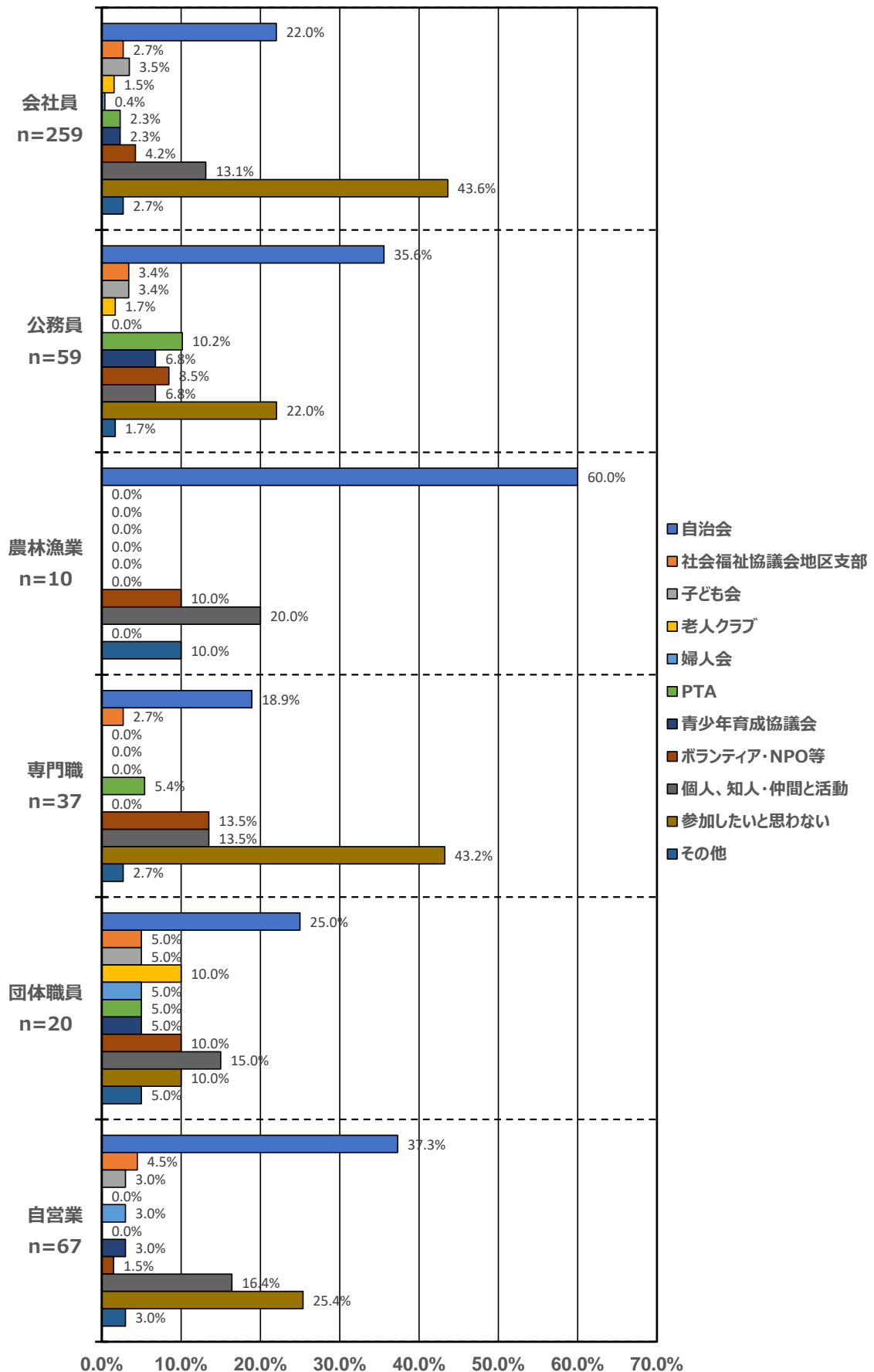
イ. 年齢

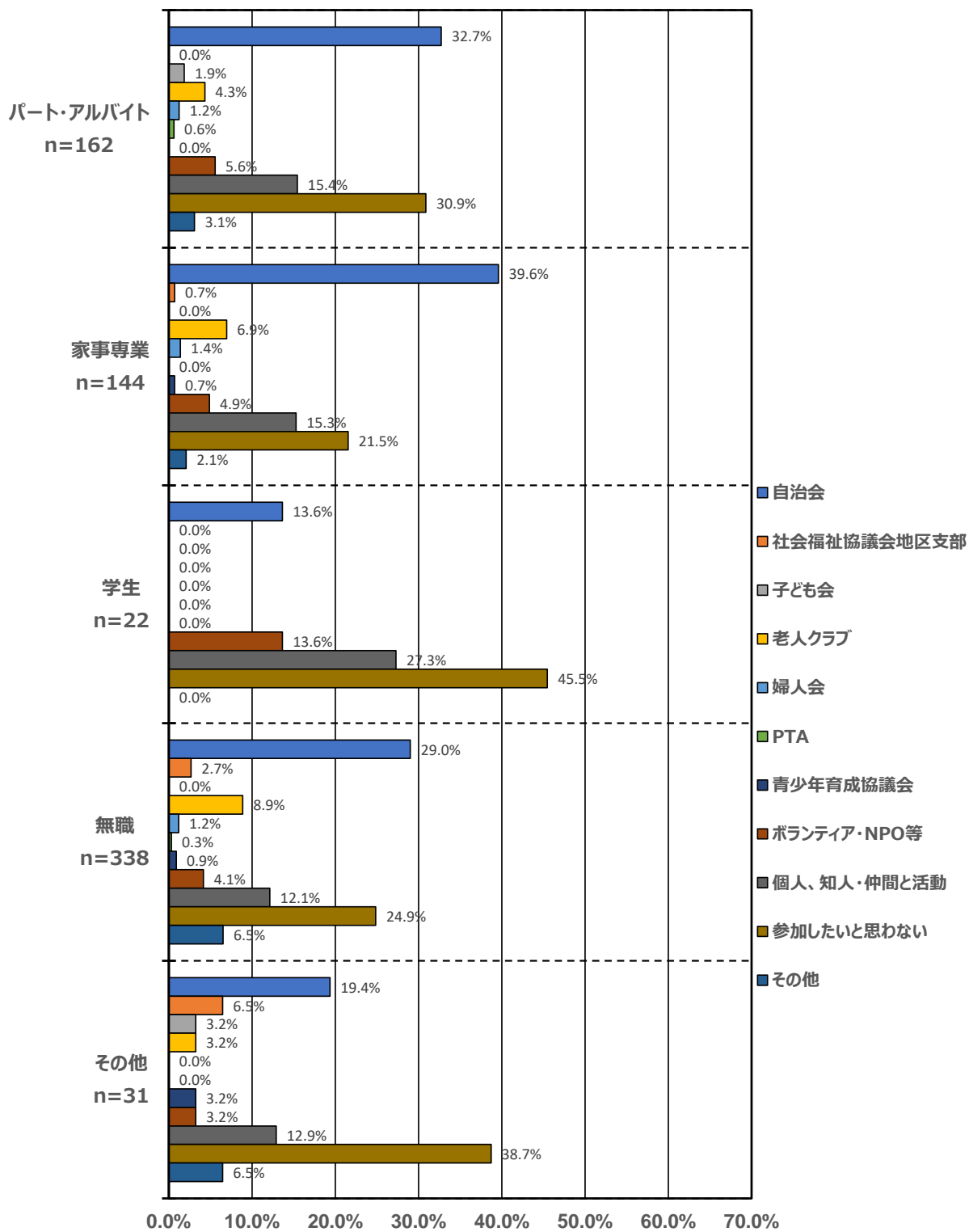


職業別で見ると、ある程度の母数のある区分で、「参加したいと思わない」が「会社員」で第1位となっている。

【無回答を除く】

ウ. 職業

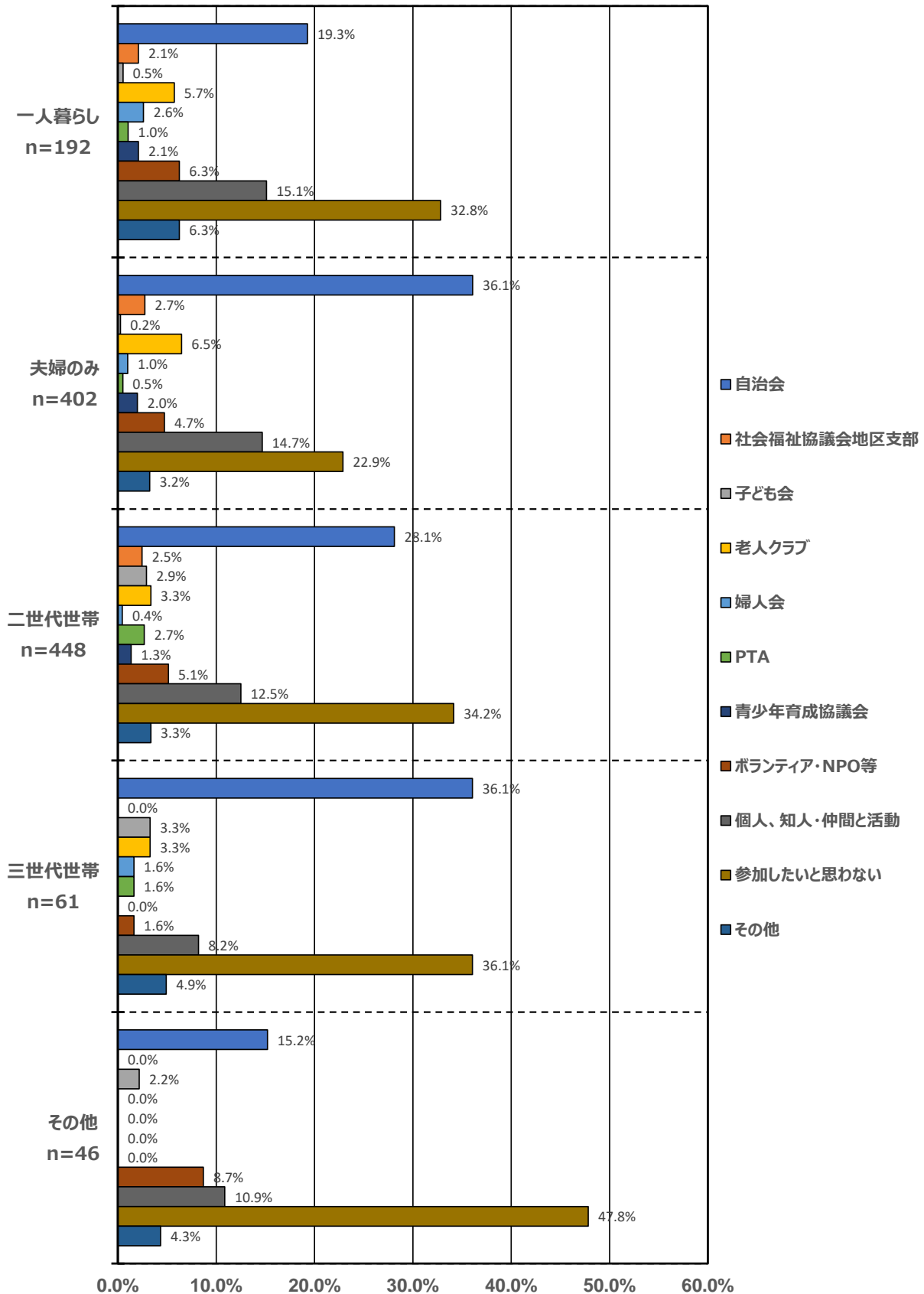




世帯構成別でみると、「夫婦のみ」、「二世世代世帯」、「三世世代世帯」で、「自治会」への参加が上位となっている半面、「参加したいと思わない」が、ほぼ同程度の割合で存在している。

【無回答を除く】

Ⅰ. 世帯構成

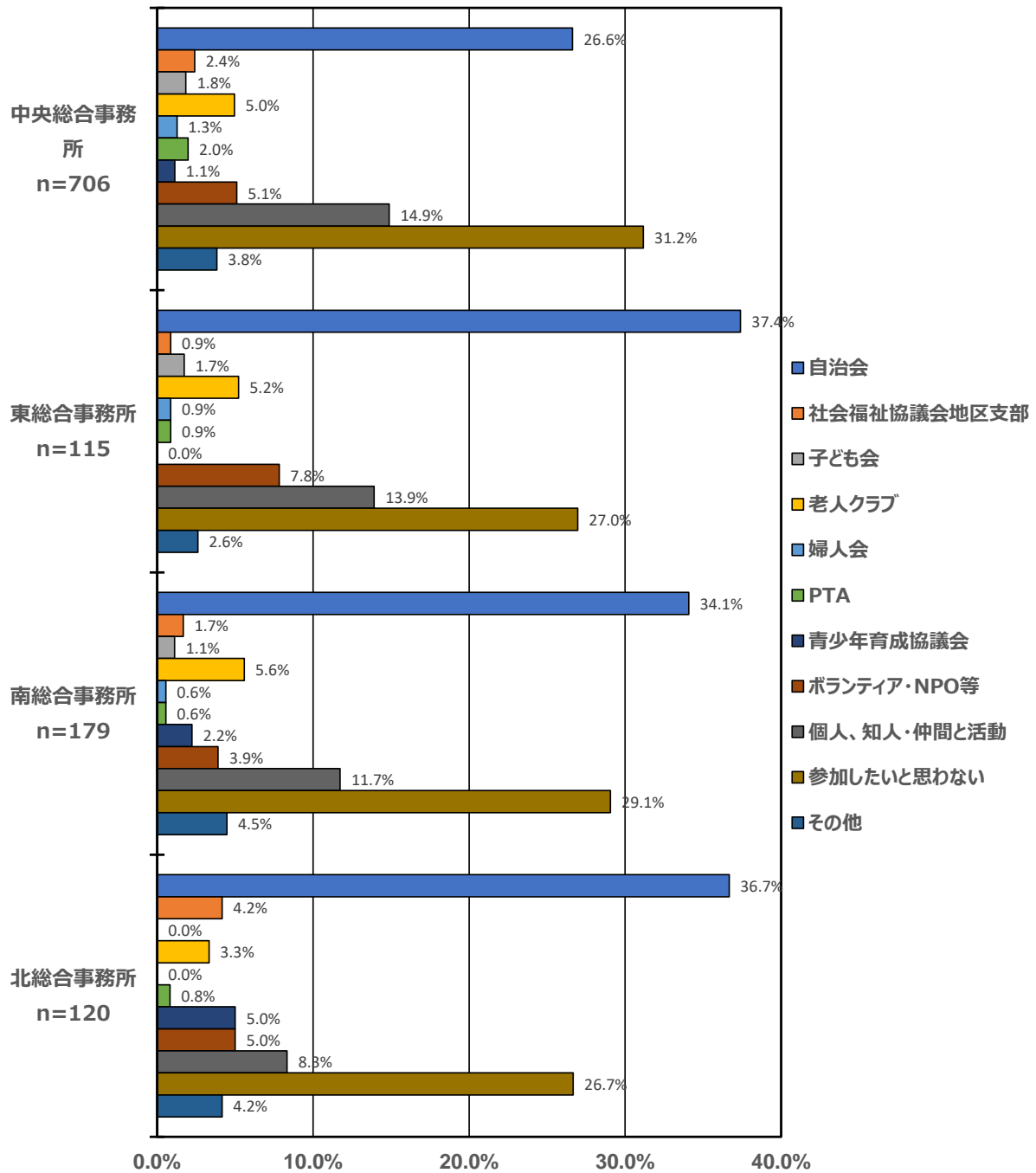


居住区域別で見ると、全体との傾向の大きな相違は見られない。

「自治会」への参加は「東総合事務所」所管区域で 37.4%と最も多く、一方、「参加したいとは思わない」は「中央総合事務所」所管区域で 31.2%で最も多くなっている。

【わからない・無回答を除く】

オ. 居住区域



【現在参加している地域活動と今後参加したい地域活動】

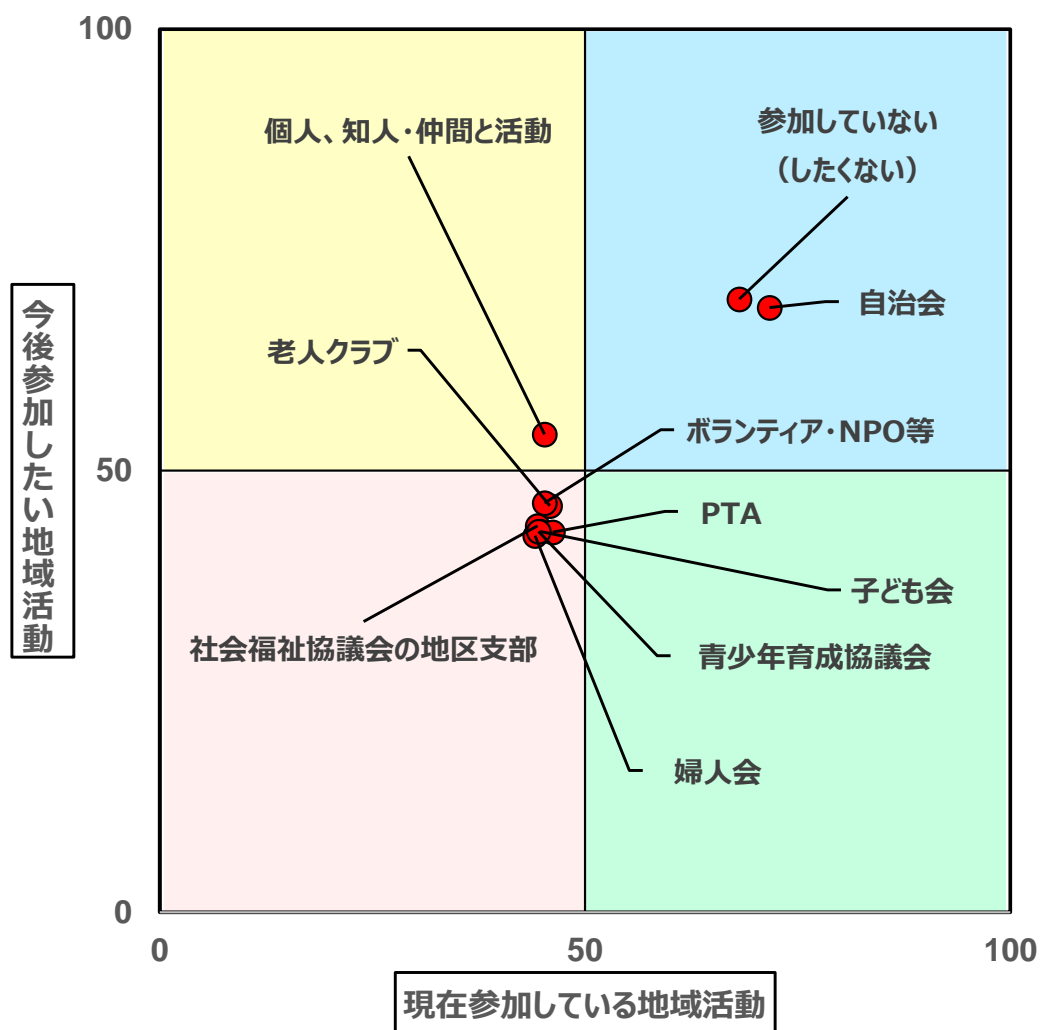
現在参加している地域活動と参加したいと思う地域活動を「上記以外の団体」を除き偏差値にて図に表すと下図のとおりとなった。

「現在参加しており、今後も参加したいと思う活動」の分野は「自治会」のみとなっている。

なお「参加していない（今後参加したいと思わない）」も「自治会」と同程度の偏差値となっている。

(1) 全体

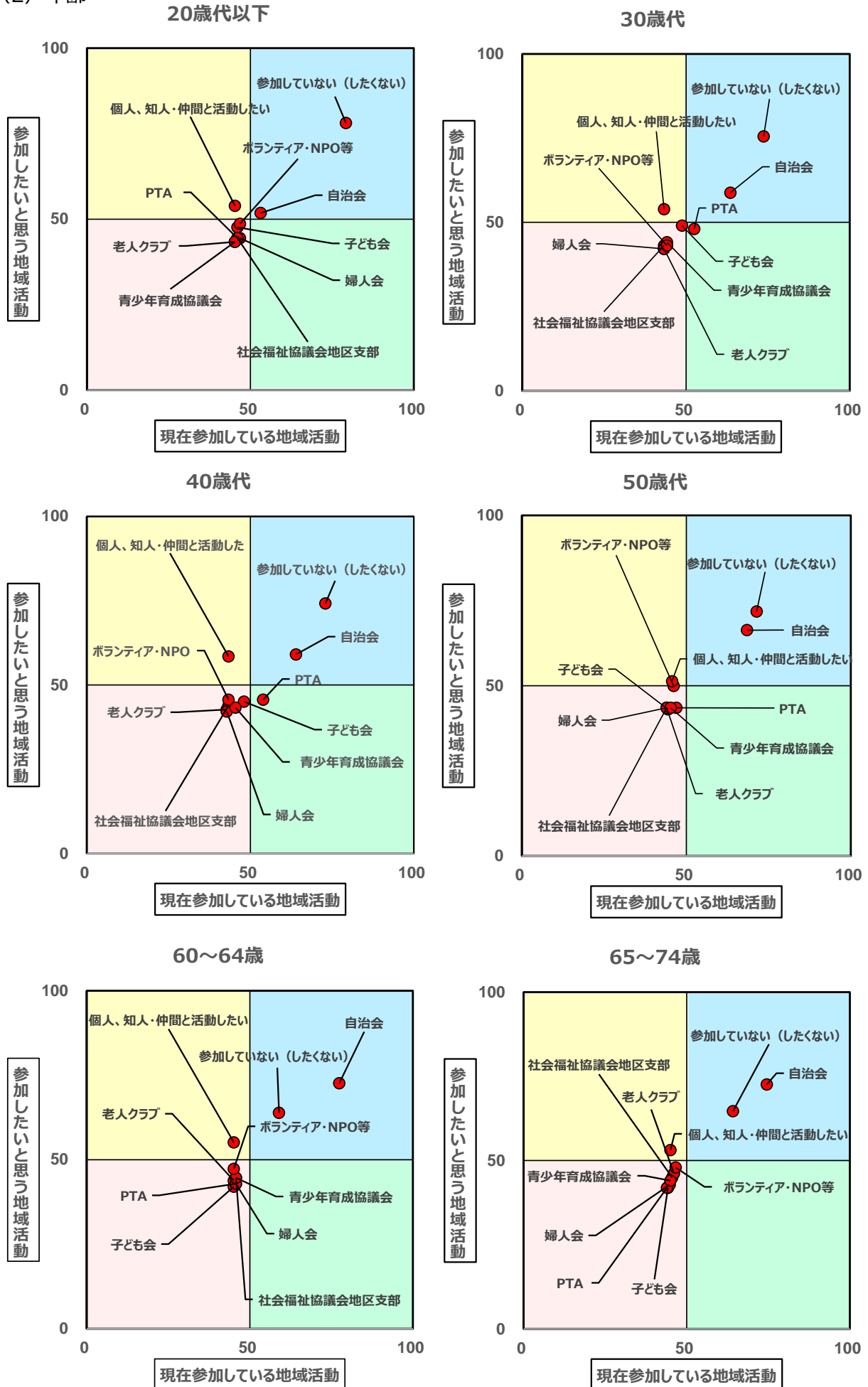
参加している地域活動と今後参加したい地域活動



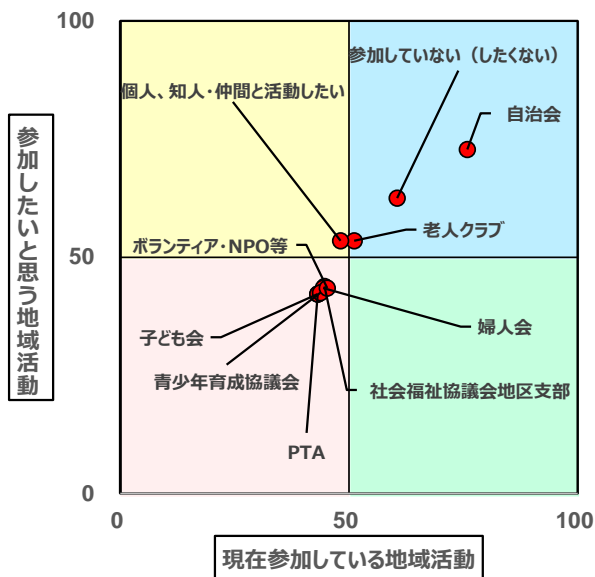
現在参加していないが今後参加したい	現在参加しており今後も参加したい
現在参加しておらず今後参加したいと思わない	現在参加しているが今後参加したいと思わない

現在と今後の地域活動参加を、偏差値にて年齢・世帯構成別及び居住区域別に図に示す。

(2) 年齢

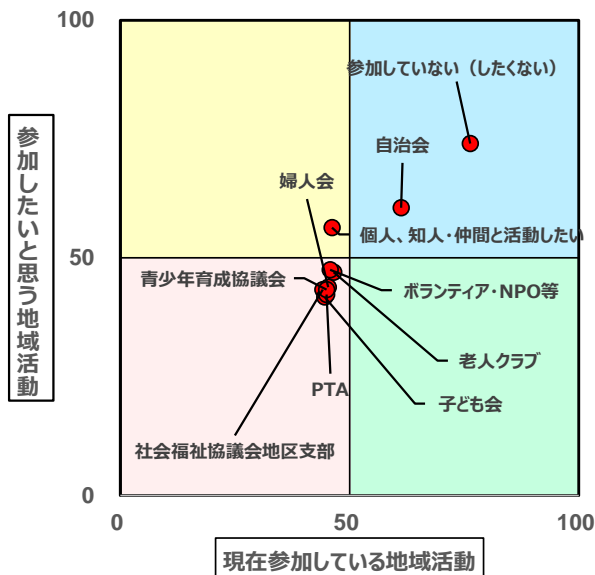


75歳以上

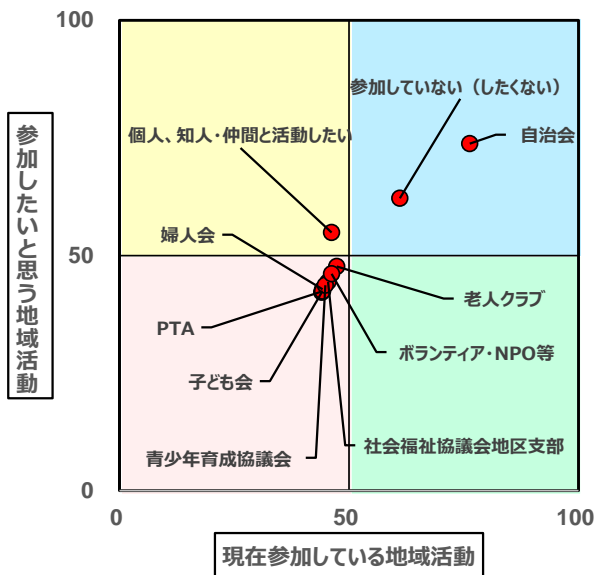


(3) 世帯構成

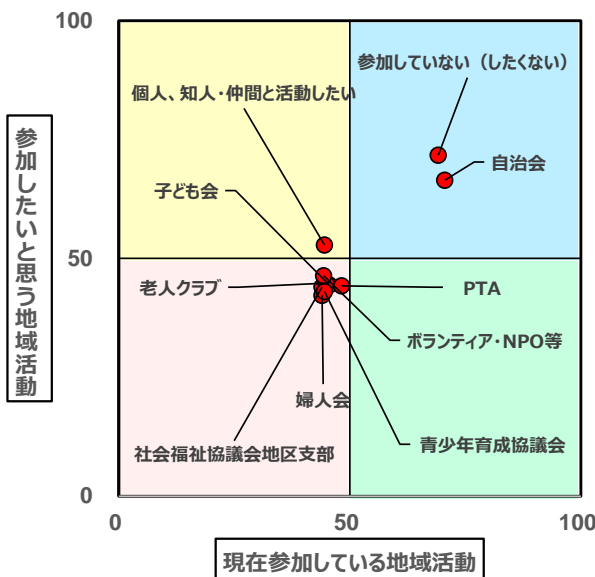
一人暮らし



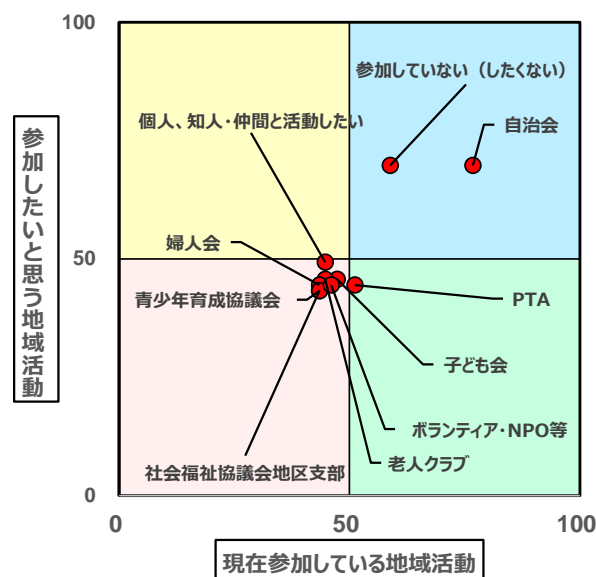
夫婦のみ

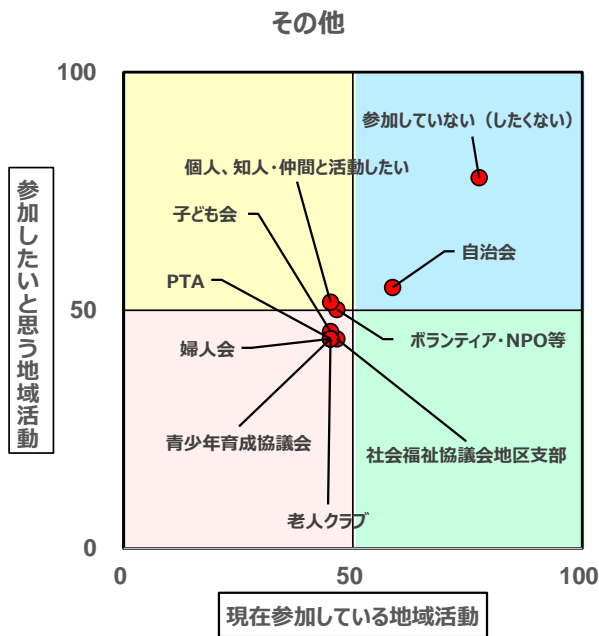


二世帯世帯

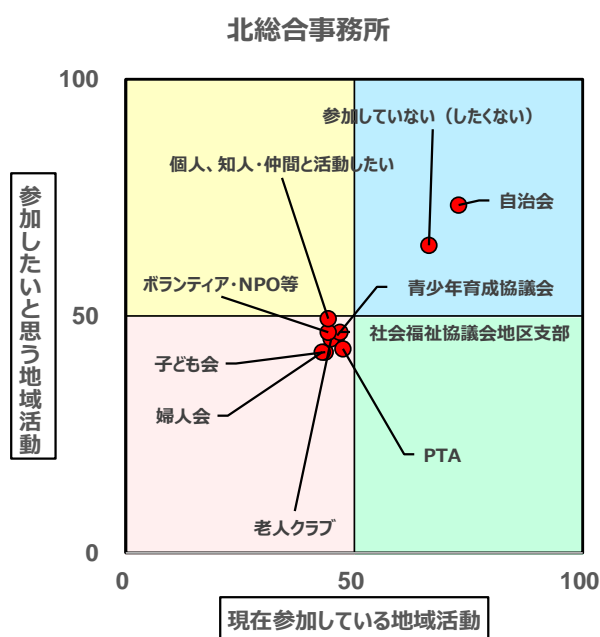
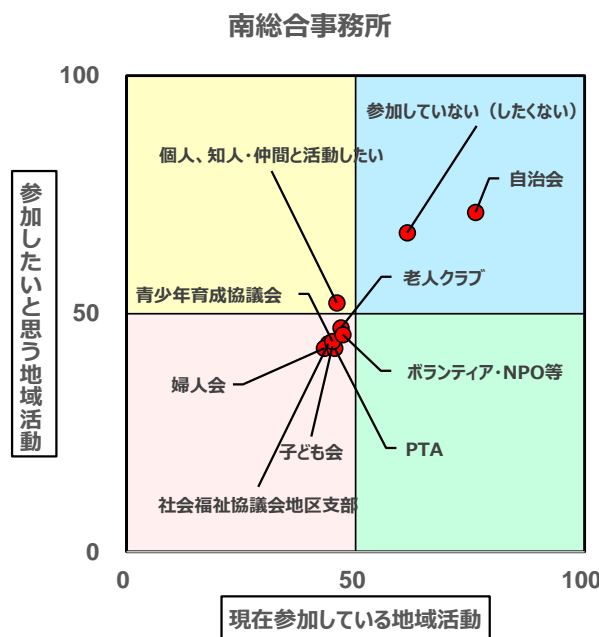
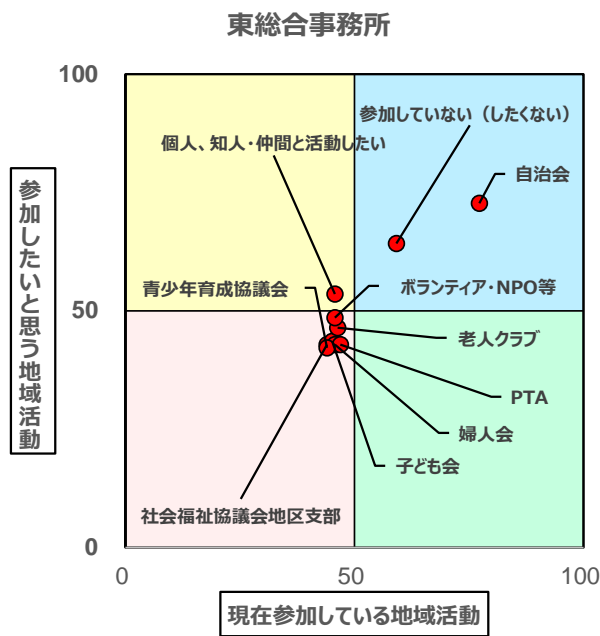
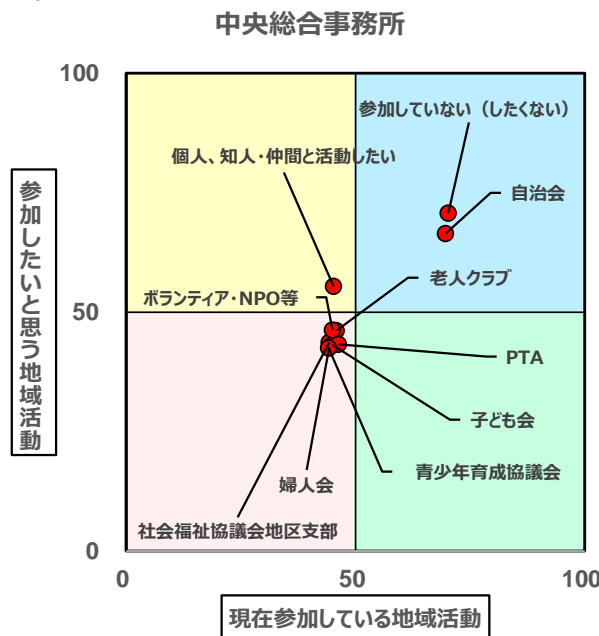


三世帯世帯





(4) 居住地域

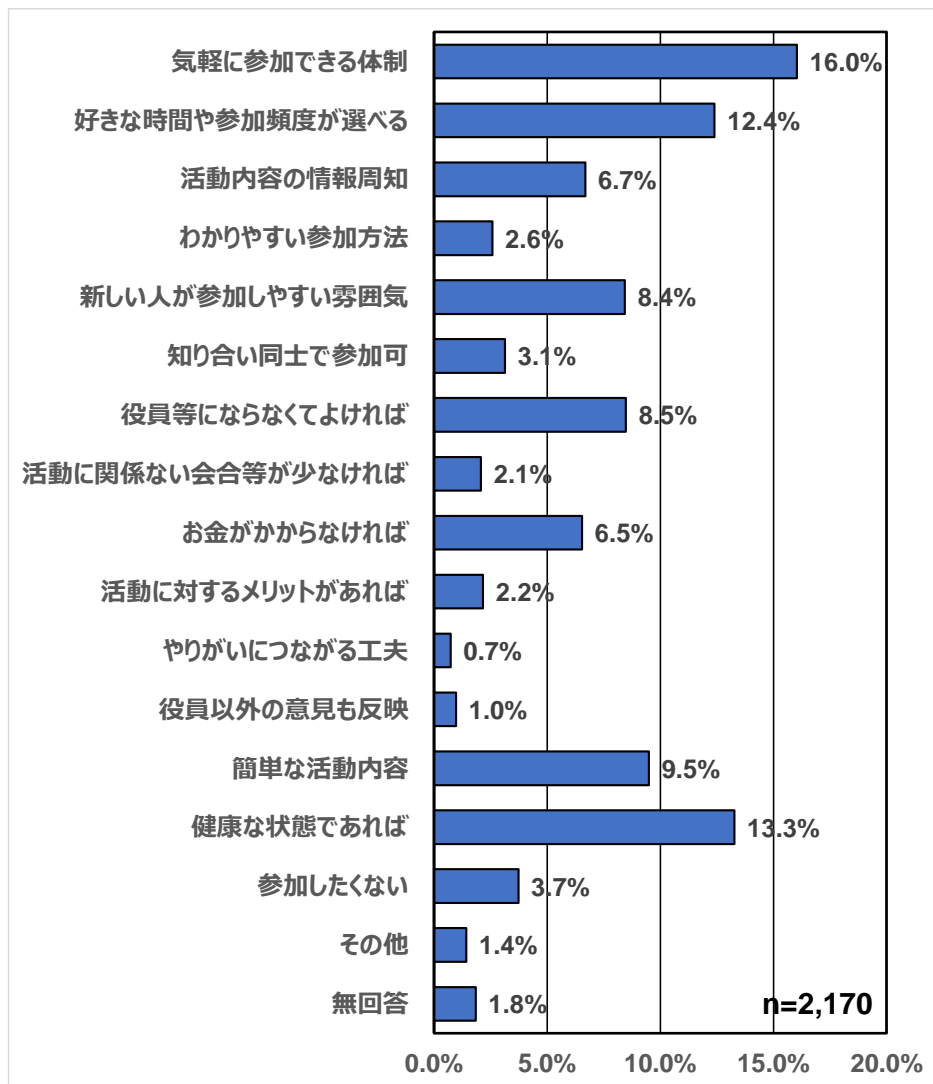


(5) 問15 どのような環境や条件があれば、地域の活動に参加しやすいと思いますか
【あてはまるもの3つまで】

どのような環境や条件があれば、地域の活動に参加しやすいかは「気軽に参加できる体制があれば（会員制にしない等）」が16.0%で最も多く、次いで「健康な状態であれば」が13.3%、「好きな時間や参加頻度が選べれば」が12.4%と続いている。

一方、「どのような環境や条件が整っても参加したくない」は3.7%となっている。

ア. 全体

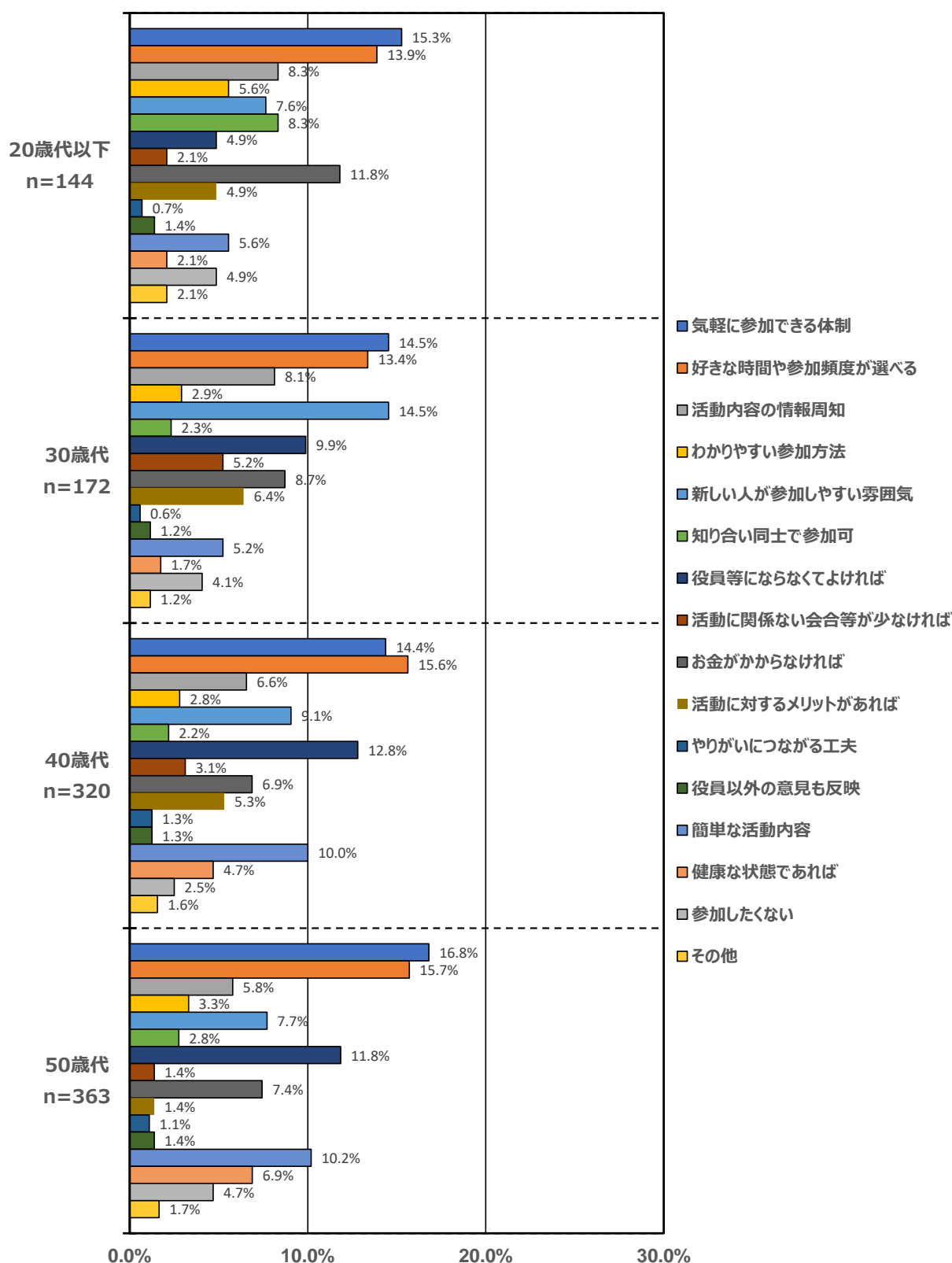


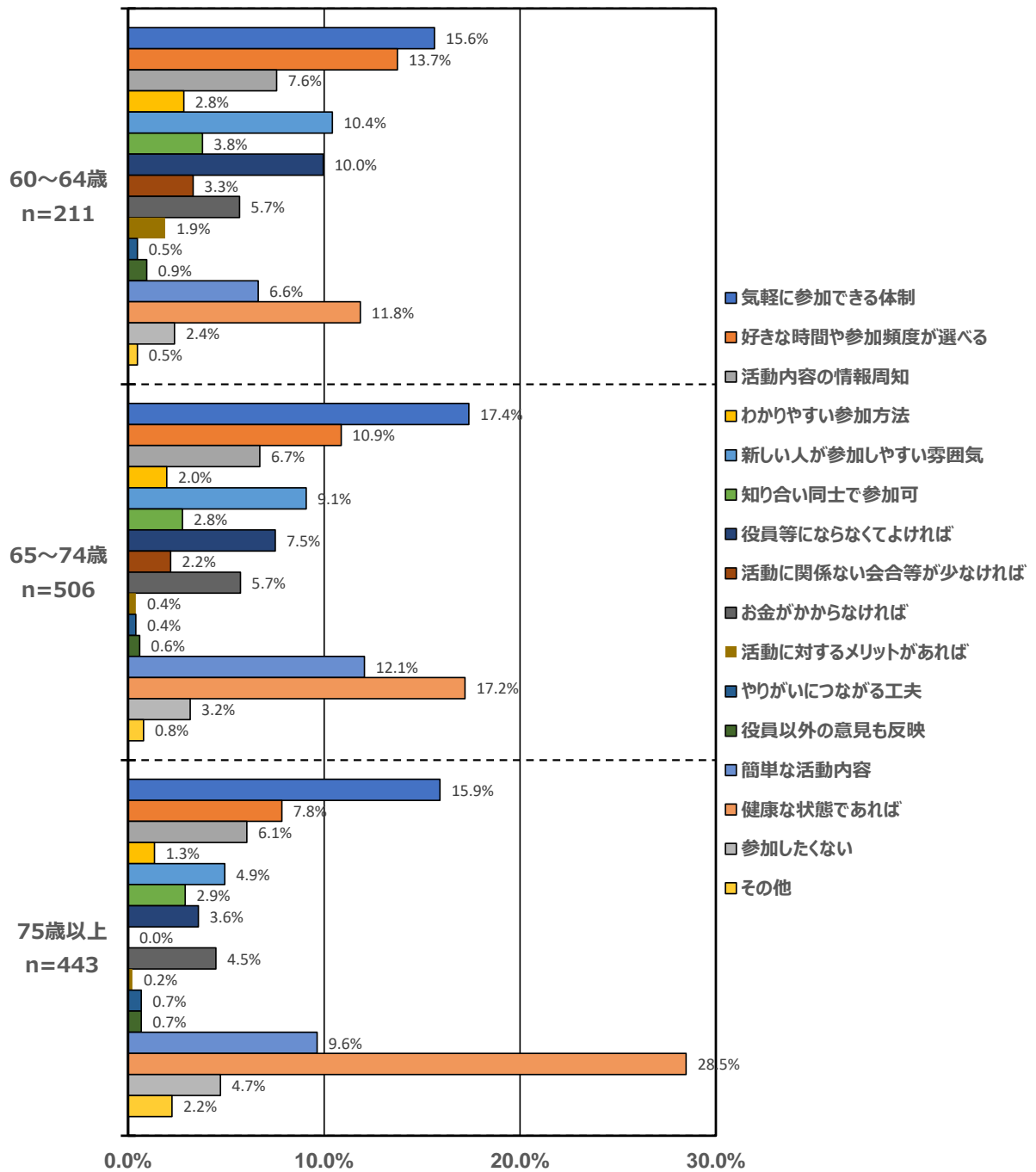
年齢別で見ると20歳代以下・30歳代・50歳代、60～74歳で「気軽に参加できる体制があれば」が1位、75歳以上で「健康な状態であれば」が1位となっている。

一方、「どのような環境や条件が整っても参加したくない」は年齢に関係なく、数%程度の割合で存在する。

40歳代は「好きな時間や参加頻度が選べれば」が1位、また「健康な状態であれば」は、年齢とともに上昇し、65～74歳では2位、75歳以上では1位となっている。

イ. 年齢



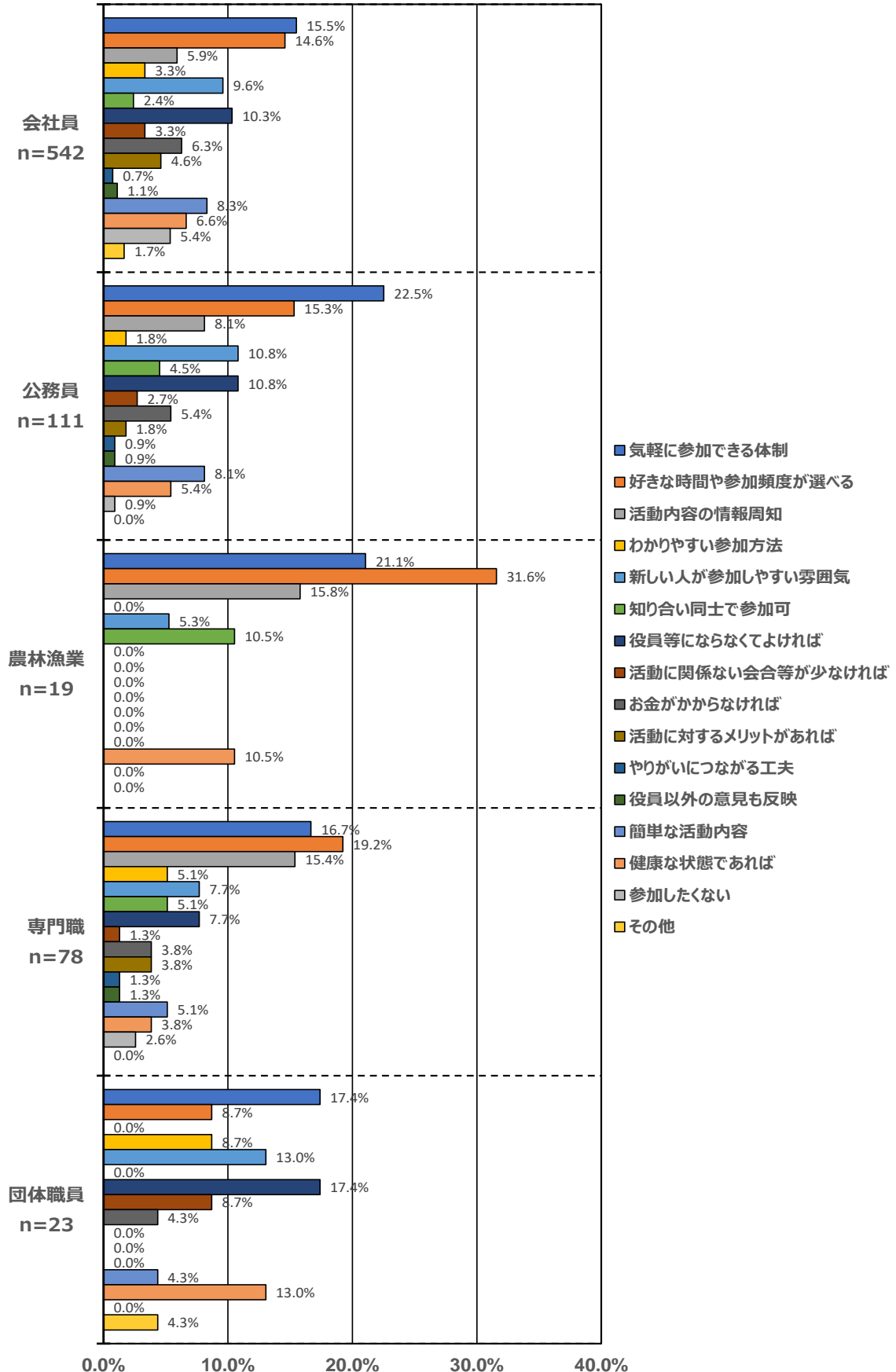


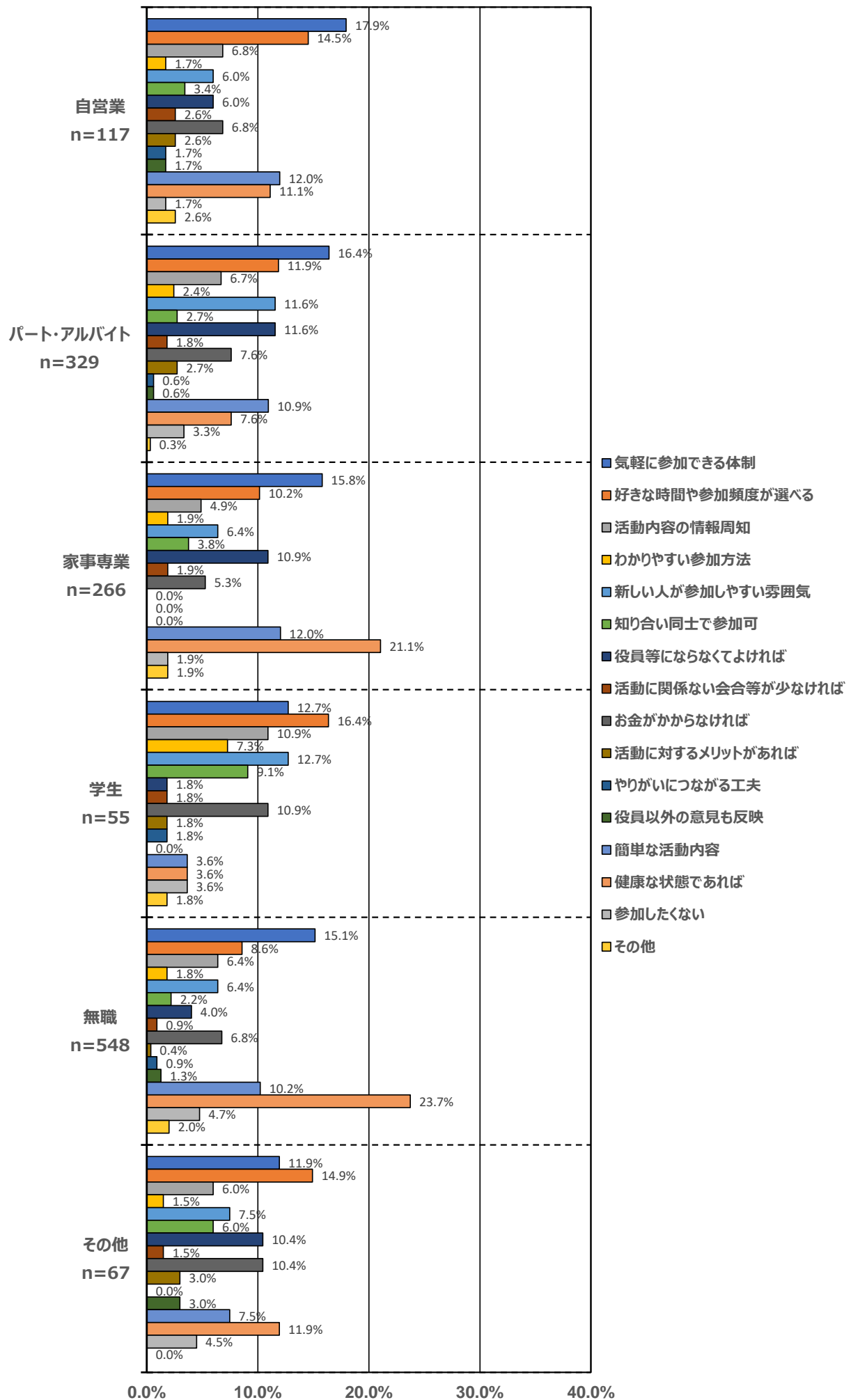
職業別で見ると一定程度の母数のある区分で、「会社員」、「公務員」、「自営業」、パート・アルバイト」で「気軽に参加できる体制であれば」が1位、となっている。

一方、「どのような環境や条件が整っても参加したくない」は「会社員」が5.4%で最も多い。

【無回答を除く】

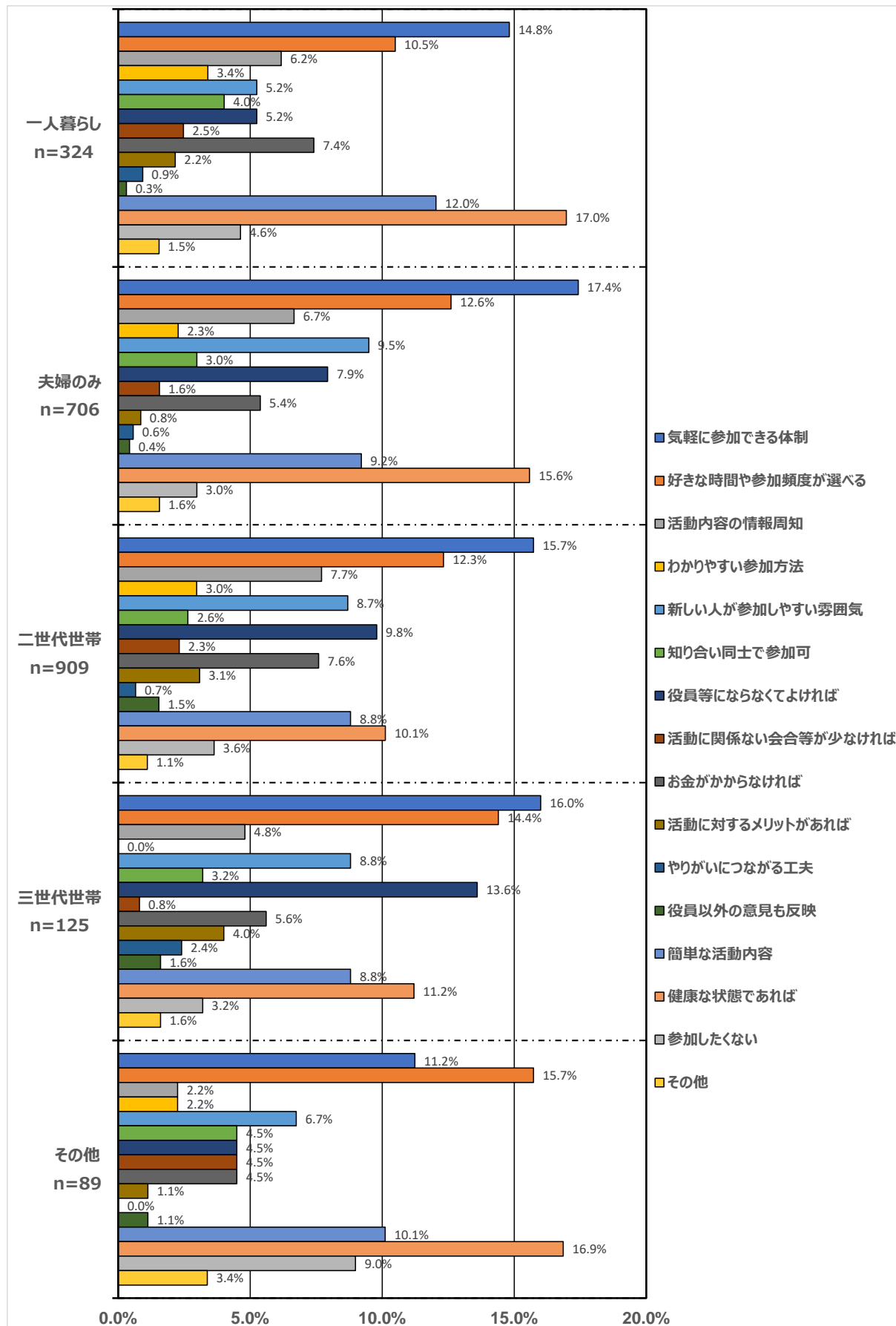
ウ. 職業





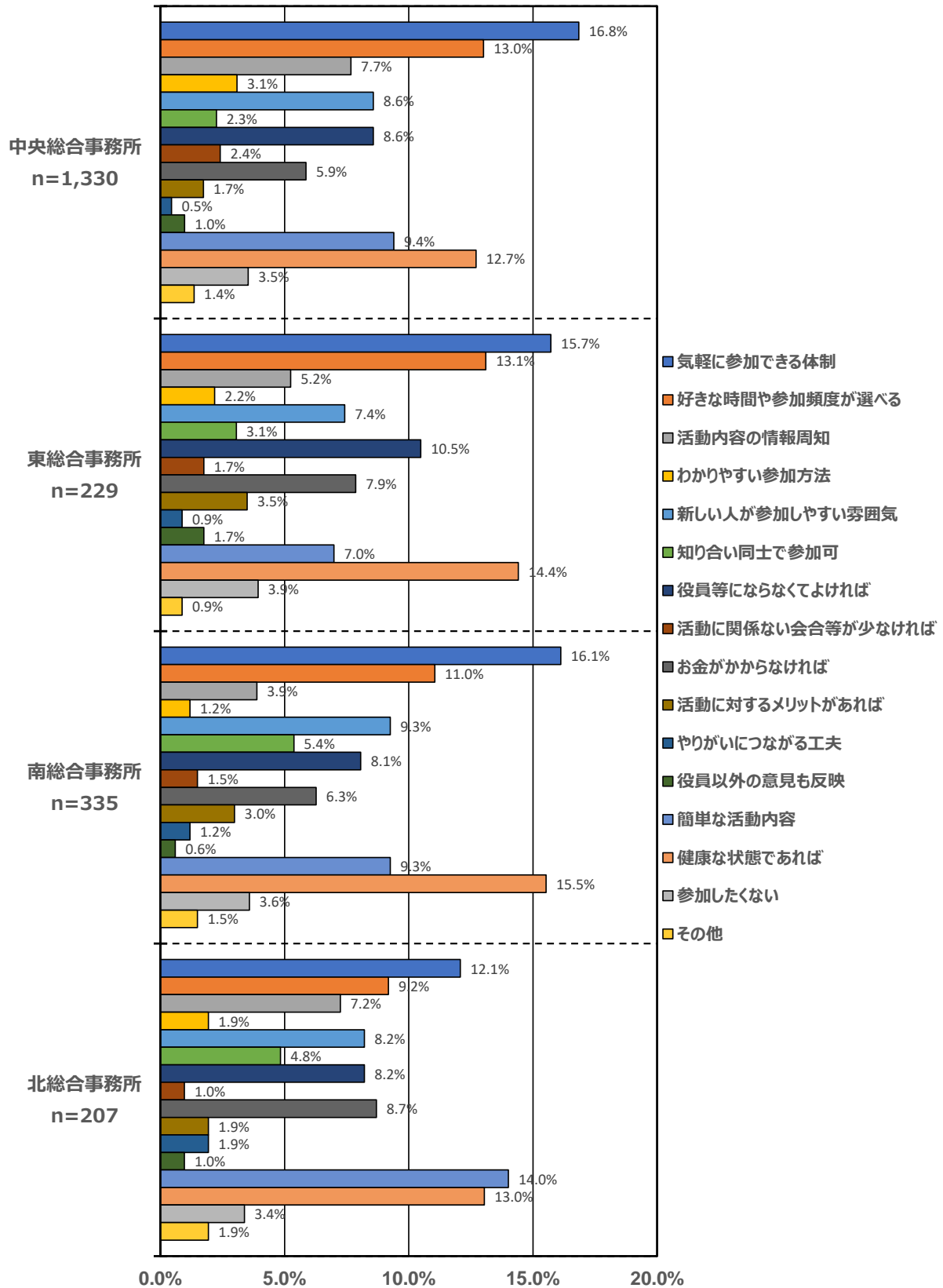
世帯構成別でも「気軽に参加できる体制であれば」が全世帯を通して上位になっている。
 一方、「どのような環境や条件が整っても参加したくない」は「一人暮らし」が4.6%で最も多い。
 【無回答を除く】

Ⅰ. 世帯構成



居住区域別にみると、それぞれの居住区域において、全体との大きな傾向の差異は見られない。
【わからない・無回答を除く】

オ. 居住区域



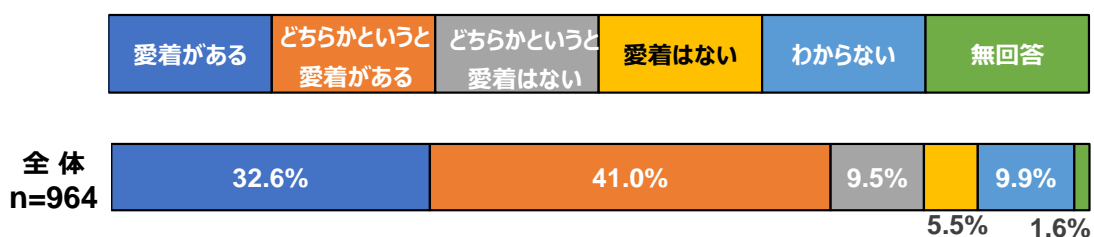
5. お住いの地域について

(1) 問16(1) あなたは、お住まいの地域に愛着がありますか

【答えは1つ】

全体では「どちらかという愛着がある」が41.0%で最も多く、次いで「愛着がある」が32.6%、「わからない」が9.9%と続いており、「愛着を持っている（「愛着がある」+「どちらかという愛着がある」）」と回答したのは73.6%であった。

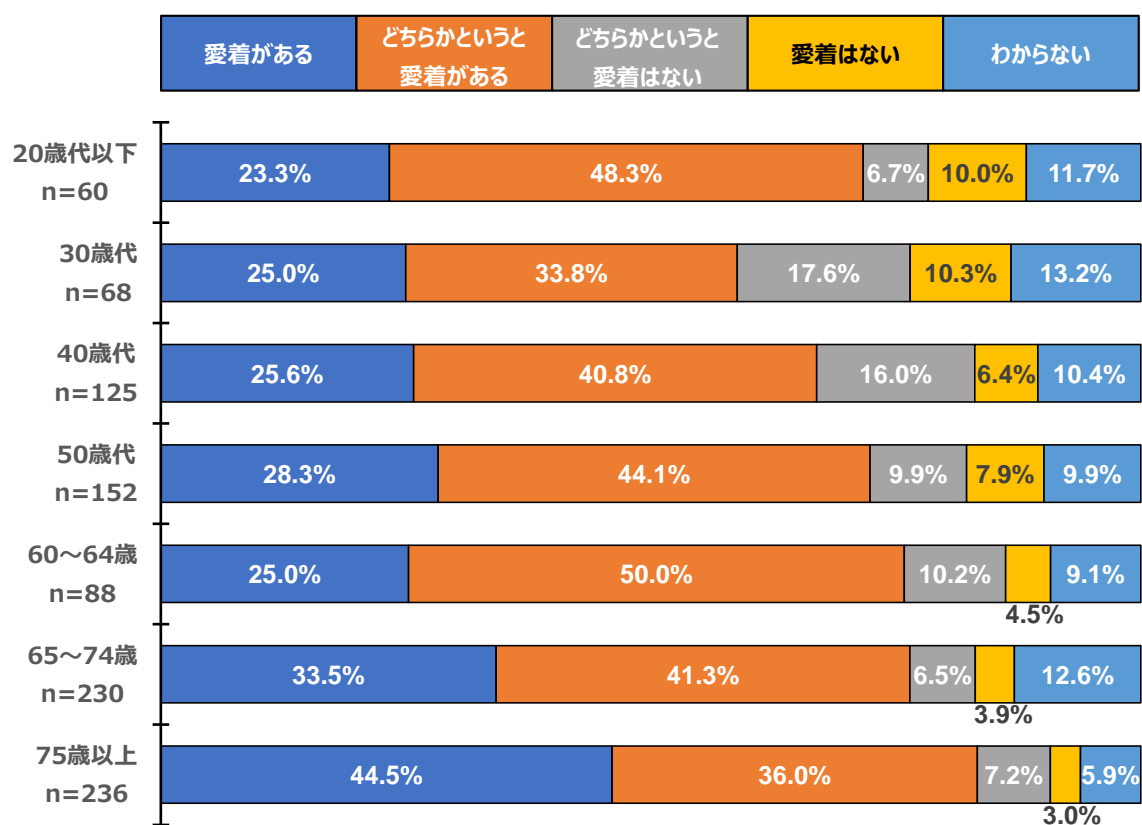
ア. 全体



年齢別では「愛着を持っている」と回答する割合は、「75歳以上」が80.5%と最も多く、次いで「60～64歳」が75.0%、「65～74歳」が74.8%と続いている。

【無回答を除く】

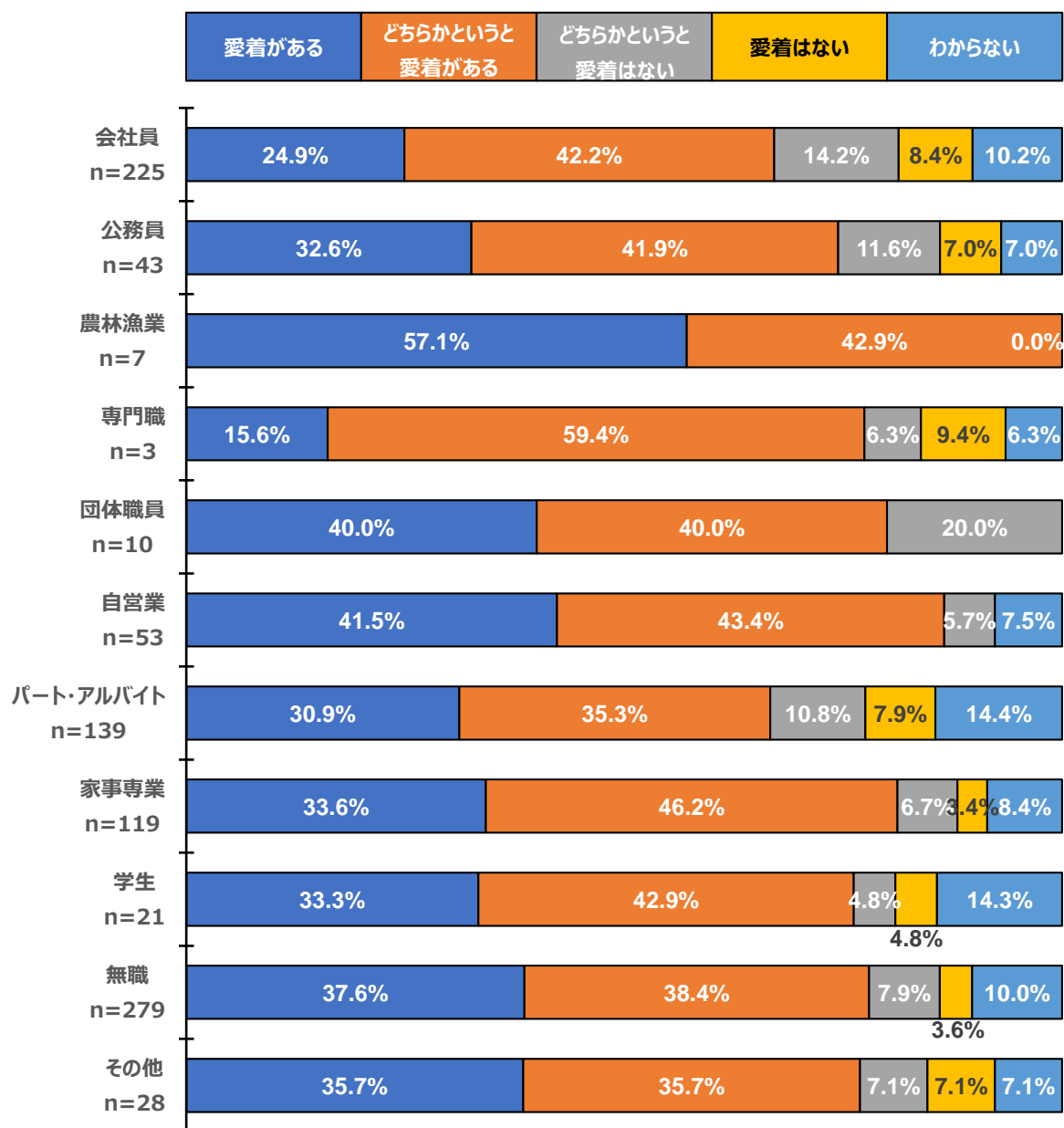
イ. 年齢



職業別で「愛着を持っている」と回答する割合は、母数大きいものの中では「家事専業」が79.8%で最も多くなっている。

【無回答を除く】

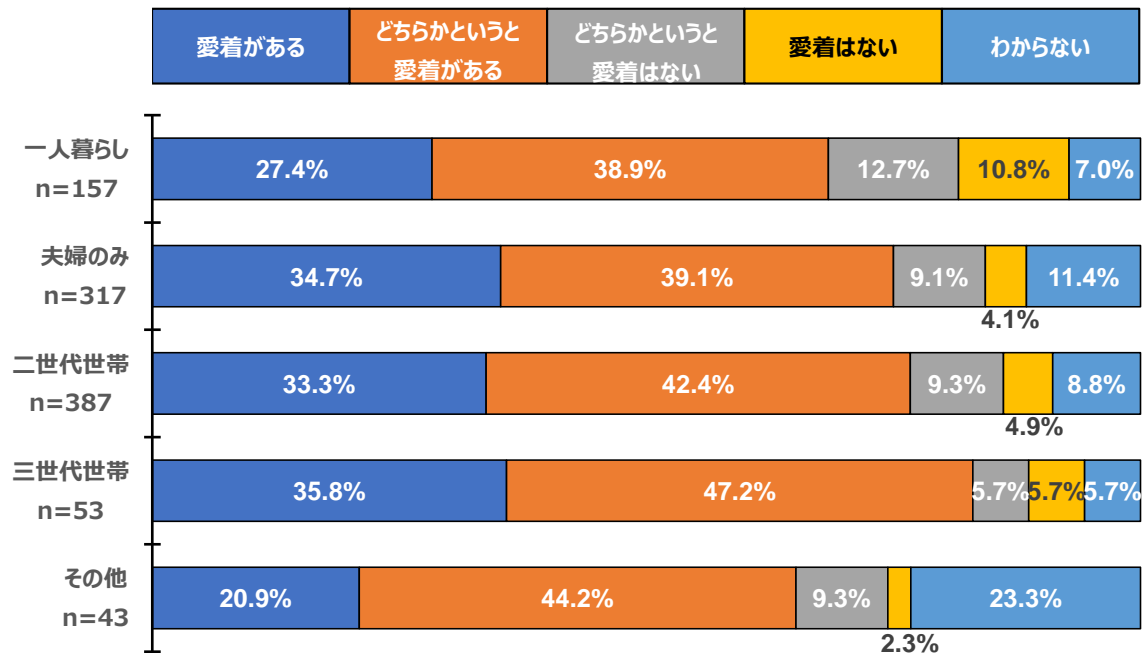
ウ. 職業



世帯構成別では「三世代世帯」の「愛着を持っている」と回答する割合が83.0%で最も多くなっている。

【無回答を除く】

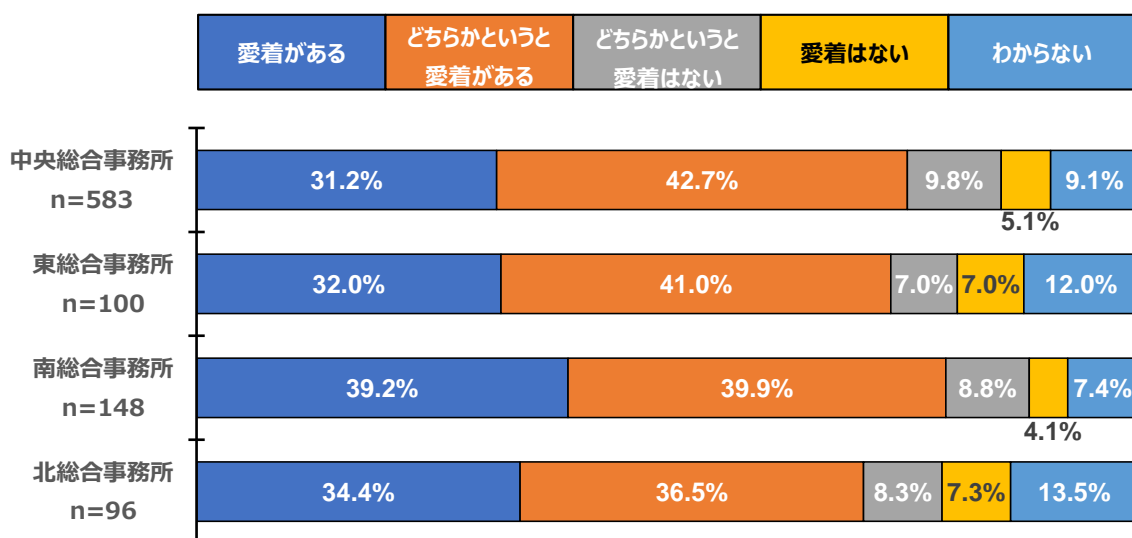
工. 世帯構成



居住区域別で見ると、「南総合事務所」所管区域が79.1%で「愛着を持っている」と回答する割合が最も多く、次いで「中央総合事務所」所管区域の73.9%であった。

【わからない・無回答を除く】

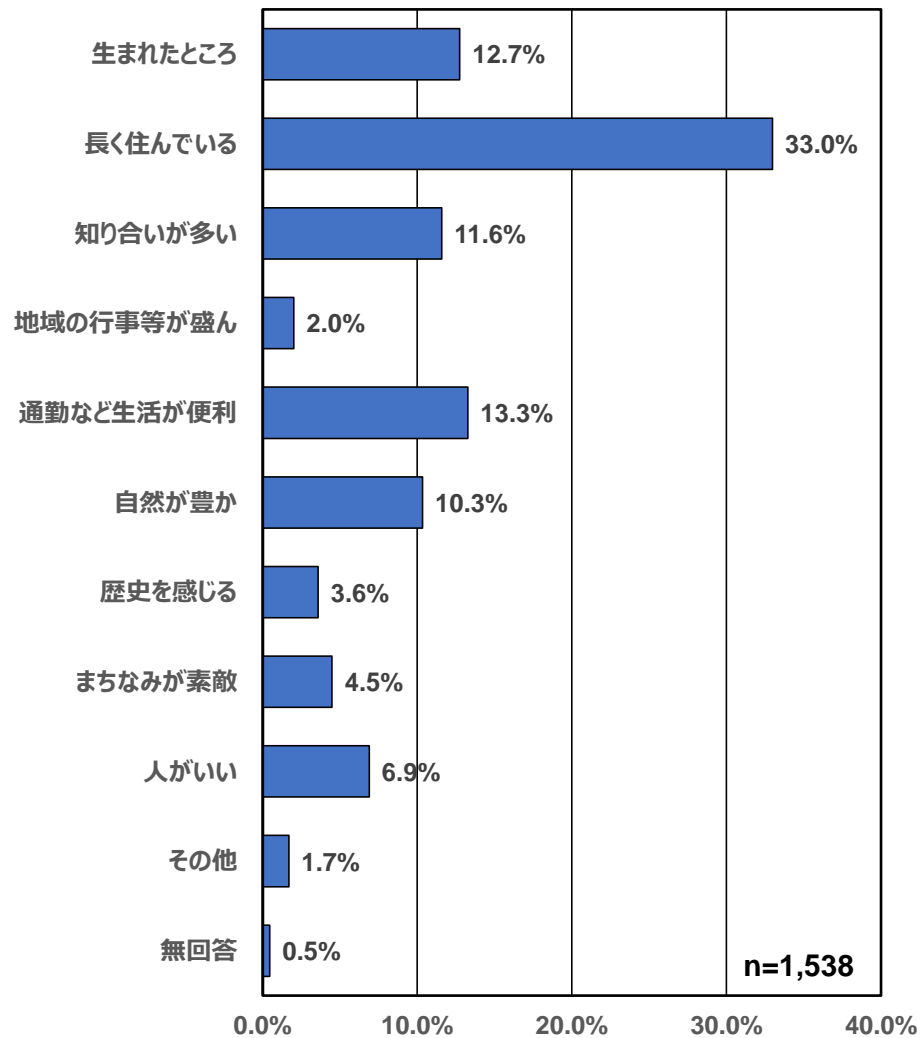
オ. 居住区域



(2) 問16(2) [愛着がある、どちらかというとな愛着があると答えた方にお聞きます] その理由は何
ですか
【あてはまるものすべて】

「愛着を持っている」理由は「長く住んでいるから」が 33.0%で最も多く、次いで「通学、通勤、買い物など生活が便利だから」が 13.3%、「生まれたところだから」が 12.7%が続いている。

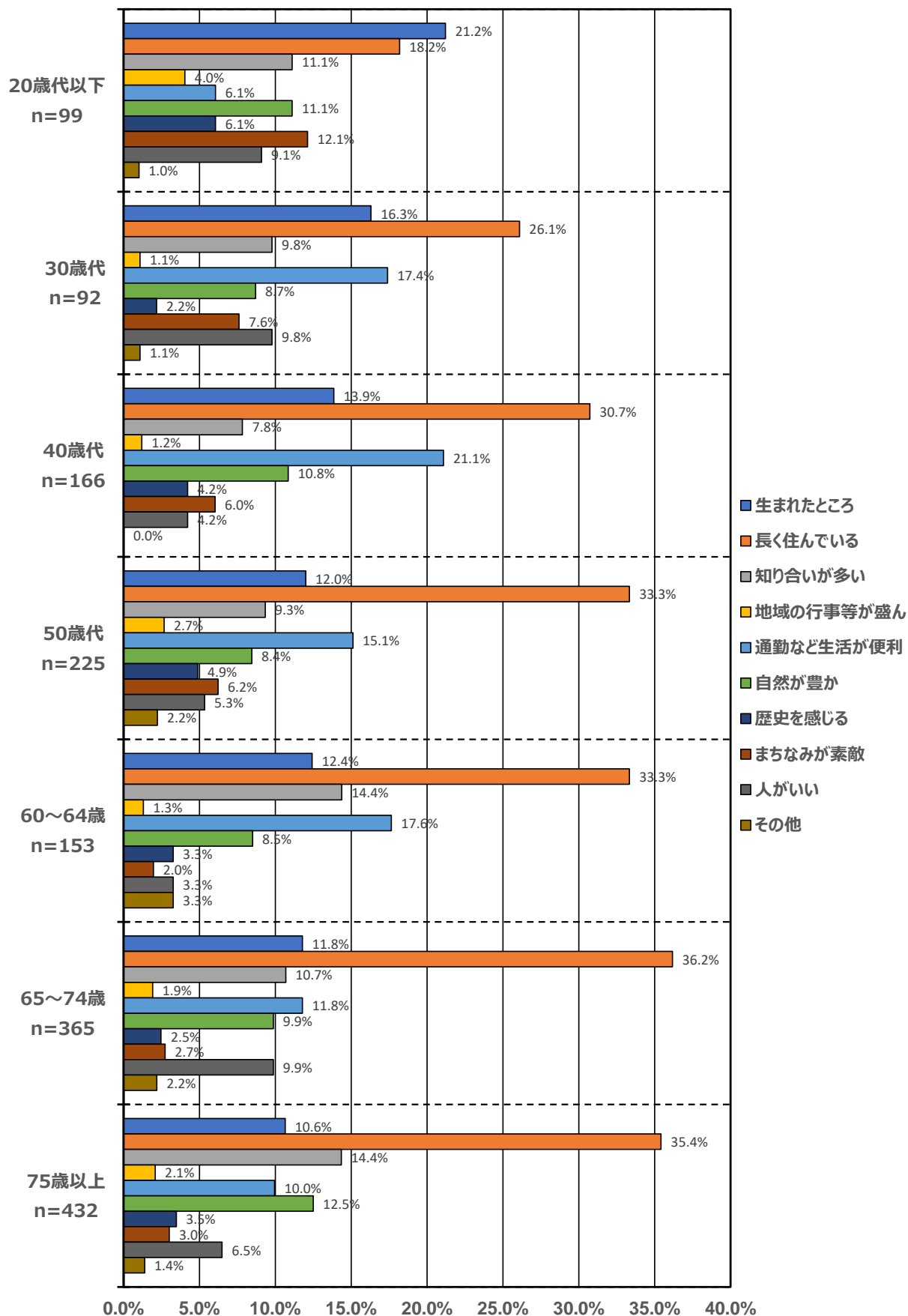
ア. 全体



年齢別で見ると「長く住んでいるから」は年齢の上昇とともに増加傾向が見られ、「75歳以上」は「知り合いが多いから」が2位となっている。

【無回答を除く】

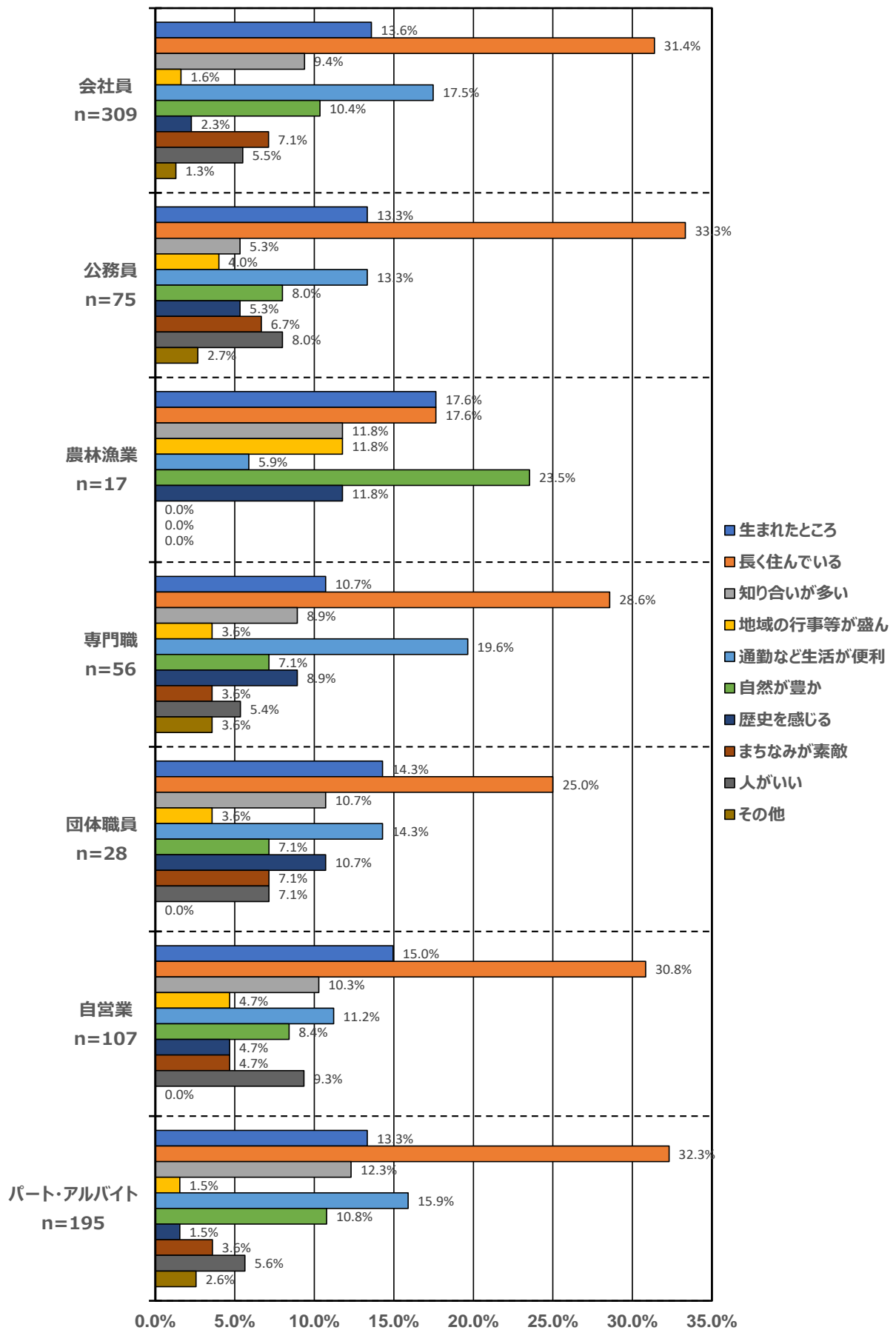
イ. 年齢

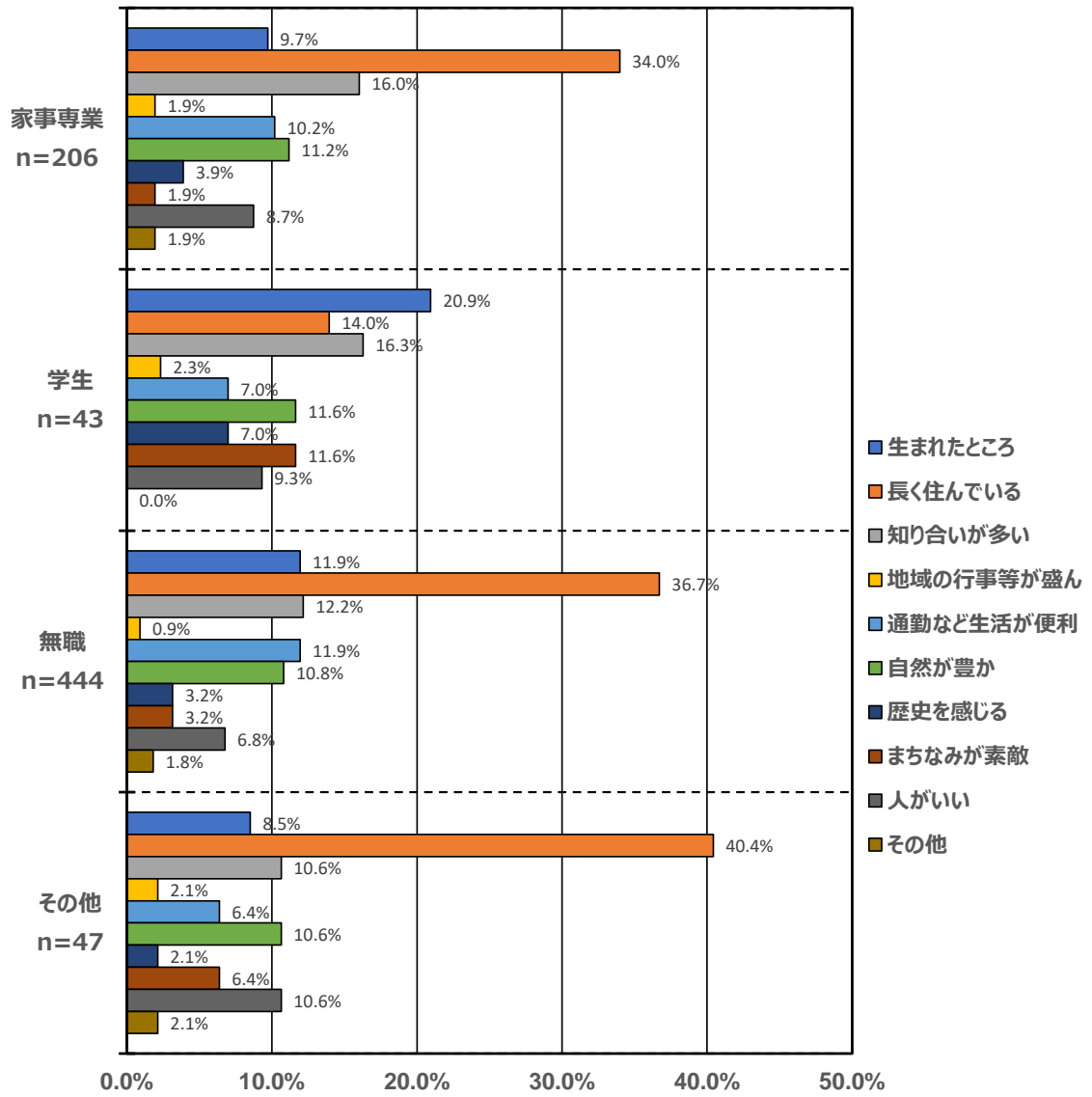


職業別にも「長く住んでいるから」が、ほぼ1位に位置している。

【無回答を除く】

ウ. 職業

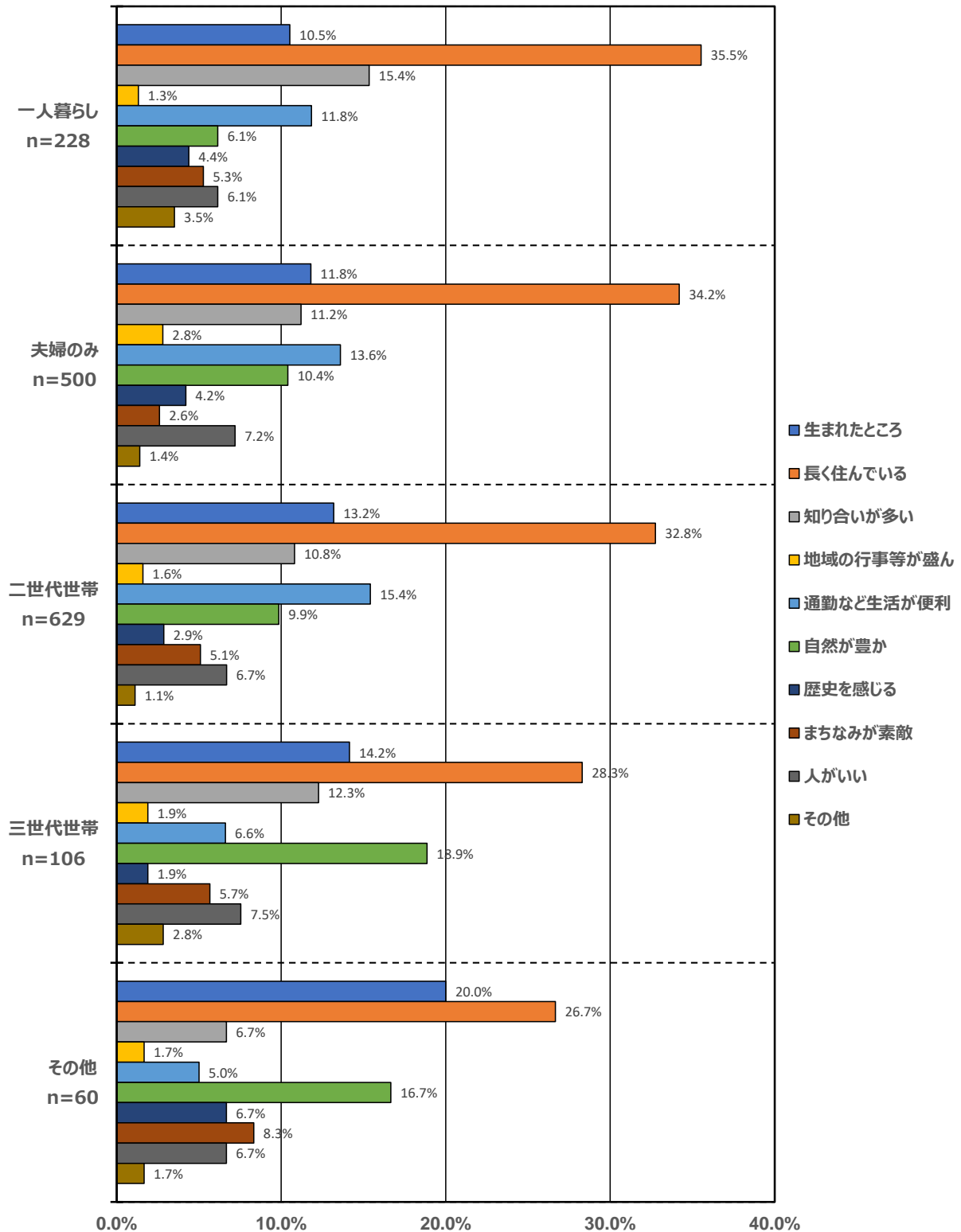




世帯構成別の傾向を見ても、全体との傾向の差異は大きくはみられない。

【無回答を除く】

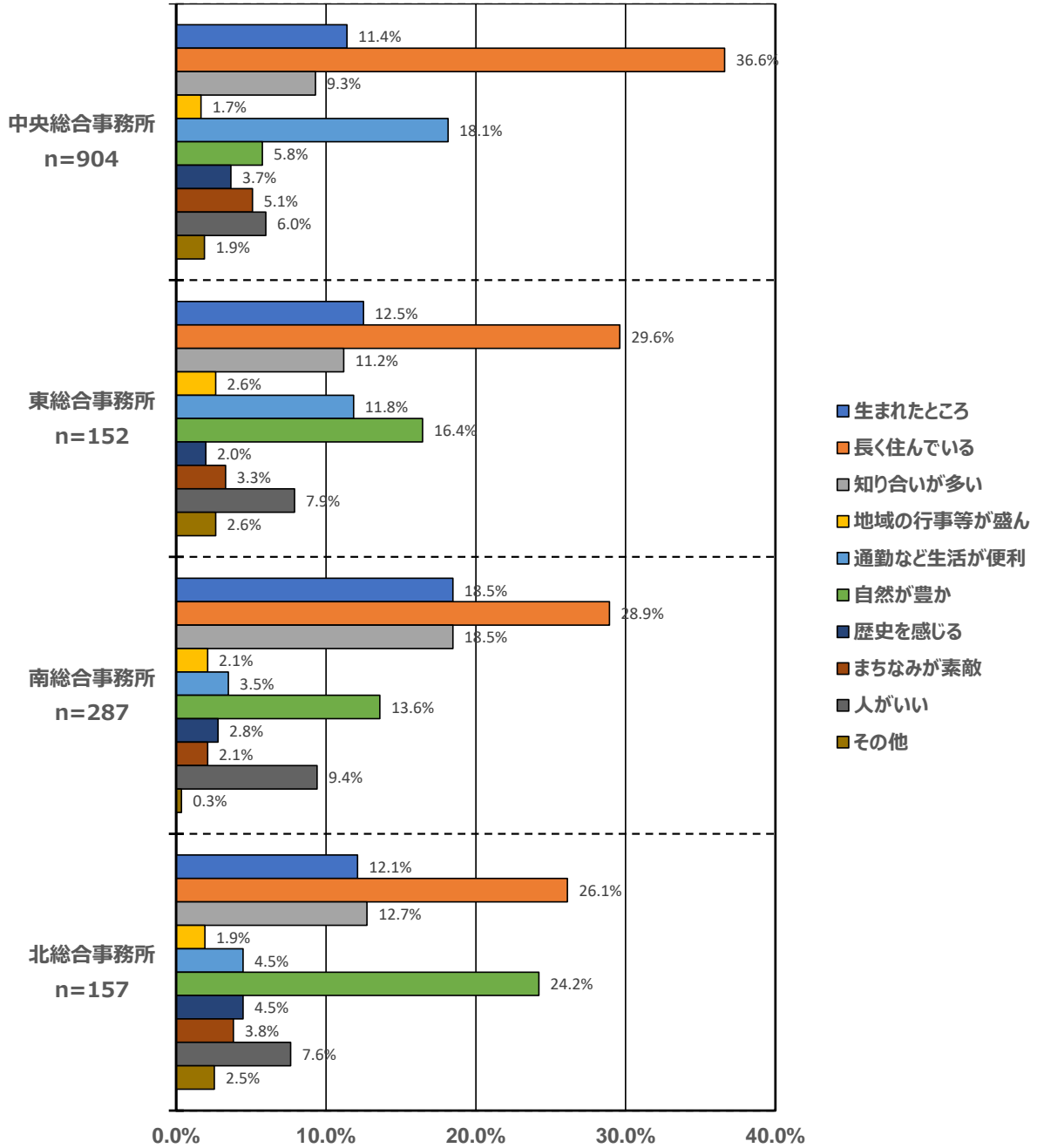
Ⅰ. 世帯構成



居住区域別にみても、全体との大きな傾向の差異はみられない。

【わからない・無回答を除く】

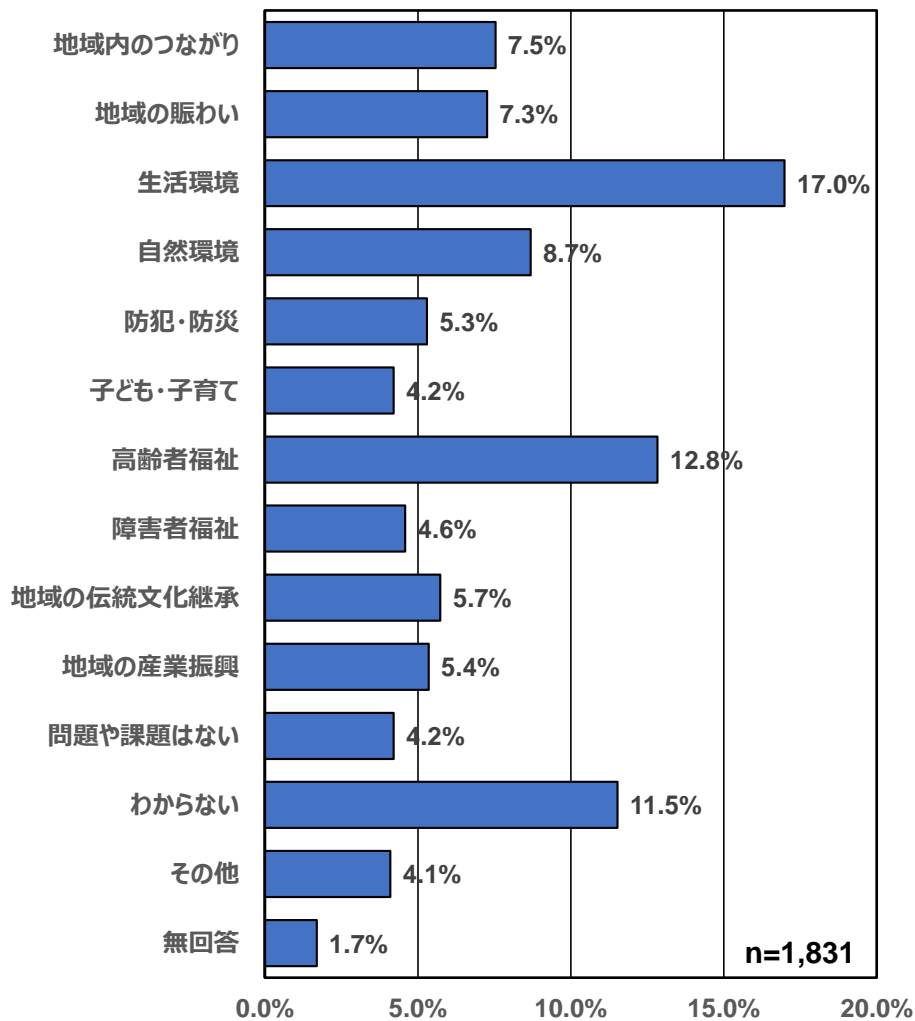
オ. 居住区域



**(3) 問17 あなたが住んでいる地域には、どのような問題や課題がありますか
【あてはまるものすべて】**

住んでいる地域の問題や課題は「生活環境に関すること」が 17.0%で最も多く、次いで「高齢者福祉に関すること」が 12.8%、「自然環境に関すること」が 8.7%で続いている。
一方、「わからない」が 11.5%、「課題や問題はない」が 4.2%となっている。

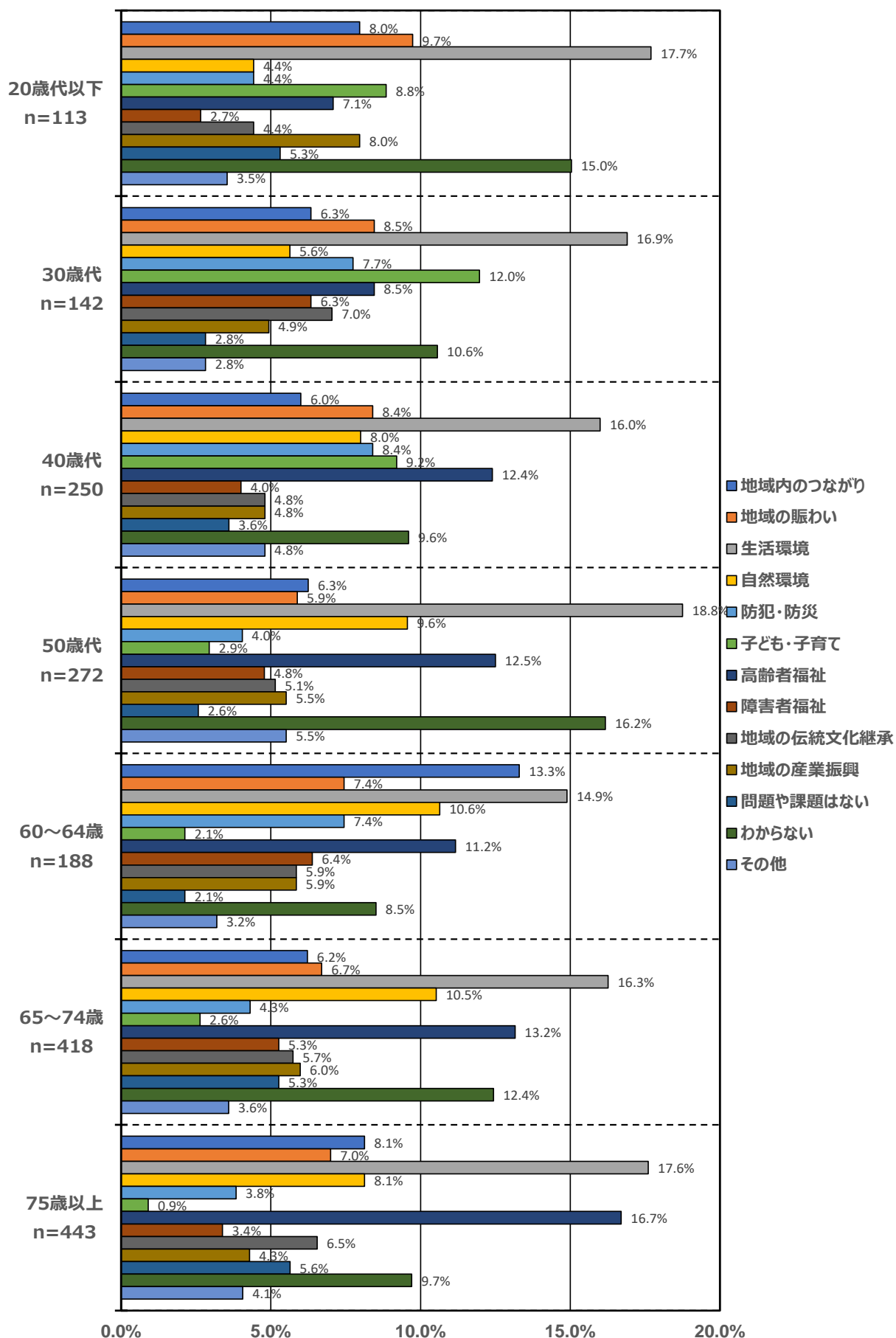
ア. 全体



年齢別でみると、全年齢を通して「生活環境に関すること」が上位にあり、「高齢者福祉に関すること」は年齢とともに増加している。

【無回答を除く】

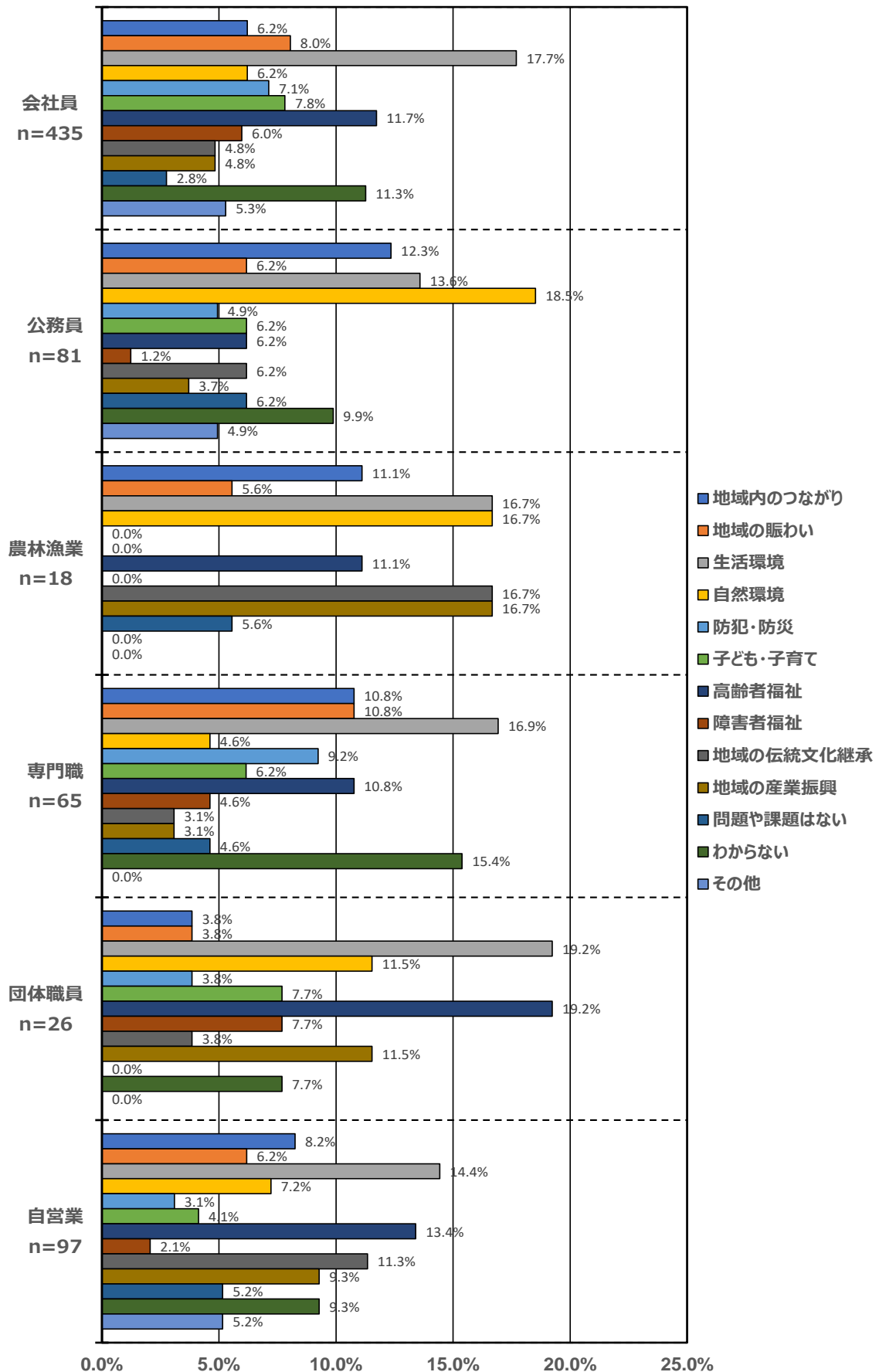
イ. 年齢

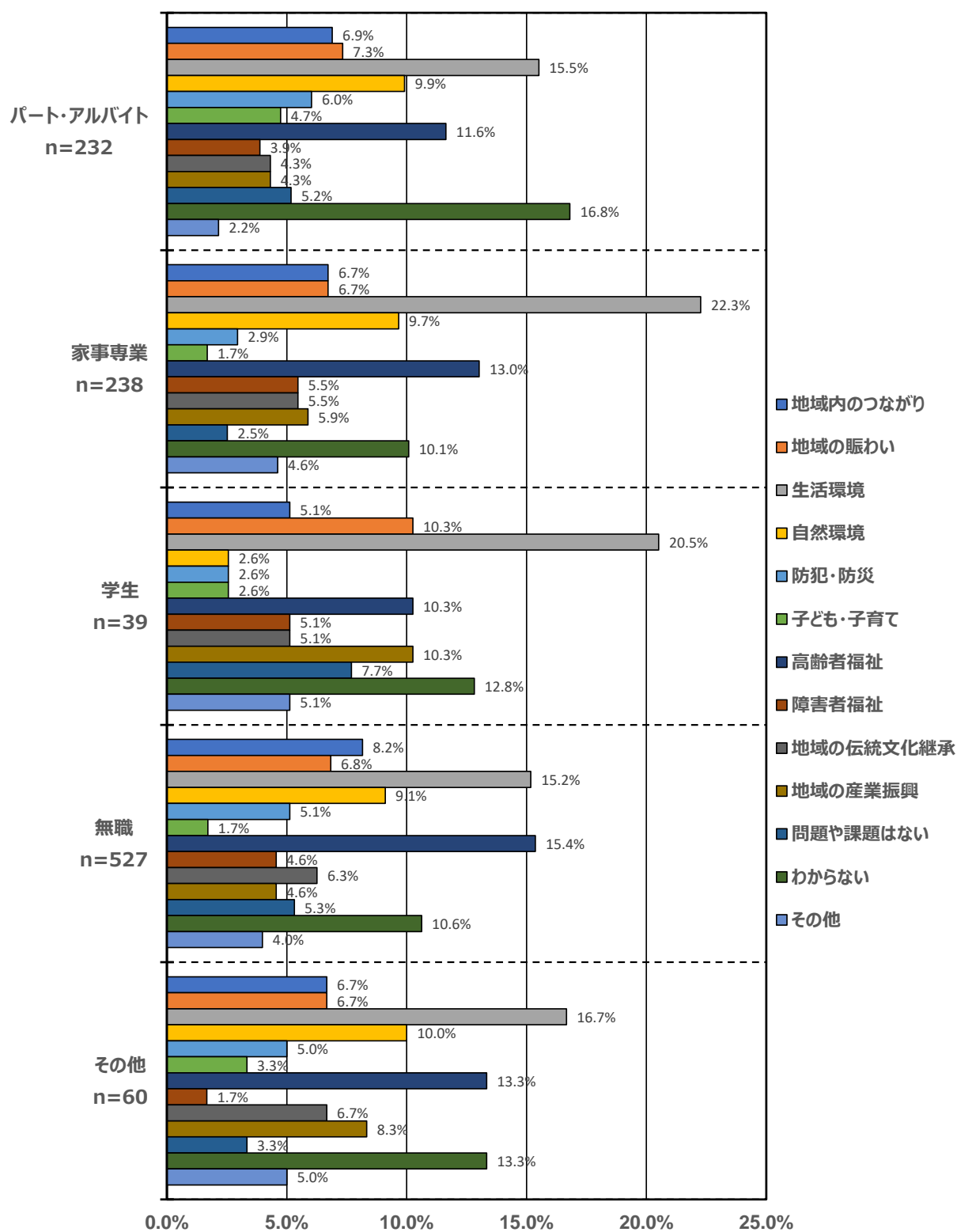


職業別にみると、母数が小さいものもあり、ばらつきはあるものの、全体と比べて大きな傾向の差異は見られない。

【無回答を除く】

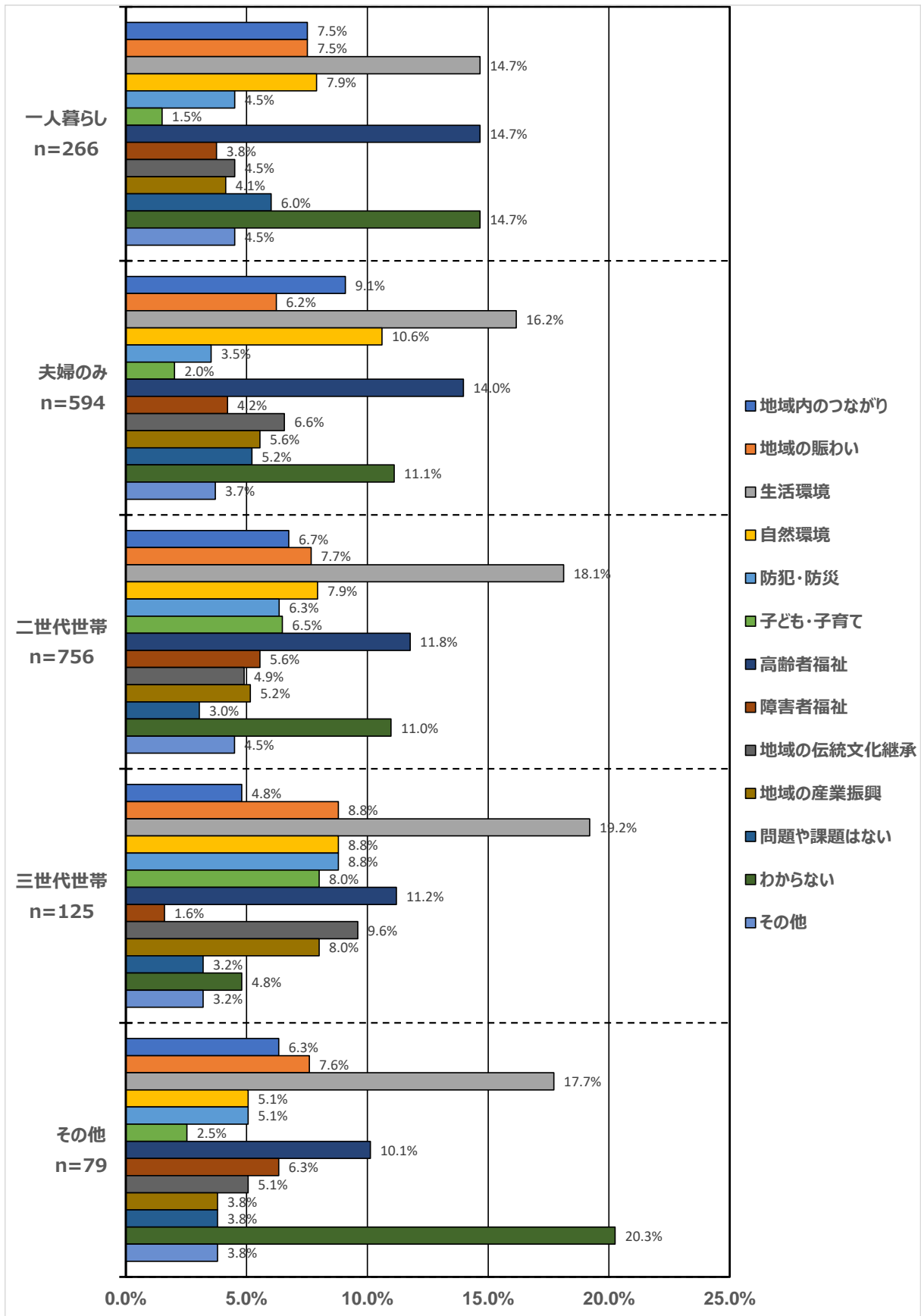
ウ. 職業





世帯構成別でみると、全ての世帯において、「生活環境に関すること」が1位となっている。
【無回答を除く】

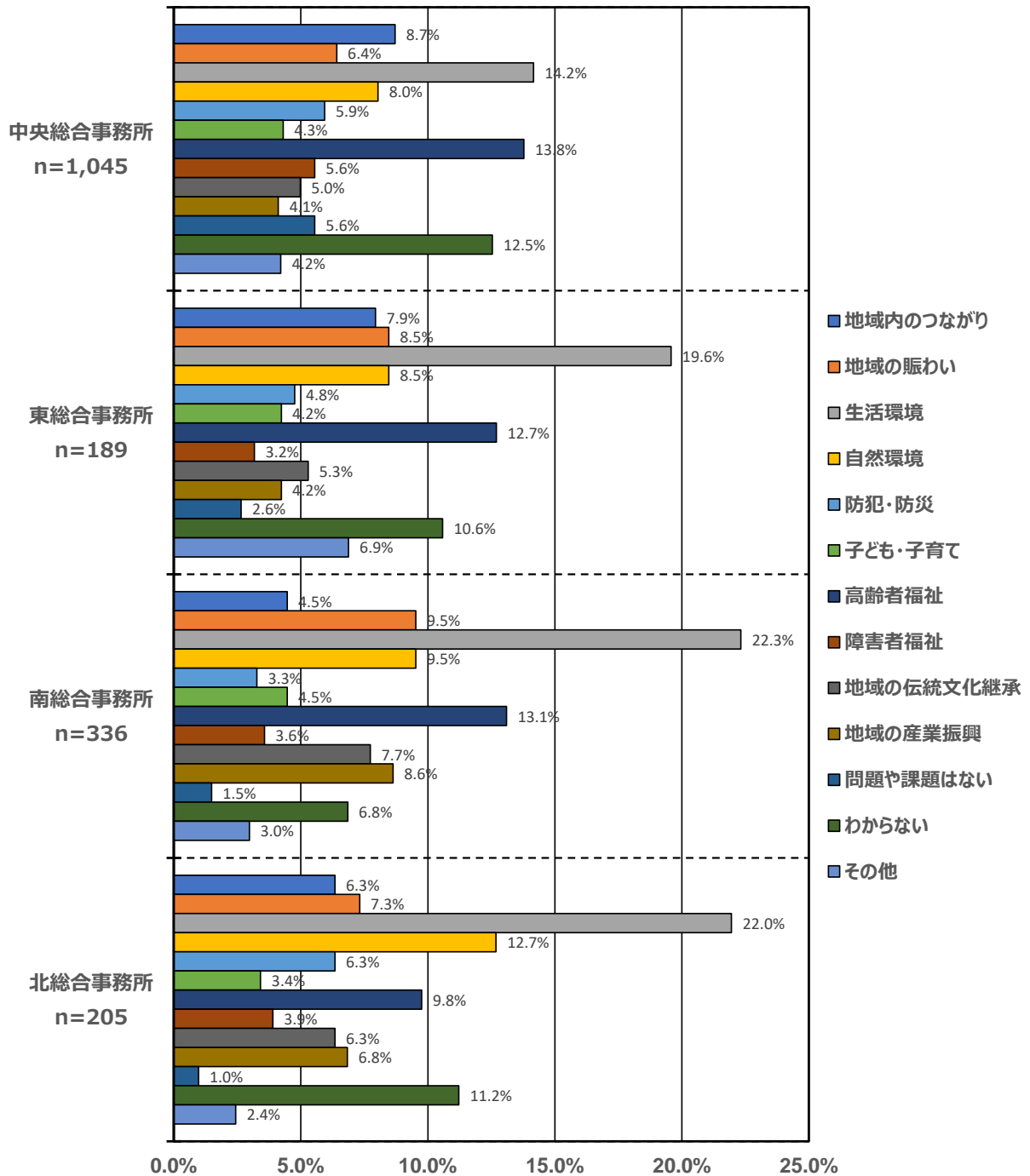
Ⅰ. 世帯構成



居住区域別にみると、「中央総合事務所」所管区域以外（東・南・北）で、「生活環境に関する
こと」の割合が大きくなっている。

【わからない・無回答を除く】

オ. 居住区域



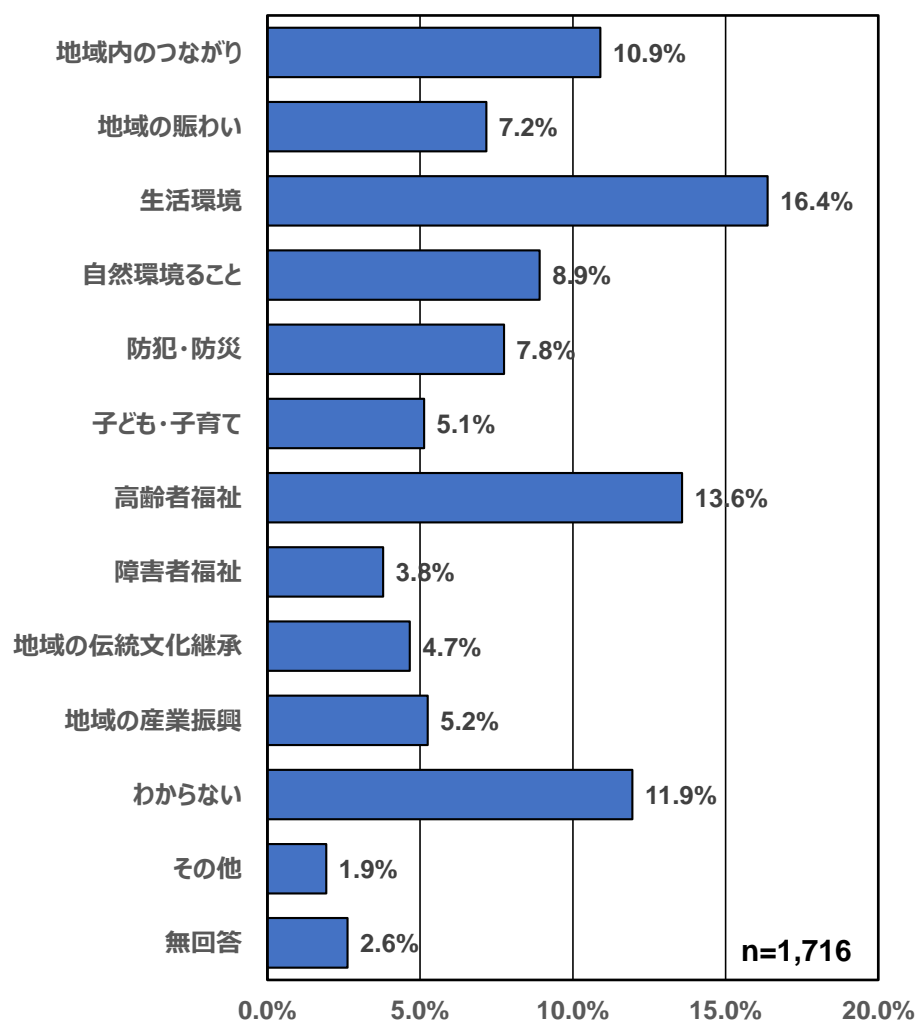
(4) 問18(1) 地域として優先して解決に力を入れていくべきことはどれだと思いますか

【答えは3つまで】

地域として優先して解決に力を入れていくべきことは「生活環境に関すること」が16.4%で最も多く、次いで「高齢者福祉に関すること」が13.6%、「地域内のつながりに関すること」が10.9%で続いている。

一方、「わからない」が11.9%となっている。

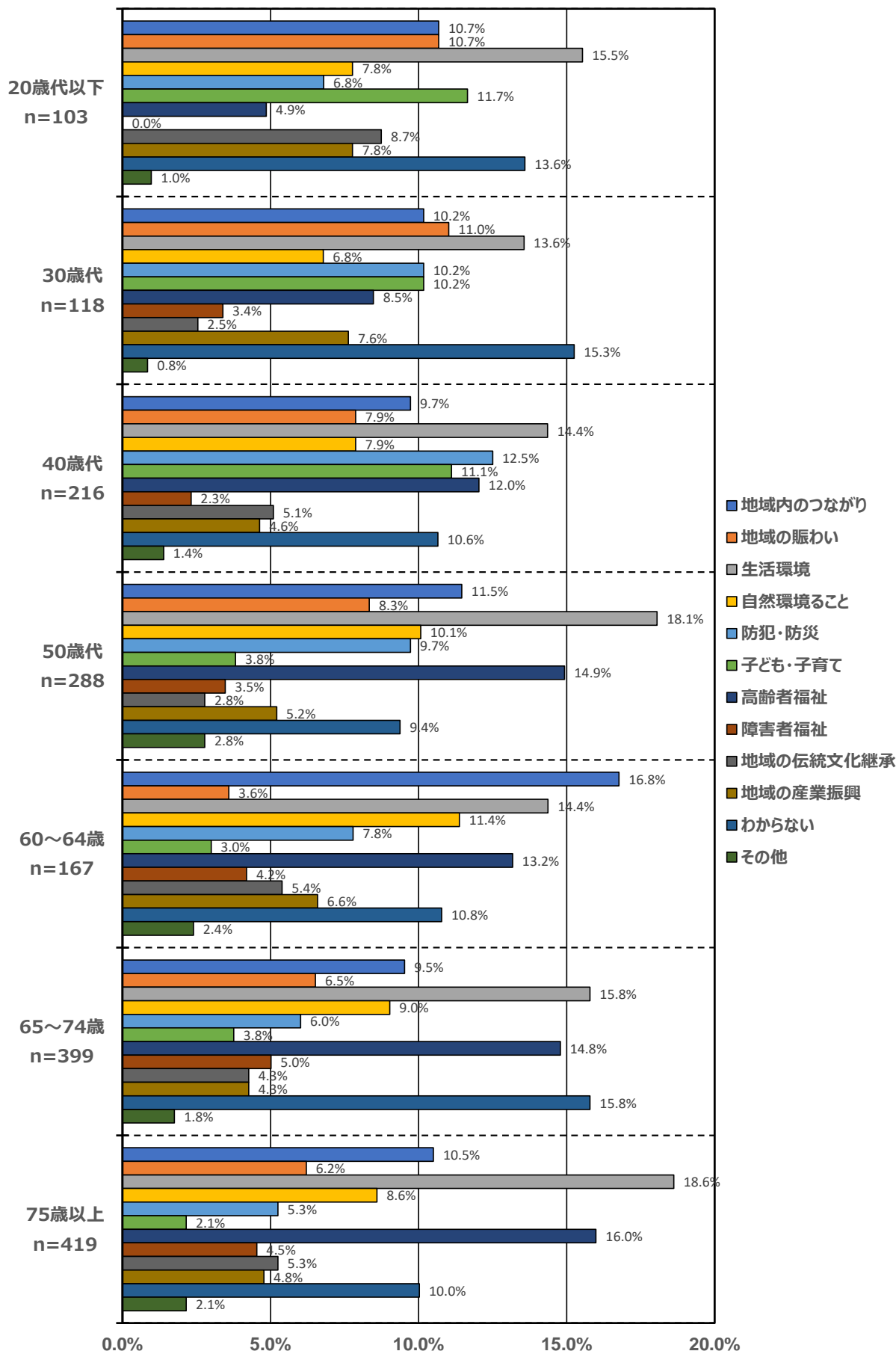
ア. 全体



年齢別でみると、「20歳代以下」、「40・50歳代」及び65歳以上では「生活環境に関すること」が1位、「60～64歳」では「地域内のつながりに関すること」が1位となっている。

【無回答を除く】

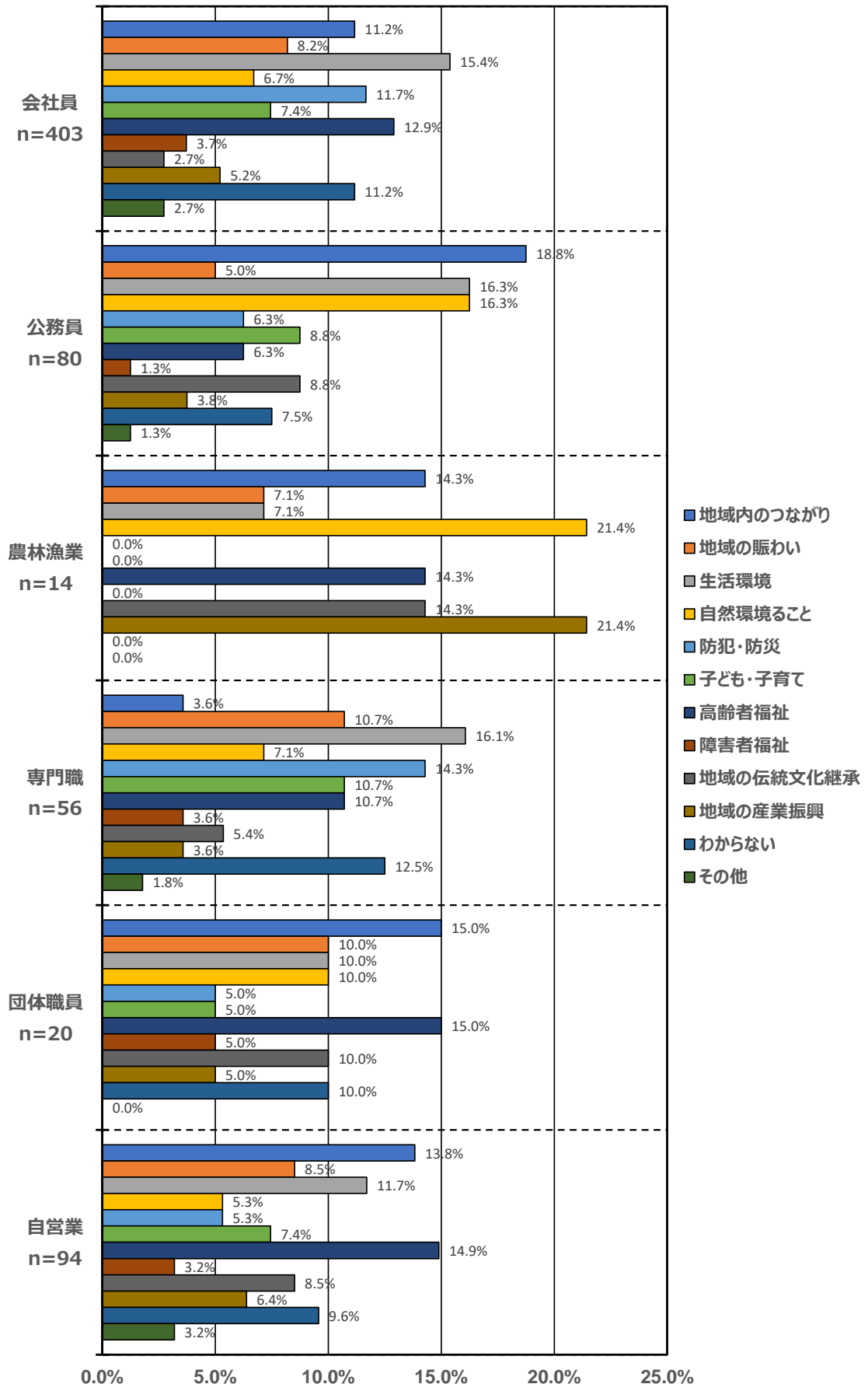
イ. 年齢

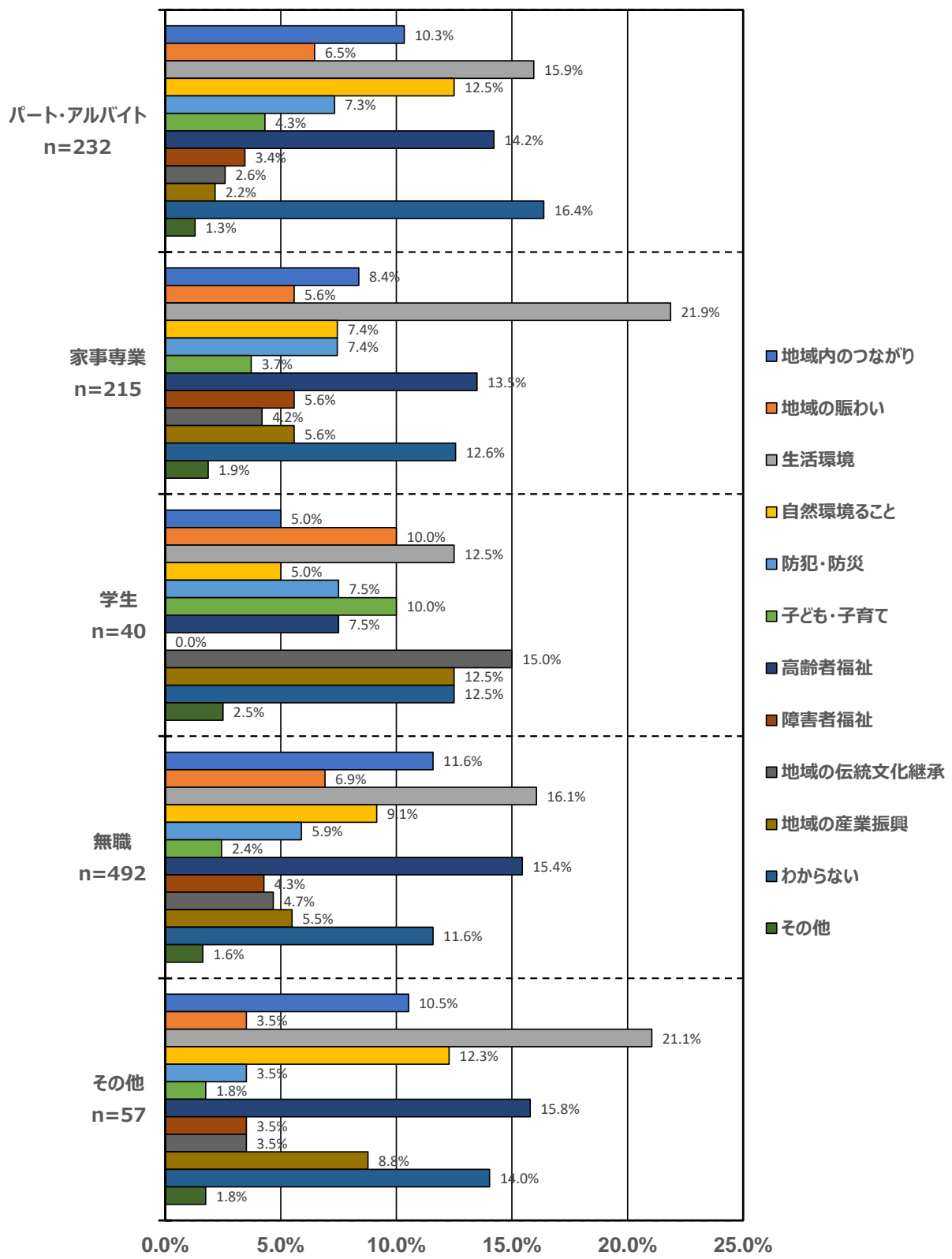


職業別でみると、ばらつきはあるものの、全体と大きな傾向の差異はない。

【無回答を除く】

ウ. 職業

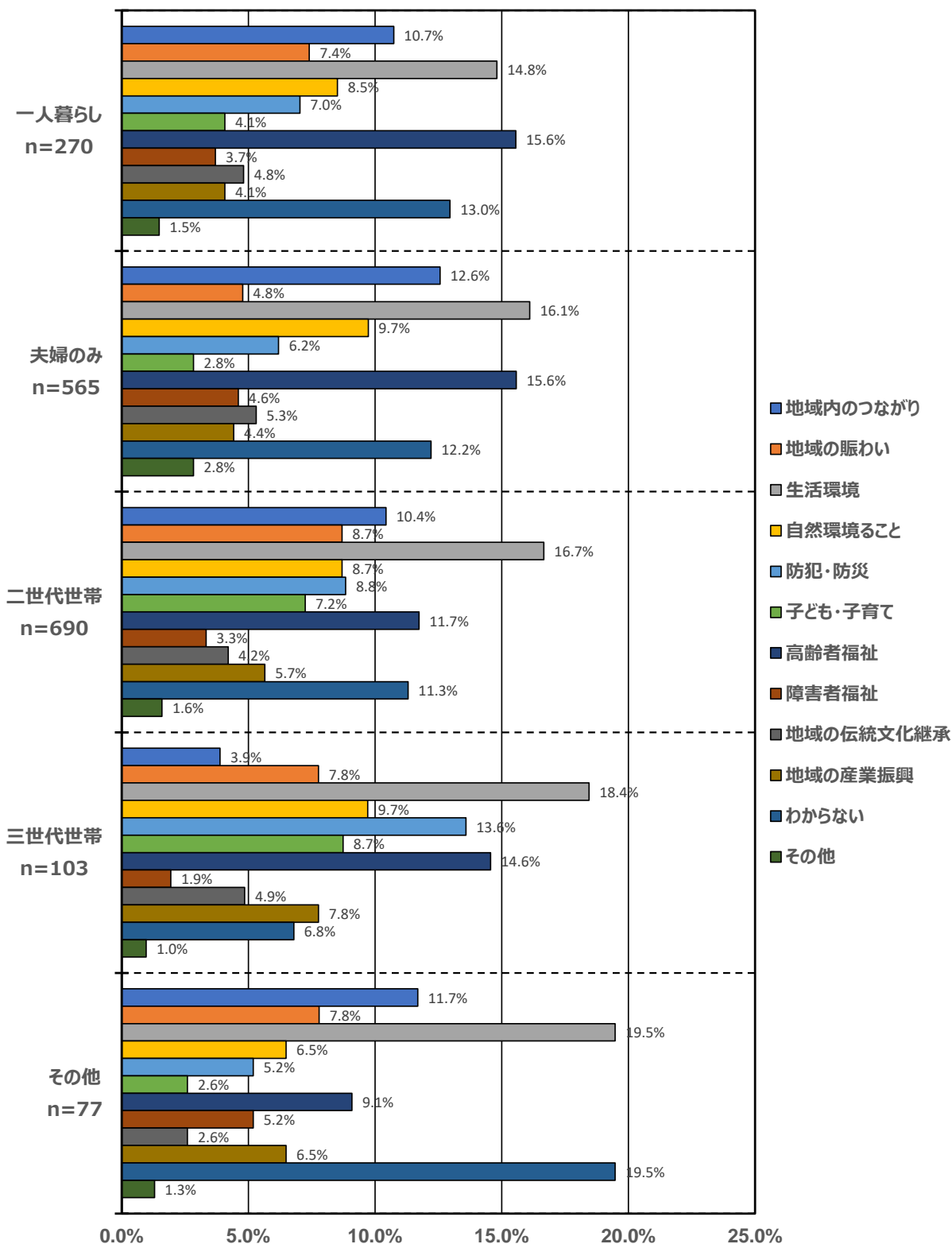




世帯構成別にみると、「二世帯世帯」、「三世帯世帯」で、「子ども・子育てに関すること」の割合が大きくなっている。

【無回答を除く】

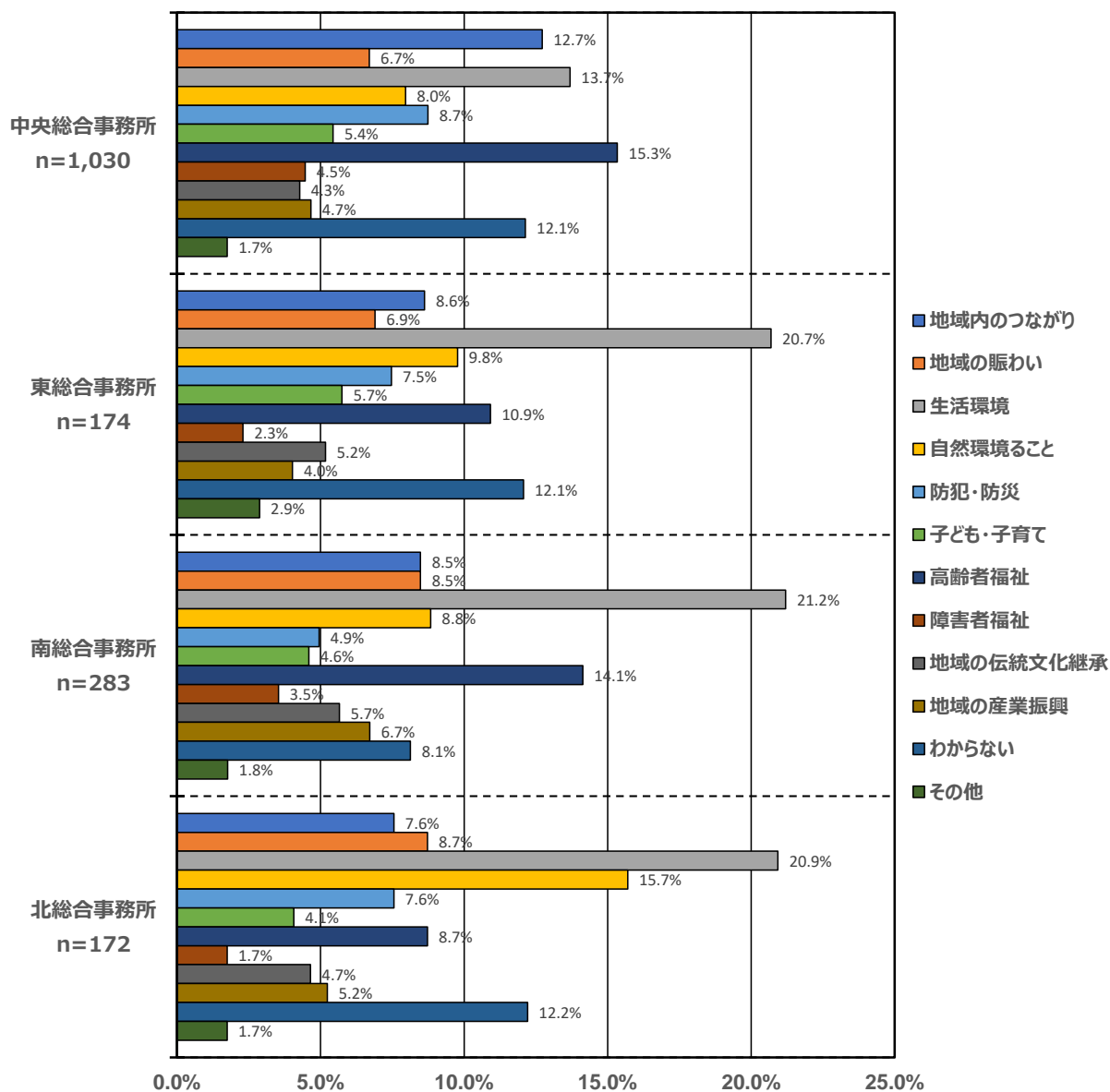
Ⅰ. 世帯構成



居住区域別にみると、「中央総合事務所」所管区域以外（東・南・北）で、「生活環境に関する
こと」の割合が大きくなっている。

【わからない・無回答を除く】

オ. 居住区域

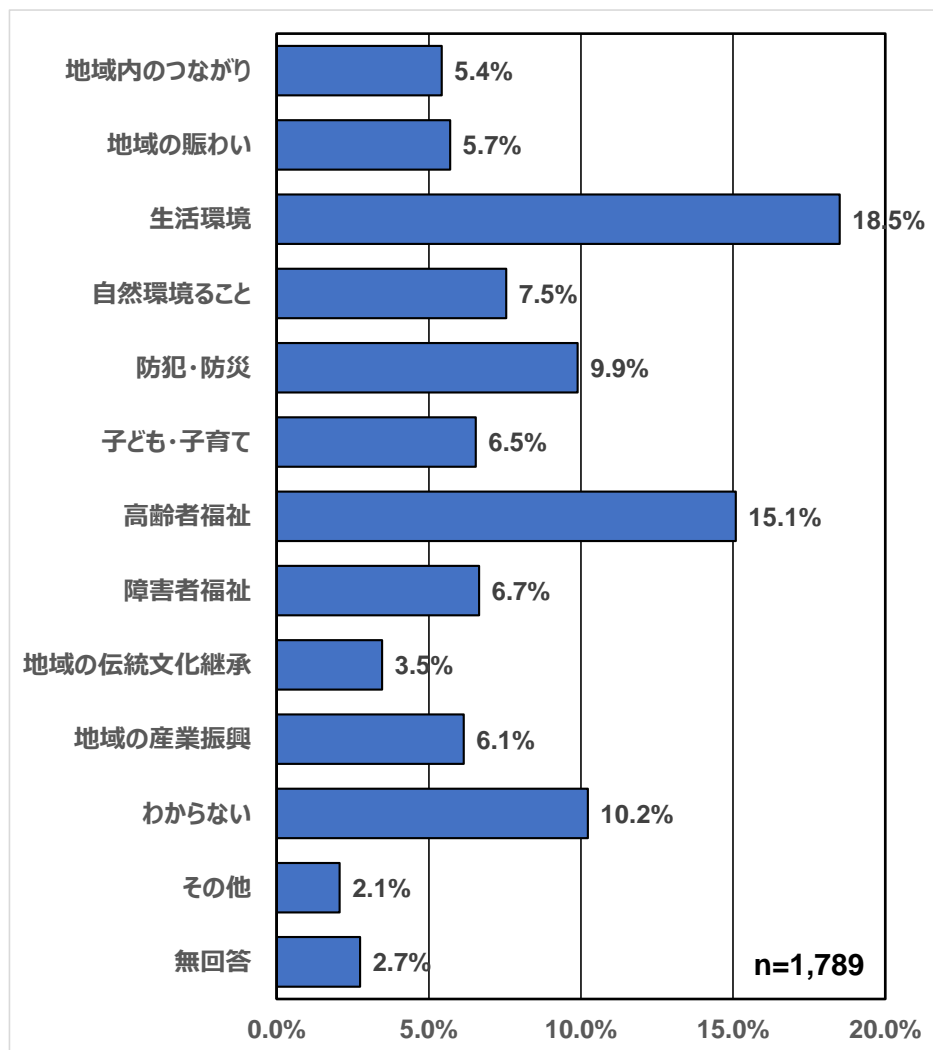


(5) 問18(2) 行政として優先して解決に力を入れていくべき問題や課題はどれだと思いますか
【答えは3つまで】

行政として優先すべきことは「生活環境に関すること」が18.5%で最も多く、次いで「高齢者福祉に関すること」が15.1%、「防犯・防災に関すること」が9.9%が続いている。

一方、「わからない」が10.2%となっている。

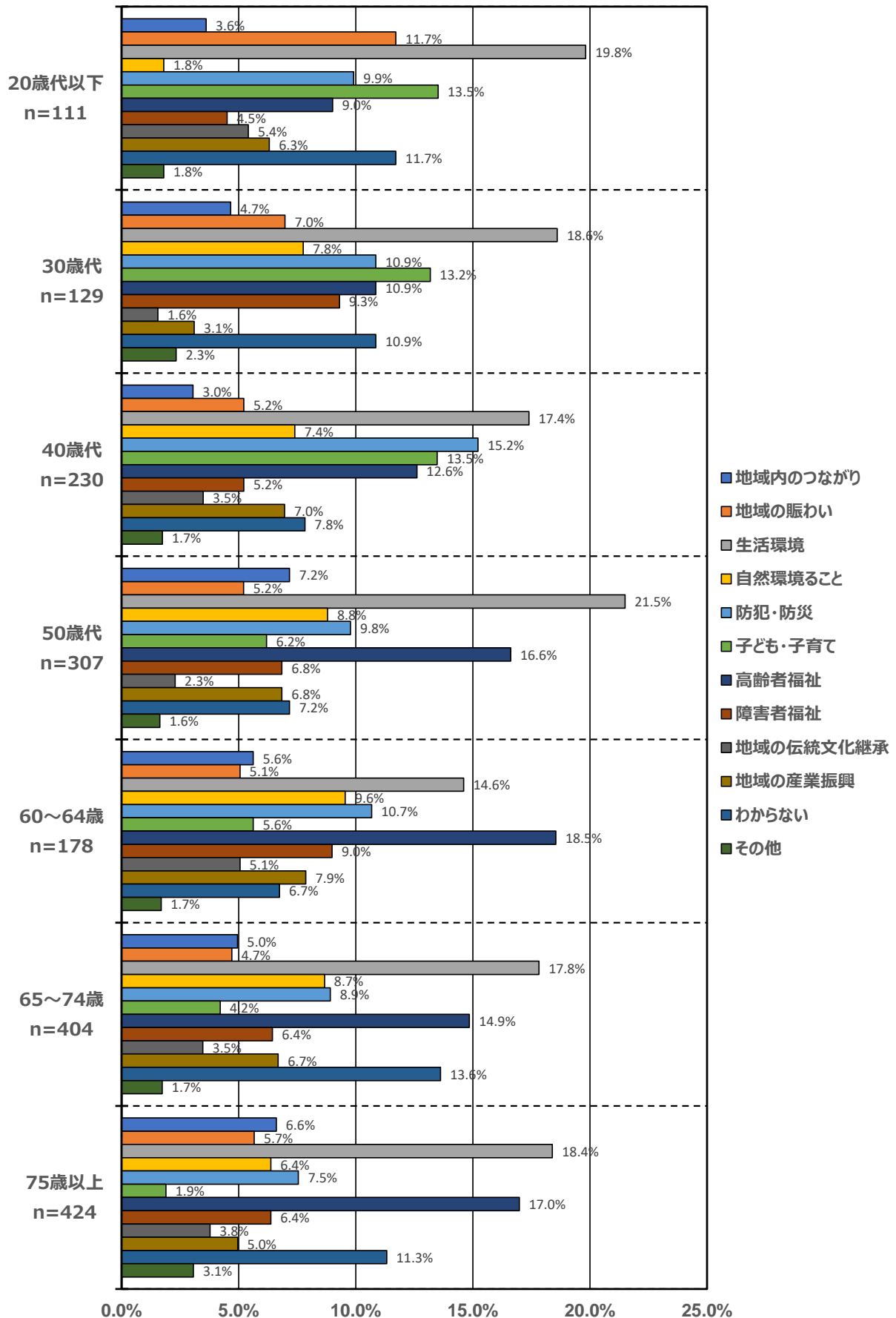
ア. 全体



年齢別で見ると、全体との相違が見られるのは「20歳代以下～40歳代」は「子ども・子育てに関すること」の割合が高いが、以降、減少している。

【無回答を除く】

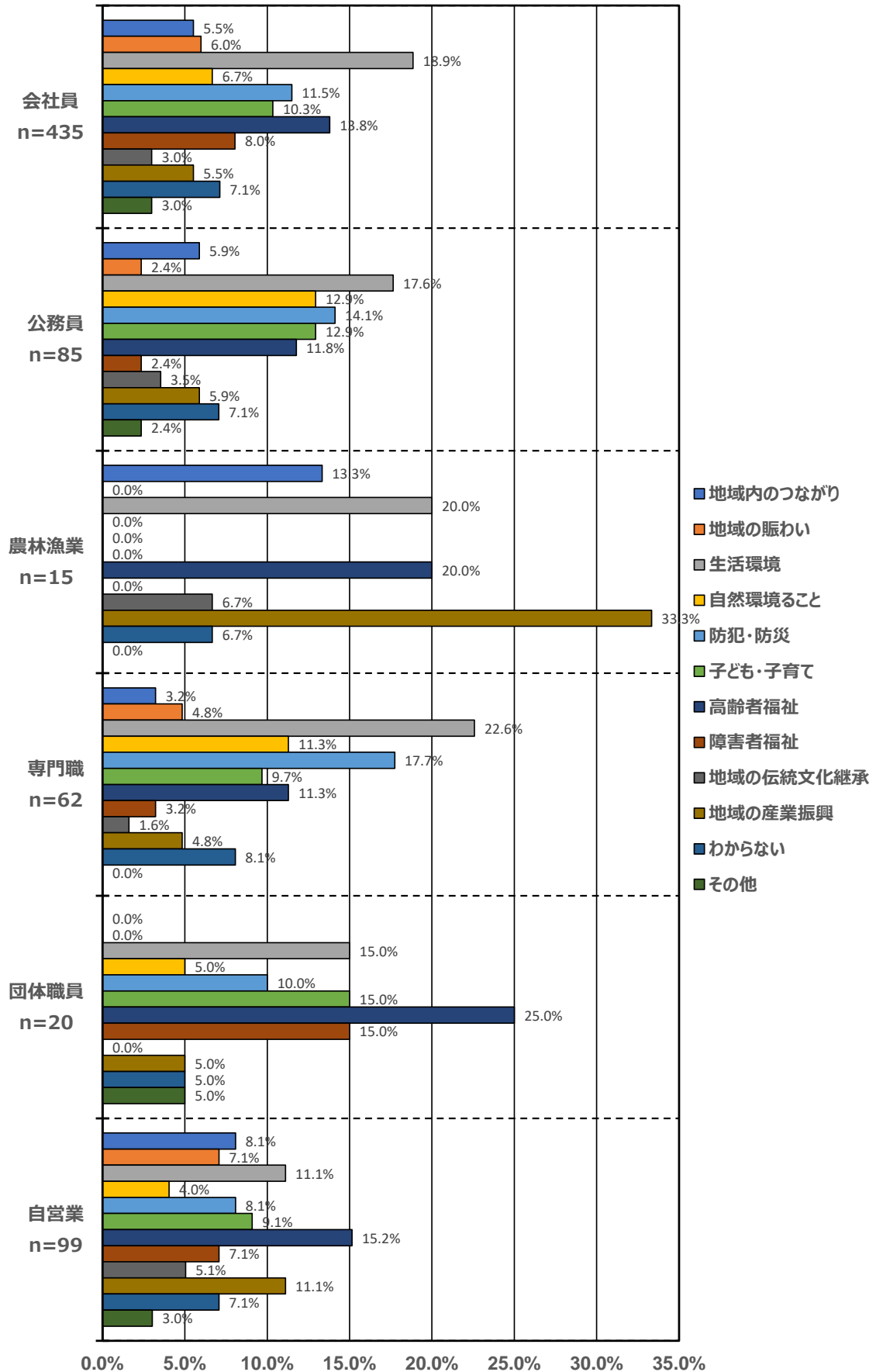
イ. 年齢

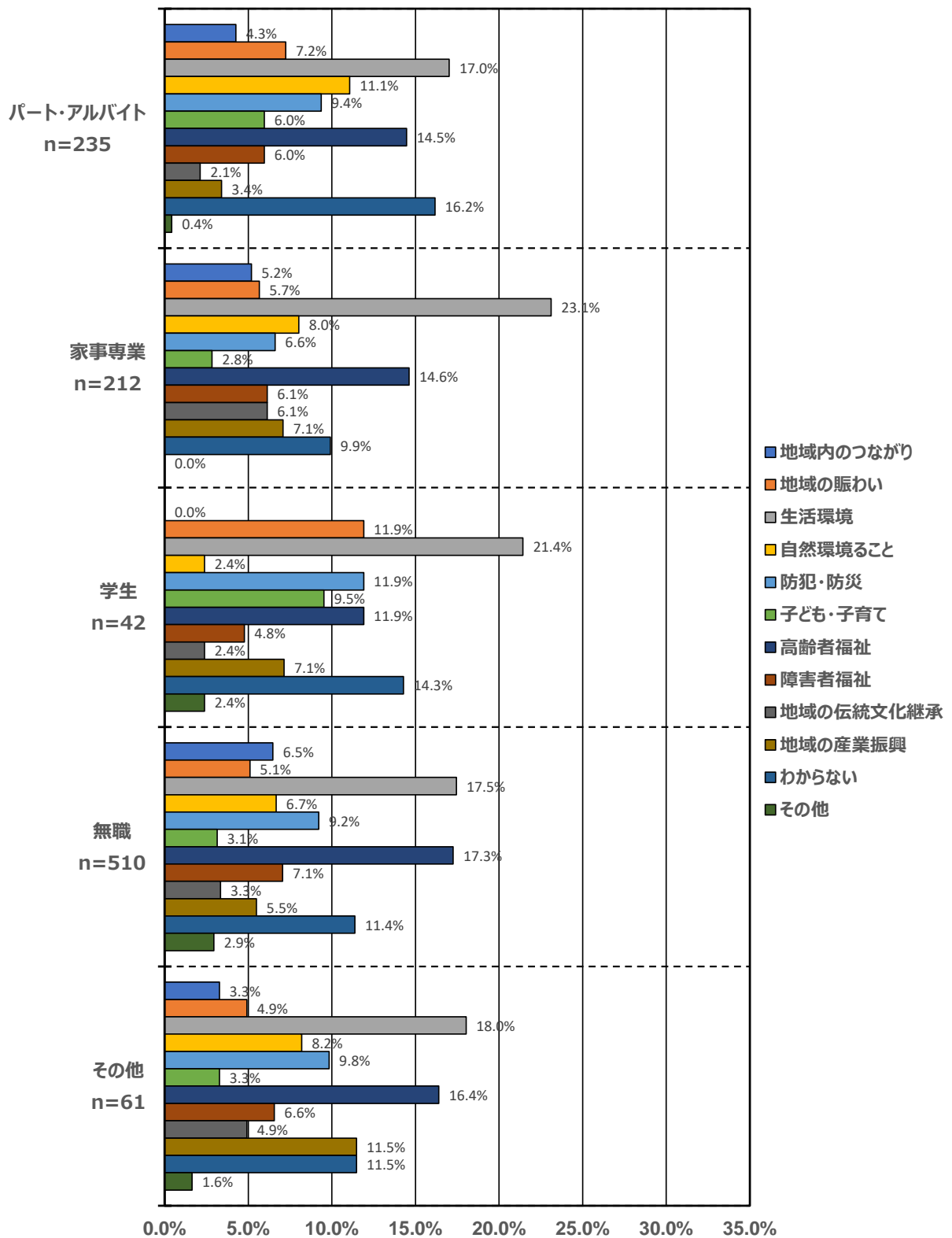


職業別でみると、母数が少ないものもあり、ばらつきはあるが、全体と比べて大きな傾向の差異は見られない。

【無回答を除く】

ウ. 職業



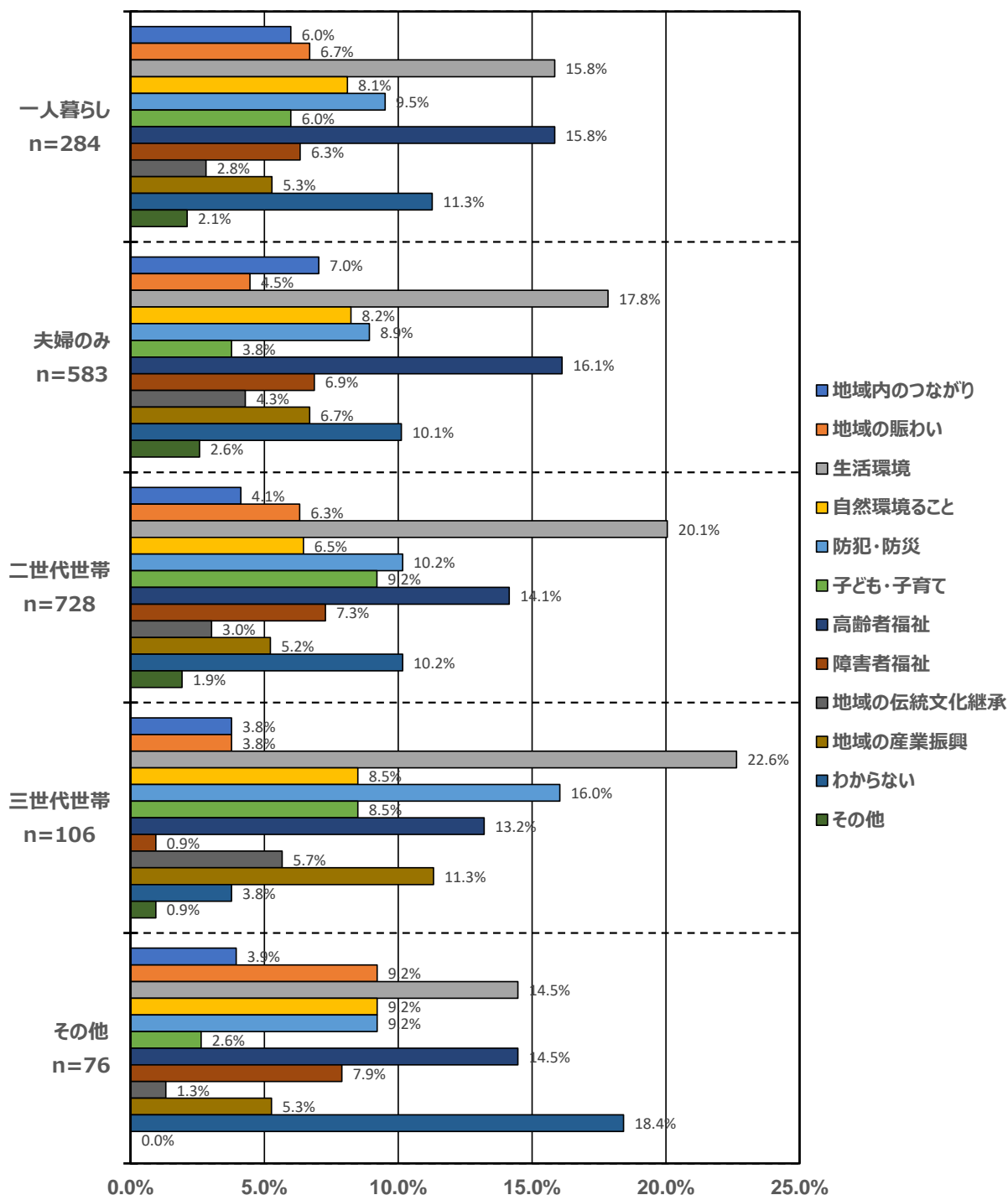


世帯構成別にみると、「生活環境に関すること」が世帯を通して第1位である。

「一人暮らし」、「夫婦のみ」、「二世帯世帯」では、「高齢者福祉に関すること」が2、3位となっているが、「三世帯世帯」では、「防犯・防災に関すること」が2位となっている。

【無回答を除く】

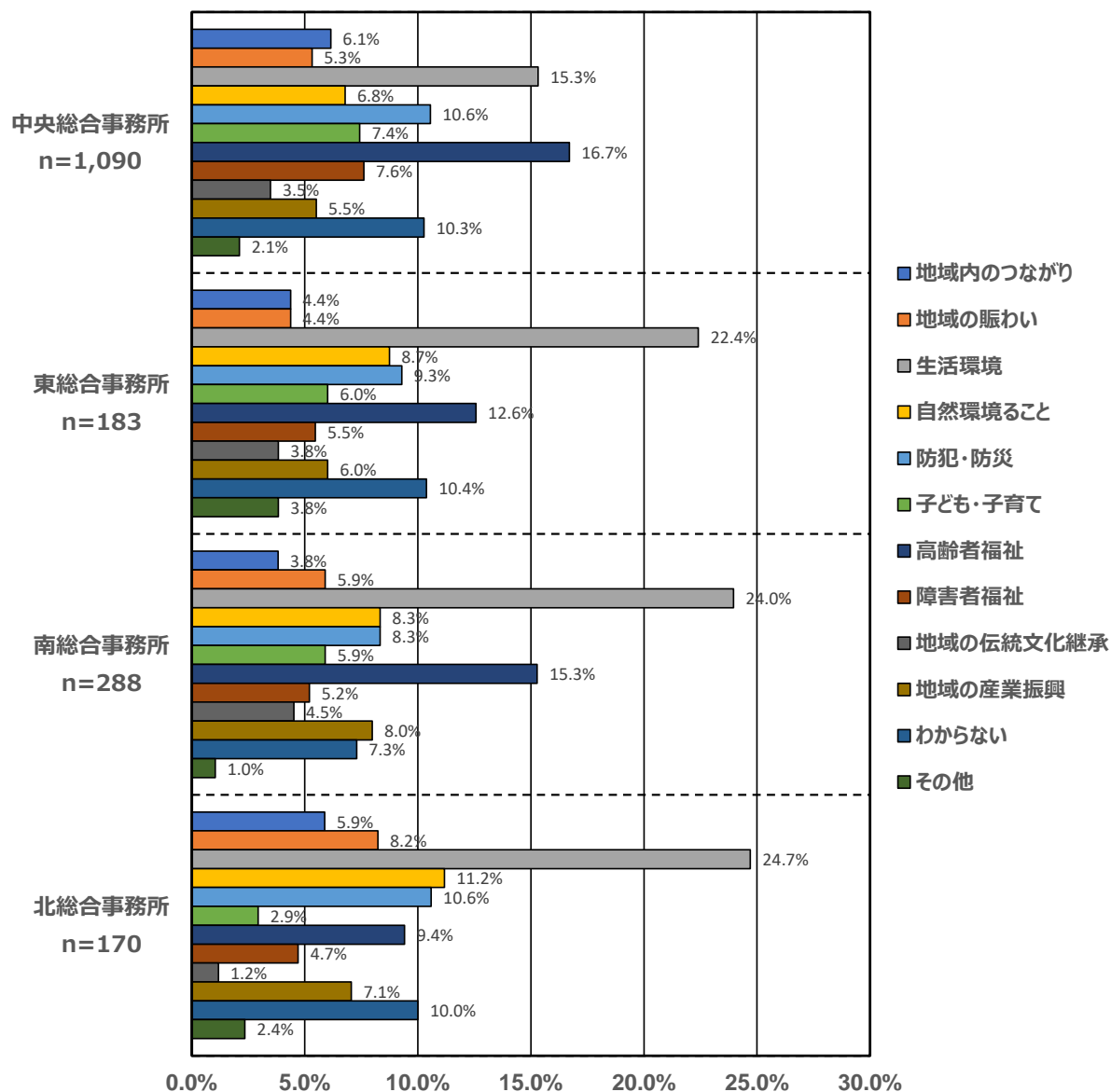
Ⅰ. 世帯構成



居住区域別にみると、「中央総合事務所」所管区域以外（東・南・北）で、「生活環境に関する
こと」の割合が大きくなっている。

【わからない・無回答を除く】

オ. 居住区域

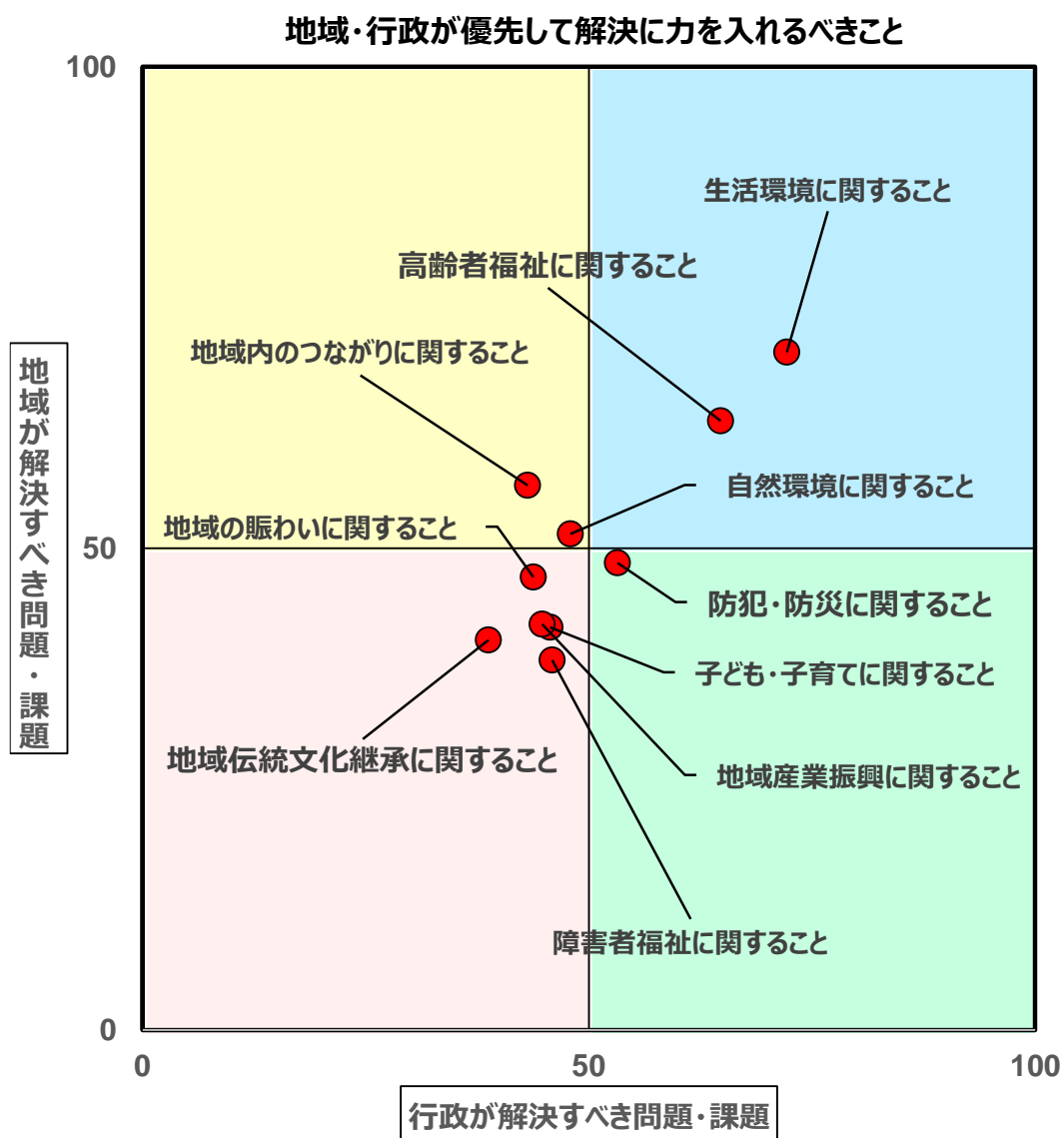


【地域として優先すべきこと・行政として優先すべきこと】

地域が優先して解決すべき課題と、行政が優先して解決すべき課題を、「わからない」、「その他」を除き、偏差値地にて示すと、下図の通りとなった。

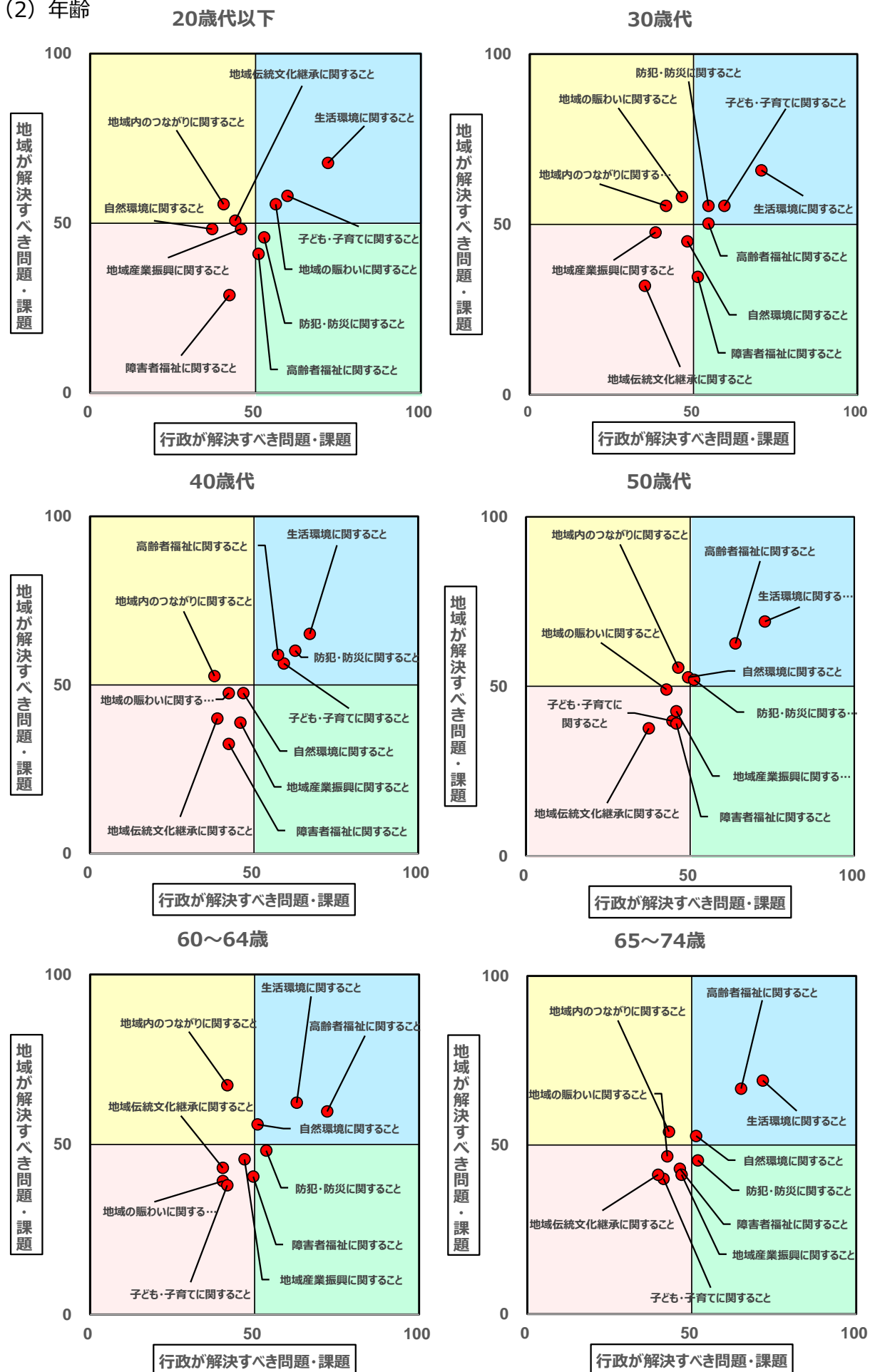
「生活環境に関すること」と「高齢者福祉に関すること」は、地域も行政もともに優先して解決すべき課題と位置付けられ、「地域内のつながりに関すること」、「自然環境に関すること」は地域が優先して、「防犯・防災に関すること」は行政が優先して解決に取り組むべき課題とされている。

(1) 全体

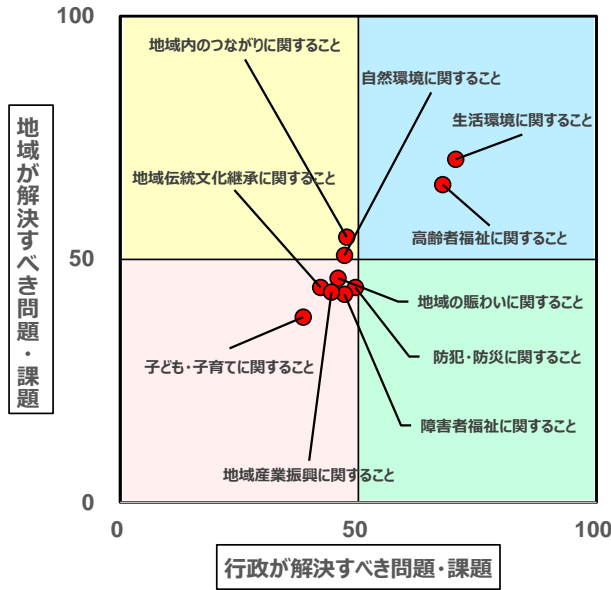


地域が優先して解決すべき課題と、行政が優先して解決すべき課題を、「わからない」、「その他」を除き、偏差値地にて年齢・世帯構成別及び居住区域別に表に示す。

(2) 年齢

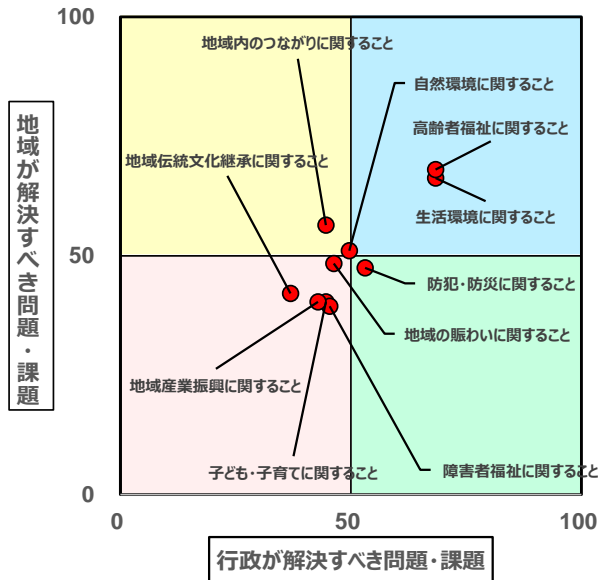


75歳以上

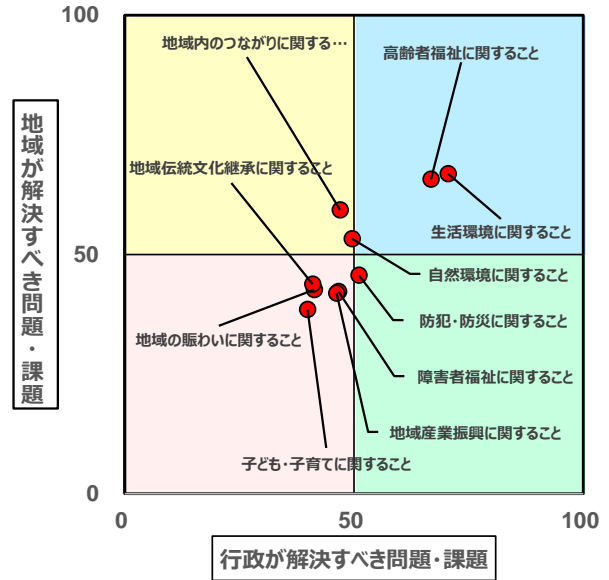


(3) 世帯構成

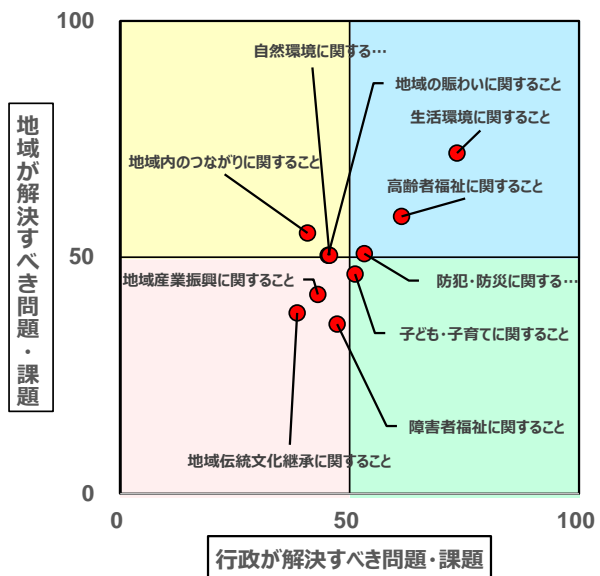
一人暮らし



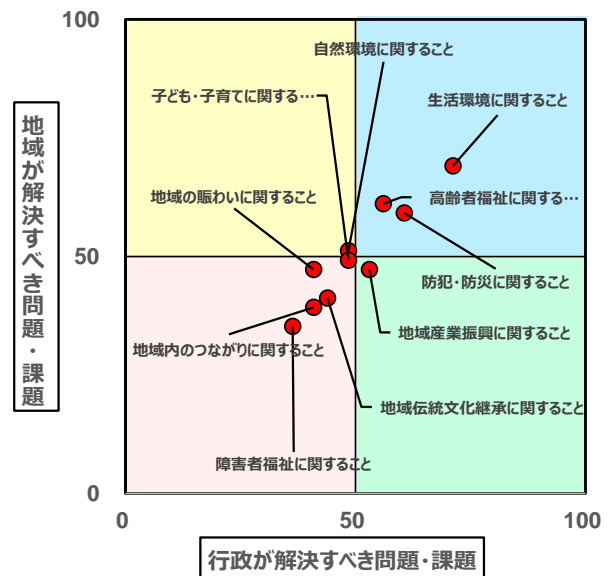
夫婦のみ



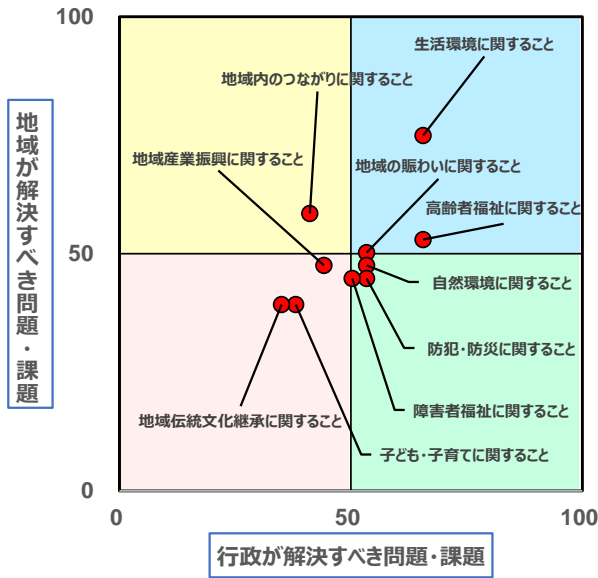
二世帯世帯



三世帯世帯

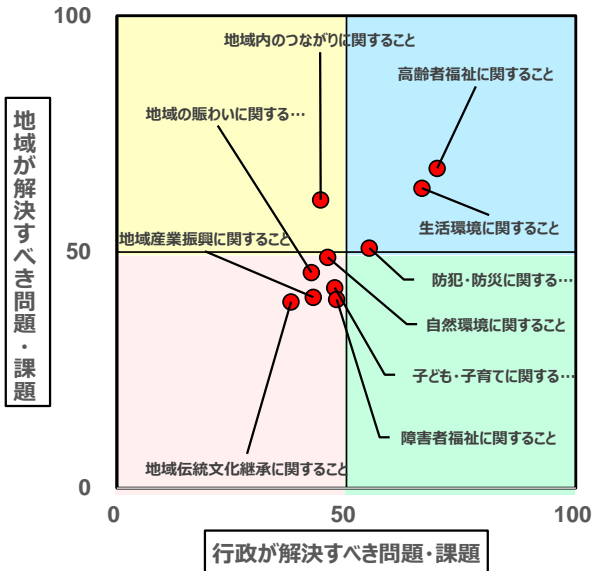


その他

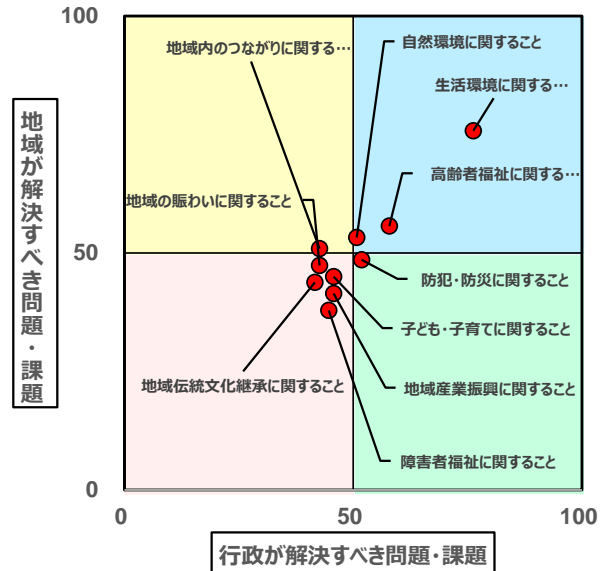


(4) 居住区域

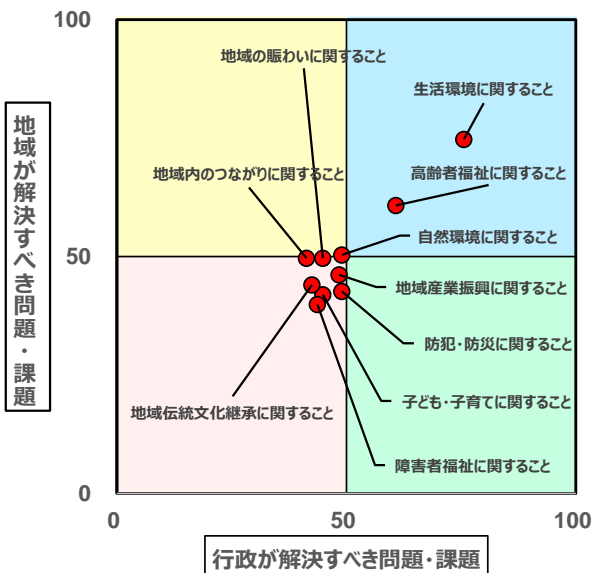
中央総合事務所



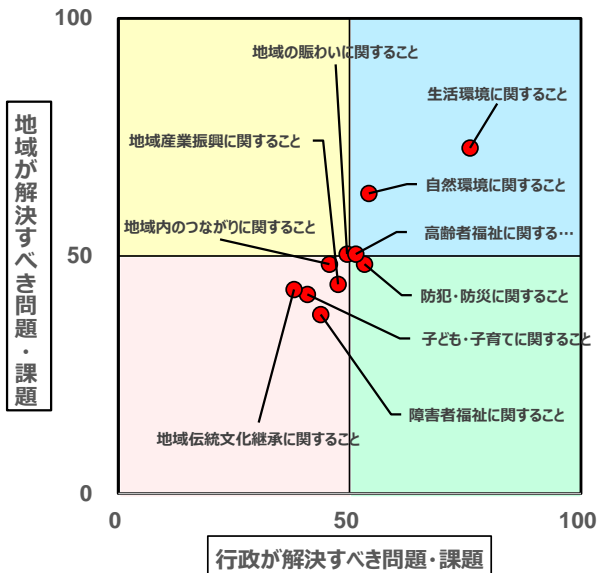
東総合事務所



南総合事務所



北総合事務所



(6) 問19 長崎市が提案している「地域コミュニティ連絡協議会」について知っていますか

【答えは1つだけ】

全体では「聞いたこともなく、まったく知らない」が51.0%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、あまり知らない」が33.5%、「ある程度知っている」9.3%と続いており、理解度（「よく知っている」+「ある程度知っている」）は12.2%、認知度（「よく知っている」+「ある程度知っている」+「聞いたことはあるが、あまり知らない」）は45.7%であった。

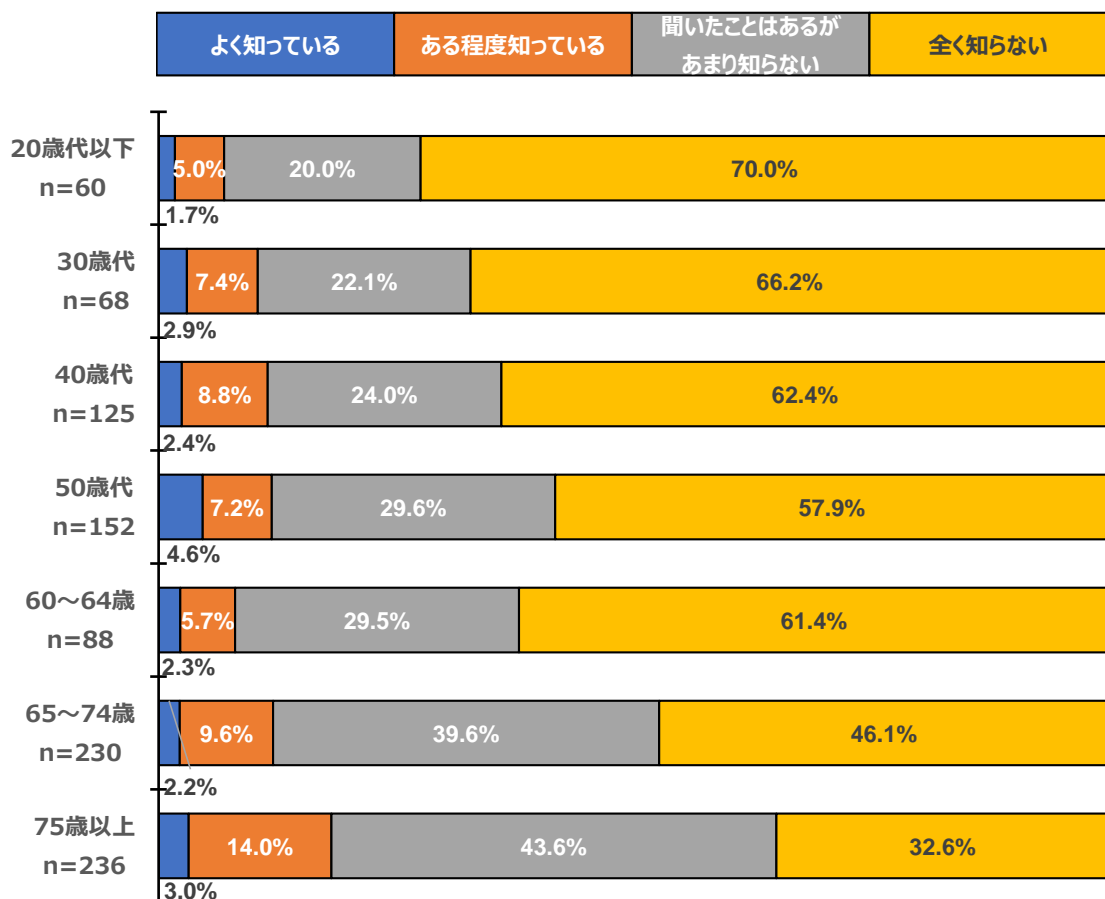
ア. 全体



年齢別では理解度・認知度ともに年齢の上昇とともに増加傾向となり「75歳以上」の理解度は17.0%と最も高くなっている。

【無回答を除く】

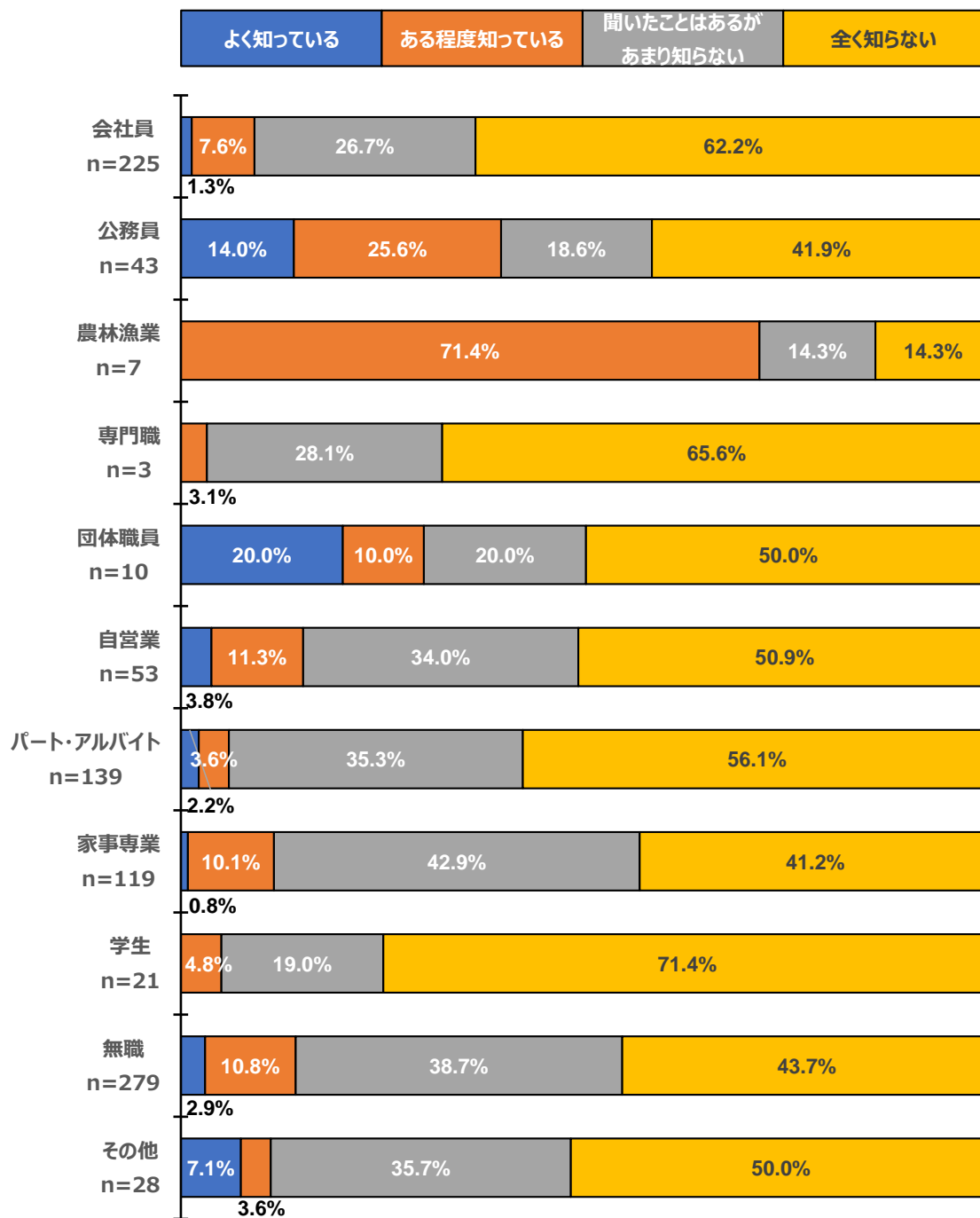
イ. 年齢



職業別の理解度は、母数がある程度大きい「会社員」、「パート・アルバイト」、「家事専業」、「無職」では、全体の傾向と大きな差異はない。

【無回答を除く】

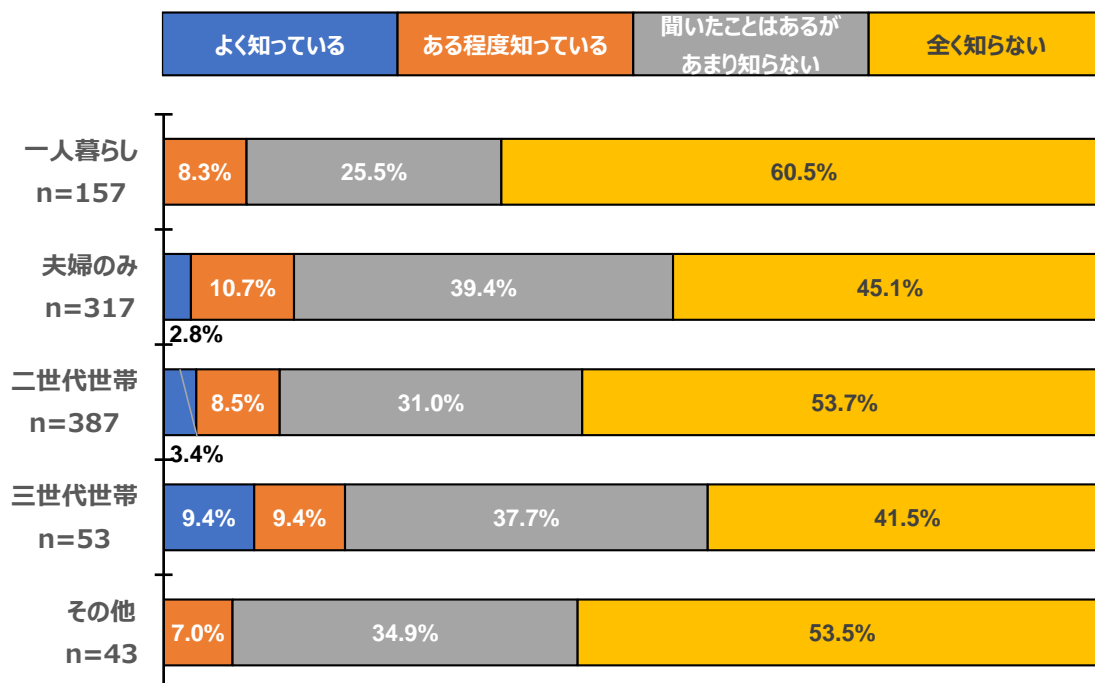
ウ. 職業



世帯構成別では、「三世帯世帯」の理解度が18.8%で最も高く、「二世帯世帯」、「夫婦のみ」の理解度も11~13%程度であった。

【無回答を除く】

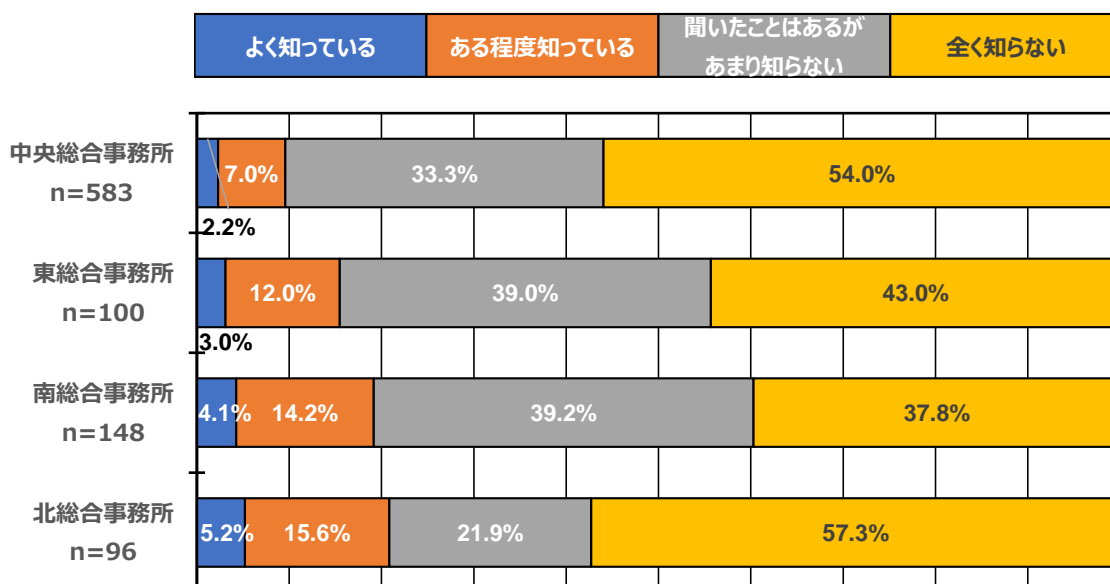
工. 世帯構成



居住区域別では「北総合事務所」所管区域が理解度が約20%で最も高く、以下「南総合事務所」、「東総合事務所」と続いている。

【わからない・無回答を除く】

オ. 居住区域



まちづくりについての意見（自由記述）

（１）問20 最後に、住民主体の地域におけるまちづくりに関して、ご意見・ご要望がございましたら
ご自由にお書きください。

地域	年齢	内容
中央東部地区	20歳代以下	やはり子供たちが安心安全に生活できる街づくりが第一である。
		人口減少が心配です。
		計画の策定は大変と思います。応援しています。
	30歳代	行政が取り組みを行い、活動の基礎ができてから住民主体へ移行すべき。地域の住民の負担が増えるだけになりそうだと思います。誰のために、何のためにするのか分かりません。
		住民主体で頑張っている方々を行政としてしっかり伴走支援してほしい
		どこの道もボコボコしていて車椅子ユーザーには外出がとても大変だと感じています。スーツケースもすぐに壊れます。もう少し道を整備していただけたらと思います。
		子育て世代に向けた政策や施設の建設などに注力していただけると嬉しいです。
		住民主体となるためには、まず地域の課題をピックアップし、それに対して、誰がどのようなアプローチで取り組むのかを可視化、共有する必要があると思う。マンション等の建物が増えたことにより、その地域の課題や地域に関わる人々の取り組みが見えていない、見えていても一部の人に限定されているように感じる。見えていなければ、動きたい気持ちがあっても動けないし、そもそも動くこともならない。可視化、共有することで、住民一人一人が地域の課題を「自分事」として捉え、主体的に活動に参加することに繋がると思う。そのような場として地域コミュニティ連絡協議会があると思うが、意見は出ても、結局動くということにまで至るには相当な時間や労力、人材が必要になってくるため、なかなか一歩を踏み出せない地域が多いのではないかと。行政には、それ以降の支援をこれまで以上に拡充する役割がある。正直「やって終わり」「作って終わり」の印象。モデル地域を指定し、ブラッシュアップしながら、それを他地域に繋げるような取り組みをしてほしい。
		空き家が多く、住民自体が減っています。階段が多い地域ですがその分眺めはいいし、明かりが増えて結果的に安全になります。ぜひ若い方に麓のマンションではなく斜面地を選んでもらえるように、PRしていただけたらありがたいです。
	40歳代	官民一体となった活動が難しくても、お互いが把握して活動ができればいいなと思います。子どもが減っているので、子ども中心ではなく、地域の企業などに中心になってもらいたい活動するのもいいなと思います。
		長崎に住んでいる外国人や自治会に入っていない人にも意見・要望を聞いてほしいです。
		みんな 何をしてほしい というのは結局わからないと思います 行政からの具体的な提案がくれば それはいい となるのでは？
マンションに住んでいるので隣近所とは挨拶程度しか無い		
くunchや餅つき、子ども会行事等の地域の行事を通じて、近所の方々や自治会の方々にも、子どもが小さい時から見守っていただけていて、とても住みやすく愛着があります。地域のまちづくりや子どもたちのために、役に立てることがあれば参加したいです。		
地域活動は活発に行われていると思います。仕事でなかなか参加できませんが、退職後には何かやりたいと思っています。		

地域	年齢	内容
中央東部地区	50歳代	<p>行政⇔市民が一体となりより良い街づくりに貢献していきたいと思います。 「地域コミュニティ連絡協議会」にも参加してみたいと思います。 同時進行で「資格取得のできる学びの場」を作っていただきたい 鈴木市長によろしく</p>
		<p>バスの便も減り困っている方も多いうように思います。高齢者が利用できる交通手段、買い物が気軽にできる移動販売等が必要になってくるかと思えます。子供が小さいときには子供会に参加していましたが、習い事等で参加できない子も多く以前と同じような活動の仕方に難しさを感じていました。市との連携が何より大切かと思えます。</p>
		<p>自治会の必要性がわからない</p>
		<p>仕事が忙しく、全くゆとりがない。</p>
		<p>長崎市は頑張ったり考えたりしているのは分かるが、中途半端やチグハグな結果となることが多いと感じる。 市民から意見をたくさん聞くことは大事だが全ての意見は実行できないのだから、行政はたくさん意見から有効な意見をピックアップすること。ピックアップしたものは市長がリーダーシップと責任を持って決断して実行すること。市長の決断と実行力を期待しています。 ジャパネットは参考になります。長崎市もジャパネットを参考にして良い街作りをしてください。</p>
	60～64歳	<p>自分の居住している集合住宅では今まで全世帯が自治会に加入していました。今年度からは各戸での加入（任意）となり、加入しないという方がとても多くなったようです。一つの理由は自治会費を出しても加入しているメリットを感じないという方が多くなったようです。逆に加入している人は子供がいるので子供同士の集まり、行事があるので関わりを持っているとのこと。 高齢の方がやはり加入しないとの結果、一人暮らしや高齢世帯が町中ですが多くなっていますので、本当は災害や何かあった時などに協力し合い、連絡が取れる仕組みづくりなど大切ではないかと考えますが、住民主体といっても具体的な形が見えづらいのが本当のところでは。</p>
		<p>テレビで見た取り組みがとてもいいなあと思ったことがあります。（最近放送されました） 1階が老人ホームになっていて2階が学童になっている構造です。小学生は必ず1階の高齢者が居るところを通らないと2階に行けません。毎日1階を通り、あいさつすることで顔なじみになり、自然と会話したり勉強を教えたり、いろんな遊びをしていました。高齢の方は子供たちと話をしたりすることで笑顔になっていました。素敵な取り組みだと思います。長崎市や地域でもそういう取り組みができればいいなあと思いました。</p>
		<p>スプレー缶を捨てられる所をゴミ収集場所に設けて欲しい。乾電池を捨てられるみたいなの。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・防犯面で不安があります。不審者の侵入を防ぐために、お互い声かけをすることが、大切だと思っています。 ・バスの便が少なくなっているのが、心配です。車が手放せません。高台なので、簡単に歩いてとは、いきません。地域の状況を考慮した行政を望みます。

地域	年齢	内容
中央東部地区	65～74歳	<p>長崎は坂や階段が多く、それが高齢者の外出のネックになっています。佐世保は75歳以上の方はバス代が無料です。佐世保に住んでいる私の母は99歳ですが、毎日外出していたおかげで病院にもかからず、市営の浴場に毎日行っています。</p> <p>佐世保市には本当に本当に感謝しています。今年になってから兄の送迎になりましたが、それでも98歳まではバスでした。無料でなければ毎日外出できません。市営浴場も150円くらいです。私の住んでいる所は乗り合いタクシーがあり200円でしたが300円になりました。200円の頃、いつか100円になりそのうち無料になるだろうと思っていたので本当にガッカリしました。</p> <p>外に出ると元気になります。目の前の100円に惑わされず、老人が楽しく暮らす為にどんどん外に出てもらうよう交通費の補助をもっと充実してほしいです。</p> <p>同じ長崎に住んでいて市によってとても差があり、長崎市民は損している気分です。交通費の補助は回りまわって医療費の削減につながります。箱物の建築はもういいと思います。田上市長もやめられたので。交通費の補助がなければいくらコミュニティを推進させようと頑張っても無理です。外に出ないんで野良猫を何とか減らしてください、困っています。</p> <p>地域のまちづくりという点では、集まりやすい施設を作ることも大切と考える。市庁舎跡地は鈴木市長は「極めて重要な場所」「文化施設としての機能に限定せずにそれ以外の機能も付加した形での利用も視野に入れる」と述べたが、それを聞いて、九州はもとより全国の施設を利用した中で「かごしま県民交流センター」と同じ作りがベストだと思い、今年2月くらいに市役所に行き、同文を備え付けの用紙に記入して意見箱に投函したが、検討してもらえたのだろうか？ホールもあれば多くの会議室みたいな多目的に利用できる部屋、最上階にはギャラリー、1階には食事をとれる場所もある、理想的な市民の集える施設です。</p> <p>ぜひ、一度行って参考にしてください。</p> <p>未だ市庁舎跡地を有効利用できない長崎市が、魅力あるまちづくりを本当に出来るのかと思っている人も多い。</p> <p>頑張ってください。</p> <p>高齢化が進み近所は空き家が多くなり災害などの心配があります</p> <p>仕事で遅くなる場合、街灯が少なく不安である</p> <p>犬と一緒に暮らしている世帯が多い中で長崎市はドッグラン施設が稲佐山に一か所しかなく諫早市や近隣市町まで連れていくような状況である。これからは一人暮らしのお年寄りが犬と暮らすケースは増加すると思われるのでドッグラン施設の拡充を検討してほしい。</p> <p>当町には 乗合タクシーがあるが 満員で乗れないことがある。そういう時は 外出を諦めるか 次の便を待つ。乗車定員が決まっている以上仕方ないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は 一人暮らし 孤独死予備軍です。いつ倒れてもおかしくない身である。だからと言って あまり気遣ってほしくない気もあるが…。 ・現在 生活が苦しい。550円の弁当を一日3回に分けて食べている。金銭面の支援は出来ないものだろうか？ <p>自治会での行事がほとんどないので、自治会に入る人がいないようです。何か小旅行でも催しがあれば良いと思います。そうすれば、すこしでも入る人が増えるかなとは思いますが、予算の関係上難しいかとは思いますが…。</p> <p>若者と高齢者が繋がりがやすく、軽い集まり(映画や音楽について語り合うなど)の会合みたいなものの開催。</p> <p>片肘はらずできるものが良いと思う。</p>
	75歳以上	<p>高台には高齢者が多数住んでいる。</p> <p>昇降手段・手すり等を考慮して欲しい。</p>

地域	年齢	内容
中央東部地区	75歳以上	発想の転換が必要。
		<p>自治会は役員だけのコミュニティのように感じる 一般人は自治会に入っても情報が入ってこなく、回覧板を作成する人がいないのかまともなものではない 自治会の質の向上を望みます 今時公民館にパソコンすらなく役員宅で作成している 市の方からどれ程の予算があるのかわからないがいろいろな要望を言ってもいつも予算がないとの回答 市に対してふれあいセンターや公民館の充実を希望します</p>
		地域の人が気軽に喝茶を飲んだり話したりできる、くつろぎの場所があればよいと思います。
		高齢であり外出が少ないので要望は差してありません
		<p>市の北部に比べ南部地区の発展が遅れている 優遇措置をとるのも一案、また浜町界隈の空き店舗が目立っていますが、これも且つて殷賑をきわめた時代を知るものにとっては誠に淋しい限りです。時代の流れとは申せ誠に残念です。</p>
		<p>私も町内の役員を長年しています。 自分自身足を痛めあまり協力できなくなりましたが、それなりに参加しています</p>
		これといった問題もなく皆さんと和気あいあいとスムーズに使用させていただいております。おくんちの地域でもあり、まちづくりは十分です。
		素晴らしい提案と思います。よろしくお願いします。
		人口減少の今、これからを自治会活動等いかに勧め取り組んでいけばよいか難しい問題ではないでしょうか？
		長崎市は周りを山に囲まれ、高台、坂道等生活環境は何かと厳しいところがあり、空き家、空き地があちこちに点在して防犯面でも不安が残る。また交通、商業面でも日常の買い物、病院通い等々負担が大きい。
		<p>「困ったときはお互いさま」昔から日本人のお付き合いは温かでしたが、現在では「余計なお世話」と口を閉じてしまいます。 笑顔でコミュニケーションできたら老後も楽しいでしょうね</p>
		<p>高齢者は閉じこもることが多い為、元気な人も身体が硬くなって怪我をして寝込んでしまい周りの人に迷惑かけてしまい本人もつらい 少しでもスポーツしていたら怪我が少なくなる為</p>
		<p>景色は良いが斜面地・階段ばかりで、高齢者も多く住む地域で、安心して安全に快適に過ごして行くには、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 住民同士が、お互いを気遣う密な関係を構築する事（従来の形骸化した自治会活動を改めもっと身近で親身な関係で自分たちで対処していくような関係） 2. 行政がもっと積極的に地域の課題問題点を把握する努力が必要（定期的な地域住民との意見交歓等） <ul style="list-style-type: none"> * 階段・手摺・街路の維持、街路と設置 * 監視カメラ設置等防犯等など <p>住民と市行政の（市役所）繋がりが細い、市はもっと地域に出張って来なければ！</p>

地域	年齢	内容
中央西部地区	30歳代	インターネットや物理的な目安箱で困り事を住民から吸い上げると良いと思う ただし、こういうものを置いた際には夕方のニュースや広報誌、チラシ、ラジオCMなどいろいろな媒体を使って周知すること
	40歳代	水道は長崎市で管理運営してほしい。例えば民営化することで水道を止められたり、管理がうまくいかないと中毒を起こしたりしそうで恐いです。
		小学校区によっては人口もかたよがりがあり、子供が少ない地域、高齢者が多い地域など様々です。 子供が少ないとどうしても人口の多い年齢層の意見が通りやすいなど懸念点もあります。大人から子供まで安心して楽しく暮らすまちづくりをする仕組みを考えていただきたいです。
		稲佐地域と長崎駅エリアの橋を増やしてほしい
		地域の交流は少なくなってるのが現状だと思いますが、自分がどう関わればいいのかも分かりません。 ただ、災害時はやはり近所の人の手助けが大きな力になると思うので、何かしらの活動があれば積極的に参加していきたいとは思っています。
		ライフラインの充実。
	50歳代	防犯カメラと街灯を増やして欲しい。 地域の小さな公民館でも教室など開催して欲しい。 松山競技場は移転して、早く道路を作って欲しい。
		高齢化でひとり暮らしや空き家が増えている 会談や狭い坂道で車が入らないところが多く、火事や救急時が不安です。 猪出没します。捕獲できないでしょうか？ 隣が野良猫にエサを与えるだけで後始末をしないで、我が家の庭に多いときは十数匹たむろして、フンやおしっこで迷惑しています。 屋根に上り、瓦が割れたこともあり、野良猫被害で困っています。 無責任なエサやりは考え物です。市でも注意喚起していただきたいです。 長崎駅の整備について、バリアフリーで県営バスターミナルへの連携をしてほしいです。長崎駅バス停（交通会館前、東口、南口、駅構内等）よそから来られた方は分からないと思います。高架広場がなくなって駅東口や南口に行くのが不便になりました。 電車、路面電車、バスとの連携が悪く不便です。動く歩道はどうなったのでしょうか？ 県外から来る人からは駅前が不便でわかりにくいと不評です。早く公共機関との連携をとって便利で、子供からお年寄りまで楽に動ける整備をしてほしいです。実際に歩いて体験してみてください。不便さの発見が多いと思います。もっと町づくりを考えてほしいです。
		仕事の都合で引っ越しが多く長年同じところに住んでいないので近所付き合いもない。地域貢献しようという気持ちはあるが、どこに行っても、なにをすればいいかわからない。
		いつも長崎市のためにご尽力いただきありがとうございます。 私の居住するマンションは自治会に加入していません。分譲マンションですが、完成当時、地元の既存自治会から加入を断られたと聞いています。 こういった環境および自分の家族構成から、マンション外の地域との関わりはほとんどなく、「住民主体の地域におけるまちづくり」と言われても、どこか遠い話のようにしか聞こえないのが本音です。 少ない税収で持続可能な市政のあり方を模索されているようには感じ取れますが、共働き世帯や高齢者世帯が多い中、どれほど実現可能かと疑問が大きいです。

地域	年齢	内容
中央西部地区	60～64歳	動物と人間の共存を目指し日々活動しています。市からの助成金をいただき、去勢・避妊の手術をしていますが、個人でするには追いついていない状況です。1年中手術できると助かります。
		小中学校の統廃合を進めてほしい 少人数の教育はデメリットのみあってメリットはほぼない 人格づくりにもマイナスでしかない 経費の節減、教員不足の解消にもつながる
	65～74歳	いのししどうにかして欲しい
		高齢化が進み若い人が少なくなっています。若い人が住みたくなるまちづくりが必要です。車が利用しやすい道路整備と、住環境整備が必要です。斜面住宅環境整備が必要です。
	75歳以上	防犯用の街灯の設置をお願い致します。
		対岸地区に住んでいますが、市役所が現在の場所に移転後直行バスがなく、途中で乗り換えが必要です。神の島、福田方面から新大工方面への長崎バスを出してほしいと思います
		坂、石段ばかりで上り下りで膝など痛めがちな人が多く、道路の整備を何とかしてほしい（車が通れるように）
		返信遅れてすみません。水の浦地区に住んでます。清風の下から下まで通る道路がやっと出来ましたが、まだ道路としてみなされていない？ 路上駐車、毎日、20台近く停めてます。車の通行も多くなってます。規制して欲しい。新しい道路から古い道路のガタガタを直してほしい。早く路上駐車をなくしてください。
中央南部地区	30歳代	自治会はあるが会長の権力が強く会員の声は届かない。 自治会を自分の物として活動させている。そういう場合はどうしたら良いのか市からの指導があるのか知りたい。
	40歳代	町内会の会長がいません。外で叫びだす人が気になります。 介護施設があれば良いですが。
		住民の人たちとはほとんど話はしません。近所の人も亡くなったり空き家が多いので火事になった時がこわいです。周囲に燃え広がるのが早いので。 どんどん高齢化になり年寄りばかりです。たまに、小学生や幼稚園児が自分から挨拶してくれる時があり、その時は癒されます。住民にしても今は個人情報とかの時代なのでなかなか近所の人でも関わるのが難しい時代なのかと思います。
		最近自治会に入らない方も多く、加入者は高齢者ばかりなので、自ずと班長などの役割が頻繁に回ってきます。 住まう以上、自治会に参加してできる事があれば、地域の力になりたいと思っていますが、なんだか損している気持ちになる事もあります。
		子供が近所の知らない方に声をかけられる事を警戒して、知らない人に対して挨拶をしない様に話しています。自由参加型のイベントには参加することもあります。地域の方との繋がりはあまり望んでいません。 PTAも、強制でなければ参加したくはないです。公園の整備や施設を充実させてほしいと思っています。

地域	年齢	内容
中央南部地区	40歳代	核家族が多く祖父祖母(孫)となかなか会えない方も多いので福祉施設と保育施設を同じ建物で運営すれば良いのでは。 若い世代は、仕事・子育ても忙しくて地域活動に参加し辛い人が多く、年配者主体になってしまう。また、ベテランの方達の内輪の盛り上がりに入りづらい。地域のウォークラリーで、景品が魅力的な物の時は、参加人数も多く盛り上がっていた。
	50歳代	まちづくりのことを考える余裕はありません。 まずは自分の生活で一生懸命です。
		金融リテラシーが低いから全国的にも詐欺が多い。かつ人口流出、最低賃金上位から、金融知識をもっと身近にすること、子供の時から金融教育が必要。
		野良猫が多すぎ。カラスが多すぎ。朝からゴミを漁る。
		子供やお年寄りが安心して住めるような町作りを期待する
		福岡勤務40年、退職を機に現在地に移住、学生時代又は前職の友人・知人とのお付き合い中心のため地域との関わりが少なく、今のところあまり地域との関わりの必要性を感じていない 多分福岡にそのまま住んでいても同じ境遇だったかと思われます) サラリーマン退職後の地域との関わり方、共通の趣味趣向があれば良いのですが難しい問題です。
	60～64歳	退職した男性（70～75歳）が集うコミュニティがないのか、少ないのか、水辺の森あたりを散歩するぐらいしか思いつかない。 運動したり、マージャンでもできる広い場所が浜町にはないのでしょうか？
		それぞれ個人の意識が変わっていくようなきっかけづくりが大切だと思います
中央南部地区	65～74歳	地域全体高齢者が多く活気がなく寂しい
		坂道が多いのでいつも本通りしか走らないし、自宅近くまで小さいバス（コミュニティバス？）が通えるようにしてほしい。私の地区は高齢者の方が多く、買い物等不便です。イオン、夢彩都のような商業施設（もっと小さなスーパー）等近くに出来たら助かります。
		人口減少、高齢化はどこ自治体でも直面していることですが、より広い意味での自治会として「地域コミュニティ連絡協議会」の構想は良いのではないかと思います。 ただ、参加者の年代構成を様々にして老人から子育て世代までの幅広い意見を集約できるようにするのが必要だと思われます。
		観光名所の隣に高層建築物を建てるが多くなっていますが景観が悪いと思います また、街路樹を剪定して木の高さなどを調整してありますがそのまま自然にできないのかと思っています
	75歳以上	地域における町づくりには経験豊富なおとしよりと、一過性では無い（例えば学校の保護者）だけでなく継続的（少なくとも5年10年のスパン）に携わって頂ける若い方が必要です。 共働きの人はそれなりに協力頂ける活動の方法を考えるべきだと思います。
		自治会の動きが不治不活性化
		どこを見ても雑草が伸びっぱなし

地域	年齢	内容
中央北部地区	20歳代以下	<p>公園でゴミのポイ捨てが目立つ。小さい子供を遊ばせる際に目につく。10年前はここまでではなかった。ゴミ箱の設置があれば良いのでは無いか。今年県外から長崎に引っ越してきたが家賃がやたら高い。(給与は低いのに)これでは県外に出ていく人が多いのも頷ける。しかし長崎に住む人々の人柄が良いことも感じている。もっと子どものいる家庭にフォーカスした支援があれば良いのではないか。(家賃補助であったり、子どもの医療費補助であったり)</p> <p>一住民の視点では、この地域に住み続けたいかと言われたらそうとは感じない。仮に地域が活性化し、住みやすくなったとしてもずっと住みたいとは言えないのかもしれないと思います。しかしどこに住みたいのかと言われても上手く答えを出すことは出来ません。今無理に答えを出すなら、命を使う場所はどこであっても良いが、せめて自身が思い描く様な活動をして生きていける場所です。意味わからないと思います。変な事書いてごめんなさい。住民全体で地域活動をして、私自身はあまりメリットを感じにくいです。住みやすくするだけなら終活と似た様なもの(この地域で一生を終える覚悟?)を感じ、より地域に人が集まった(住民であれ観光客であれ)としても当人たちにとってはこの場所で時間を過ごすという事自体は他の県、国とそう大差ない感覚なのかもしれないと思う時もあります。少なくとも私が思う生きやすさは、自分が何かを出来ているという事です。でもそれは誰かと同じ事ではなく、自分がやっている事であり、当人がそう感じている事(例え他の人が同じ事をやっていても)です。人は生まれつき得意不得意があったり、成長する過程で得意不得意が生まれてきます。私は元々演劇をする部活動に所属していましたが、一人だけで演技、照明、音楽、台本等全てを計画し実行するのはかなり難しいです。なので、自身の役割を全うして他の方に他の役割を任せることでは、良い舞台を作る方法はないのかもしれないかもしれません。(結局観客がどう思うかだけでも)なら自身に出来る事、相手が出来る事は何か、それを互いに共有出来てある程度実行に移せる場所があれば面白いと思う方は少なからずいる様に感じます。少し自論語りになりますが、ただ仲がいい繋がりだけで友達の様なお互いを利用しあう関係にしか過ぎず、その関係に疑問を持った瞬間に崩れていくものです。ただ楽しければそれでいいと互い、もしくは当人だけがそう思っているだけかもしれませんが、それで良い関係が保てるかと考えるとそれは無いと思います。多分、まちづくりも発展の為にどう動かすかを考えても良くはならないとでも自分は言いたいのでしょうか。この私にとってあまり良くない例は動物園に似ている気がします。園を発展させるために動物をどう生かし、魅せるかを研究する。この時の動物(まちづくりにおける人間?)はただの道具に過ぎないように感じます。ただ保護して生き残れる様にしてあげているかもしれませんが、それは動物にとって人間と共に生きる事を前提として強いられる命になります。けれど自由奔放にしている、それぞれの集団である程度の協力があるだけで、思想や姿形が違う相手とはあまり関わらなくなるようになるのも事実かもしれないと思います。私たちは地域を考えそこに根ざす必要はありませんし、それを強いられる必要性もありません。それでも、どうにか発展出来るならしたいとも思います。それは自身が生きたいゴールが既にあり、その道中に地域を置く必要はないけれど、スタート地点には多少の思い入れがあるだけだと考えます。地域に貢献し地域に根ざしたいと思う時は、ゴールまでの道中に地域を置いてもいいという考えがある時ではないか。最近はどこに居ても、インターネットで生きているという事が結論になっている人もいます。性別がどうかとも自身の考えるままに自由でいいとなっています。恐らく。だから地域がどうかはもう関係なくなりつつあるのかもしれないし、もしかするとその考えが一種の呪縛となる日が来るのかもしれない。地域の世界で過ごす住民がどれだけ出てもいい杭になれるのが重要になるのかなと、私はそう思っています。</p> <p>正直な事を言うと、せっかく受け取ったアンケートなのでこの意見が無駄になるのが嫌な目で見られようが、自身のまちづくりという言葉聞き、思った考えを書かせていただきました。見返せばその意見自体もかなり支離滅裂になっていると感じます。ごめんなさい。私が思った事を少しでも共有出来ているならばいいのですが。この様な機会がないと、外の繋がりが無い者にとっては自分の意見をはっきりと言えるタイミングがないので。一蹴せずに、ある程度言葉の意味を考えてくれたら幸いです。多分皆様が既に考えたであろう事しかないのかもしれませんが。その時はごめんなさい。</p> <p>他に意見があるとすれば、住民全体とは書いていますが、学校では内容も良くわからずに強制参加または紙が掲示されているだけ。それ以外の人にとっては積極的に情報を集めようとする限りそもその情報が届かない事が多いイメージがあります。何か一度考えてもらえる時間を皆が作れたらいいのですが、難しいと思います。</p> <p>もし、ここまでしっかり読んでくれたのなら、本当にありがとうございました。よく分かりにくい意見ばかりですみません。</p>

地域	年齢	内容
中央北部地区	20歳代以下	私が住んでいる地域では、高齢者が圧倒的に多く、若い人も住んではいますが自治会にはあまり積極的に関わっていないという印象があります。自治会主体の活動もコロナの拡大を境に減ってしまいました。若い層が参加するメリットがなければ、自治会が存続するのは難しいのかなと思います。
	30歳代	雨の日でも無料又は格安な金額で遊べるようなところを校区内に作ってほしい。児童館を作ってほしい 気軽に高齢者や障害者の方が利用できる飲食店があればいいと思います
		結論このようなアンケートしても何も変わらない、変えない行政なので無意味だと思う
	40歳代	このようなアンケート、動きに期待しています。 地域に貢献したいと思いつつ、働く世代ではなかなか実現することが難しいというジレンマがあります。 地域でつながりを持ちたいと思う一方、昨今の治安の悪化から心配もあるというジレンマも同時にあります。 当地域では夏祭りなど地域の催しもわりと見かけるので道端の掲示板もよく見えています。お知らせ類は誰もが目にする所に掲示するのが良いと思います。 (掲示板のほか、電車やバスの中吊り、駅広告など) (地域のセンター内は用がなければ存在も認識していないこともありますし、人によっては行政のHPにわざわざアクセスもしないので…)
		長崎市が元気になろうとして今、長崎にいることに喜びを感じています。ぜひこのチャンスを生かしてさらに元気に、さらに魅力的な街になることを願っています。頑張れ！！長崎！！
		具体的にどんなことをするのかわからないので、望むこともわかりません。
		自転車操業やってるのはわかってるがマンションばかり建てずに、緑が多い公園を多く作ってほしい。 街を見ていて窮屈さを感じる。子どもの遊び場を本当に増やしてほしい。
		4年くらい前に賃貸マンションに引っ越してきたが、自治会入会の案内などくになくいままでも入らずにいた。自治会があるのか、子供会があるのかわからないままだったが、子供がいるので子供会とかあれば入りたかった。
		私自身も含めて、地域の人と付き合いがない人が増えていると思うので、住民主体の地域づくりと言われても困ったり、ピンと来ない方が多いと思う。
		情報づくりに関する情報は、必要がある場合しか調べることをしていないものもあるが、情報が入ってこない事も多いのが現状。改善策はわからない。
		交通渋滞の解消を希望する。道路の建設だけではなく、信号の切り替えの時間調整などソフトの部分を調整も検討課題としてほしい。 新たな施設を作るだけであり、生活が改善されている実感はない。多くの税金を払わされるだけであれば、将来的に長崎市を出ることを計画する人が増えるであろうし、そのような計画を考えている。 人口の社会減を減らしたいのであれば、実のあるアンケートを実施し、形にしてほしい。アンケート調査を行って報告をするという実績作りに注力するのではなく、本気の改革を目指してください。

地域	年齢	内容
中央北部地区	40歳代	<p>転勤で東京から長崎に来ました。 東京と比較すると、低所得者や高齢者支援優先に見えて、行政は稼ぎある若者や子育て世帯にお金を使っていないように思います。子ども医療費は自己負担無しが全国のスタンダードだと思っていました。 住民税は同額なのに自治体の子育てサービスは見劣りし、やるせなさを感じます。 住民主体のまちづくりって、結局お金をまわせないところを自助努力で解決しようとしているように見え、だったら住民税下げてください。</p>
		<p>出産後にもっと気軽に交流できる場が欲しかった。</p>
	50歳代	<p>仕事、介護、生活に追われている日々の中、自治会活動への参加も難しく感じています。 回覧板もデジタルの時代に合っていないと思います。 駅前開発もけっこうですが、市民の生活も守ってほしいものです。バス代の負担も大きいと感じます。</p>
		<p>最近では散歩してても挨拶もしなくなり、隣に誰が住んでいるかも知らない。そんな中で、何か災害が起きた時など助け合いができるのか不安です。</p>
		<p>人口が減り若い方も減っている中、共助の役割は増えています。隣同士でも顔も知らない関係が増えています。災害の時など有事に備え安否確認含め関係性が必要。日頃からの関わりづくりの機会を増やしてほしい。</p>
		<p>一人暮らしだが働いているので人との関わりがあり地域のコミュニティを意識する事はほとんどない それが高齢になると人恋しくなって誰かと話したり笑ったりしたくなると思う まずは気軽に立ち寄れて話せる場所があると行くかもしれない テーブルに花が飾ってあるだけで話題は広がる 地域の樹木、石垣、道路の写真など壁に貼ってあれば眺めておしゃべりするうちに色々な視点からの改善点が浮かび、住みやすい地域作りのアイデアが出るかもしれない そのような事をきっかけに動き出すのが自然で老人会や婦人会など縛りは必要ないと思う 子供の頃の子供会は集会所で七夕飾りを作ったり、クリスマス、正月飾りなど折り紙で自由に作って楽しかった 逆にバスに乗って青年の家まで一泊で出かけたりするのは楽しいとは思わなかった 子供の頃は素朴な内容の催しでも充分思い出になるのだと思った</p>
		<p>とにかく道路の老朽化が酷く、車で走りたい無。歩道は歩き辛く転倒のリスクが高く散歩出来る所が限られる。</p>
		<p>何を軸にしてまとまっていくかが問題になると思います。</p>
	60～64歳	<p>1.交通機関の縮小。(バス等) 2.高齢者福祉。(集う場所、相談場所等) 3.駅周辺の近代化、平和運動場、プール等の移動。 高齢者の憩いの場所が失われ、情緒ある長崎の街並みが消えていくのが寂しい気がします。</p>
		<p>集会所などを利用し、高齢者の集まる場所を作ってほしい。 特に、夏は冷房が入り冬は暖房が入る所、子供食堂、老人食堂などもふれあいセンターなどで、高齢者の体操など(無料)、できればパートで働いている人が、仕事帰りに軽く運動ができる所、天気に関係なく利用できる屋内での場所。 住んでるところの長崎さるくがあると面白い。</p>

地域	年齢	内容
中央北部地区	60～64歳	高齢化が進んでいるので、新しいまちづくりは難しいかも知れません。
		防犯・防災に力を入れてほしい
		高齢者が多い街が多く生活を改善できるのがあったら良い。
	65～74歳	まず自治会の会員が少ないとコミュニティ協議会をつくって一部の方と役所の方が満足しても地域の変化は期待できない。 (自治会役員の負担が増えると思われます)
		この1～2年前から地域の公園について考えることがあります。 せつかくの公園ですが、あまりきれいではなく、また利用されることも少ないと感じています。 草木の手入れもされていないところもあります。住んでる地区の公園でなくともかわることができればと思います。 また、長崎市には世界的な公園デザイナーの石原和幸さんもいらっしゃいます。 公園を生活地域の核のような所として地域コミュニティを活性化できないでしょうか？ 私もはっきりした構想がある訳ではないので伝えにくいのですが、ご検討をお願いします。
		徐々に高齢化が進み、自治会を脱会する人が増えてきた。(役員一人一役の関係で) 独居の高齢者が安心して暮らせる町づくりが必要だと思う。自治会の必要性をもっと説くべき。
		現在、健康に注意して生活をしています。空気は澄んでいてとても静かで便利なところですよ。
		人口減少により公共機関バスなど減少してる中、毎日の生活の食品など買い物が重要となってきます。大型店舗と地元市場の共存問題。若い人は中心部マンション、老人は山の坂の上という長崎問題も燃料費高騰で宅配のリスクも大きくなり不便を感じている人(人手不足)も多いかと思う。今後自分も車の運転が出来なくなったら行動範囲も少なくなり、孤立していくのではないかと思います。 精神面でも老いていくような街。ジャパネットのおかげで明るい「陽」と裏腹の「陰」の生活の老後かと！
		猫の放し飼いに困っています。隣家の大木のため、台風の危険、日当たりの悪さ、落ち葉の清掃にも困っている。
		集合住宅に住んでいますが長いいらっしゃる方の意見があたりまえになっていて…新参加者はおだまり！という感じです
		バスの便が少なくなり不便になりました。大変困っております。
		市は自治会を重んじるのは知っています。すべての自治会がそれに値していれば良いのですが、自治会も色々です。 私の入っている自治会は役員は偉いと勘違いしています。怖いです。地域におけるまちづくりをすることでこれ以上住みにくい町になってほしくないと思って居ます。
		地域連絡協議会について、長崎市のサイトに掲載されている地域コミュニティ連絡協議会先行設立済の川平地区、小ヶ倉地区の問題点を拝見しました。同様に私の生活している桜が丘小学校区の具体的な問題点が容易に確認出来れば、自分も含めて桜が丘小学校区の皆様も当事者意識が強化され結果的に住民参加が盛んになるのではと思いました。
		マンション住まいなのでなかなか地域におけるまちづくりは難しいのではと思います。

地域	年齢	内容
中央北部地区	65～74歳	側溝が無いので、道路沿いの駐車場からの水、家庭の外で使用した水が道路に流れだし通行人に迷惑をかけているので新設をしてほしい。
	75歳以上	我々の若い頃は引っ越したら近隣何軒かには挨拶していたが、最近の人はそれがないから交流しにくい 80歳過ぎると10人中8人くらいが女性で男性の割合が少なくなるので参加する男性が増えない 孫たちを見ている福岡方面や都会に自分が希望する職種の大学や専門学校が多いので人口減少にもなるのでは 地域で決めて地域で実行するにはリーダーの育成や予算面の拡充が必要と思われる 「地域コミュニティ連絡協議会」が何をどのようにしようとしているのかPRをすべきでは？
		私の知識不足か。地域包括支援センターの活動をあまり知らない。事務所への出入りも困難な場所にある。
		現在、ケアマネージャー、ヘルパー、訪問介護、デイサービス等のお世話になり生活を続けています。大変助かっています。 このような福祉関係の待遇を願います。
		長崎は坂の多い街です。バス停まで下り坂を歩くのは疲れないが上り坂は歩くのに骨が折れる。買い物も不自由、老いた時のことが心配。
		市内各地域でニュータウンが建設されて30～50年経過する場所が増えてきた。 住人が若いころは少々の不便さは行動力でカバーできた。高齢化が進み、日々の生活を営む上で食材などの入手先であるスーパーやコンビニが近くにない地域は大変不便さと不安を感じている。 車の免許返納者が増える中、市として対象地域を絞れると思うので自治会と情報交換しつつコンビニや小型スーパーなど誘致する働きかけをぜひ、急ぎお願い致したく！
		近所の方たちはすごくいい方たちですので安心して生活ができています。 犬の散歩する方が多い場所で自宅の外壁に犬の排泄をされる方がおられます。マナーを守って犬の散歩していただきたい。
		ケアハウス施設に従って生活しています。地域との連携は分かりません。
		地域での若者と高齢者と繋がりが遠のいている現在、長崎大水害時、お互い助け合ったように災害時に若者を中心として地域一丸となれる街づくりをしてほしい。
		長崎市であるにもかかわらず学生の通学道路のバス停に雨宿りの屋根がないこと 住宅地に商業施設（食品販売所）がない 山の上（夕日が丘）はあるが歩くには遠い タクシーでは近すぎて頼めない 電波の感度が最悪です（電波塔がない？） 韓国語では複数のチャンネルで日本語よりも鮮明に聞こえます

地域	年齢	内容
小ヶ倉地区	20歳代以下	<p>駐車場代を安くしてほしいです。車がないと生活づらい割には駐車場が少ないし、料金も全国的に比べて高い気がします。</p> <p>市営の駐車場も大型客船が入るたび使用できなくなるのは利便性に欠けます。</p> <p>私自身、あまり地域のコミュニティに参加していませんが、もっと参加しやすい環境を作ってほしいです。（地元でもなく転勤がある仕事なので参加しづらいです）長崎市で一人暮らしを始めて1年半がたちましたが、通勤する際に平日の朝横断歩道に立って旗を持っている方から話しかけてもらえるのが、長崎のあたたかみを感じて個人的に嬉しかったし安心しました。</p>
	30歳代	<p>今年引っ越してきましたが、いのししが敷地内にでも周りの人があてたねと落ち着いているのにびっくりでした。</p>
		<p>学童が1つしかなく、定員を超えていること。遊ぶ場所が少ないこと。イノシシがよく出ること。</p>
	40歳代	<p>協議会の取り組みは良いと思いますが、そもそもそうした組織は日中に時間の都合がつきやすい高齢者や自営業、そして子供が高校生以上で独立している家庭でないと参加が難しいと考えます。また、そのような人にかたよりがちで閉鎖的なイメージです。</p>
	50歳代	<p>坂の町で高台の空き家を壊し道路などを広げ、車の入る家づくりをしてほしい。</p>
		<p>野焼きをしている家があるが産廃物処理法に違反しているのではないか</p>
		<p>私は保護者として、PTAに参加し、母親部会などを通し街づくり協議会？などの会議に参加した経験があり市役所などが行っていることを知りましたが、何も知らない方が多いのが現状です。</p> <p>今は子育ても終わり仕事中心の生活のため参加出来てないのですが、街づくりは素晴らしい事だと思うので、市役所のかたか、地域の皆さまに続けて欲しいと思います。</p>
	60～64歳	<p>空き地の草を地主の高齢化で整備されていません</p> <p>山の木も伐採されていませんし、枯草で覆われていた道も高齢化でだれも掃除していません</p> <p>大水害がまた起こるとどうなるか目に見えています</p> <p>市は災害が起こる前に総点検をしてほしいです</p> <p>地主に言ってもお金がないとかうやむやにされます</p> <p>災害が起こってからでは遅いのでぜひお願いします</p>
		<p>自由に参加出来る講習会や勉強会を増やしてほしい</p>
	65～74歳	<p>ひとり暮らしの方への声掛け</p> <p>高齢者の楽しいイベント</p> <p>子供も大人も参加しやすいイベント</p> <p>地域で防犯・防災</p>
	75歳以上	<p>趣味で運動しているのですが、県に1つ、市には体育館が1つありません。市役所の方に言った時体育館は市民会館にあると言われました。市民会館では練習できても試合はできません。</p> <p>小浜1つ大村1つ諫早3つ佐世保は体育館があります。長崎市は1つありません。障害者も使えるような体育館を最低3棟作ってほしい。県の体育館が1つしかないのだから試合をとるので全国、九州、県、市と取っているのだからなかなか取れなくて苦労しています。長崎市に体育館をよろしく願います。</p>

地域	年齢	内容
小神地区	40歳代	コミュニティが大き過ぎると対処する内容の幅が広がるので、10世帯以内のコミュニティぐらいの規模が一番、問題提起と解決への段取りが組みやすいように思う。
		地域の人達と繋がり支え合いたいと考えた事はありません。
		この地域にさらに商業施設が増えたら良いと思う。高齢者が多い地域なので高齢者の方は大変そう。
	50歳代	1. 善意やボランティアをあてにしない仕組みづくりがいる 2. 地域の自治会でまかなうのは水、食糧、毛布など 3. 害獣対策や防犯に力を入れる 学校には頼らない仕組み（教員はここに住んでいないから）
		清掃活動をなくしてもらいたい
		地域の交流の場が少ない。 自治会が何をやっているのかわからない。
	65～74歳	引っ越ししてきて7年になりますが、高齢者の方々は老人会で少人数の方達は見えますが、（自治会もそうで公園掃除などでいつも決まった人しか会えません） 50代、60代前半あたりの方達はいないのかな？と思うほどです。何かきっかけが…本当にいないのかも
		自治会を脱会する家庭がある 高齢者が多く行事等の参加者が少ない
		高齢者なのでもうなにもできません 体調が万全でないのに商業施設がありません
	75歳以上	1. 一番困っているのは、若い後継者が確保できないこと （1）その最大の理由は男女ともに65歳以上70歳近くまで勤めていること （2）ようやくリタイアした後ではほぼ活動する馬力がなくなっている （3）変な個人第一主義が横行し、人の為という奉仕精神が希薄になっている （4）そのため高齢者であろうと例えば一度役員になるとなかなか辞めさせてもらえない←役員になるのをためらう原因になっている （5）また役員になっている人は幾つもの役員をかけもちしているのが実態である （6）役所もこのような地域の現実を見据えてほしい 2. 対策の一案 （1）役所は部課ごとに地域に対して色々な組織を作るように要求しないこと （2）むしろ役所は地域に対する窓口を一本化して諸手続きがワンストップで行えるようにはかってほしい。役所内での意見の横通しをはかってほしい。役所の中でいろいろな組織に分かれているのは役所の都合であって地域の都合ではない。（それを欲していない）
		みなと坂団地は住みやすいですがお買い物車が車がないとできない。この地域は子供たちもよくあいさつするのは素晴らしく感心しています。買い物以外はとっても環境がいいです。
		老人は、金融機関がないことを不自由に思っています。 ぜひ近くにATMができますよう願います。 元ジョイフルサンがいらした時のようにスーパーが近くにあってたらどんなに良いでしょうと思います。

地域	年齢	内容
西浦上地区	20歳代以下	<p>お誘いがあれば、様々な活動をする条件があります。しかし、どこで何をやっているのが分かりにくく、自治会や町内会も若い人を誘わないなど、消極的。もっと、思い切って声をかければ良いと思う。</p> <p>人間同士の繋がりが希薄な時代だからこそ、町内会などが果たすべき役割は大きい。</p> <p>行政に要望したいことが山程。例えば、バス路線・便が減りすぎて困っている。これでは、車無しの生活が考えられず、アクセスが悪く生活も不便だから、若者に魅力も伝わりにくい。</p> <p>このようなアンケートの継続は素晴らしい。今後、座談会なども実施し、市民の声を取り入れることを続けてほしいと思う。</p>
	30歳代	<p>自治会が義務になっているのと、高齢化が進んでいるため、今後負担がくるのが見えるので、それが憂鬱でたまらない。</p> <p>自分の子どもや仕事で手一杯なのに、自治会のこと、地域のことで手が回らないのが現状です。</p>
		<p>高齢者が多いので、災害時にもっと協力出来るようにしておきたい。</p>
	40歳代	<p>この役目を少なからず賄うのは市議の方も担うのではないのでしょうか その辺りは議員の方はどう思っているのでしょうか、またこの中に議員の方も参加する事でいろんな意見に触れてより市政に生かせるのではないのでしょうか 例えば地域的に商店や商業施設がない山間部地域の掘り起こしや 問題点この辺りからまちづくりを初めて見たらどうかと思う、例えば公民館の一部や全部を長崎市内の設計士に依頼して若者ウケする建物に仕立てて 夏休みに都心部に住む家族を招待し農業体験や川や山遊びさせる、なんか市内同士の交流させるイベントとかスポーツや音楽など、あと市役所職員でタレント的な人を育てて（市長でもいいと思う）カメラ引き連れて司会や取材など上げればキリがないですが何事もすぐはできないと思いますが官と民のギリギリのラインまで交流できればと思います。</p>
		<p>人との関係が希薄になっているなか、どう住民主体に持っていくのでしょうか？ 県外でうまくいっているところをモデルとしてほしいです。</p> <p>長崎は転入者に冷たい、排他的と言われるので、地域で転入者も気軽に交わる場をもっと発信してほしい。</p> <p>長崎市は、情報をこちらから探しにいかないといけないので、長崎市で行っている取り組みをSNSやテレビ、ラジオなどで積極的に発信してほしい。</p> <p>私たちは夫婦二人で子どもがいないため、どうしても地域や自治体と疎遠になってしまう。</p> <p>子どもがいなくても参加したくなるような地域の取り組みがあったら面白いかもしれない。</p> <p>しかしどの取り組みも、ある程度の助成金がないと成り立たないしやる気にもならないと思う。</p> <p>何か取り組む場合には、高校、大学などに積極的にアンケートをとって、若い人のアイデアをもっと積極的に採用してほしい。</p>
		<p>住民主体といっても、地域や構成員によって民主的運営や行政等の手続の得手不得手があると考えられるから、各地区の実情に応じて行政がフォローすることが望ましい。</p> <p>例えば、運営がうまく行っている他の地域での取り組み例を、住民が主体的に精力的に取り組んでいるところ、住民の負担が少ないところ、学校や習い事との共同で行なっているところなど、何パターンかモデルケースを示してもらえると良いと思う。</p>

地域	年齢	内容
西浦上地区	50歳代	人通りの少ない道をウォーキング中、草むらから猪に威嚇されたので暗くなってからは歩けなくなった 電球の数を増やすなど明るくしてほしい
		私の世帯は夫婦共働きで子供がいないのでご近所さんとは回覧板のついでにおしゃべりするぐらいです。 花丘町は徒歩圏内に買い物や医院も充実しており、個人的感想ですが高齢者の方も余裕のある方が多いようで、自治会も希望の方が中心に行事も色々工夫して行っているようで、時々参加すると快く迎えていただきとても住みよい町です。
		隣地に倒壊しそうな廃屋がそのままになっている。多くの地区でも多いようなので改善をお願いします。
		住吉商店街が昔に比べ活気がなくなったと感じます。 ぜひ、盛り上がるような企画があり、人が戻ってきたら良いなと思います。
		地域マネジメントができる人材の育成をしないと、住民主体のまちづくりは地域ごとの分裂や格差拡大に繋がると考えます。 逆に言うと、地域マネジメントができる人材が増えると、やろうとしていることが出来るようになりそうです。 マネジャーの育成が長崎市を発展させる基盤になると思いますので、そこに多くの予算を使って欲しいです。 イベント等は一時的なものです。開催する人達の満足度は上がりますが、地域住民の問題解決になっているかは地域毎で違いがあるような気がします。 決まっている事をただ繰り返すのではなく、目的達成に繋がっているのかも良く確認して予算配分をお願いします。
	60～64歳	自治会は負担が大きく、本当に必要なかわからない。 一人世帯のお年寄りが多いので自治会よりも老人会のシステムを、市と協力して日々さびしく不安に暮らしている老人が生き生きと楽しく暮らせるようになるといいなと思います。
		歩道や道路の整備が出来ていないので、車椅子での移動が困難。 街灯が少ないので、夜間や早朝に自動車を運転するにしても、徒歩にしても危険である。
		長崎に魅力的な企業が無く、若者の殆んどが県外に就職していく。都市部と地方との賃金格差を真剣に自治体が考えないと若い世代がいなくなります。 企業誘致を行なえないと町が無くなってしまおうでしょう。
		自治会は 高齢化していわゆる老老介護的な状況だと思います その自治会に任せるのではなく色々な事を進めたり 指導したりする方がいいのではないかと 思います 個人的に 手を出したくても どこまでやっていいのか 悩みます
	65～74歳	自治会長が独断すぎる。
		活動内容についての事前告知、参加は強制でなく、都度、自由参加
		家の前の道路は四校の子供たちが通う通学路です。坂道が急で雨の日や雪の日は滑ってあぶないので、なだらかな階段にさせていただくと子供たちは歩きやすいと思っています。(細い路地をバイク一台通る道なので安心できる通学路になったらいいと思います。子供たちの笑い声は宝です、鈴木市長、長崎をより住みやすい町づくりをお願いします。頑張ってください。応援しています。

地域	年齢	内容
西浦上地区	65～74歳	大規模商業施設が乱立して地域の商業（小売店）が廃業と近隣で買い物が出来なくなりつつある。今後は人口の増加している福岡等に転居するしかないと思っている。
		事件が起こることが予測できても市や警察や何もできてない、あきらめですと聞いてあきれた。若い人が後日のことを考えて（生活が大変で無理かも）身内のことも何か起きる前に相談できる様助け合いをしてほしいですね。頑張してほしいです。
	75歳以上	例えば、地区の公民館等に自由に立ち入れて読書や趣味などができ、休むところもあり、そこで談話ができるの良い
		地域の団体として「育成協」「連合自治会」「社協」「民児協」「地域コミュニティ」「PTA」・・・1つ関わると5くらいの役がついてきて同じような事業をあっちの予算、こっちの予算でイベントを実施する 参加者が少ないと言われ準備もして参加もして、疲れ果てる。活性化というが誰のためのイベントなのかかわからない。やりがいが見えると疲れもなくなるのだが・・・（娘がそう言っていました）
		歩道が狭い整備されていない。年寄りには危険 車いすやショッピングカーが進まない。溝蓋の上を歩くこともある 高齢者向けの休み石（または椅子）を設置してほしい。
		猪被害で敷地の斜面土手が荒らされ雨が降るごとに土砂が流出している。 駆除の本格化をお願いします。 被爆者および被爆2世、3世も長崎にある各種平和団体と同じ考え・意見を持っているわけではない。 市長も8.9などの平和宣言文も被爆者団体に必ずしも見せないでいいのではないか。市長自身の考えで意見を述べることを期待する。
		空家が多く近所の者としては大変困る。高台でイノシシの出没多い、岩屋山の近く。
		現在自治会に加入はしています。 何年かに一度「班長」当番が回ってきますが月一回の会の折、意見を求められ、それなりの意見を自分の考えで言うと意図を聞かずバツサリと笑われ「無理！」と言葉をさえぎられるような経験をしました。 長年「会長」等と経験されていると住民主体より自分達のやりやすさが優先されるのだろうと考えました。私が思うことは、自治会という活動の問題点があるのではないのでしょうか。 自治会は地域住民が運営してこそその自治会なのでしょうが、昔の「隣組」の時代とは、家族の形や考え方も変わってきているので新しい形での近所同士という仲間づくりを考える必要があると思います。 勝手な考えなのですが、若い共働き家族の方等への手助け、高齢者へゴミ出しの支援等互いに支えあう気持ちが合えば仲間意識も芽生えてくるのではないのでしょうか。 「ありがとう」という言葉には人と人の心を繋ぐきっかけを生むのではないかと考えています。机上の空論かもしれませんが万が一ご興味があれば、お電話くだされば説明いたします（以下電話番号記載あり）

地域	年齢	内容
滑石地区	30歳代	<p>私が住んでいる家の周辺でお年寄りを多く見かける。歩く姿が見ていて危ないと感じたり、横断歩道を渡っていて転倒した人もいた。スーパーではおそらく一人暮らしであろう高齢の方がお惣菜を買っているのを見かける。私が知らないだけかもしれないが、高齢の方が集まって活動する機会や、栄養のある食事がとれる施設が充実すればいいなと思う。</p> <p>また、私には年の離れた子どもがおり、地域のお遊び教室に参加したが、最初の子どもの時と比べて、民生委員の方が高齢化していると感じた。若い人が地域の活動に参加しやすくなって、活動を若い人に繋げていけたらいいのと思う。今はどこでどのような活動がしているのか目にする機会が少ないと思う。</p>
	50歳代	<p>まちづくりについては正直よくわかりません。</p> <p>このアンケートの出し方ですが、この冊子から外して郵送してくださいとか？ぬけてるように思います。クレームではなく。</p> <p>そういうことに気づく人もいるということです。今現在、私の小さいときに比べて情報が多くてそのわりには必要なことが届いていないように思います。夕方のニュースで県庁でこんな催しものがありましたと過去形。行きたかったなあ少しの情報でもわかりやすくオープンにできたら人と人とのつながりも昔みたいになるのではないかと思います。複雑すぎかなあと 생각합니다。いつてみたい、やってみたいと思えたらいいなあと 생각합니다。</p>
		狭い道路を広げることで安全な地域につながると 생각합니다。狭いので雰囲気も悪い。
		自治会の活動は知っているが、気軽に参加できるイベントが少なく、交流の場が限られている。
		近年、孤独死が増えているため、地域で安否確認ができるしくみをつくることは大事だと思う。
		<p>子供が習い事の帰り道に、電灯が暗くて不安と言います。もう少し、電灯を明るくして頂けると子供も親も安心できます。</p> <p>鈴木史朗様、今後のご活躍期待しています。これからも、長崎を一緒に盛り上げていきたいです。頑張ってください。</p>
		高齢者が住み良い町づくりを若者主体でつくりあげていかなければいけないと思います。
		現実問題として、時間とお金に余裕がある人にしか出来ないと思います。毎日夜遅くに帰宅して、休みもろくにない人間に、行政はこれ以上何をしろというのでしょうか？
		自治会があまり自治会の役割を果たしてない気がする。めんどくさがるずにきちんと地域住民全員に意見を聞ける様なシステムを考えていければ良いのではと考える。
	60～64歳	<p>市政だよりは書いてあるのかもしれないが、読まない人には市のやっていることがあまり伝わってこないの、周知の方法をもっと工夫すべきでは。</p> <p>市議会議員のレベルがあまりにも低すぎるのでは？ 選挙の時以外、何をやっているにか全くわからない。</p> <p>住民全体の事例をどんどん発信すべきでは。</p>
		<p>空き家対策</p> <p>交通安全</p>

地域	年齢	内容
滑石地区	65～74歳	最近、小中学校でPTAがなくなったり加入が自由になったりしていると聞きました。学校や先生方や子供たちのためにもPTAは大事ではないかと思っています。
		免許証を返納しても代わりになる物がない タクシー代を割引きにするとか、5000円の補助を1万円にしてほしい
	75歳以上	住民が安心安全に生活できるように、地域と行政が連携して取り組むことが重要だと思います。特に住民個人では対応できないこと（例えば、地震や豪雨によるがけ崩れや河川の氾濫など）は率先して取り組んでください。12月2日の長崎新聞である市民の方が「地域コミュニティのさらなる活性化のため…市には前向きに検討してもらいたい」と結んだ投稿を拝見しました。「市への要望に対する回答がない」のでやむなく投稿されたのだと思います。「市にお願いしてもうやむやにしてどうなったのかわからない」という近所の人の話を2度聞きました。 地域の力だけでは解決できない地域の課題に行政は真摯に向き合い、とりわけ防災・防犯にはこれまで以上に力を置き市民の命を守ってほしいと願っています。行政の誠実な対応は市民の心を動かし、市の活性化（ボトムアップ）につながると思います。
		スローパスは、車体を下げられるのに車体を下げてくれないので、バスに乗りにくい。 足が上がらないので乗りやすいバスがくるまで乗らずに待っている。
		滑石地区のマンション居住者ですが、基本的には隣人との交流はほとんどない。それでも別に問題ないと思っている。 弊方のマンションは約200世帯ですが、特に老人会とかもないし自治会に相当するのはマンション内理事会や総会ですが、いつも会計報告や修繕計画等でシャンシャンで終わる。何かマンション内で行事をやることもない。それでもいいと思っている。 滑石全体としての提言として「もうちょっと緑の多い街づくり」が欲しい。例えば平宗公園とかに桜の本数を増やし花見にでも行こうかというような場所づくりがほしい。
		住民主体でなくて、上部、会長などの思うように進めることが多い スマホの研修をしてと要望があったのに、会長がそれはあとでといつてこの一年なにもしていない 会長の思うまま進めず、みんなの小さい意見もきいてもらいたいの大きい
		日本人の国民性として、人情、礼儀、優しさ等が挙げられますが、長崎はそれらが特に顕著な地域柄と思われる。 昔から異文化との交流が盛んで、歴史も深く街並みも異国情緒あふれていると思われる。そういった観点から長崎の観光産業はこれからもっと発展してゆくと思います。故におもてなしの文化を外国人観光客に十分に手厚くできる優しさのある県、市、町に今後なってゆくことを願っております
		道路の拡張ばかりが進行し店舗、デパートなどない シャッターの下りた店舗も多数見られる 人口も減少し町の復興にもう少し力を貸してほしい 市県議会議員に期待したい 高齢者が多い、バスの運行を増やしてほしい 運転手不足が原因と思われるが？？？

地域	年齢	内容
福田地区	20歳代以下	大学の補助金欲しい(兄弟がいる人だけじゃなくて平等に補助金制度欲しい)
	40歳代	活動を知らない場合が多いです。もっと周知できるプラットフォームを構築してほしいです。(インターネットや回覧板など)
		私は子どもがいるのでラジオ体操やクリスマス会などのイベントに行かせたいとの思いから子ども会へ入会しました。その時の流れで近所の方にすすめられ自治会へも入会しました。独身だったり、子どもがいなかったらどちらも入会していないと思います。自治会は年配の方が多いイメージ。子ども会は子どもがいる人が入るイメージがあります。 高校生くらいから30代くらいの若い世代の方が地域の町づくりに参加できる機会、参加しやすい雰囲気があるのもっとたくさんの世代の方が住みやすい町づくりに繋がるのではないかと思います
	50歳代	バスの本数が減っているため、高齢の方の外出が激減している バス停にベンチもなく立って待っているのを見ると不便です もっと買い物等気軽にいけるような地域限定のマイクロバスなどを市や行政でできると活動範囲やひきこもりも減るのではないのでしょうか？介護保険等うまく活用できないのでしょうか？
	75歳以上	私は夫ともども80歳半ばで、通院、買い物をはじめ家庭生活は老々介助の毎日ですが、今後は地域コミュニティ連絡協議会について知識を深め、少しでも協議しようと思います。 ゴミ集積場が年取ってる人は不便
茂木地区	20歳代以下	高齢者の対策だったり交通をよくしたらいいと思います。
	75歳以上	近所の空き家対策？
式見地区	20歳代以下	その地域のことはそこに住んでいる住民の方が一番わかると思うので、住民主体というのはとても良いことだと思います。 例えば防犯対策としては、街灯の増加、交通でいえば草木の伐採、道路の補修等を地域主体で検討できることを増やしていければと(法令は致し方ないが)また、地域によっては住民の減少により減っていく商店や公園等もありますので、その地域に住み続けても生活に不便を感じない町づくり、体制を住民主体で考えていければ良いなと思っています。これからも長崎の発展、活性化に期待しております。
	30歳代	現在住んでいる地区は少子化が進んでいる状況です。しかし、隣町になれば新しい団地があり小学校が増設されているという反対の状況にあります。長崎県内(市内では特に)新たに住居を持つ場合、開拓地の偏りや昔ながらの風習などがある地域に足を踏み入れるのは、という長崎独特の問題があるように思えます。地域が自発的に活動することを目指すためにも、個人単位で居住の選択がもっと自由に選択でき、地域の特色なども居住選択の一つとして考えられるような情報発信(掲示板など)があると積極的に(前向きに)地域活動にも参加できるのではないかと考えます。
		PTAや育成協などなくなるところもあると聞きました。 保護者負担が大きいので無くせるなら無くてもいいと思います。 あと、うちの地域は食料品など買い物するところがないので住みづらいです。

地域	年齢	内容
式見地区	40歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・動物被害（猪被害など）の解決 ・空き家の活用 ・斜面地や階段の解消 ・防災（災害時の助け合い、備蓄品の整備など） ・違法駐車取締り（緊急車両が通れるように） を考えて頂きたいです。宜しくお願い致します。
	50歳代	住民主体で草刈りを行っているが高齢者がほとんどのため、細い道や高い場所など手の届かないところがある。 太い木なども厳しい。市の手助けがあるとありがたいと思う。
	65～74歳	我々の地区は高校・中学校そして近々小学校もなくなってしまうという話があり、大変残念に思います。人口が5千人以上いたらしいけど現在は3千人を切っていて、減少が止まりません。若者、子供がいません。どうかならないものでしょうか。 これは大変深刻な問題で、将来この地区はなくなってしまうのではないかと危惧しています。どうかならないものでしょうか。
日見地区	20歳代以下	公共交通機関を充実させてください。
	40歳代	それ以前の問題だと思われませんが！ 長崎県の若者における県外への就職など深刻な事であると思います。地域の高齢化が進む中で人口流出も全国でも上位に入ります。そんな中で住民主体の街作りなど話になりません。 大勢の人、特に若者がいてこそ地域活性化のカギだと思います。長崎市自体に企業が進出して来るメリットもないので、若者は職を求めて県外に出て行くのです。観光産業だけでは人は定着しませんよ。三菱重工でかろうじて持っているようなものです。 観光以外の仕事がある街作りを目指すようされてください。人口減少は税収にも影響でます。知恵を絞って頑張ってください
		誰一人取り残さないような地域コミュニティをつくってほしい
	50歳代	自治会加入の方が減っている。 自治会費未納の方がいるらしく、家賃にプラスして支払って欲しいです。
		自治会は年配と若い世代の交流もなく、若い世代同士の交流もほとんどない。あっても若い人の意見を受け入れない傾向は強い。 役員やこれまでの慣習で決めてしまう方法ではいずれ破綻すると思う。
		市民からの要望などが直接市に届きやすくなる仕組みがあるので、自治会の加入意義がなくなっているのではないのでしょうか。

地域	年齢	内容
日見地区	75歳以上	<p>いつもお世話になっています。ありがとうございます。このアンケートは妻に来ていましたが認知症で施設にいますので夫が書きました。</p> <p>現在家の上の山の方を見ると畑がなく、藪になって家のまわりまで竹とカズラがまかれるようになっていきます。</p> <p>藪にしたため、猪やタヌキなど家のまわりまで来ます。これも百姓の人が畑などを作らなくなってしまったからだと思いますが、これも家も守る父母が悪いのではないかと思います。</p> <p>私たちが小さい頃は長男は跡を継ぎ百姓をしなければ出来ないようになっていた。</p> <p>私の家は子供10人（男7人女3人）母は昭和21年41歳で亡くなり、私の家は田畑が少なかったので皆で分けることができず、長男が百姓、他は外で出稼ぎでした。</p> <p>今は結婚して別々になってしまいましたが、兄2人姉2人が亡くなり、その他は食べる位はやって暮らしているようです。</p> <p>なぜこうなったかと思うに、「水戸黄門」を見習うべきかと思います。</p> <p>“民”百姓を大事にしないと行っておられます。</p> <p>住民主体の地域における街づくりに関してのご意見ご要望ということでしたが、私が勝手に自分の思いを書きました。お許してください。</p>
		<p>現在、まだ仕事をしているため、地域活動が充分できない状況ですが、時間に余裕が出来たら積極的に参加したいと思います。</p>
東長崎地区	20歳代以下	<p>自治会は必要ないと思う。脱会する人が半数の中で残っている人が会費を納め、近所の掃除をしているのが腑に落ちない。</p> <p>同じように生活してゴミも出し、道路も使うのに何もせず自治会員のみの負担がかかるのはおかしくないか？</p> <p>脱会するのにもペナルティを作るか、（会費を払うetc）差別化を早急にしていかないと脱会者が増加するだけ。自治会という枠組みに疑問残る。</p>
		<p>いつもありがとうございます。今後も良い長崎をよろしく願います。</p>
		<p>通勤通学時間の東長地域、現川駅までのバスの便が増えたら便利です。</p>
	30歳代	<p>新しい住まいエリアを開拓するばかりではなく、既存の住宅エリアの空き家などに若い世代が住むような取り組み（空き家購入やリノベーション等による補助支援、商業施設の誘致、公園の整備など）を行なってほしい。</p>
		<p>引越したばかりで地域のことわからないので地域の方との交流なくすごしています。</p>
	40歳代	<p>高齢者と幼児～中学生までのふれあいが少ない。夏休みのラジオ体操など活用できたらと思います。</p>
		<p>校区で絞ってタイムリーに通知や案内(不審者情報・行方不明高齢者・イベント案内等)ができる長崎市独自のスマートフォンアプリがあれば発信者(長崎市)、受信者(市民)ともにメリットがあると感じる。</p> <p>アプリインストールのメリットを持たせれば、広報次第ではある程度の普及が望めるのではないか。</p>
		<p>地域のことについてあまり知らないので、地域のSNSなど作って欲しい。あるのか分からないので、あるならその宣伝もして欲しい。あまり行政に興味が無い若い世代にも興味が出るようなインスタやティックトックなどで発信して欲しい。</p>
		<p>高齢化が進み若い人が少なくなっています。若い人が住みたくなるまちづくりが必要です。車が利用しやすい道路整備と、住環境整備が必要です。斜面住宅環境整備が必要です。</p>

地域	年齢	内容
東長崎地区	50歳代	救急車を呼ばないといけないようなときに家族以外で助け合える近所づきあいができればいい
		東長崎地区はバスの本数がすくない（通勤・通学に不便）
		現川駅の整備と駅までの交通網の充実をお願いしたいです。
		高齢化が進み団地も高齢のお年寄りをよく見かけます。独居の方なのか道端にぼーっと座っている方をよく見かけ、そういう方達が集まって老後楽しく過ごせる場などがあればいいなと思っております。 子供達も就職や進学で県外で生活していますが、ここは交通の便が悪く生活しにくいと話しており、お年寄りにとっては更に大変だと感じます。 私自身も自然豊かで長年暮らしているこの場所に愛着はあります。しかし、将来車を手放す状態になった時、交通の利便性を考え住む場所を考えなければいけないと家族で話している所です。
		植木の里・歴史ある街並みであるので、行きたいと思える飲食施設や公園を作って欲しい。
	60～64歳	家ばかり建てて、もっと小さい子供達の遊ぶ所を建ててほしい。
		自治会から一人暮らし老人への声掛け依頼があれば行動に移しやすいと思います 広範囲に個人情報を出すことはすべきではありませんが、一人暮らし老人を囲む数軒は協力合って声掛け・見守りをしていくべきだと思います。もし、自分が同じ立場に立った時、日ごろから気がけてくれる隣人がいると心強いです。
		団地に住んでいます。以前はスーパーがあり買い物に行くと誰かとは会って立ち話をしておしゃべりを楽しんでいましたが、スーパーがなくなり人通りも少なく寂しい地域となってしまいました。移動スーパー車は来ますが品数が少なく買い物しづらいです。スーパーがなくなると人との接触がなくなってしまう往来もなくなり静かすぎます。お店の誘致をお願いしたいです。 街灯が少ない、間隔が長くて暗いです。
		高齢化になり近くに商業施設もなく公共の交通機関で買い物に行っている。でも、交通機関も減便で不便を感じる。 自治会に加入しているが高齢になり順番に回ってくる役員に気が重く自治会を退会しようかと考えている。
	65～74歳	長崎駅のバス停（矢上方面）が2か所あり、しかも離れている。どちらに行けばいいのか？長崎方面は番所橋と農協前も二か所で時間を知らない間違える。どちらで待てばいいのか？ 中尾行きのバスがあるが、見ると乗客はほとんどいないか数人程度。マイクロバスや8～9人乗りの車で良いのでは。 現川駅とバスが連携していない。バスが現川から出発してから電車がくる。つまり降りる客はバスに乗れない。 従って大概の客は自家用車で現川駅に現れる。バスに乗って現川駅に来る人はあまりいない。こういう意見を取り上げる組織が必要。
		月1回の回覧板、必ず見ますけれど、ゆっくり見ないといけない物はパスするときあります。地区の防犯等の内容をしっかり見た人に効果があるようにしてほしい。安心できる地域であってほしいです。

地域	年齢	内容
東長崎地区	65～74歳	年に2回、市の業者が街路樹の剪定をしていますが、下草が成長するのが早い！下草だけを刈る、刈ってもらいたいと思います。散歩したくても通れない時期があります。車の中からゴミをポイ捨てる人がいます。地元の人では無いと思いますがゴミのマナーを守ってほしい。長崎は安心して暮らせる市、街だと思っています。 メディアでも治安が良い上位に入っています。治安が良い！一番大事 彩ヶ丘方面道路はキレイですが、横断歩道を造ってほしい
		まちづくりを地域単位だけで括るのではなく、同じ課題や問題に直面している人々単位のまちづくりもあって良いのではないのでしょうか。地域を横、人々を縦とし、これらが織りなしてまちづくりをしていくイメージです。 いずれにしても市のリーダーシップが問われると思います。
	75歳以上	今は車の運転ができるからいいのですが、運転できなくなった時のことを思うと不自由になるだろうと思う。バスの時間が少ないし、周りに店もないし、そうなったときは近くにいる娘に頼むしかない
		日本という国は金持ちではないが、みんなで力を合わせてやり遂げるとい精神は立派だと思います。これからも自治会、老人会、子供会、団体と力を合わせて身体に気を付けながら頑張りたいと思います。
		矢上（東町）に住んでいるが八郎川沿いの道路が色々と工事中であるがその工事が何の為か、どのように仕上げるのか説明がなくていけない税金が使われているのだと思っています。 工事中の看板等にも説明が欲しいと思っています！
		団地内にショッピングセンターを再開させてください。
		各地域を巡回するバスが欲しい
		若い人たちに結婚して安心して子育てができるように。 転出人口の減少を考えてほしいです。
土井首地区	20歳代以下	年齢によると思います
		長崎からの若者の流出が増えているが、原因として物価が高い（ガソリンや家賃など）にもかかわらず給料が安いことが考えられると思う。実際私の周りの人達もそこが原因で県外へ行く人が多く、私自身も友人がいなくなることや仕事量に見合わず給料が安いことから今年中に県外への移住を考えている。高齢化も進んでおり高齢者に向けての支援が多いが、若者に向けた支援も行うことで流出を防いでほしい。
	30歳代	子供の遊べる場所が欲しい（雨の日でも遊べる） 畑を燃やす煙が嫌だ。くさいし喘息の子は咳が出る ごみを捨てる場所まで距離があるので近くに欲しい
		老害が明らかに増えている為
	40歳代	上記協議会含め、知己の（特に自治会）方々が、色々な工夫をなさったり、イベント企画も頑張っている。ただ、ほぼ後期高齢者と呼ばれる年代の方々ばかりで、10年後は現状の自治会運営は不可能と感じる。かといって40～50代の職業人がかかわるのには限界があり、率先して自治体の活動に参加しようものならば、「若い方に」とすぐ業務のように任せられるようになる。 持続可能な状態を模索するよう行政側から呼びかけを行なってほしい。

地域	年齢	内容
土井首地区	40歳代	長崎市の人口流出が直近の重要課題と思われる。良い仕事が少ないこと、低賃金等が原因だと思われる。サービス業、小売り業などはあるが、魅力的な製造業が少ない現状は致命的で、長崎市の経済にとっても大問題だとと思われる。地理的要因などもあると思うが、せめてIT企業などの誘致などが必要と思われる。 住民主体よりも行政主体の対策が必要。鈴木市長は経済に関心がないように見える。
	50歳代	電灯がない所があり暗い場所が結構あるので、防犯等の為にももっと増やしてほしい
		交通や商業施設など、南部を活性化してほしい。
		ご近所の方たちは、ほぼ同じ年代から上の方が多く住んでいて、その子供たちも大学、就職や結婚等で実家を出てしまってる家庭が多く、若い人不在でどんどん高齢化していく中、この先地域の活動にどれくらいの貢献ができるのかとか、自分の健康などを考えると少し不安を感じています。
	65～74歳	一部の人の活動でなく、全員参加の活動としてほしい。
		自治会などの地域住民だけの力では解決困難な問題が多いので行政の方々と共に（地域住民の目線で）活動していただきたい
		若い人が長く住みやすい環境づくりをしてほしいと思います。また、友人が孫を遊ばせる遊園地みたいな場所が欲しいと話しておりました。
	75歳以上	南部にはリハビリしたり高齢者施設とかは目につきますけど、子供に対しての施設がありません。健常児はどこでもいけます。しかし、障害を持っている子供たちは限られます。今現在、4歳になる孫がいますけど、記念病院に週一リハビリに通ってます。ことばも遅れています。手を握ってあげると少しは歩くことができますが、一人では歩けません。 親自身も私自身も抱っこして車に乗せるときなど大変です。今現在保育園に通っていて、私が週3迎えに行ってます。就学までリハビリは出来ると聞いていますが歩く可能性がある子供たちの希望を与えてほしい。多目的センターが南部地区にぜひ欲しいと思う。 （障害児主権で要望したいと思います） ハートセンターは南部から遠いし就学時までしかリハビリ等もできないようだと言いました。同じ人として楽しい人生を歩かせてほしい。南部では幼児は記念病院しかリハビリテーションがありません。
		海水浸水対策（護岸工事）お願いします
		この地域に住んで32年になります。ご近所の方達も皆いい人で、自治会に入会して、班長、役員等も行ってきました。 只、みんな年齢も増えて自治会の活動も厳しくなってきました。若い人が越えてきても自治会への加入がなかなか有りません。
		フォーレ東望（自治会及びソニア会）でグランドゴルフをやっていますが前のグランドの草取り及び整備をやってゴミ拾い同様に年2回の清掃を実施しています。自分たちでやれない分は市にお願いしています。今後とも自分達でやれない場合は市に相談しますのでよろしくお願いします。
		10代後半に親の仕事の都合で関東の方で生活し50年程過ごし地元に戻ってから早いもので10年が過ぎました。 50年ぶりに長崎で暮らすのは心配でしたが周りに助けられて今日があります。人情が厚いというか優しい人が多いと感じています。色んな事に地域で取り組んでして何よりだと思います。みんなが協力してより良い住みやすい町になってと願います。

地域	年齢	内容
深堀地区	20歳代以下	<p>交通渋滞の解消（長崎市南部または長崎駅方面）、迂回できる道が少なすぎるし、新しく作るにしても片側2車線は必須である。</p> <p>家賃、駐車場が高すぎる。安くしてほしい。人口がそこまでないにも関わらず、福岡市並に駐車料金を取るのには理解できない（斜面が多いからとか土地がないとか事情があるだろうが）。人を集めようにしても「住」の観点から見るとかなり難しいと思える。長崎市の駅周辺だけをきれいに整備するのではなく、他の地域との道路を整備するなりして住みやすい町作りをしてほしい。でないとますます少子高齢化に拍車をかけていくことになる。</p> <p>長崎県に来て1年経つが転勤等で他県に移動できるのならすぐさま移動できるほど長崎県には魅力を感じていないので本当に交通の利便性、住環境を変えて行ってほしい。</p>
	50歳代	<p>自治会の会計役員をしています。</p> <p>年々、若い世代の退会者が増えてます。</p> <p>理由として、週末に習い事の行事で自治会の掃除など出れない時など、近所の方達から苦情を言われるなど、入会している意味がない。などの意見もあります。</p> <p>各自治会で改善する事が大事だと思いますが、難しい課題です。</p>
	65～74歳	<p>深堀地域は高齢者に優しいところです</p>
		<p>今まで長崎市と地域住民でいろいろ協議してきたが、決まったことが全然実行されない。</p> <p>長崎市長、地域住民と一緒にあって積極的に行動してほしいと思います。話し合いだけで終わってしまえば今後住民の協力を得られなくなる。</p>
		<p>3年前に、同じ地域ではありますが引越してきたのでまだご近所さんとの交流があまり有りません！</p> <p>まちづくりに関しましてはまだ良くなりません。</p>
	75歳以上	<p>当生活地域で畑等の猪被害が多い為、家庭菜園や花づくりの人も個人での退治はできませんので行政で対応していただくことはできないのでしょうか、と皆で話している昨今です。</p>
		<p>長崎市の人口減少を懸念している。時代の流れとは思いますが。</p>
		<p>以前は田舎でもそれなりの便利さはありましたが、現在は逆に不便と思うことは案外多いと思います。</p> <p>全国共通と思いますが、スーパーを中心とした買い物、遠くてそこまで行かねば買うことができない。俗に言って小売が一軒もない田舎が多くなりました。新聞はよろしいが、雑誌一冊、切手一枚買うにもすぐ買うことができませんね。現代は仕方ないものと思って居ますが…田舎をドライブしてみると地元の方々の姿が見当たらずとも多くありますね。</p>
香焼地区	20歳代以下	<p>みんなで散歩したいです。</p>
	30歳代	<p>若い人、地元の人なかなか外で会わなくなった。みんなあいさつすればオープンにすがすがしい。</p> <p>坂、バスの利用、タクシー代、生活困ることが増えている。若い人は動けない人を見守れる。</p>
	50歳代	<p>以前、子供会や婦人会などで活動していた頃は地域の方達との交流もあり出来るだけの参加はしていましたが介護生活が始まると家に引っ込んでしまい全く周りのことが分からなくなってきました。高齢化が進んでいることからやはり声かけは必要だと感じています。</p>

地域	年齢	内容
香焼地区	60～64歳	<p>数年前のコロナで地域はもとより人とのつながりが大幅に減少したと思う また高齢化も自分の周りでは進んでいる 長崎中心部は繁栄の道が見えるが部分的な見解に思う。長崎全体が大きく変化したとは言えないと思う。 若い人や子供を持つ家族に対する希望や住みやすさ、子育てしやすさがどうかとかもっと意見を直で耳を傾けるべきだと思う</p>
	65～74歳	<p>地域的に交通の便が悪く、自動車免許を返納した場合、普段の生活にかかわる不便を生ずる。 老人は免許の返納をメディアで求めるような情報ばかりだが、そのために県や市が何かを打ち出してもらいたい。 バスだけでなく免許取得の工夫など、何kmまではOKとか。 空家が多くなり場所はあるのだから、誰でもが簡単に運動ができる施設があちこちにあれば、わざわざ大きな施設に行かなくて済む。市は考えてもらいたい。病気予防にもなり、老人も元気になる。 下関の唐戸魚市場のような大きな施設を作ってもらいたい。せっかく魚がとれる県なのにもったいない。 南部には土地は余っていると思うので県外からも人を呼ぼう。大村・諫早のような大きな土地はないが海の力を借りよう。 老人はまだまだ力はある。老人の力を借りよう。70才はまだ若い。 もっとインターネットを利用しよう。市の中に「魚部」を作り魚に関する情報を発信しよう。海岸線が一番長い県なのだから、県外からの釣人、移住・宿の工夫を市が発信しよう。</p>
		月の3週目に近所の掃除に参加
		<p>若い世代の減少で高齢者率が高い地域で暮らしています。長崎のボランティアグループで細々と活動させていただいています。 地域の方々とのつながりが今一つ課題です。先日、認知症サポートリーダー現任研修会で南島原市のボランティアグループ「ささえさんの会」の活動を拝聴することがありました。元々PTA活動から発展した会で、幅広い年代の方々がそれぞれの専門性を活かして地域のみんが暮らしやすいまちを目指して活動されている報告に感銘を受けました。 私の住む地域にも「まちづくり協議会」が、各種団体が加盟して頑張っています。もっともっと発展してほしいと思います。微力ながら役に立てたらと思っています。</p>
	75歳以上	<p>地域伝統行事に関して、後継者が少なく他から来てもらう等人手不足という問題があります。（たとえばペーロン大会等で今まで5隻で競り合っていたのが2隻だけになった）また復活した行事もあります。（例えば氏神社祭等） 高齢者が多くなっていることの問題もあります。高齢者でもできやすい文化行事を始めていくように考え合わせていく必要があるのではと思います。（体力的にも、経済的にも、精神的にも）</p>

地域	年齢	内容
伊王島地区	60～64歳	今は運転して近くのスーパーに買物に行く事が出来るが年齢的に後どの位運転が出来るのか分からない。諸手続きも地域センターで出来ない物もある。直通で公共機関があると良い。乗換など負担が大きい。釣り客のマナーが悪い。良くゴミを置いて行く。桟橋の駐車場で釣り道具で車に傷を付けられた事がある。比較的広い駐車場にも関わらず、船舶利用時に止められない。自家用駐車場として使用している人が多い。調査や注意をしてくれる所がないので、住民はとて【不満】である。島には店が少ない。買物に行くバスの便も少ない。診療所へ行くのも同様。高齢者が外に出る機会が奪われている。坂道や階段が多い。でも手すりは付いてない所も多い。赤道だからと行政から草刈も断られる。高齢者が草刈をしなくてはいけないの？高齢者に全然優しいよね。
	75歳以上	地域は最近野菜屋さんがなくなり、魚屋さん、米屋さんぐらいしかなく、買い物これから先、車を運転できなくなった時が不安。高齢者が多く、どうしてるのか？生協を利用しないと生活できない。スーパーが1つでもあったら高齢者は助かると思う。
高島地区	30歳代	スタジアムシティの開業、長崎駅前の再開発が進む一方で、交通渋滞の課題が大きく感じる。平日の朝夕、週末の中心部など。この解決のためにJRやバス、長崎電気軌道だけに頼らず、自動車以外の公共交通機関の発展を切に願います。都市部などを観光した際の地下鉄やモノレールといった公共交通機関と空港の連携など素晴らしいと感じました。長崎にはそこが足りていないと日頃から感じます。大好きな長崎だからこそ観光都市としても住みやすい街としても交通インフラを進めていくことは喫緊の問題だと思えます。人口流出に歯止めをかけ、長崎の活気がいつまでも続くことを願っています。
	60～64歳	全体的に夜は暗く、車に乗っている人はいいけど歩く時危ないと思えます。玄関口のターミナルも暗すぎて困ります。(照明灯) マイク放送が全然聞き取れず昔の様に地区ごとに流れるようにしてほしいです。 あちらこちらで草が多すぎて草刈りの人も人数少ないので市としてもっと人員増やしてキレイな町づくりに対応してほしい！
	75歳以上	食堂がない、宿泊施設がない、人口減少のため賑わいがいい これでは気軽に遊びにも来られない、食事、宿泊が一番の問題だと思う 小さくても数人でも泊まれるようなところがあれば来る人はいると思えます
野母崎地区	40歳代	地域課題は地域だけでは解決できないことも多くあると思えます。 現在NPOで活動しているが、地域活動に関わる機会がない。 行政には地域と市民活動を積極的につなぐ姿勢を見せて欲しい。 多くの団体が望んでいると思えます。
	50歳代	自治会は強制や制約が多いため非加入が悪いこととの風潮が未だにある。まずは自治会のイメージを良くし参加の敷居を低くすることが必要と思う。 住民主体であれば、まちづくりに必要な住民間の意見の調整、各種事業者との連携や金銭的な面で限界があると思われる。自治体も全部住民任せでなく、行政サービスの一環としてある程度主体性を持って関与する必要があると思う。
	60～64歳	少子高齢化、過疎化、動物被害、限界集落へ向かっています
	65～74歳	地域が抱えている課題、問題点を解決するために取り組んでいること、取り組んだことを市内のコミュニティ連絡協議会で出た話を市の広報誌等で掲載してほしい。単位コミュニティ協議会で無理な計画も複数のコミュニティ協議会が集まって実施すれば新しい発見があるかも。

地域	年齢	内容
野母崎地区	65～74歳	野母線、長崎バスの栄上での乗り継ぎはとても不便です。野母線は10～14時までの直行便がなくなっております。 乗り継ぎをコミュニティバスがすぐ待っているなど工夫はできないものでしょうか？これから多くの高齢者が車の免許返納も近いです。 不便さで病院、生活物資調達の外出を控えがちになり健康的な生活も維持できなくなります。 箱物を造るより市や県からバスの方へ補助金を回して欲しいものです。それからコンビニ横などに簡単な診療所などは是非欲しいです。 住民は恐竜博物館や高浜コミュニティ、温泉など立派な箱物を望んではいません。住民の望むことをじゅうぶんリサーチして考えてほしい。
	75歳以上	大型商業施設、病院が遠い 交通の便が悪いため車が必要だが年齢的に残り1年で返納 バスの本数が少ない、時間の配分も悪く今後が不安です
三和地区	20歳代以下	これから何年も寄り添う地元が安全で安心できる場所になることを心より願っております。
		コンビニ無い、なにかかうところが無い
	40歳代	監視カメラを最低でも街の出入り口に欲しいです。
	50歳代	他県から移住して南部の綺麗な海+サンセットがすごく魅力でした。もったいないな地域血管となる道路の整備が遅れている。センスある街並みを作っていただけたらまたいろんな意味で南部ってみようと思う方もいらっしゃるかもと思います。 もう一つ疑問。晴海台には公園があっても犬禁止はどうかと思います皆さんマナーは守られてると思うのですが…
	65～74歳	自治会に加入しています 何年かに1回班長、役が回ってきます 高齢者ゆえ苦になります 地域コミュニティに参加できるすべての人と自治会との差がよくわかりません どちらかに統一してはいかがでしょうか
		公園内の施設に健康増進となる器具備品の設置を希望します。 子供向けの遊具施設は概ね設置されているが高齢者が集える一助に成るかと考える為。 これから高齢と成るに連れ自動車運転免許証の返納した時の交通手段が心配される為、過疎化の交通手段の充実を希望します。 一市民を置いてきぼりにしない行政であって欲しい。
	75歳以上	特に三和地域については交通不便等が多々ある
		地域が活性化するには、人口減の対策が必須と思います。私が住んでいる所が過疎地になっているのを知り、とても驚いた次第です。何か魅力的な行事や施設が出来たら、人も集まるのではと思います。
三重地区	30歳代	地域の広報誌をあまり見たこと無いです。 ある場所や、PDFによるオンラインでの閲覧などがあると、うれしいです。 既にある場合、何処で見れるか知らないの、チラシなどで知らせる必要があるかもしれません。

地域	年齢	内容
三重地区	40歳代	私の住んでいる所は高齢者が多く、自治会の活動も負担に思っている方が多い。 毎月の公園の清掃（班で回ってくるので2か月に1回） ゴミステーションの清掃 他の自治会ではされていないところが多く自治会長になんとかならないかと相談したが聞く耳を持たない。自治会の活動も必要だと思うが住人が高齢になってきて参加しない人も増えているのだから少しは考えていただきたいと思う。
		住民主体の地域のまちづくりに関して現在未来に対して良い施策の立案・実施ができればいいと思いますが、その事を決める・行う過程でそこに住む人に重荷にならないようにしてほしい。 高齢化、少子化していく中で地域での関係性は重要になっていくと思います。良い施策が実施できるよう頑張ってください。
		子供が3人いるので給食費無償化の実現をお願い致します。
		違法改造車等が増加して環境が悪くなっている 取り締まり強化をお願いします
		私の住んでいる地域は非自治会員のほうが多いように感じます。公園掃除や草むしりなど、自治会員のみで行っていて、業者に依頼する場合も自治会費から捻出します。みんなが歩く歩道、みんなが遊ぶ公園なのになと思います。言葉は悪いですが、正直者がバカをみるというのが現状です。自分が住む町であり、子供たちが安全に遊ぶことが出来る公園の維持のためにも、少しでも地域に貢献しなければという気持ちで自治会には入っていますが、毎年今年こそは退会しようと思いがら今に至ります。 住民主体のまちづくりは、一部の住民の犠牲がなければ成立しないでしょう。自治会の加入が任意である以上、どうすることもできないのはわかっているのですが、温度感が違いすぎてもやっとしてしまいます。 ネガティブな意見となり申し訳ないです。私達が当たり前で暮らせているのも、職員の方々の見えない犠牲があるのだと思います。感謝しています。
	50歳代	公務員の数にも限りがあり、予算も限られた範囲の中で住民が協力し合い、中心となって行政もかかわりながら地域を守っていく必要があると思います。そのためにも行政任せではなく、地域はそこに住む人々が自らの手で守っていくという姿勢を持てるよう行政側が発信していく必要があるのではないかと思います。
	60～64歳	犬の散歩はいいが、人の家の前では？きちんととってない。 (公園での花火は禁止のはずでは)
		高齢化社会を見据えた地域づくりがなされていない。例えば集会所で老人会の懇親会を計画したとしても、集会所に入るのに階段がある。だが手すりがない。スロープがない等、参加したくても身体的活動に問題がある人は参加できない。バリアフリーではない。 災害時の避難所として小学校の体育館が開放されるがただ場所を提供しているだけで床に座れない、寝られない高齢者は避難できない。トイレも体育館の外にあり手すりもない為使いづらい。 家族のあり方、意識が時代とともに変化してきている中、自治会活動は昔ながらのあり方で、見直し、改革が必要。 高齢者に優しい地域づくりは、子供にも妊婦にもハンディキャップがある人にも将来的にも人口流出もなく続いていく優しい地域だと考えます。

地域	年齢	内容
三重地区	60～64歳	駐車、騒音、川にゴミを捨てる等、自治会に加入していない世帯が多い。警察に相談しても民事介入はしないので、我慢するしかないのか。地域の問題は縦割りではなく、横との連携が必要。畝刈地区は、県の臨港が関係する道路や、川が多いため草刈り問題、川へのゴミ捨て問題が解消されない。
	65～74歳	私たちの地域では四季を通じイベントなど盛んに行われています。老人会の活動も盛んで高齢者ふれあいサポーター高齢者サロンなど行われています。これから高齢化が進み、買い物するお店がなく車がないといけません。商業施設（コンビニ等）お願いしたいです。
	75歳以上	約60年前千葉県松戸市で日本で初めて「すぐやる課」というのを設立しました。その名の通り行動が早いそうです。 長崎市でも最近になって「あじさいコール」なるものを設けていますが、たらいまわしされて中々回答が返ってきません。もっとやる気を出してください。
		運転免許証返納後、病院受診、買い物等が高齢者にとって大変困難になりました。三重、東上自治区周辺は食料品店がなく京泊、畝刈方面へ出かけねばなりません。タクシーを利用すると往復3～4000円が必要です。物価高の現在大きな出費となります。個人的な希望としては三重地区へコンビニ店でも出店して下さる方もおられたらと感じております。 (なお、檜山自治区、三重田自治区方面へ食料品店があるのかどうかは聞いておりません)
外海地区	20歳代以下	SNSを活用することで、人々の興味や関心を惹きつけ、地域の活性化や町おこしに繋がると考える。
	40歳代	40代で結婚できるか不安です。
		外海地域は高齢者が多く全体的に人が少ないので、協議会の範囲を現状の出津だけでなく神浦～黒崎永田まで広げてはどうかと思う。課題は似通っていると思う。しかし、それぞれの地域間でなかなかソリが合わないというも聞いた事があり、合同で進める事は簡単ではないかもしれない。そこで、移住者や新参加者がリーダーを行うことが望ましいと思う。これまで合同で進められなかった高齢者がリーダーをやっても不平・不満が発生すると想定されるので、地域外からやって来た新しい人なら公平に物事を進める事が期待されるのではと思う。
		ある程度顔見知りだったり、何かをしようと盛んに動いてくれる方が偏っていて、それが不満なわけではなく、すごく感謝している反面、負担が大きいだらうと思う事も多いので、もっとたくさんの方が少しずつでも興味のあることだけでも、顔を出したり意見を出したり、参加しやすい体制ができればいいなと思う。コロナ前のようにもっとイベントを戻せていきたいと思う。運動会、ふるさとまつり、さんぽみち、くち淋しくなった もっと街に働く場所などが増え、人が増え子供が増え、また子育てしやすい環境が戻って来てくれたら嬉しいです。何かできることがないのか日々考えています。街を盛り上げていけるような事 私が子育てをしてきて沢山可愛がってもらった地域に恩返しできる事がないのか、模索しています。 例えば人が訪れてくれるような場所を作る(お店、キャンプ場、農場)外海の良さが存分に伝えられる場所 できたらいいな、これが私の今の1番の夢です。 こんなことを考えてる人も居ることを知ってほしいし、この気持ちを発信して協力相談してもらえそうな体制を行政にしてもらいたいと思います。

地域	年齢	内容
外海地区	50歳代	交通の利便性が悪く買い物するところも少ない。近くのコンビニ（高齢者はここでしか買えない）は高く売っていてダイレックスまで行かないと買えない。 （車で30分くらいかかる） それと道に動物がよく轢かれているのをよくみるけどすぐに処理してくれない。 去年はイノシシや猫・犬・イタチなど今年もいました。早期に対処してほしいです。冬は特に多くなります。
		まちづくりに協力したい、しなければと思いはするものの、仕事や日々の生活に精一杯でなかなか時間がありません。 ただ消防団活動は地域の皆さんの生命に関わるので、最優先に考えています。
	60～64歳	市役所、特に市役所職員が地域の一員として参画できるようにしてほしい
	75歳以上	地域が人口減少・高齢化するなかで、いつも思うことは、それぞれが心掛け近所どうして声掛け・所在確認することが大切です。私は農業者ですが近くに直売所（道の駅夕陽が丘外海）があって助かっています。 作物全てがお金になりますし、消費者の方に喜んで頂いています。 これからも健康に気をつけて体の続く限り前を向いて頑張ります。
		交通の利便が悪い 商店がない
		①外海地区には、2つの世界遺産があり観光客も増加しており、また国道202号は県の「サンセットロード」としているが、国道の草の管理が悪いためにせっかくの「すばらしい景色が台無し」になっております。 国道周辺の伐採の充実を県に強力に働きかけてもらいたい。 ②老人が多いために「買い物難民」があり、行政としてどのような対策ができるのか検討してほしい。
琴海地区	40歳代	役所はただ協議材料を投げるだけではなく、今以上に地域に関わり様々な意見を敏感に吸い上げ共に盛り上げていく姿勢をもっと見せてほしいです。 皆さん（役所の方）は地域のために本当に良く頑張ってくれていると思います。ただ、本気で良くしていこうと思うなら、目の色変えてやる姿勢が大切だと思う。私たちも同じことが言えると思って居ます。今後はもっと密に関わっていきましょう！！
		市内に住んではいるが、職場は市外の為、市外で過ごす時間が多い為、長崎市や地域の事がよく分かりません。
		人口の減少、高齢化が進んでおり、また、外国人労働者も増加しているように思います。私の幼少期のような、子どもが一人でも外を歩けるような治安の良い街。坂の多い長崎でも生活し易い街作りを希望します。
	50歳代	住んでいる所が山に近くイノシシがよく出て、最近息子がイノシシがぶつかってきてケガをしました。近所でも畑の野菜を食べられたり、土を掘り起こしたり被害が多いです。山はイノシシの住処であり、住みわけが難しいですね。
		長崎市に合併してから夏祭りやふるさと祭り等イベントがなくなったので復活して欲しいです
		末の末まで幸せな社会、家庭になれますように

地域	年齢	内容
琴海地区	60～64歳	地域というよりも国道やその周辺の整備に力を入れてほしい！！長崎市の中央ばかりに予算を使わないでほしい！！ 観光の都市に力を入れるなら国道、県道、市道をもっとよくする様にしないと恥ずかしい！！
	65～74歳	車があつての生活はしやすいが車がなくなると買い物・病院に行くのに不便を感じる。コミュニティバスもあるが利用するのに勇気がいる。これから先に不安を感じる
		自治会加入者が少ないこと 若い方が少ない
		手軽に情報が得られる時代だからこそ、身近な人達との触れ合いや関係性が大きくなってくと思う。 時代がスピード感を増すにつれ、ゆったりとした気持ちになれたらいいなと思っています。 現在、コミュニティ活動が各校区ごとに盛んになってきていることに(子育て中の親を巻き込み)嬉しく思います。 私たちの地域(琴海)だけでしょうか？子供たちが心豊かに育ってくれることを願っています。
	75歳以上	まちづくりに関して、緑や花、やすらぎなどが感じられる雰囲気を感じる工夫をして欲しいと思います。お金も必要でしょうが、考えればなんとかいい町づくりができるのではないかと期待します。優しさ、暖かさの感じられる町に。
		私が住んでいる地区も一人暮らしの人が多くなりました。子供さんがなくなり声もあまり聞くこともない。犯罪が一番気になっています。私たちも80歳を夫婦とも超え皆様に助けてもらうことが多くなると思います。
地区不明	20歳代以下	商業施設やチェーン店が少なすぎる。
		遠い場所で買い物に行くのは少し難しいと感じます 安くて便利なバザーがいらっしゃるなら大丈夫だと思います
		現在住んでいる地域はとてもいい、大きな問題がないと思います。
		長崎は物価が高いし、給料が少ないから住みにくい。
	30歳代	障害のある方が生活しやすいまちづくりをしてほしいです。 安全・安心して暮らせるまちづくりをよろしく願います。
	40歳代	長崎に数年前に越してきました。私の住んでいる地域は坂が多く移動するのがとても大変です。 九州地方に知り合いもいないためとてもさみしいです。移住してきた人が集まる会などあればうれしいです。
	50歳代	馬町交差点の横断歩道は、歩車分離式の信号にしてほしい。 日中はよいが、夜間が大変危ない。

地域	年齢	内容
地区不明	60～64歳	<p>●住環境について</p> <p>1 住宅費用について 長崎市中心部に住んでいるが賃貸料が高すぎる。吹田や茨木等の大阪周辺の市街地と変わらない上に、賃貸の場合は様々な名目が上乘せされて賃借人の負担は関西より大きく、非常に住みにくいと感じる。何やら早く長崎から出て行けと言われているかのようである。マンションも一棟ビルばかりで大規模な家庭用マンションは殆どない。人口減少中の地方都市の家賃が大阪周辺と同じなのは合点がいかない。行政は不当に賃料が上がらないように監視すべきではないだろうか。ドイツでは行政が家賃の上昇率を規制していると聞かすが日本の地方都市では難しいだろうか。</p> <p>2 市中心部の大気汚染について 長崎は電車のインフラも無いに等しい車社会で、想像以上に排気ガスも市中心部には多い。また、中華街周辺は暴走族が毎週末の夜、現れて騒がしい。</p> <p>3 エネルギー費用について 電気、ガスのエネルギー費用も高い。同じだけの電力使用量やガス料金でも関西の1.5倍の印象である。</p> <p>4 浄化槽の使用について 長崎にはディスポーザーが設置された住宅が少ないようである。坂の町には汲み取りがまだ多いとも聞く。ディスポーザーを汲み取りと置き換えることは不可能であろうか。生ごみは劇的に減る。個人的にはゴミを出す手間が減りゴミ袋の費用も減る。汲み取りは市営だが浄化槽管理は民営にできる。技術が許せば複数の家屋を纏めて大きめの処理機を設置することも検討しては如何だろうか。</p> <p>5. まとめ 住環境を考えれば関西の方が暮らしやすいと思う。長崎に人を呼び込み住み着いてもらう為、まずは住環境改善に取り込まないと人は出ていくばかりだと思ふ。その為の行政による家賃制御は不可欠ではないだろうか。また、浄化槽の適応も考えては如何だろうか。</p>
	75歳以上	<p>私は以前PTAの会長をしたり警察署の補導員、青少年育成協議会の事務局長を30年わたりお世話になりました。</p> <p>今頃ではお母さんたちも働く人が多く通学等における交通当番も引き受ける人がいなくなりました。自分の子供たちがお世話になっても自分がお世話をする立場にはなれない人が多いと思います。もっともっと真剣に考えてほしいと思います。この度の素晴らしいアンケート調査に感謝します。</p>